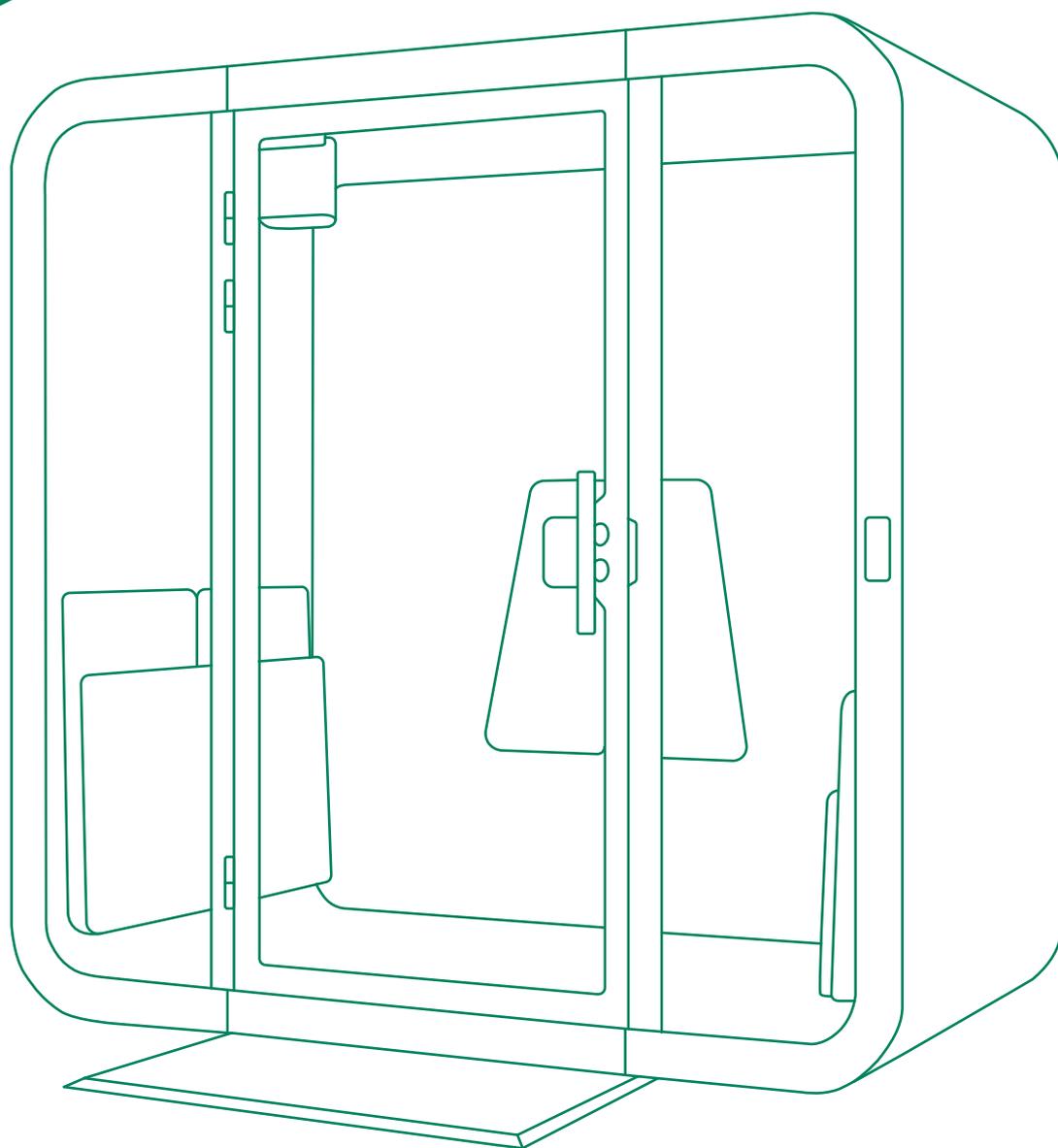


# framery

SERIOUS ABOUT HAPPINESS



Framery Q Flip 'n Fold  
の設置方法

日本語  
Version 1.1  
Tampere, Finland 20.03.2023



# 目次

<b>1</b>	<b>保証書チェックリスト</b> .....	<b>7</b>
<b>2</b>	<b>安全と製品に関する重要な注意事項</b> .....	<b>8</b>
2.1	はじめに.....	8
2.2	製品情報.....	8
2.3	著作権について.....	8
2.4	取扱説明書の内容.....	8
2.5	使用目的.....	8
2.5.1	想定されていない使用法.....	8
2.5.2	使用環境条件.....	9
2.6	本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について.....	9
2.7	本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク.....	9
2.7.1	設置、メンテナンス、分解.....	10
2.7.2	電気的安全性.....	10
2.7.3	火災時の安全性.....	11
2.7.4	使用法.....	12
2.7.5	キャスターでの移動 (別売).....	13
<b>3</b>	<b>設置条件</b> .....	<b>14</b>
3.1	ツールと付属品.....	14
3.2	主な寸法.....	15
3.3	設置スペース.....	15
3.4	作業スペース.....	16
3.5	耐震補強工事に関して.....	17
<b>4</b>	<b>フロアモジュール</b> .....	<b>18</b>
4.1	フロアの設置.....	18
<b>5</b>	<b>ウォールモジュールの設置</b> .....	<b>25</b>
5.1	ウォールカバーパネルの取り外し方.....	25
5.2	ウォールモジュールをフロアモジュールに接続する.....	25
<b>6</b>	<b>ルーフモジュール</b> .....	<b>29</b>
6.1	ルーフモジュールの接続.....	29
6.2	上部フレームの設置.....	31
6.3	ルーフモジュールの設置.....	35
<b>7</b>	<b>バックフレームとガラス</b> .....	<b>38</b>
7.1	耐震サポートブラケット(別売)を背面に設置する方法.....	38

7.2 サイドフレーム1枚とバックガラス2枚の取り付け.....	38
7.3 残りのサイドフレームとガラスの取り付け.....	41
<b>8 フロントフレームとガラス.....</b>	<b>44</b>
8.1 設置サポートの取り外し.....	44
8.2 耐震サポートブラケット(別売)を背面に設置する方法.....	44
8.3 ガラス付きフロントフレームの設置.....	45
<b>9 ポッドを真っすぐにする方法.....</b>	<b>48</b>
<b>10 耐震サポートブラケット (別売)の固定方法.....</b>	<b>52</b>
<b>11 ガラスビート施工.....</b>	<b>54</b>
<b>12 インテリアの設置.....</b>	<b>55</b>
12.1 シートの設置.....	55
12.2 カーペットの設置.....	58
12.3 パワーコラムの設置.....	59
<b>13 天井用敷居の設置.....</b>	<b>69</b>
<b>14 スロープの設置.....</b>	<b>71</b>
<b>15 ドアの設置.....</b>	<b>75</b>
15.1 ドアの設置.....	75
15.2 ロックケースの設置.....	77
15.3 ドアハンドルの設置.....	78
15.4 押しボタンの取り付け.....	79
<b>16 ドアオープナーの設置.....</b>	<b>83</b>
16.1 電気配線ダクトの設置.....	83
16.2 ドアオープナー用モーターの設置.....	85
16.3 ドアオープナーアームブラケットの設置.....	87
16.4 ドアオープナーアームの設置.....	89
16.5 ドアオープナーアームをドアオープナーアームブラケットに取り付ける方 法.....	91
<b>17 電気部品の設置.....</b>	<b>93</b>
17.1 ドアオープナー用電気配線の設置.....	93
17.2 コントロールユニットの設置.....	100
17.3 モーションディテクターと照明の設置.....	105
17.4 電気部品の設置完了.....	109

<b>18</b>	テーブルの設置.....	<b>110</b>
<b>19</b>	コートフックの設置.....	<b>111</b>
<b>20</b>	自動ドアシールの調節.....	<b>112</b>
<b>21</b>	カバーパネルとプレートの設置.....	<b>114</b>
	21.1 ルーフパネルとカバープレートの設置.....	114
	21.2 ウォールカバーパネルの設置.....	115
<b>22</b>	ボディカバーの設置.....	<b>117</b>
	22.1 ボトムボディカバーの設置.....	117
	22.2 ルーフボディカバーの設置.....	118
	22.3 壁面ボディカバーの設置.....	121
<b>23</b>	ドアオープナーのプログラム設定方法.....	<b>123</b>
	23.1 初期設定.....	123
	23.2 パワークローズ機能を有効にする方法.....	126
<b>24</b>	設置完了.....	<b>131</b>
<b>25</b>	トラブルシューティング.....	<b>133</b>



# 1 保証書チェックリスト

本製品の保証を有効にするにあたって：

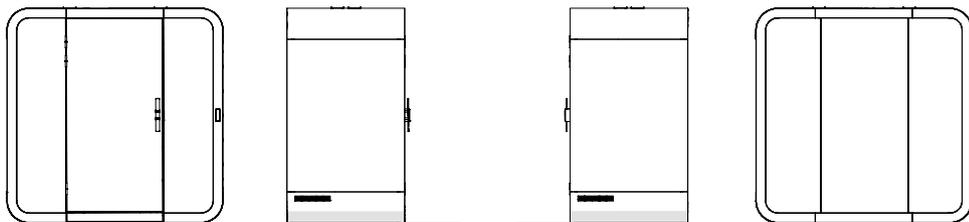
本チェックリストに記入して、ポッド設置後にFrameryまで送付してください。記入したリストを写真に撮るかスキャンして、Frameryの [warranty@frameryacoustics.com](mailto:warranty@frameryacoustics.com) 宛てに送信してください。完成したリストは、ポッドの中に入れておいてください。

国名： \_\_\_\_\_  
 市町村： \_\_\_\_\_  
 顧客名： \_\_\_\_\_  
 ポッドのシリアル番号： \_\_\_\_\_  
 SO番号 \_\_\_\_\_  
 設置業者： \_\_\_\_\_  
 技術者名： \_\_\_\_\_

はい

- 全てのボルトが指示通りに締め付けられている
- ポッドは水平で、水平調節脚に立っている
- ドアが開いている状態の時、自然に閉まる。または、その状態に止まる
- ドアは開口部の中央の位置にある。
- ドアハンドルに緩みがなく、取扱説明書通りに取り付けられている
- ポッドの電源コードが指示通りに接続されている
- 人がポッドに入ると、照明とファンのスイッチが入る
- ファンは静かで均一な音がしている
- ルーフモジュールの換気口からポッド内に空気が流れ込んでいる
- すべての家具が説明書通りにきちんと設置されている
- ドアを閉めると、換気口からポッド内の空気が流れ出る
- 取扱説明書に従ってボディカバーを取り付けている
- 約8分間使用しない場合、ポッド内の照明が消える
- 全てのガラスが均等に取扱説明書に従って取り付けられている
- 全てのガラスビートが本取扱説明書に従って取り付けられている

傷など外観上の問題がある場合は、その箇所を丸で囲み、欠陥部分の写真と説明文を保証書に記載のメールアドレス宛に送ってください。



私は、本ポッドがFrameryの設置手順に従って設置され、ポッドが正しく動作することを確認したことを証明します。

署名および日付: \_\_\_\_\_

## 2 安全と製品に関する重要な注意事項

### 2.1 はじめに

本取扱説明書では、本製品の設置方法を説明しています。本製品を設置する際には、関係者全員がこの設置・安全に関する指示書の内容を読み、理解してください。

本取扱説明書は、正しく設置していただくための必要な情報を記載しています。

### 2.2 製品情報

本取扱説明書に記載されている情報は、出荷時の本製品に対応しています。本取扱説明書に記載されているすべての情報は、発行時に有効です。

### 2.3 著作権について

本資料は、Frameryの明示的な許可なく、複製、提示、または第三者へ提供してはいけません。本資料をFrameryが許可した目的以外に使用することは禁止されています。Frameryは、別途通知することなく、本製品に関する説明を変更する権利を有します。

### 2.4 取扱説明書の内容

設置に関する取扱説明書には、以下の情報が記載されています:

- 取扱説明書の目的と内容に関する一般的な情報
- 安全に関する情報
- 設置方法

### 2.5 使用目的

Framery Qは、1~4人が一度に屋内で短期間使用することを目的としたポッドです。

 **警告：** 警告 – 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください。

本製品は、取扱説明書に記載されている使用目的以外には使用しないでください。メーカーが推奨していない付属品は使用しないでください。

#### 2.5.1 想定されていない使用法

設置、メンテナンス、トラブルシューティングをはじめ、本取扱説明書で明確に許可されていない本製品の使用やメンテナンスは、以下を含めて禁止されています:

- これらの行為に関する指示を読み理解することなく、ポッドの設置、メンテナンス、または分解を行うこと
- 使用限度を超えたポッドの使用

- ポッドの改造
- 明らかな欠陥や損傷があるにも関わらず、ポッドを使用する行為
- 屋外又は、温度や大気環境が安全でない状況でのポッドの使用
- 本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せる行為
- ポッド内での喫煙

### 2.5.2 使用環境条件

本ポッドは、以下の条件での使用を想定しています:

- 周囲温度 : +15°C ... +30°C (59°F ...86°F)
- 湿度 : 最大 50%
- 本製品の周囲に十分な空気環境が整っていること

## 2.6 本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について

本取扱説明書に記載されている警告は、以下の2つに分類されています:

- 「危険」とは、回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。
- 「警告」は、回避しなければ死亡または負傷につながる可能性のある危険な状況を示しています。

本取扱説明書に記載されている安全記号は、本製品にも記載されています。本製品の設置、分解、メンテナンス、使用を行うすべての人は、作業に関するすべての安全記号、ラベル、指示を熟知し、遵守しなければなりません。

表 1: 危険

	色付きの三角形の中にある感嘆符のマークは、危険な状況を示しています。
	

表 2: 必須事項

	色付きの円の中にある白色のマークは、危険な状況を回避するために取らなければならない行動を示しています。
---	---

表 3: 禁止事項

	斜めの線入りの円マークは、許可されていない行為を示しています。
---	---------------------------------

## 2.7 本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク

## 2.7.1 設置、メンテナンス、分解

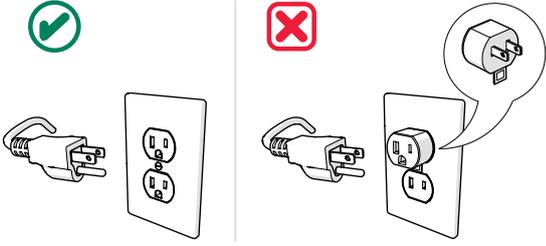
	<p><b>警告!</b></p> <p>火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:</p>
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、耐切創性のある安全手袋を使用してください。
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、つま先がスチール製の安全靴を使用してください。
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、安全眼鏡を使用してください。
	取扱説明書を読んで理解し、事前に作業計画を立ててください。
	職場の安全に関するお住い地域の規則や規制をすべて遵守してください。
	設置、メンテナンス、分解の各工程において、作業現場を整理整頓し、ゴミのない状態にしてください。
	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。
	<p>別売のキャスターをつけていない状態で、完成品を押して移動させないでください。</p> <p>本製品は非常に重いため、組立後に別売のキャスターが無い状態で移動させるのは、かなりの力が必要になります。完成品 (別売のキャスターを使用しない場合) を分解・再組立せずに移動する場合は、本製品の移動を担当する者が現場でリスクアセスメントを行ってください。</p>

## 2.7.2 電気的安全性

電気系統入力：100-240 VAC (10 A) 50-60 Hz

電気系統の最大負荷は6.6Aです。

	<p><b>危険!</b></p> <p>感電の危険を避けるために、以下の注意事項に従ってください:</p>
	<p>クリーニング、メンテナンス、分解の作業を始める前に、電源コードをコンセントから抜いてください。</p> <p>電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。</p>

	<p><b>警告!</b></p> <p>火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:</p>
	<p>電源コードは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。</p>
	<p>本製品は、120ボルトの回路で使用され、下図のようなアースプラグが付いています。プラグと同じ形状のコンセントに接続されていることを確認してください。本製品にはアダプターを使用しないでください。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<p>本製品の電源コードを加熱面に近づけないでください。</p>
	<p>電気機器に不具合や損傷がある場合は、本ポッドを使用しないでください。</p>
	<p>本機の電源コンセントに延長コードを接続しないでください。</p>

### 2.7.3 火災時の安全性

Framery Qの火災荷重は、約5200MJです。

	<p><b>警告!</b></p> <p>火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:</p>
	<p>本製品内部で火災が発生した場合、安全に実行できる場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。</p> <p>電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。</p>

本ポッド内に火災安全装置 (警報器、スプリンクラーなど) を設置することも可能です (説明書はご要望に応じて提供いたします)。本ポッド内のエンドデバイスの必要性は、常に、該当する地方自治体によって決定されます。

## 2.7.4 使用法

Framery Q Flip n' Fold テーブルの最大荷重は、60 kgです。

ディスプレイブラケットの最大荷重は 10kg です。

	<p><b>警告!</b></p> <p>火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:</p>
	<p>ご使用になる前に、使用説明書をよく読んで理解してください。</p>
	<p>⚠ 注：以下の注意事項は、日本国内での使用に適用されます。</p> <p>本機器は、お子様がいると想定される場所での使用には適していません。</p>
	<p>⚠ 注：以下の注意事項は、他のすべての国での使用に適用されます。</p> <p>本製品をお子様や病人、障がい者が使用する場合、あるいはお子様や病人、障がい者の近くで使用する場合は、厳重な管理の下で使用しなければなりません。</p> <p>拡張されたフットサポート（またはその他の類似部品）に小さいお子様を近づけないでください。</p>
	<p>傷害の危険性!電動式高さ調整テーブルの天板を上下するときは、テーブルの側縁に手や体の一部を近づけないようにしてください。これは、電動調整式テーブルを備えたすべてのFrameryのポッドに適用されます。</p>
	<p>周囲の空気を利用して、ポッド内の空気を循環させています。周りの環境が少しでも危険な場合は使用しないでください。</p>
	<p>換気が機能していない場合は、使用しないでください。</p>
	<p>換気口がふさがれている場合は、使用しないでください。換気口に糸くずや髪の毛などが付着しないようにしてください。</p>
	<p>電気機器に異常がある場合や、本製品が正常に動作しない場合は、ポッドを使用しないでください。速やかに電源コードをコンセントから外し、お近くの販売店または製造元に連絡してください。</p>
	<p>本取扱説明書で特に指示されていない場合、開口部に物を落としたり挿入したりしないでください。</p>
	<p>屋外では使用しないでください。</p>
	<p>エアゾル（スプレー）製品を使用している場所や、酸素を投与している場所では使用しないでください。</p>

	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。
	本製品に寄りかからないでください。
	本製品の中では喫煙しないでください。
	建築物に設置されている警報機や通路誘導等などがポッド内から目視出来なくなる様なもの(ポスター、カーテン、ブラインドなど)は、フロント又は、バックガラスに貼らないでください。

### 2.7.5 キャスターでの移動 (別売)

	<p><b>警告!</b></p> <p>本製品は非常に重いです。キャスターで本製品を移動させるには、計画性と注意力が必要です。移動中に本製品が転倒しないようにしてください。</p>
	本製品は平らな場所だけで移動させてください。移動したい経路上に <b>3mm (1/8 インチ)</b> 以上の亀裂や段差がないようにしてください。
	本製品を移動するときは、垂直方向の真ん中より下を押してください。本製品を牽引しないでください。
	本製品がキャスターのみで立っている状態の時には、中に入らないでください。本製品を移動する際に限り、キャスターを使用してください。移動後は直ちに水平調節脚で製品を固定してください。

### 3 設置条件

#### 3.1 ツールと付属品

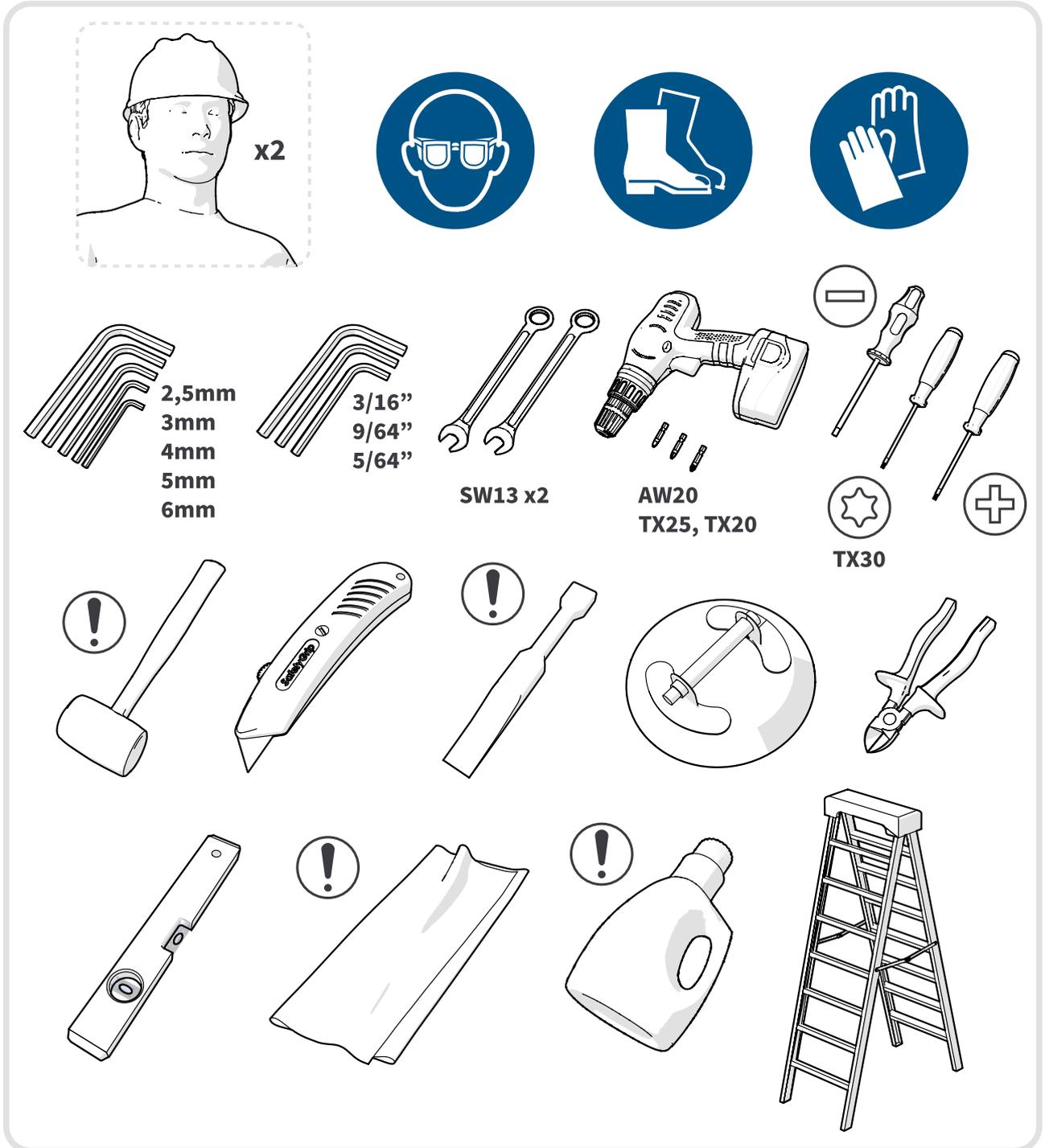


図 1: 設置とメンテナンスに必要なツールと付属品

- ❗ 注: ボディカバーに跡が残らないように、白色のゴム製ハンマーを使用してください。
- ❗ 注: プラスチック製のノミを使って、ボディカバーを取り外してください。

- ❗ 注：電気設備には引き込み線を使用してください。
- ❗ 注：ドアの設置には別のカーペットを使用してください。
- ❗ 注：本ポッドの清掃には、リントフリー布を使用してください。
- ❗ 注：本ポッドの洗浄には、アルコール系の低刺激性の洗浄液を使用してください。
- ℹ ヒント：ガラスビートを取り付ける際には、ガラス用洗浄液を潤滑剤として使用してください。

### 3.2 主な寸法

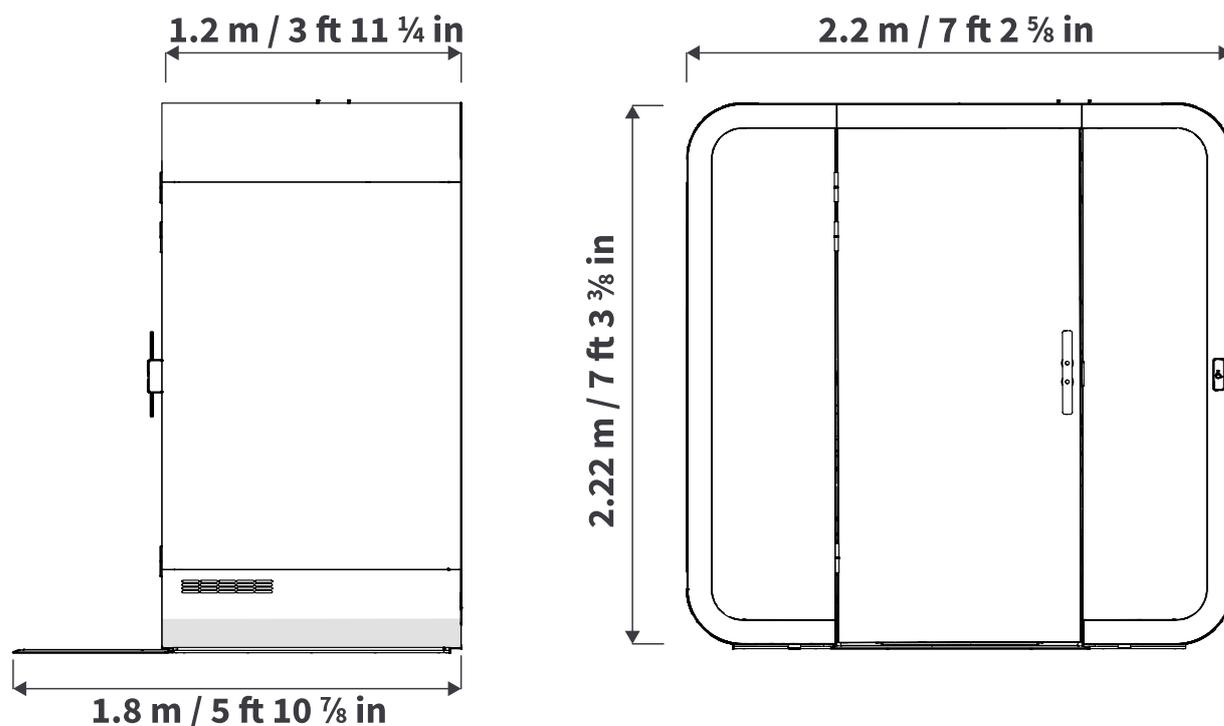


図 2：ポッドの主な寸法

### 3.3 設置スペース

設置する前に、十分な設置スペースがあることを確認してください。ポッド後方には0.5mのスペースを確保してください。

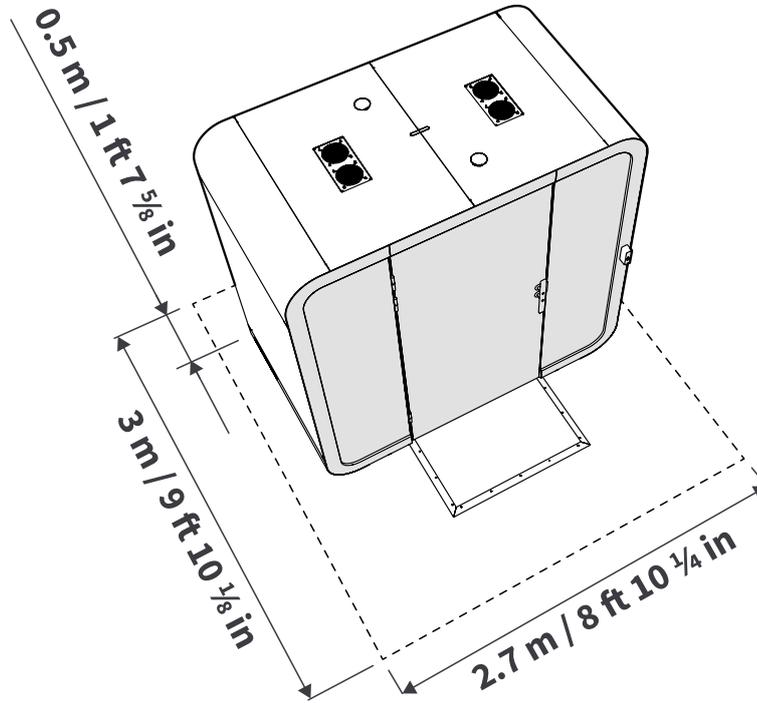


図 3 : 設置スペースの測定

### 3.4 作業スペース

空気を正しく循環させるために、ポッド周辺に十分なスペースがあることを確認してください。

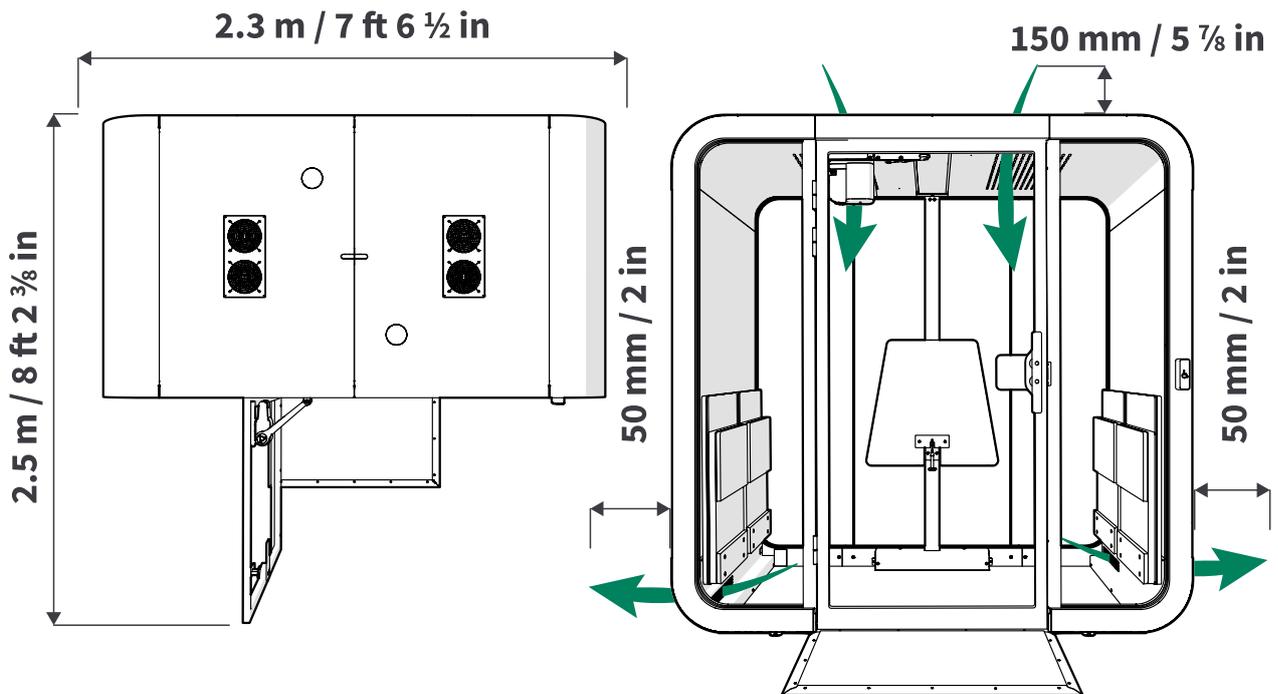


図 4 : 作業スペースの測定

### 3.5 耐震補強工事に関して

- ⓘ 注：本製品を設置する際には、耐震アンカーや地震時の安全性に関する地域の法律、規則、規制に従ってください。

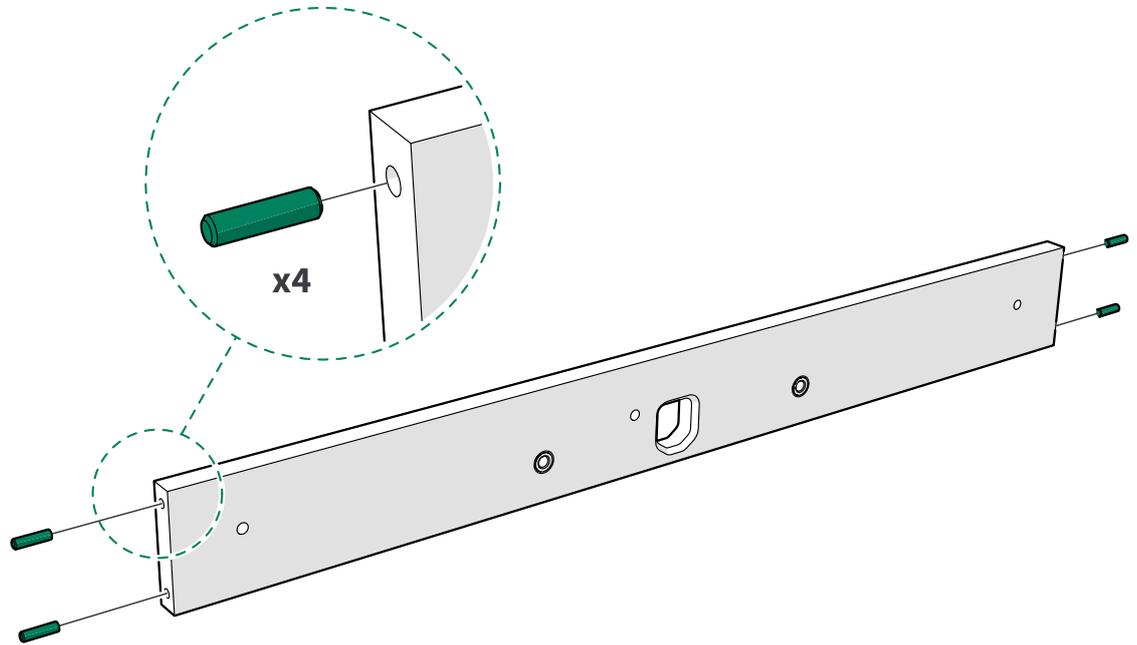
米国の地震設計カテゴリAおよびBの建物に設置する場合、フロアへの固定はオプションとなっています。耐震設計カテゴリC、D、E、Fに属する建物では、フロアへの固定が必須になります。

フロアに固定する場合には、登録された設計専門家による耐震設計カテゴリに対応した図面の作成が必要です。さらに、登録された設計専門家が作成した図面には、アンカーの種類、サイズ、位置、設置制限などが記載されていなければなりません。また、適用される建築基準法 (IBC、IFC、IMC、NFPA 70、スプリンクラーと一緒に設置する場合はNFPA 13) に従って設置する必要があります。

## 4 フロアモジュール

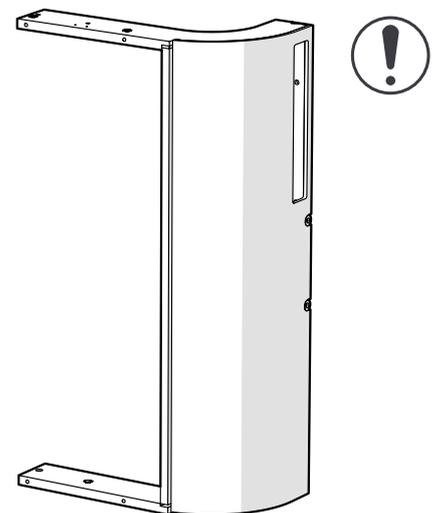
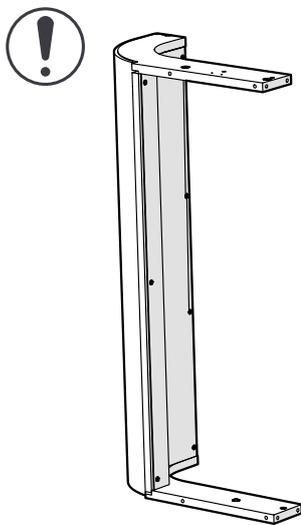
### 4.1 フロアの設置

1. 背面側ビームに木製ピン(4個)を押し込んでください。



2. フロアモジュールを横向きに立ててください。

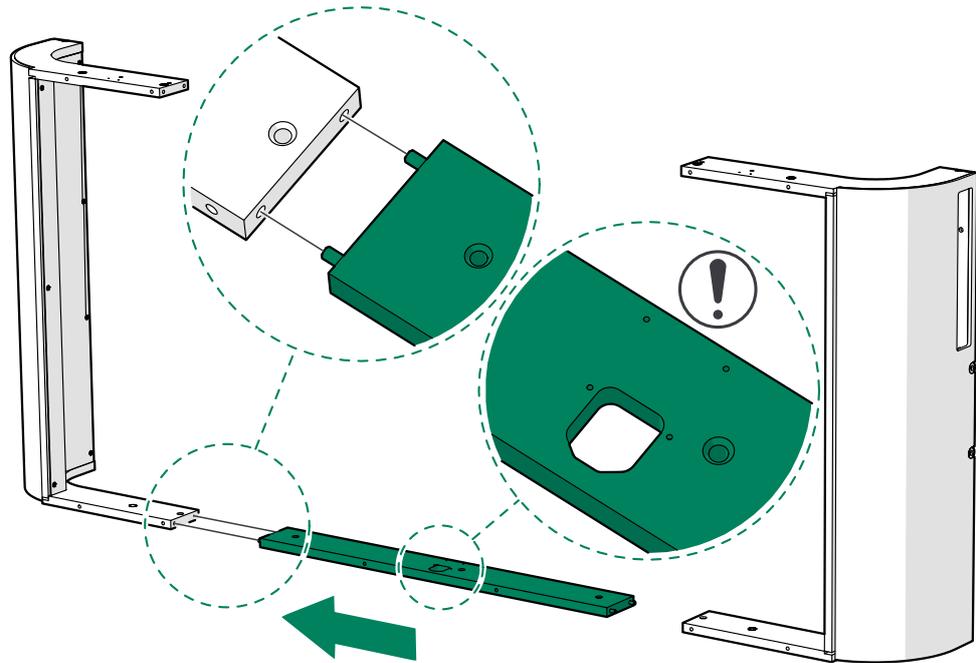
⚠ 注：常時、部品を支えてください。



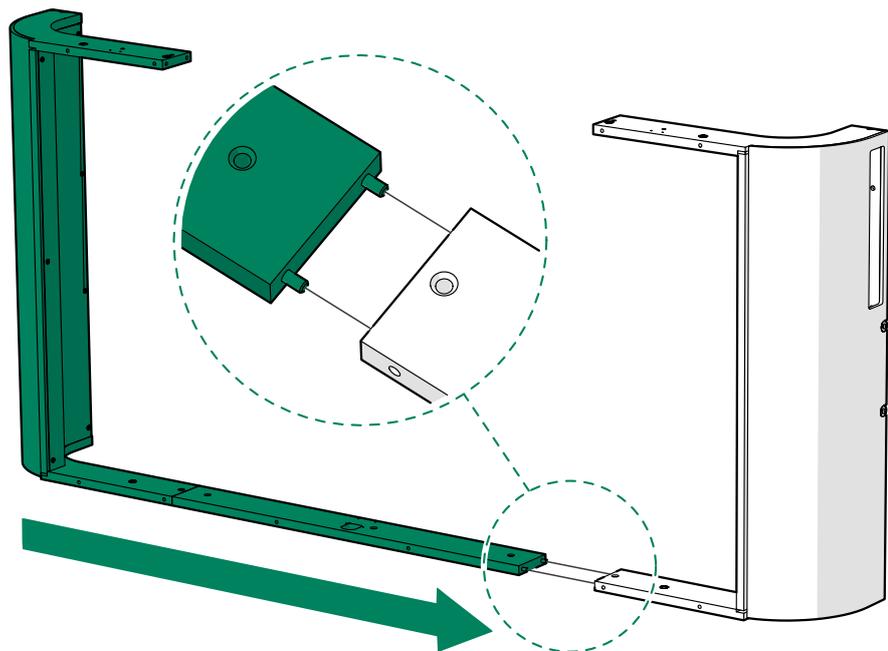
3. 背面側のビームを片方のフロアモジュールに接続してください。

ⓘ 注：皿穴が上を向くようにしてください。

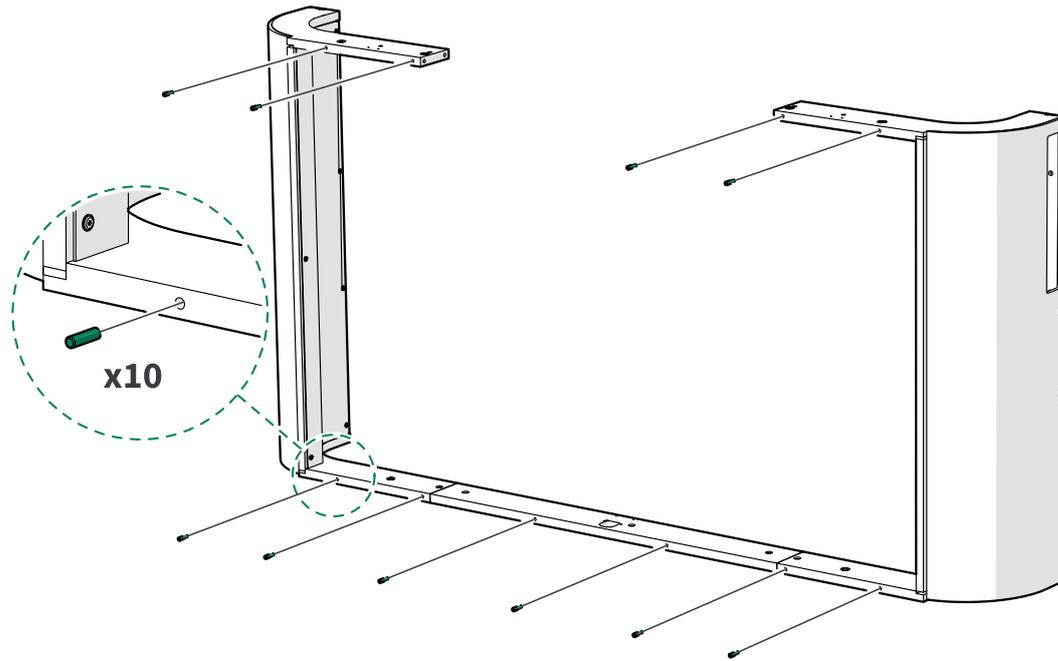
ⓘ 注：背面側ビーム中央にある開口部右側に皿穴がある事を確認してください。



4. 2つ目のフロアモジュールをビームに接続します。

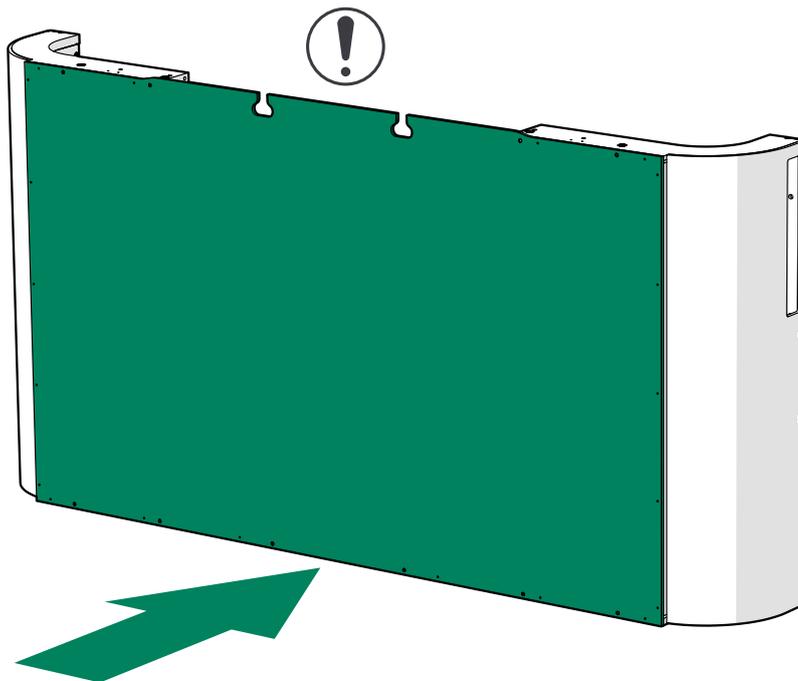


5. 木製ピン (10個) をフロアモジュールに押し込んでください。



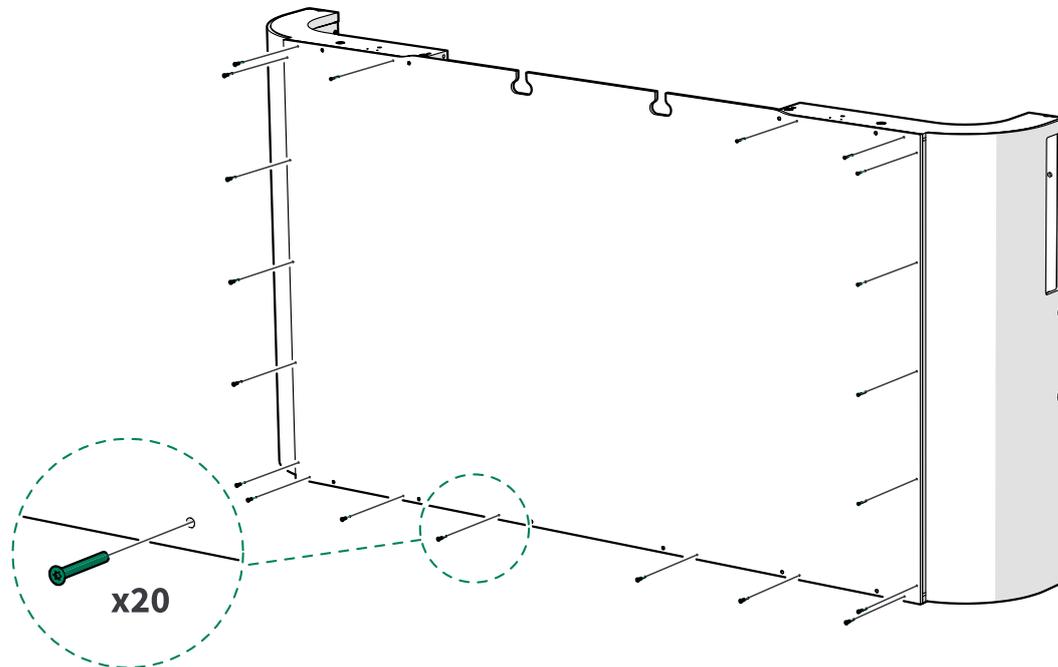
6. フロアボードをフロアモジュールに押し付けてください。

⚠ 注：フロアボードのコネクタスロットが前面側にあることを確認してください。

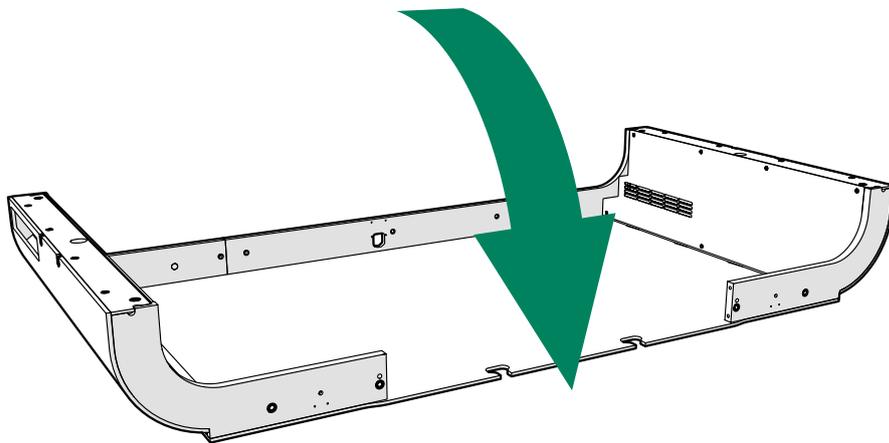


7. 4x30のネジ (20個) を取り付けてください。

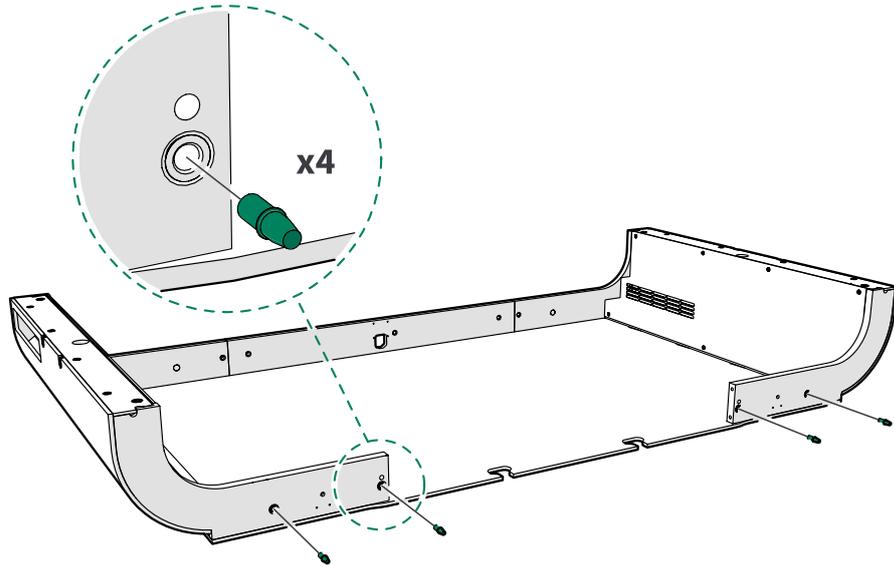
- ① 注：フロアモジュールの端から中央に向けてネジを取り付けてください。木製ピンが正しい場所に入っているか確認してください。
- ① 注：ネジ頭をフロアモジュールと水平の位置、あるいはそれよりも深く打ち込んでください。



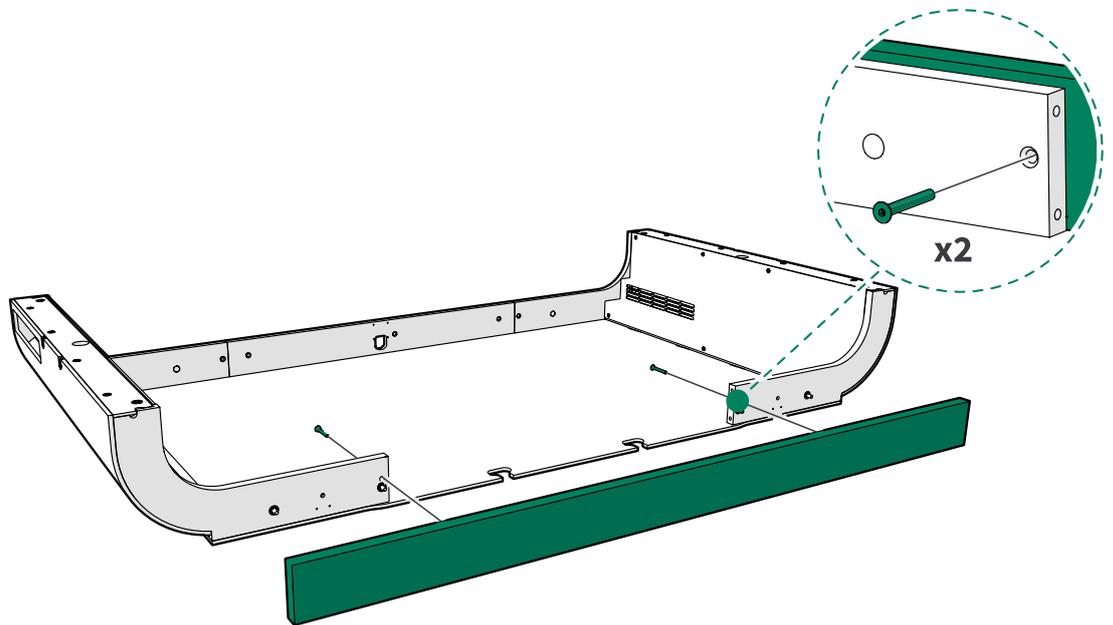
8. フロアモジュールを床に置いてください。



9. ガイドピン (4個) をポッド前面の取り付け穴に取り付けてください。

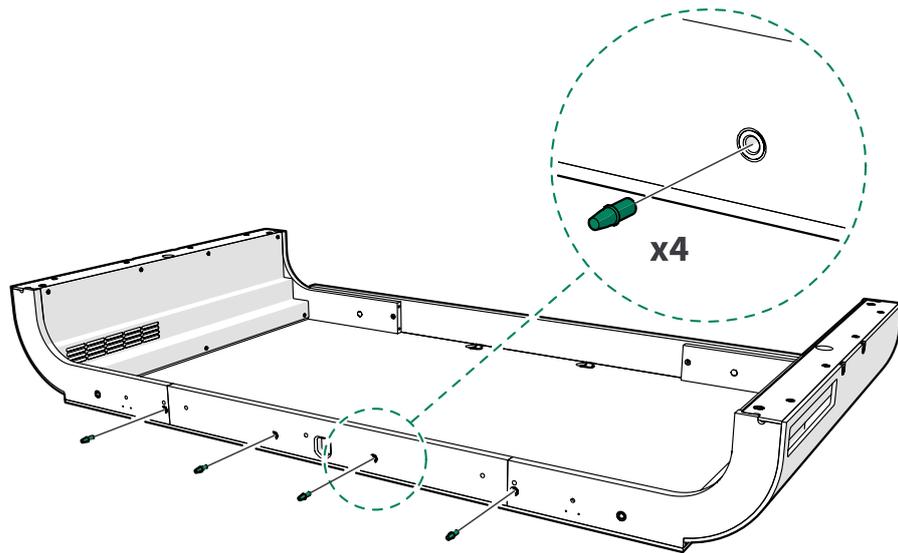


10. M8x40の皿ネジ (2個) でサポートビームをポッドの前面に取り付けてください。



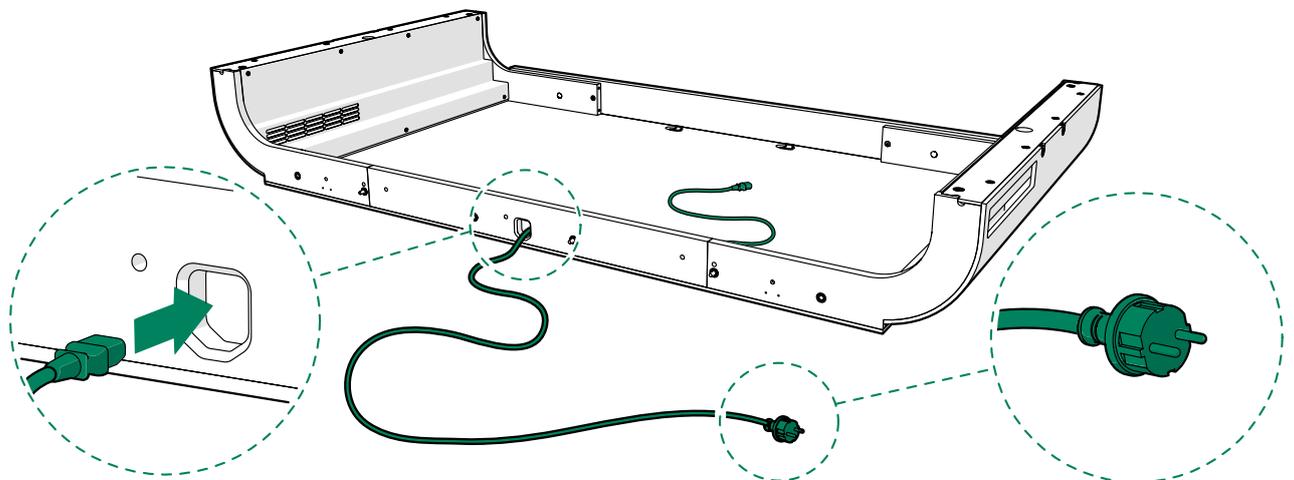
11. ガイドピン (4個) をポッド裏面の取り付け穴に取り付けてください。

ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



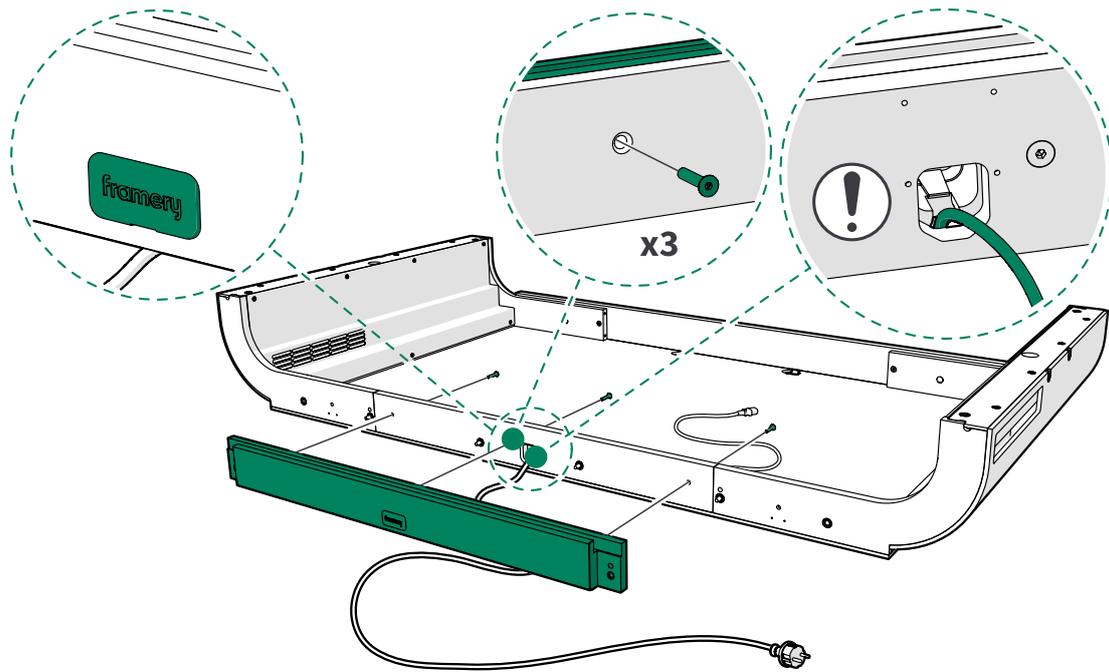
12. 電源コードをビームに通してください。

電源コードを屋根から設置する場合は、手順13へ進んでください。



13. 黒のM8x50皿ネジ (3個) で下部フレームをフロアモジュールに取り付けてください。

ⓘ 注：電源コードがフレームの溝に入っているか確認してください。

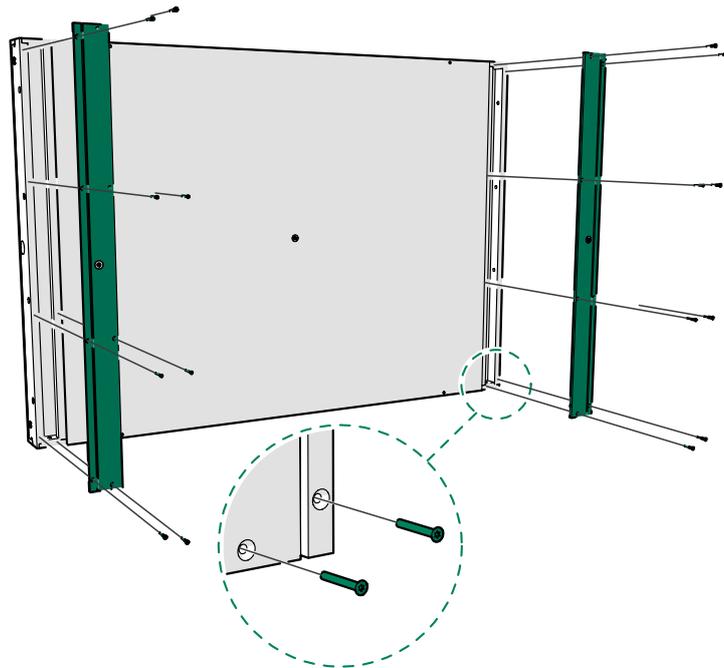


## 5 ウォールモジュールの設置

### 5.1 ウォールカバーパネルの取り外し方

1. ウォールモジュールを壁に対して縦に置いてください。
2. 4x30のネジ (24個) を外し、カバープレート (4個) を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いてください。

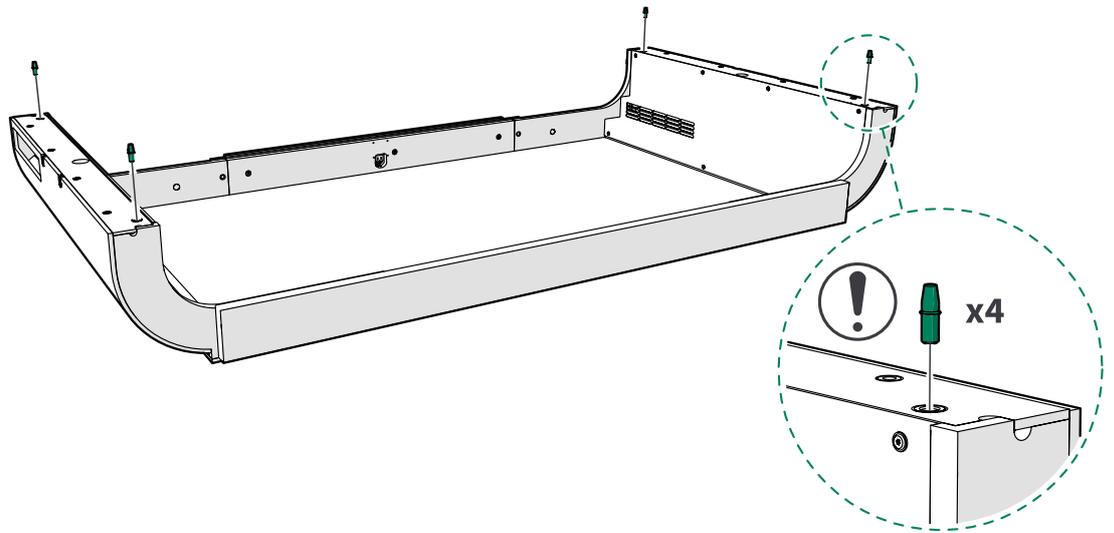
ⓘ 注：ウォールモジュールが倒れないようにしてください。



### 5.2 ウォールモジュールをフロアモジュールに接続する

1. ガイドピン (4個) を片方のフロアモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

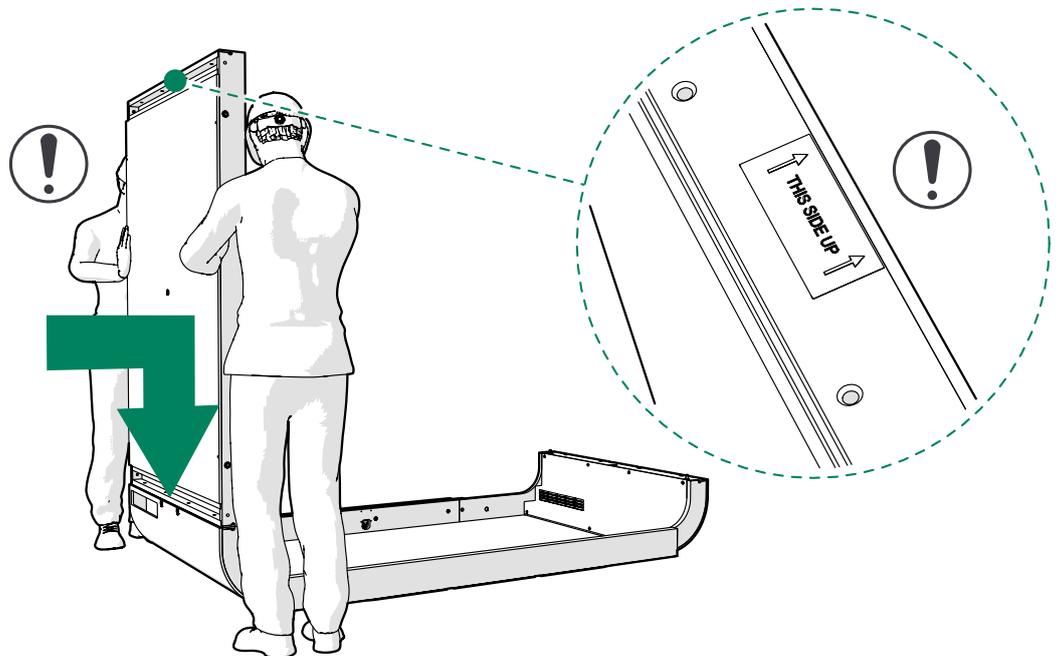
ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



2. ウォールモジュールを持ち上げて設置してください。

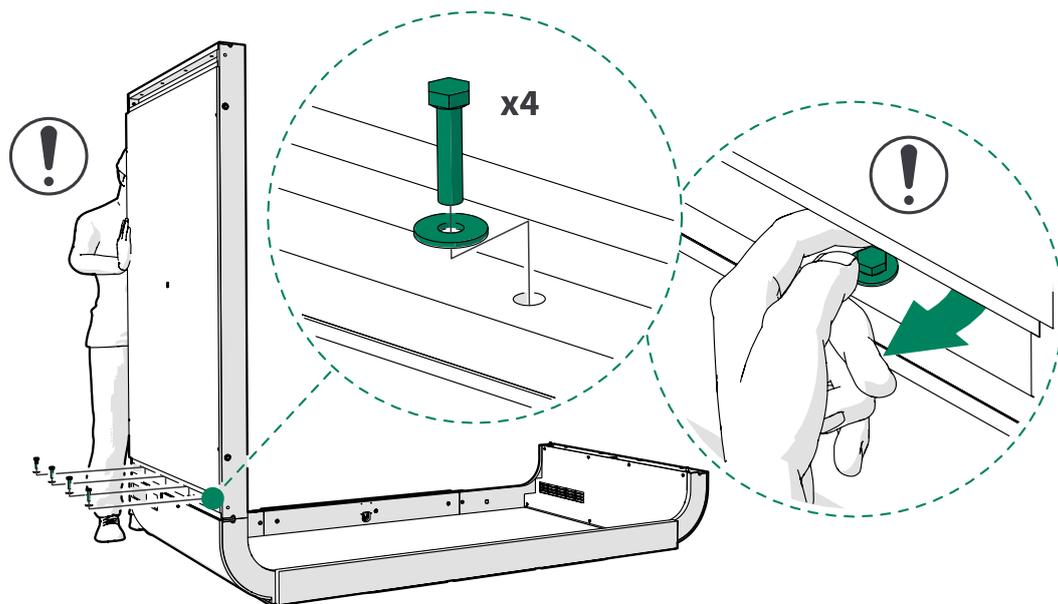
ⓘ 注：「This side up」のシールが壁の上端に貼られていることを確認してください。

ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



3. M8x35ボルト (4本) とM8ワッシャー (4個) を取り付け、手で締めてください。

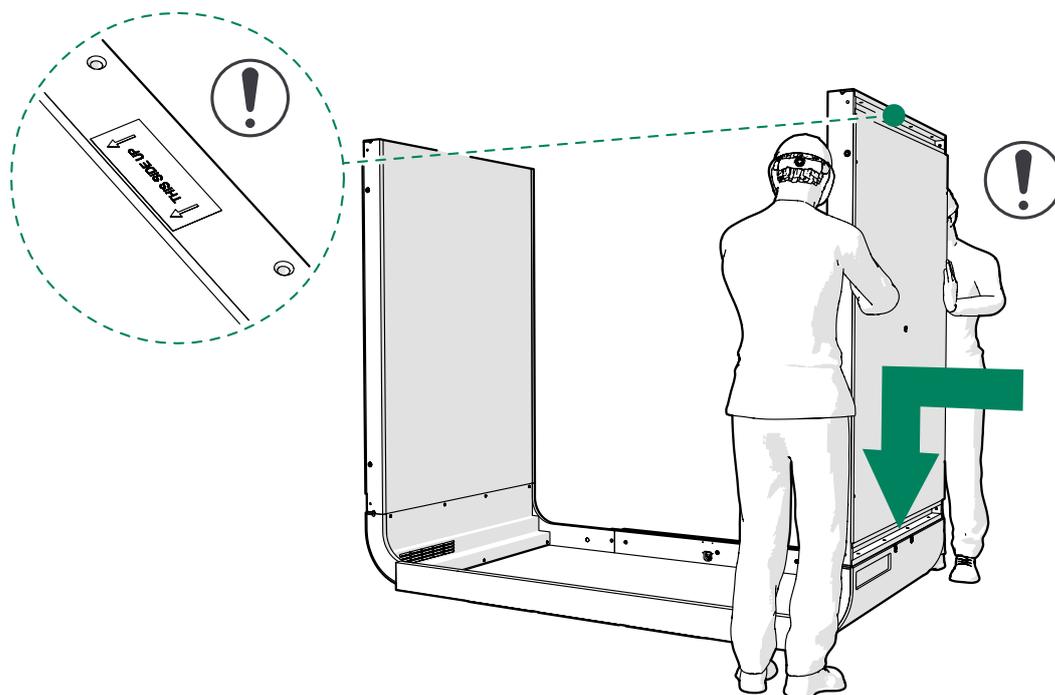
ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



4. もう片方のウォールモジュールを持ち上げて設置してください。

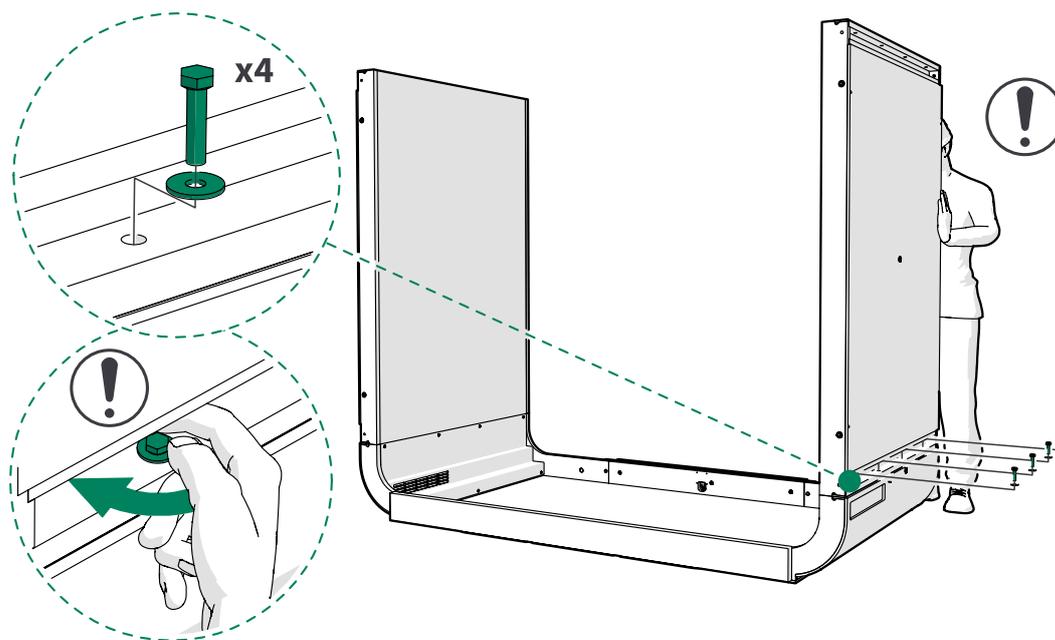
ⓘ 注：「This side up」のシールが壁の上端に貼られていることを確認してください。

ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



5. M8x35ボルト (4本) とM8ワッシャー (4個) を取り付け、手で締めてください。

ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。

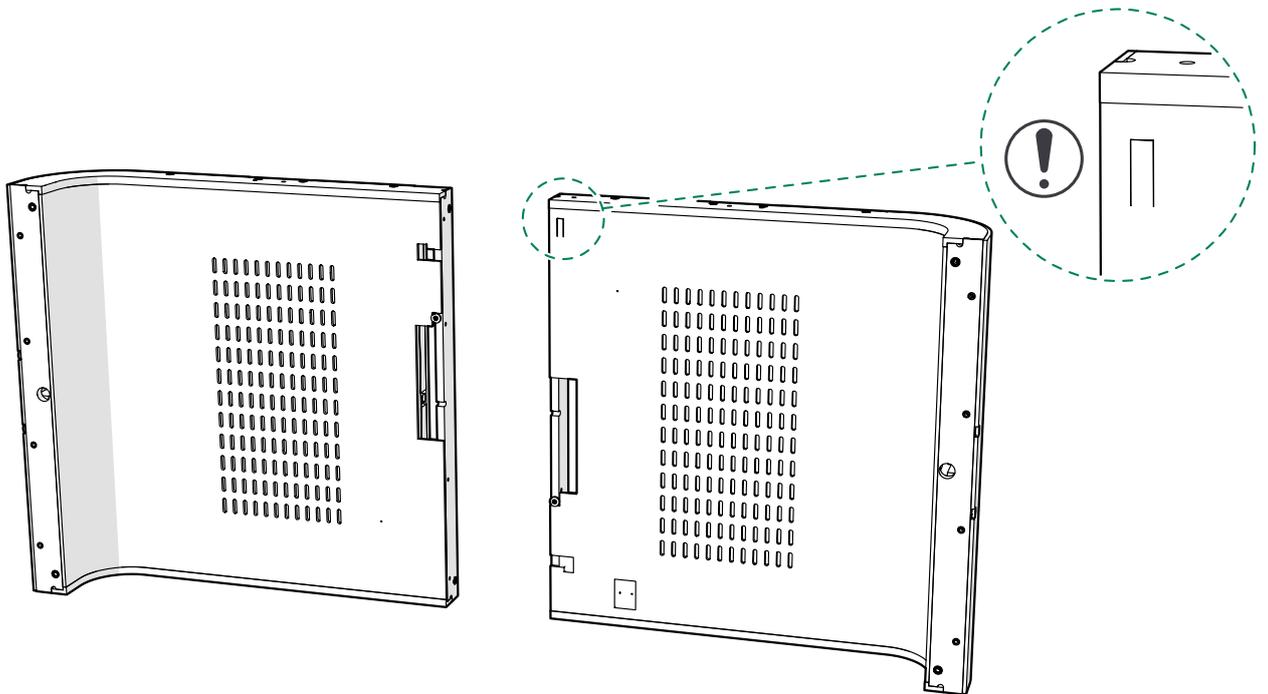


## 6 ルーフモジュール

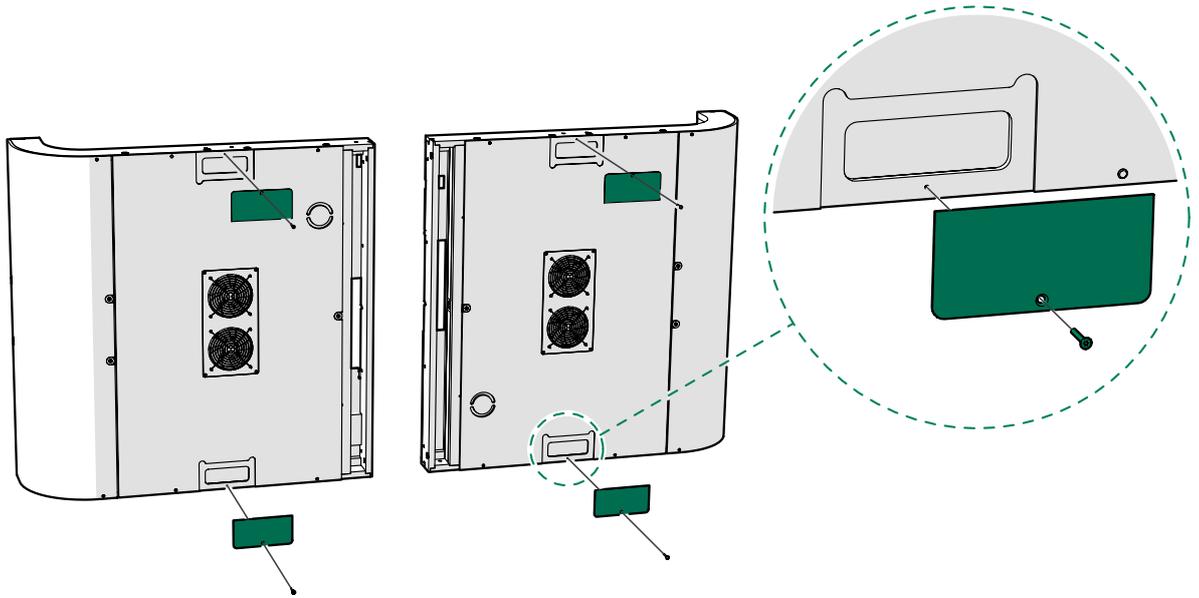
### 6.1 ルーフモジュールの接続

1. ルーフモジュールを横向きに立ててください。

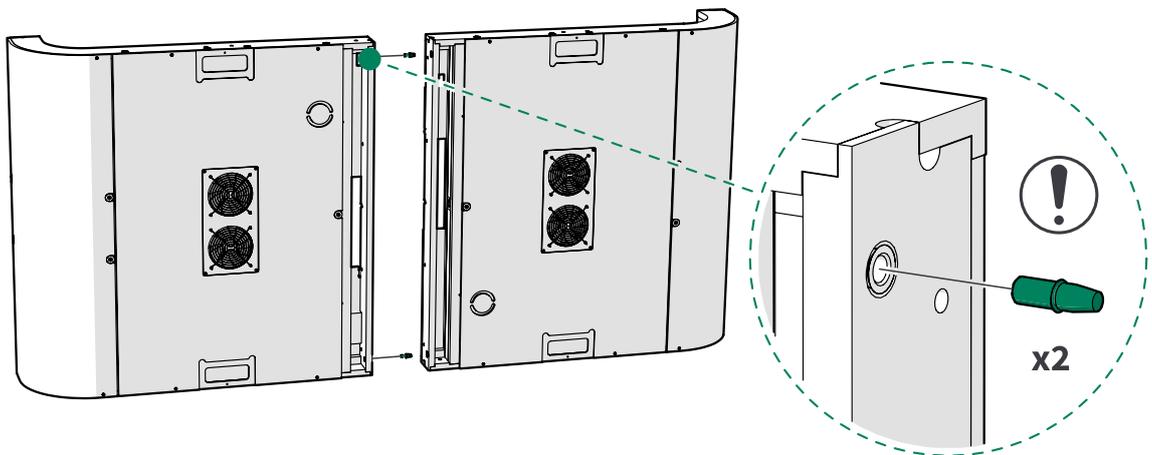
ⓘ 注：天井のフェルトにあらかじめ開けておいた穴が上向きになっていることを確認してください。こちらが屋根の後端です。



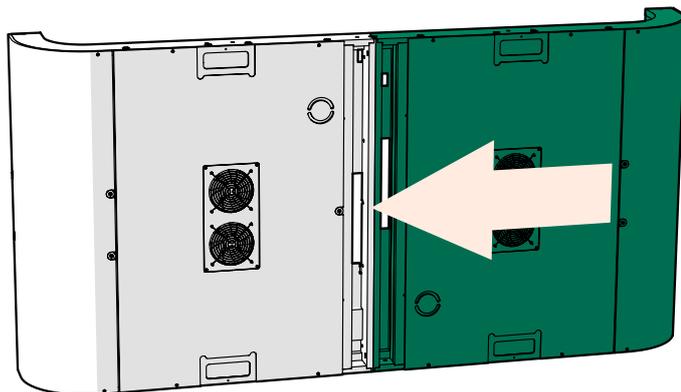
2. 4x30のネジ (各1個) を外し、両方のルーフモジュールからルーフカバープレート (各4枚) を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いておいてください。



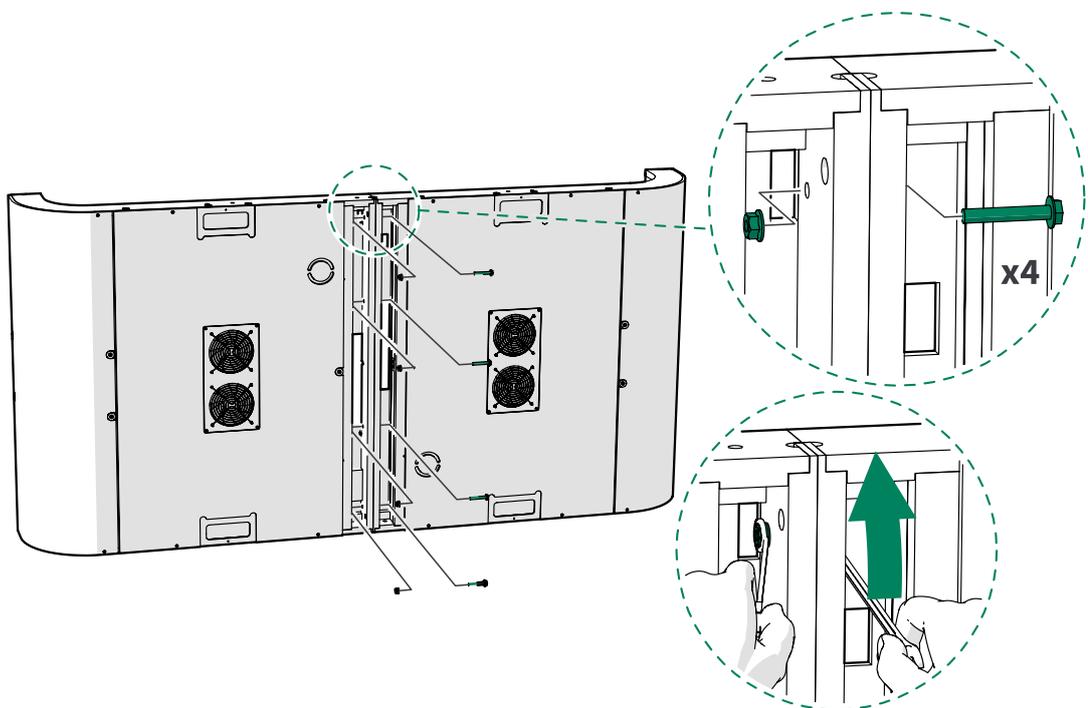
3. ガイドピン (2個) を片方のルーフモジュールの取り付け穴に取り付けてください。  
 ⚠ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



4. ルーフモジュールを押し合わせてください。



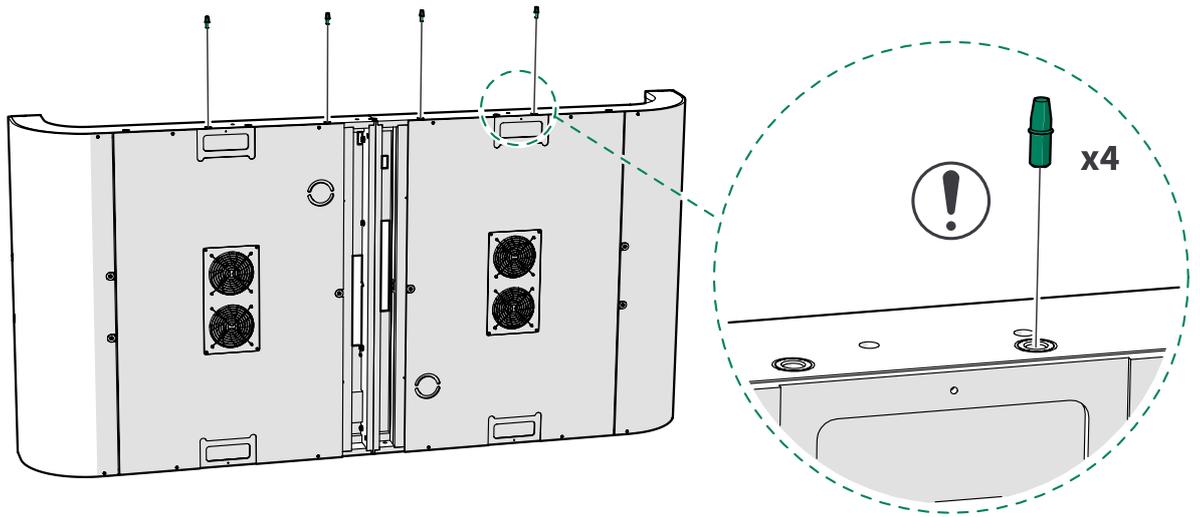
5. フランジ付きM8x50ボルト (4本) とフランジ付きM8ナット (4個) を取り付けてください。



## 6.2 上部フレームの設置

1. ガイドピン (4個) をルーフモジュールの前端の取り付け穴に取り付けてください。

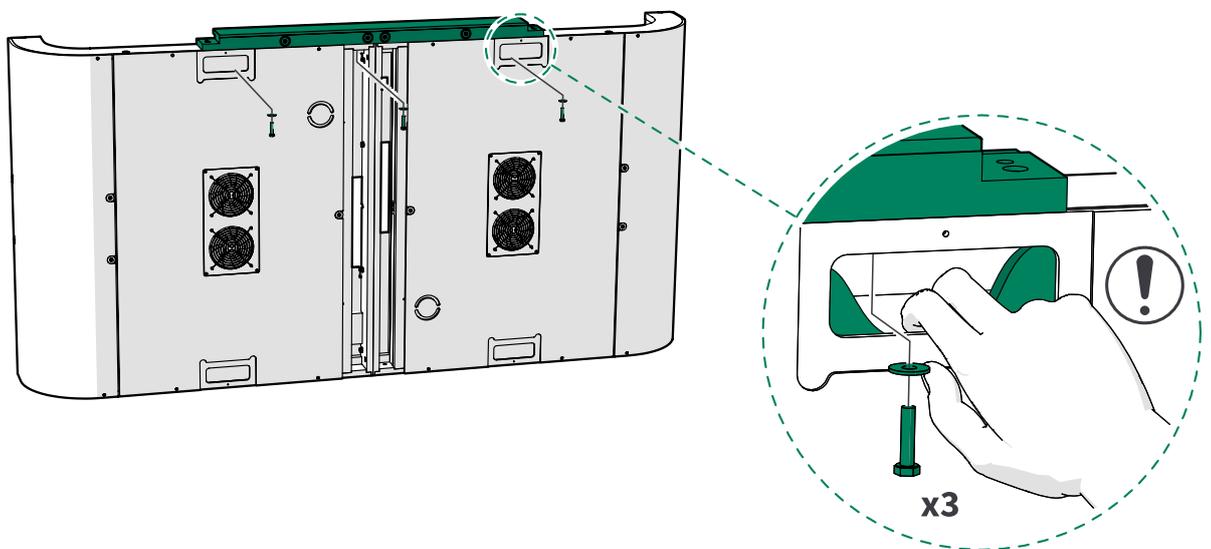
ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



2. 背面用上部フレームを押し込んでください。

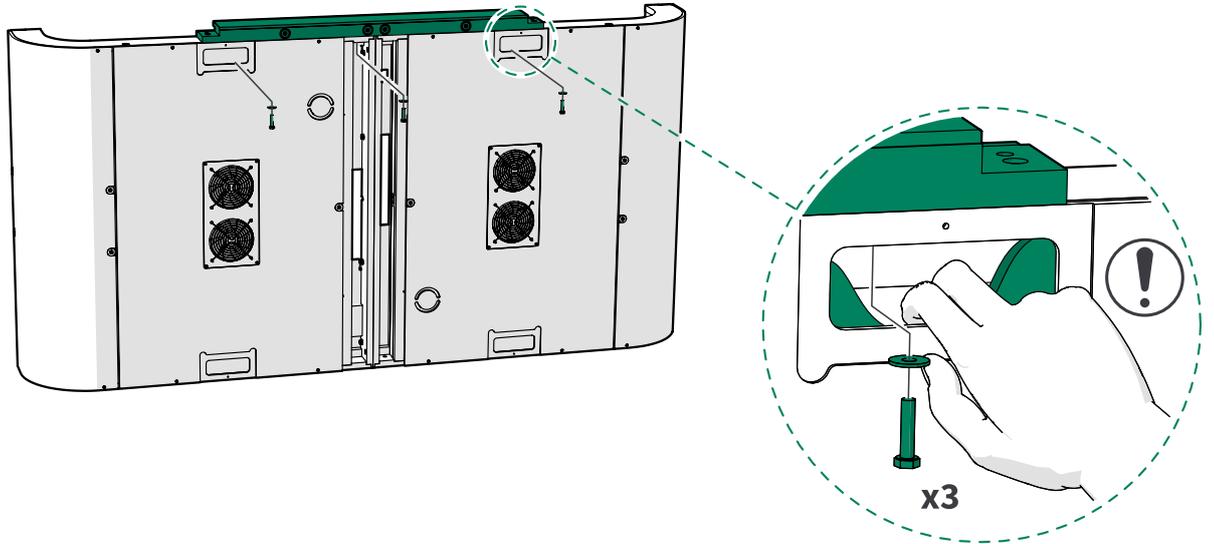
ⓘ 注：屋根に正しいフレームが取り付けられている事を確認してください。

ⓘ 注：フレームのマグネットが上向きになっていることを確認してください。

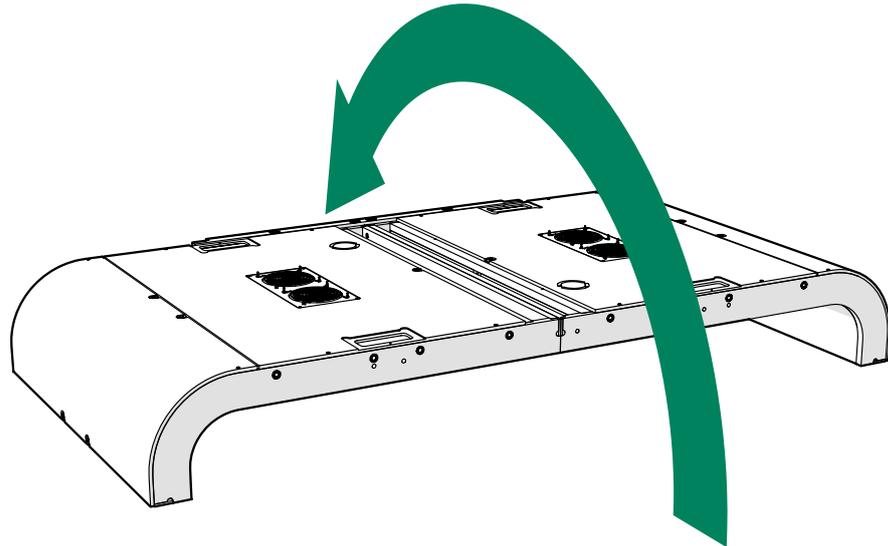


3. M8x35 ボルト (3本) と M8 ワッシャー (3個) を取り付けてください。

- ⓘ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押ししてください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。

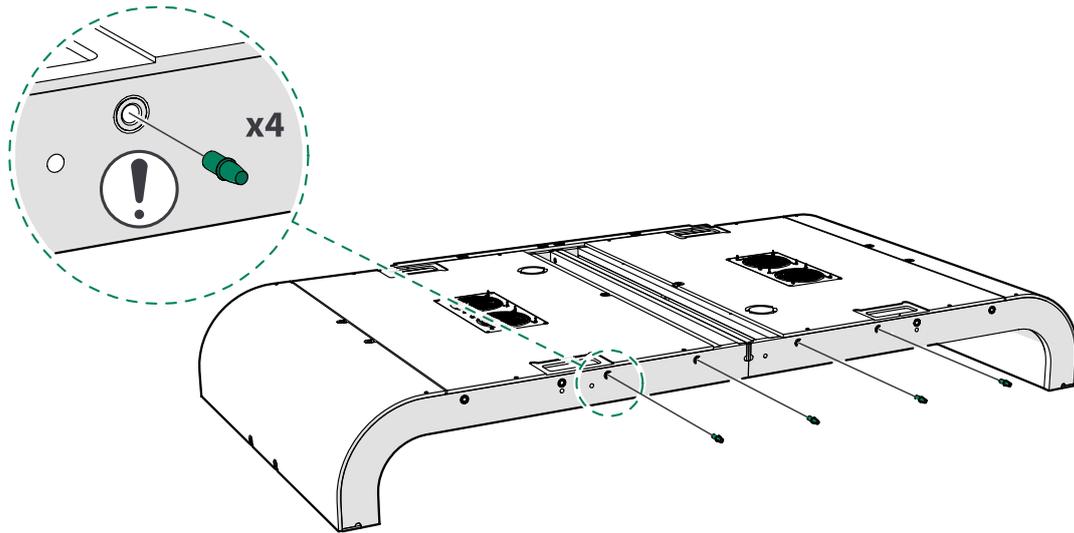


4. 繋ぎ合わせたルーフモジュールを床に置いてください。



5. ガイドピン (4個) をルーフモジュールの前端の取り付け穴に取り付けてください。

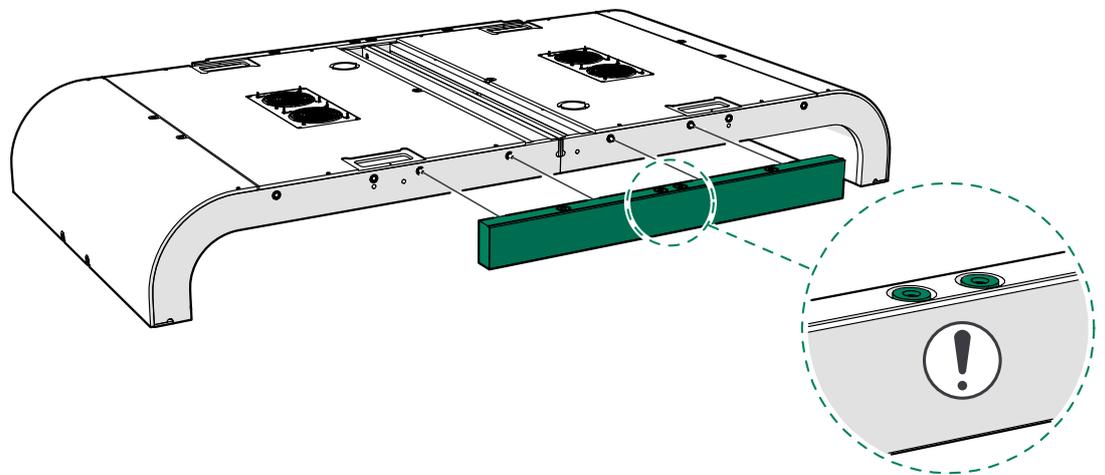
ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



6. 正面用上部フレームを押し込んでください。

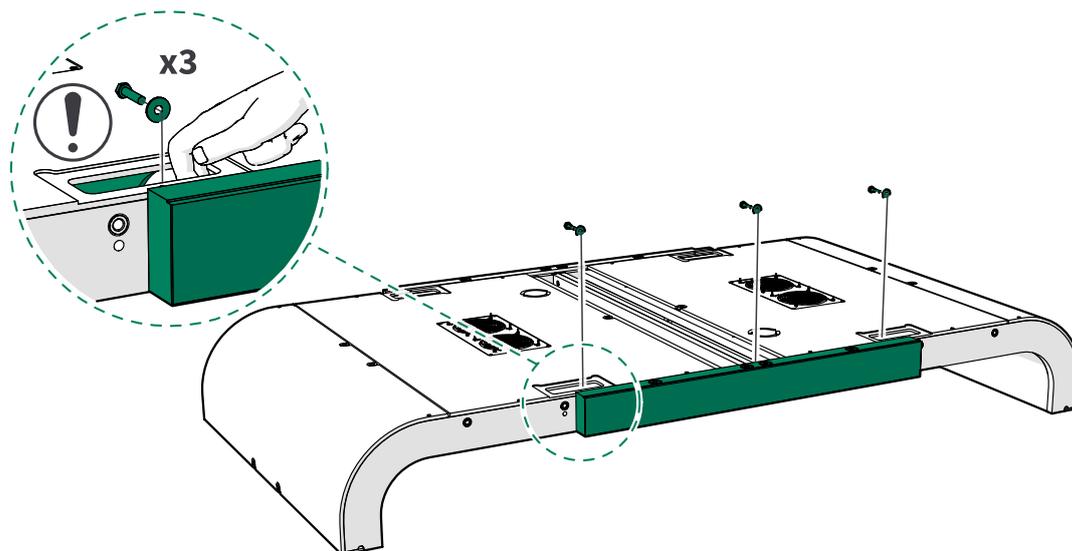
ⓘ 注：屋根に正しいフレームが取り付けられている事を確認してください。

ⓘ 注：フレームのマグネットが上向きになっていることを確認してください。



## 7. M8x35 ボルト (3本) と M8 ワッシャー (3個) を取り付けてください。

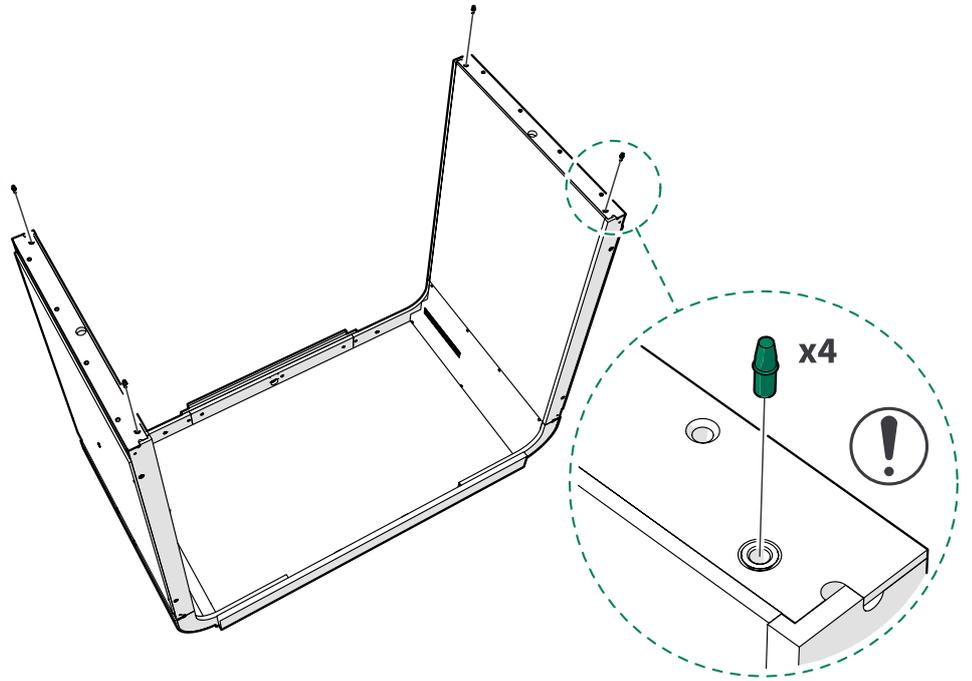
- ⓘ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。



## 6.3 ルーフモジュールの設置

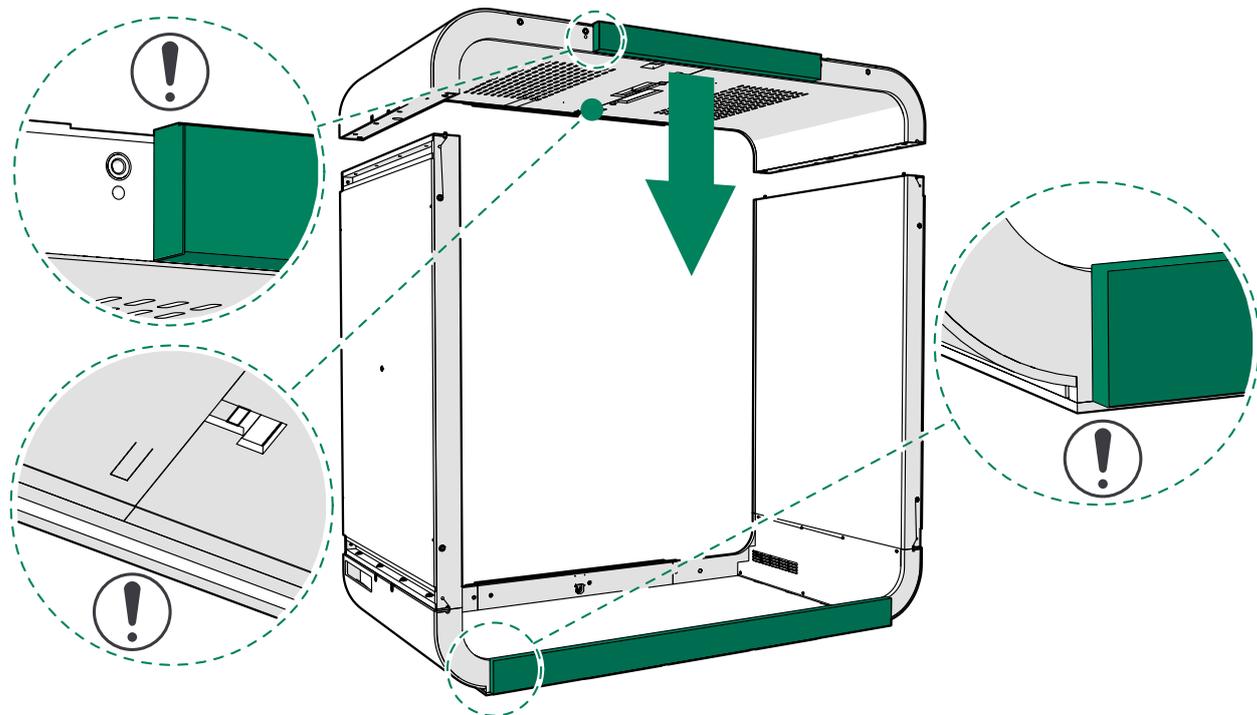
- ⚠ 警告：ルーフモジュールはとても重いので、怪我の危険性があります。持ち上げる際は、十分注意してください。ルーフモジュールを持ち上げる際には、少なくとも2人で持ち上げてください。ルーフモジュールを持ち上げる人の手が十分に届いているか確認してください。

1. ガイドピン (4個) をウォールモジュールの取り付け穴に取り付けてください。
  - ① 注：ガイドピンが正しい穴 (壁のフェルトに近い方の穴) に取り付けられていることを確認してください。
  - ① 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

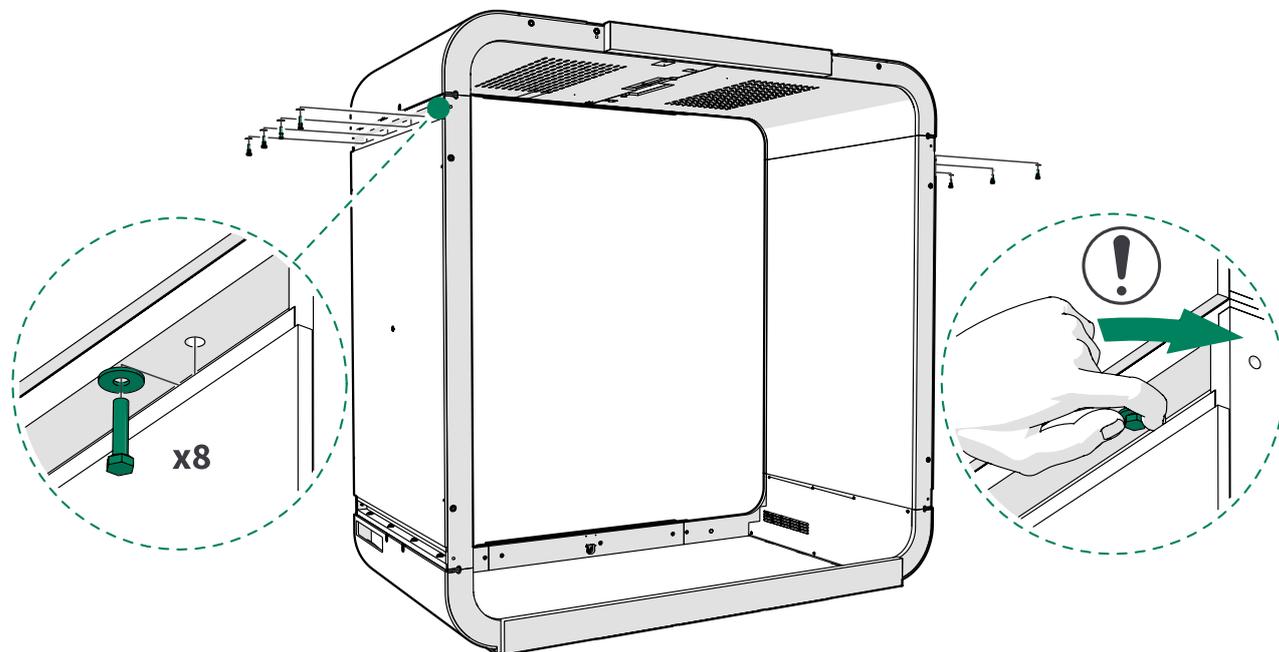


2. ルーフモジュールをウォールモジュールの上に持ち上げてください。

- ⚠ 警告：持ち上げる前に入念な計画をしておいてください。ルーフモジュールを持ち上げる際は、つまずくことがないように、設置場所をきちんと整頓しておいてください。
- ⚠ 警告：ルーフモジュールを持ち上げる人の手が十分に届いているか確認してください。
- ❗ 注：フロント上部フレームとフロアモジュールのサポートビームが同じ側にあるか確認してください。
- ❗ 注：パワーコラムの開口部がポッドの背面にあるか確認してください。



3. M8x35ボルト (8本) とM8ワッシャー (8個) を取り付け、手で締めてください。



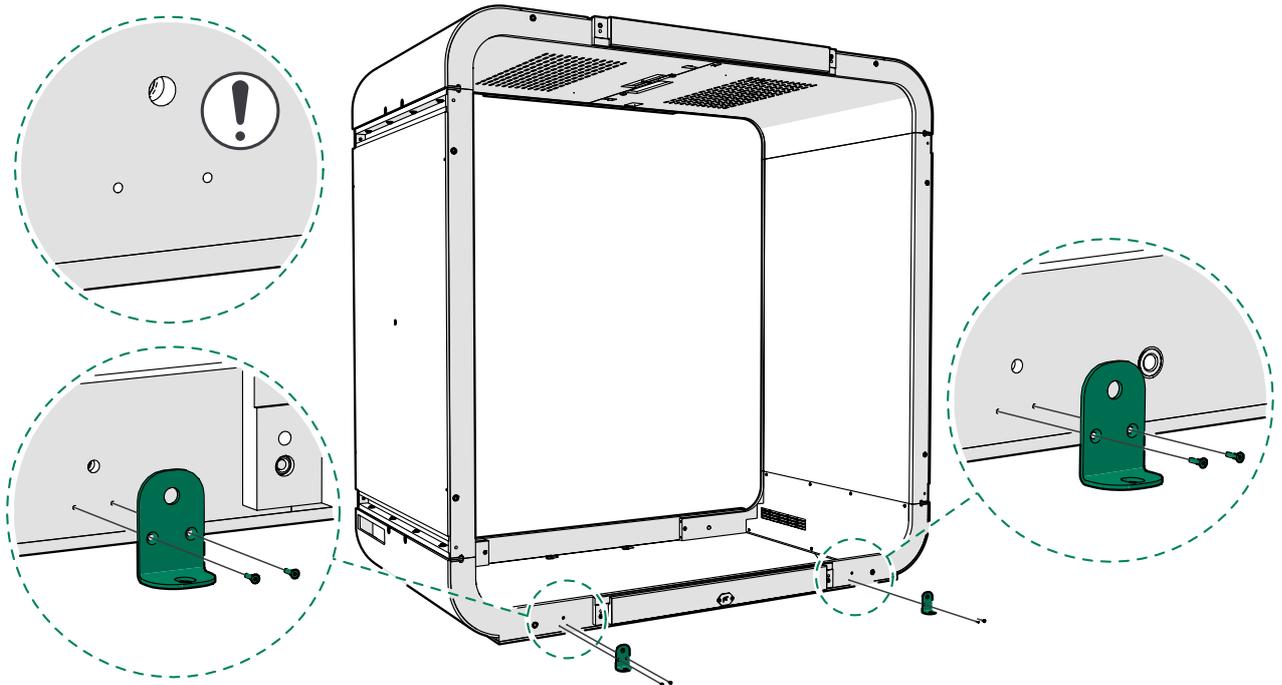
## 7 バックフレームとガラス

### 7.1 耐震サポートブラケット(別売)を背面に設置する方法

- ❗ 注：耐震サポートブラケットは別売りとなっています。アンカーボルトの最大サイズはM10です。地震対策用アンカーについては、お住いの地域の規制に従ってください。

耐震サポートブラケットを背面の床に3x12のネジ (各2個) で背面のフロアモジュール(2枚)に取り付けてください。

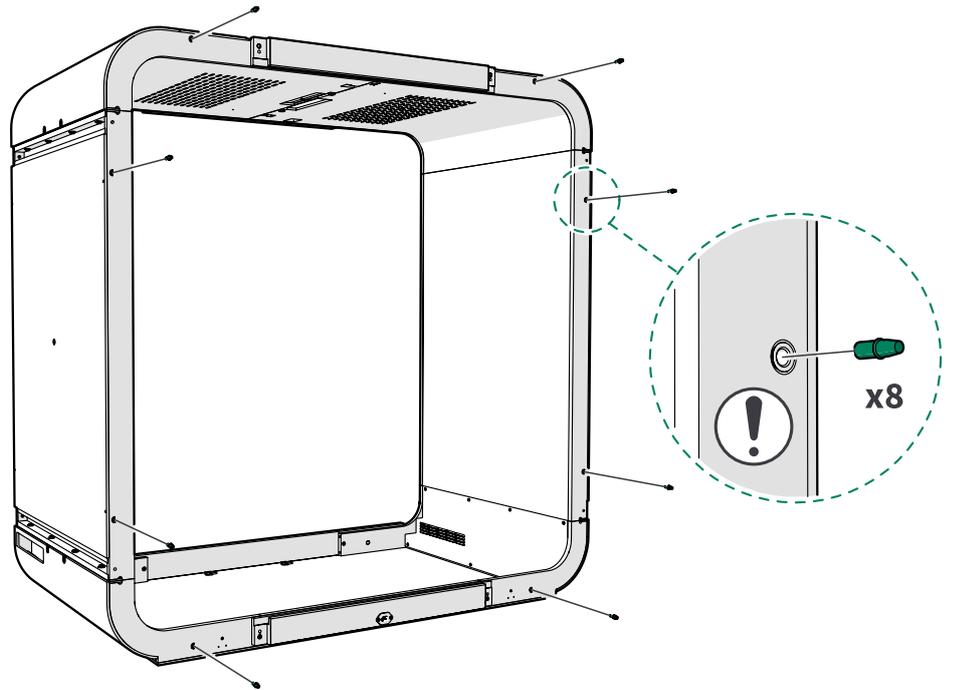
- ❗ 注：既存のネジ穴を使用してください。



### 7.2 サイドフレーム1枚とバックガラス2枚の取り付け

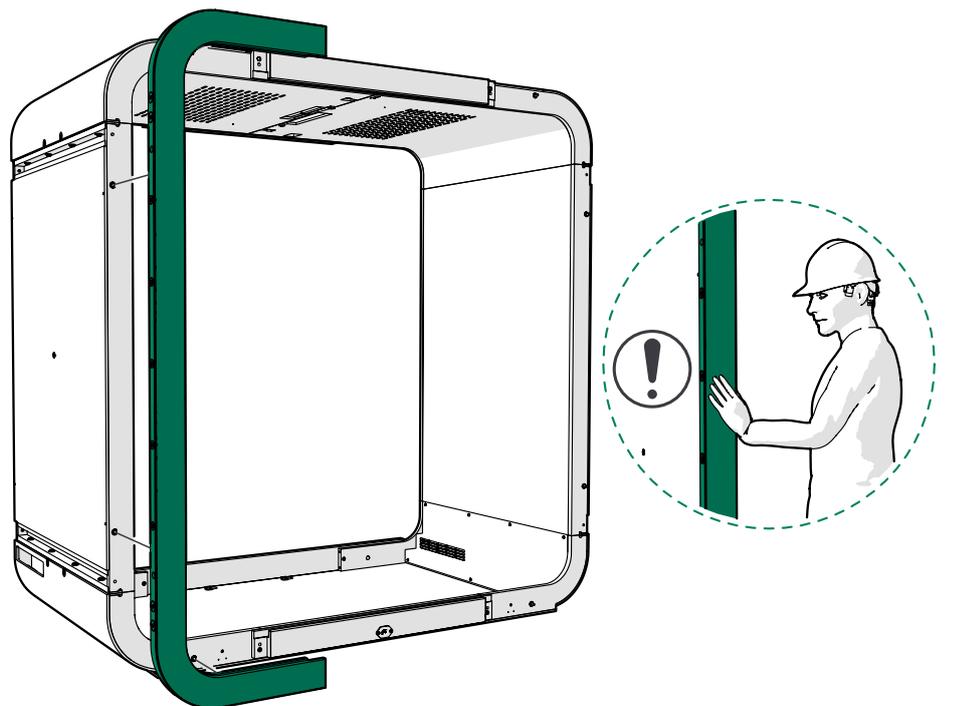
1. ガイドピン (8個) をフロアの後ろの穴に取り付けてください。

ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



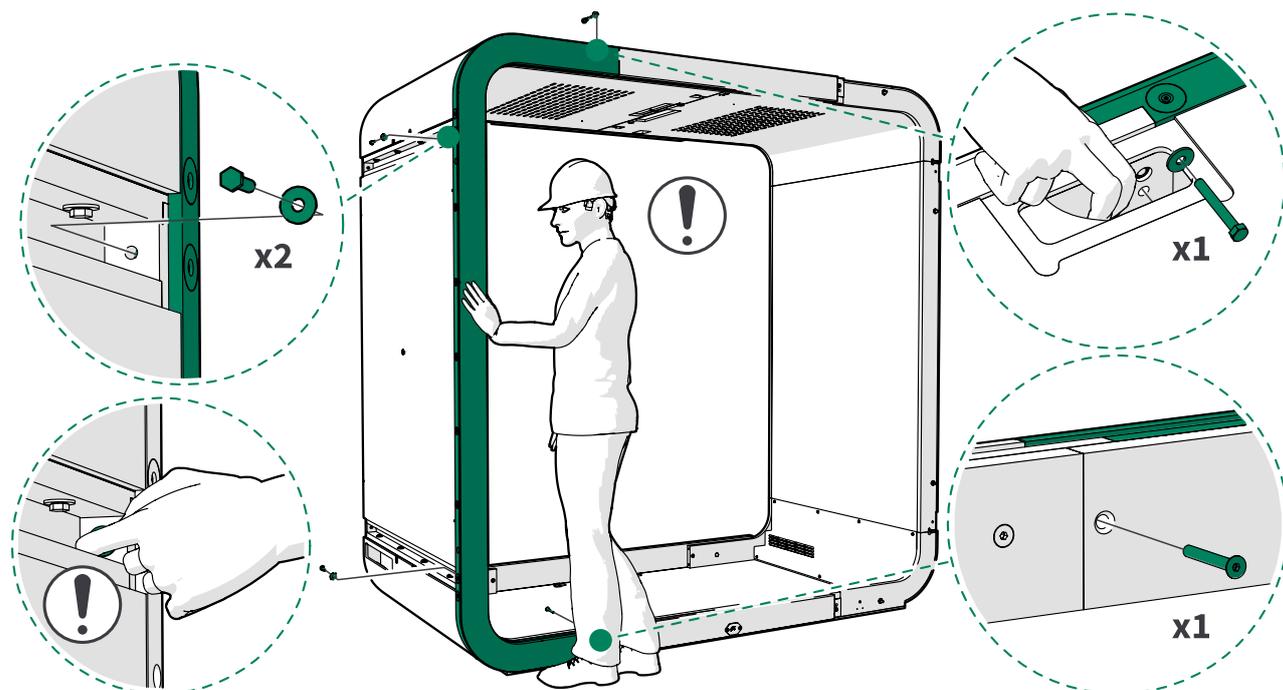
2. 左側のサイドフレームを所定の位置に持ち上げてください。

ⓘ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

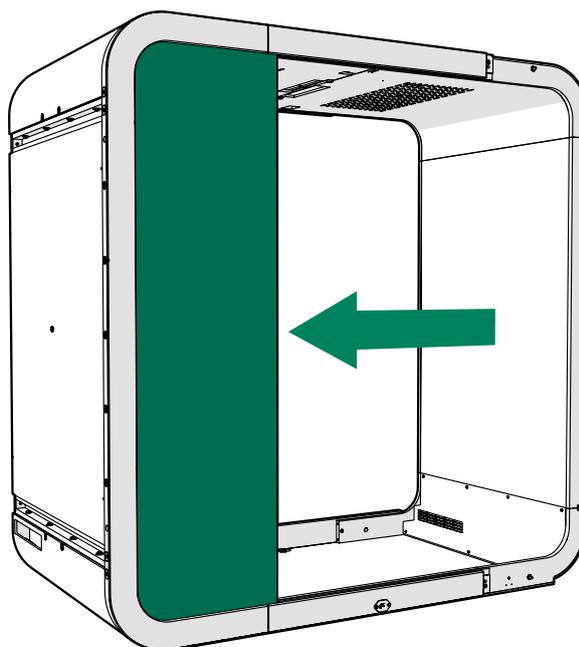


3. 左側のフレームをM8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、M8x60ネジとM8ワッシャー (1個)、六角頭のM8x60ネジ (1個) で取り付け、手で締めてください。

ⓘ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

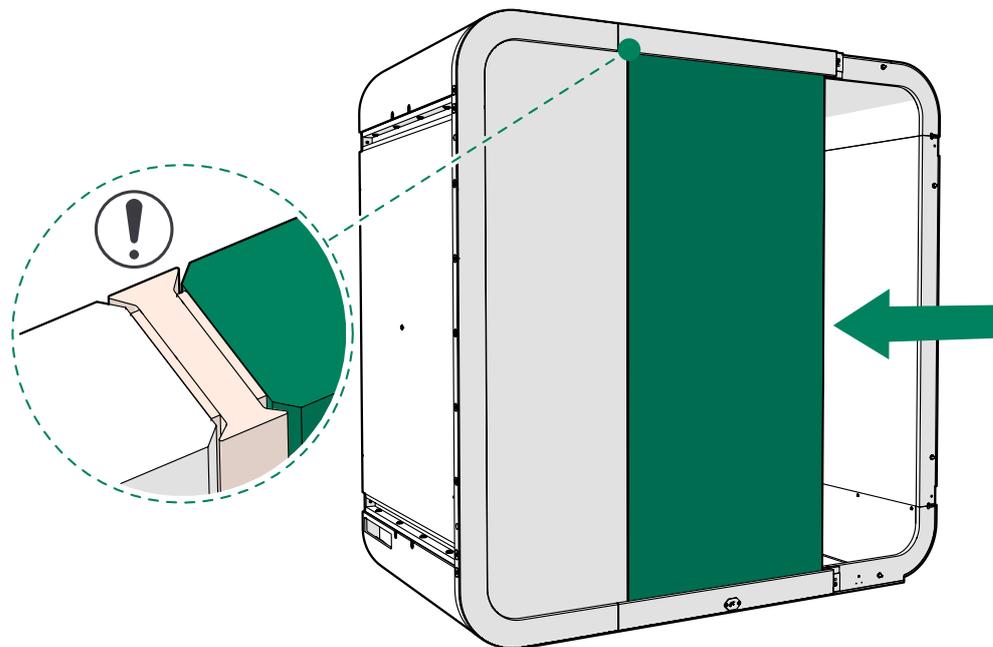


4. サイドガラスを持ち上げ、下部フレームの溝に入れ、スライドさせて固定してください。吸着カップを使用してください。



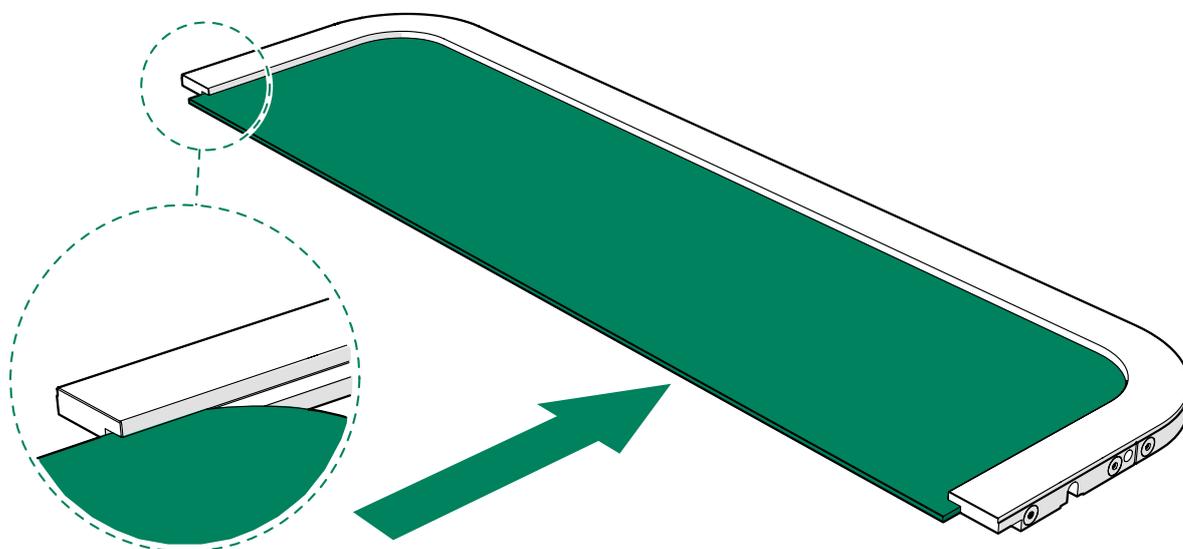
5. センターガラスを持ち上げ、下部フレームの溝に入れ、スライドさせて固定してください。吸着カップを使用してください。

ⓘ 注：サイドガラスの位置を確認し、Hプロファイルシールにぴったりと収まっているか確認してください。



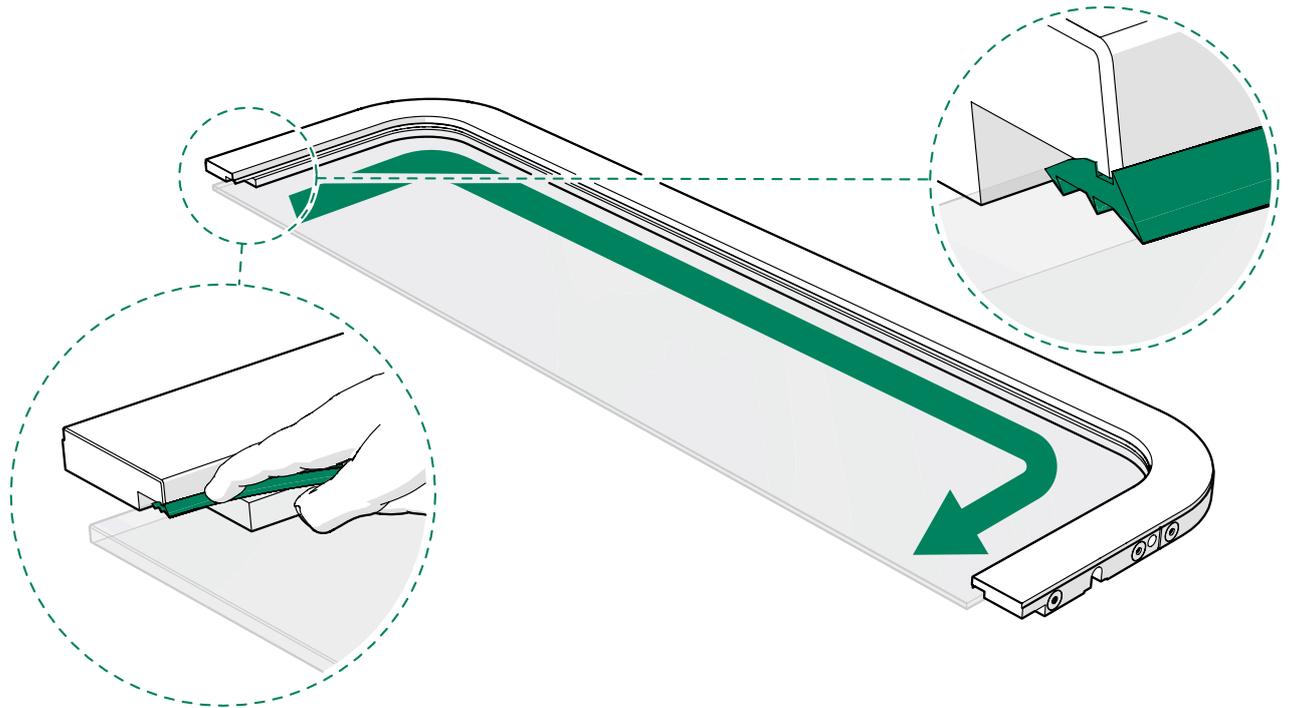
### 7.3 残りのサイドフレームとガラスの取り付け

1. 右側のガラスを右側のフレームに入れてください。



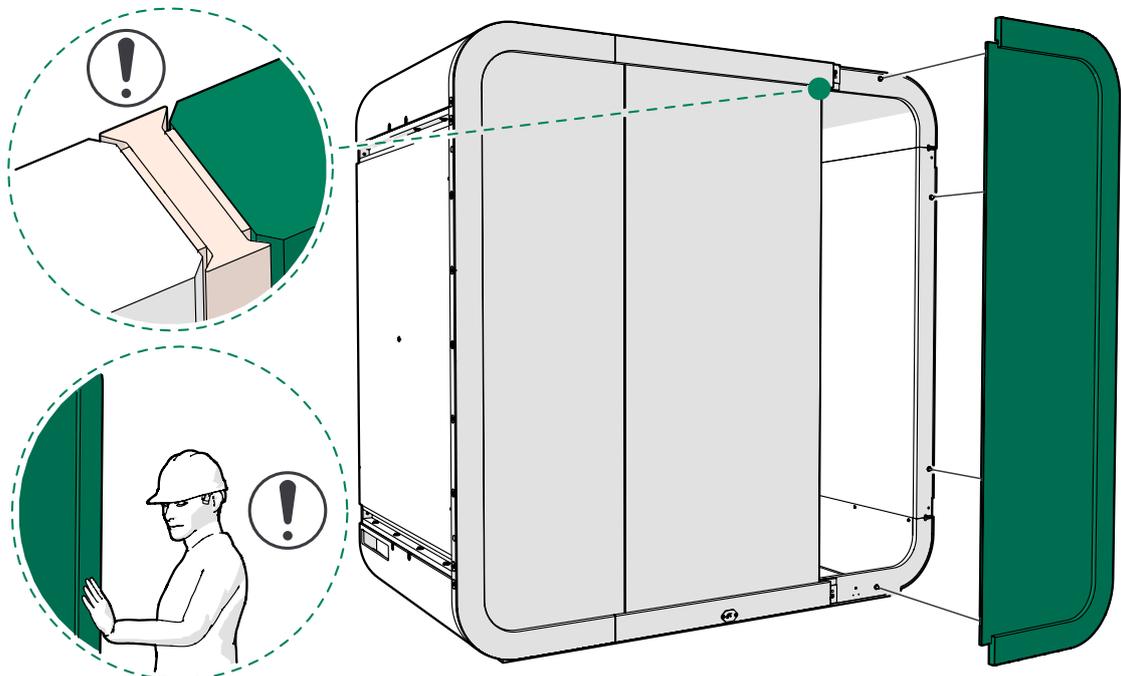
2. 右側のガラスとフレームの間に仮のビートを取り付けてください。

- ❗ 注：ガラス付きのサイドフレームを開いた側に倒したり、回したりしないように注意し、ガラスがフレームから落ちないようにしてください。



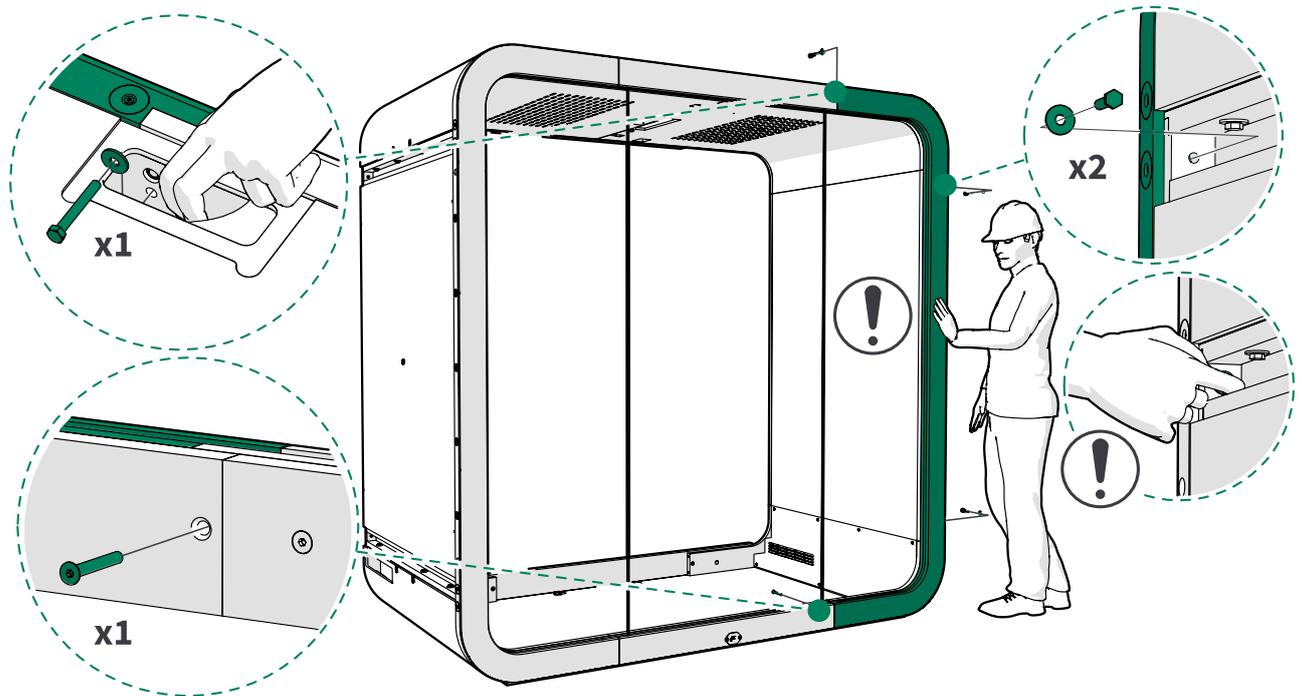
3. 右側のサイドガラスとフレームを所定の位置まで持ち上げてください。吸着カップを使用してください。

- ❗ 注：サイドガラスが、センターガラスのHプロファイルシールにぴったりと収まっているか確認します。
- ❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

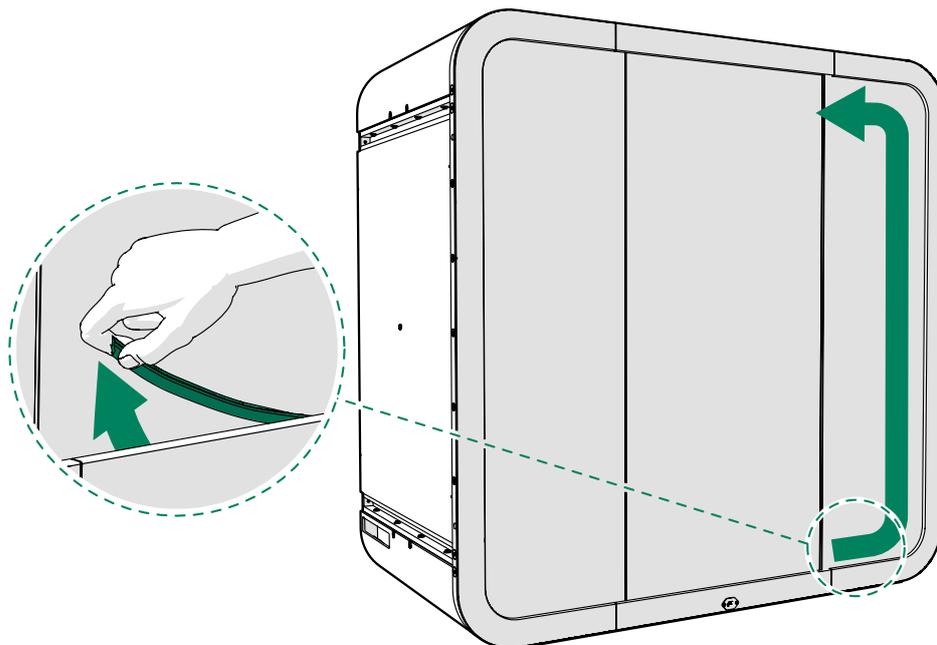


4. 右側のフレームをM8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、M8x60ネジとM8ワッシャー (1個)、六角頭のM8x60ネジ (1個) で取り付けてください。手で締めてください。

❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。



5. 右側のガラスとフレームの間に取り付けられた仮のビートを取り外してください。

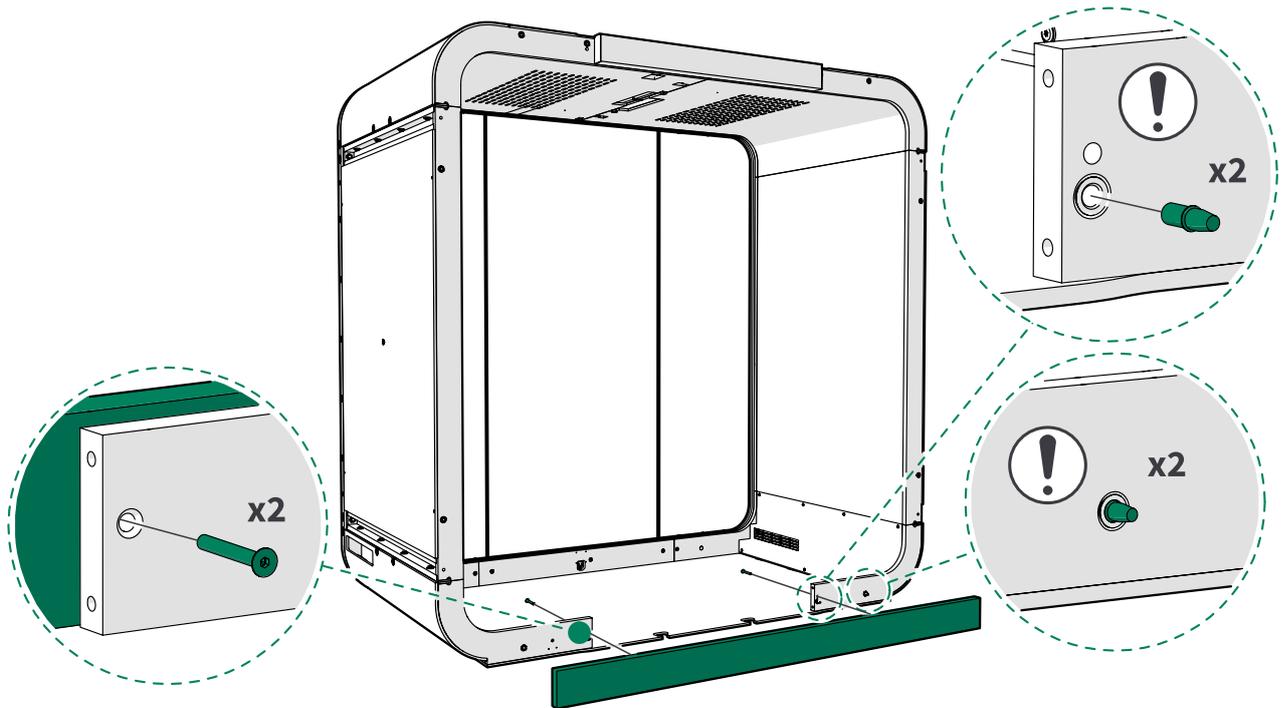


## 8 フロントフレームとガラス

### 8.1 設置サポートの取り外し

フロアモジュールから設置サポートを取り外してください。フレームとボルトを並べて置いてください。

- ① 注：フロントセンターフレームと出入り口に最も近い穴からガイドピン(2個)を必ず取り外してください。
- ① 注：壁に最も近い穴のガイドピン(2個)は残しておいてください。

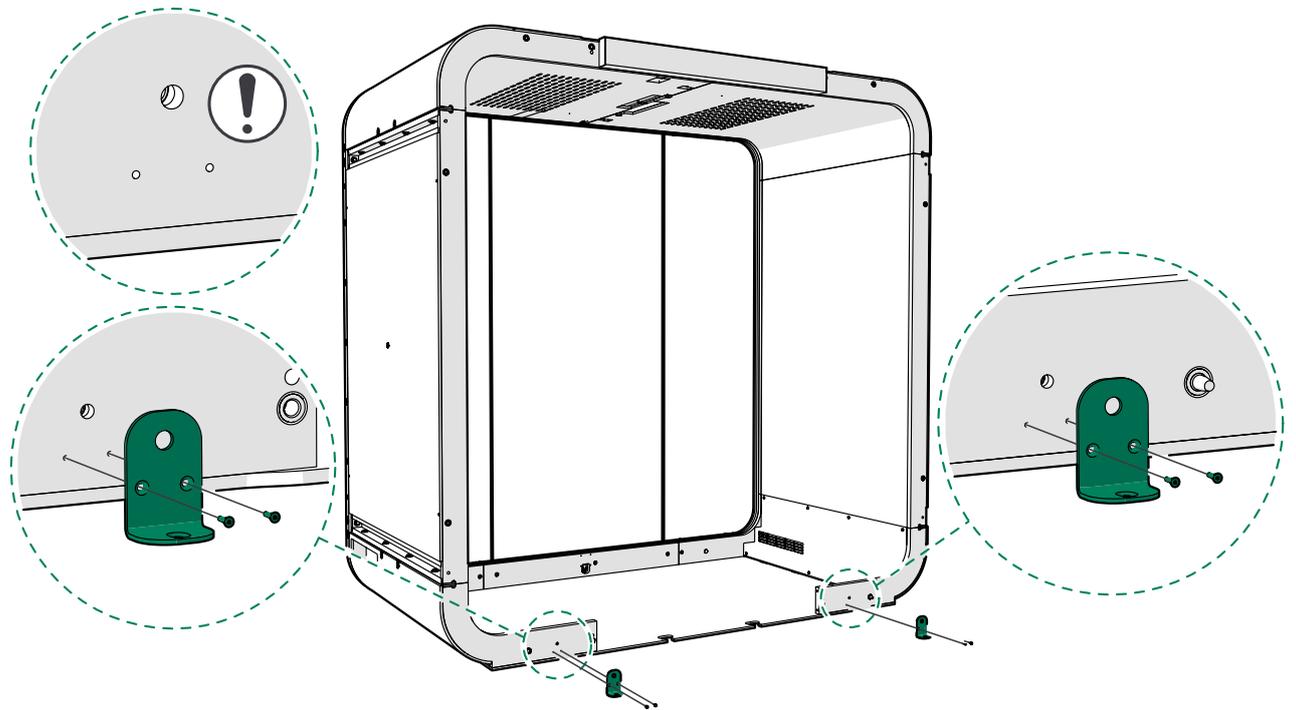


### 8.2 耐震サポートブラケット(別売)を背面に設置する方法

- ① 注：耐震サポートブラケットは別売りとなっています。アンカーボルトの最大サイズはM10です。地震対策用アンカーについては、お住いの地域の規制に従ってください。

1. 耐震サポートブラケット(2個)を3x12のネジ(各2個)でフロアモジュールの前面に取り付けてください。

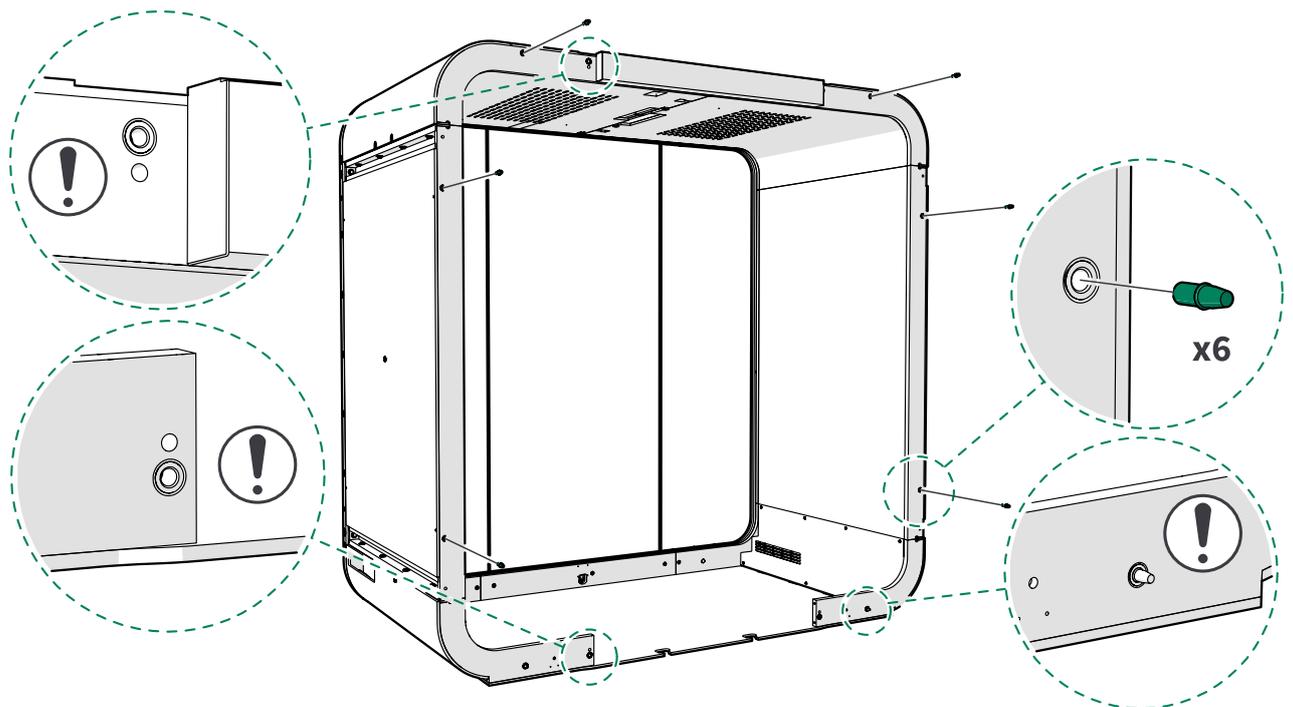
- ① 注：既存のネジ穴を使用してください。



### 8.3 ガラス付きフロントフレームの設置

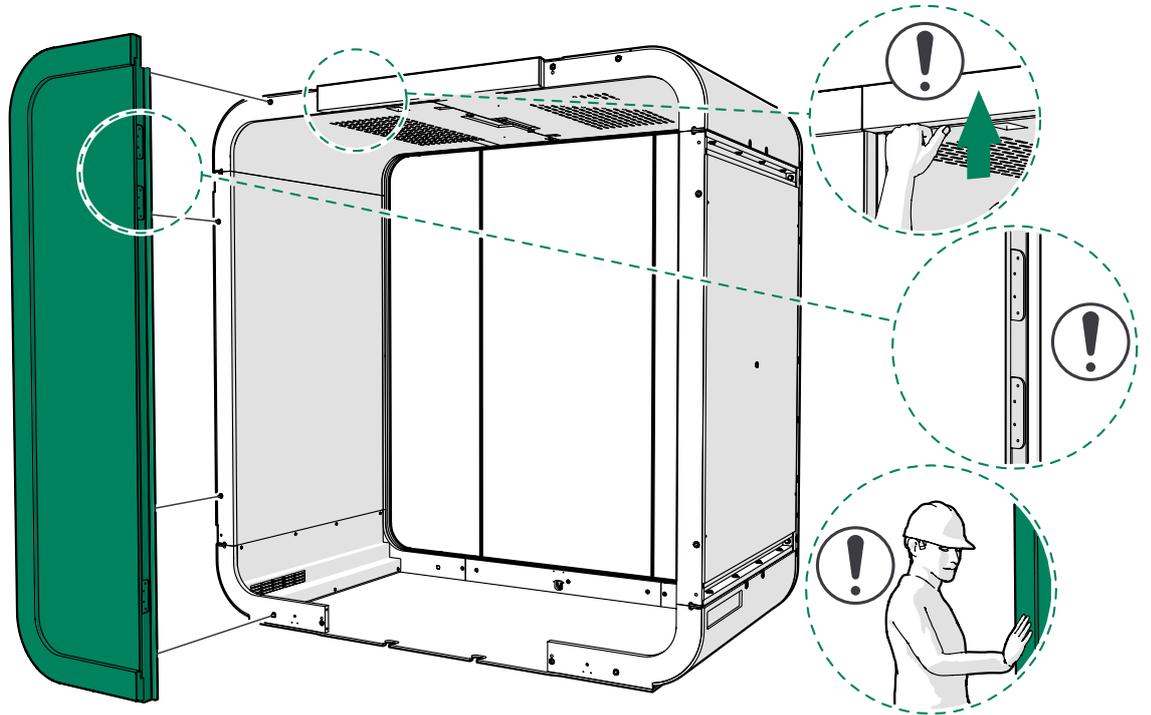
1. ガイドピン (6個) をポッド前面の穴に取り付けてください。

ⓘ 注：フロントセンターフレームと出入り口に最も近い穴にピンがないことを確認してください。



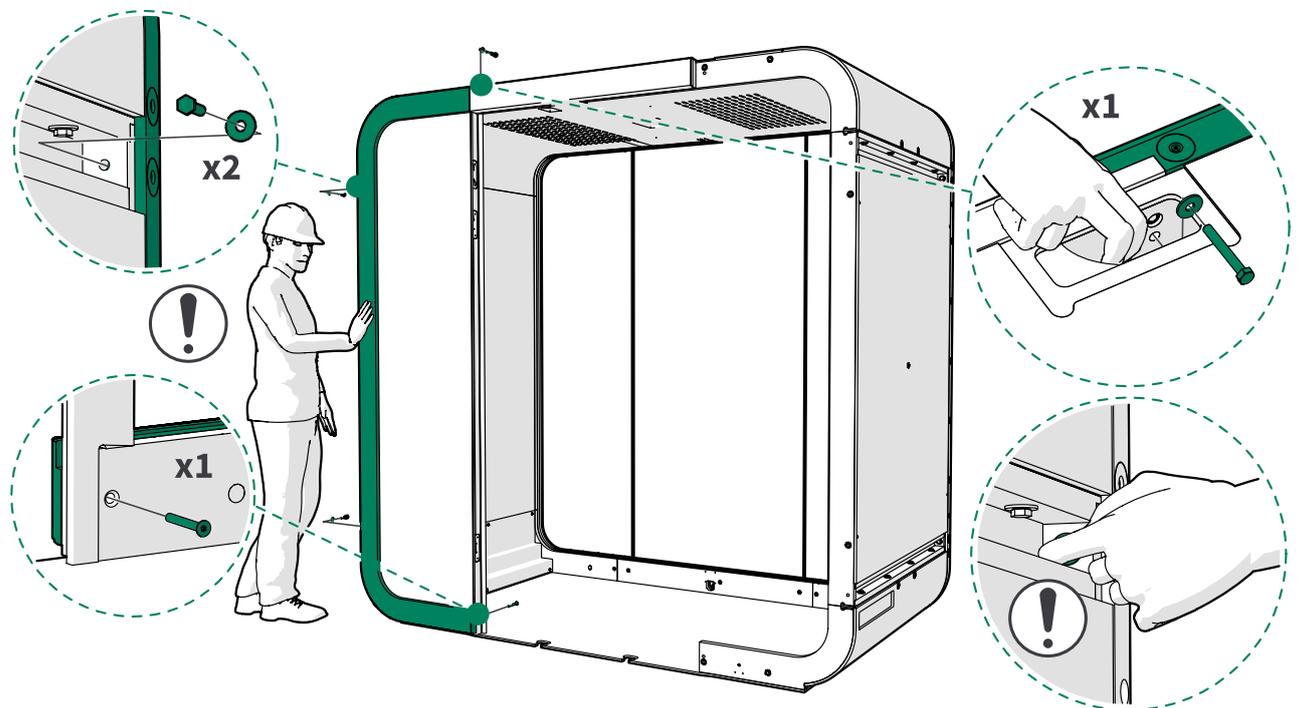
2. 左側のサイドガラスとフレームを所定の位置まで持ち上げてください。

- ⓘ 注：フレームにヒンジ用の穴が開いているか確認してください。
- ⓘ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。
- ⓘ 注：必要に応じて、ルーフを上に押し上げ、フレームをはめ込んでください。



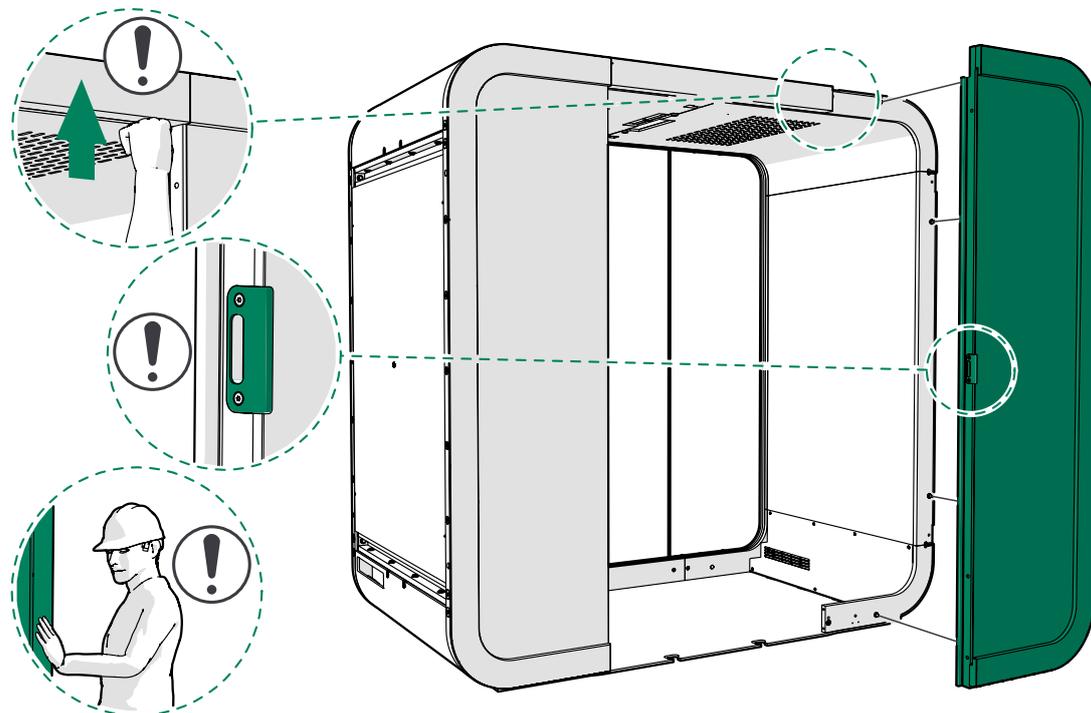
3. M8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、M8x60ネジとM8ワッシャー (1個)、六角頭のM8x60ネジ (1個) で左側のフレームを取り付けてください。ネジを手で締めてください。

- ⓘ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。



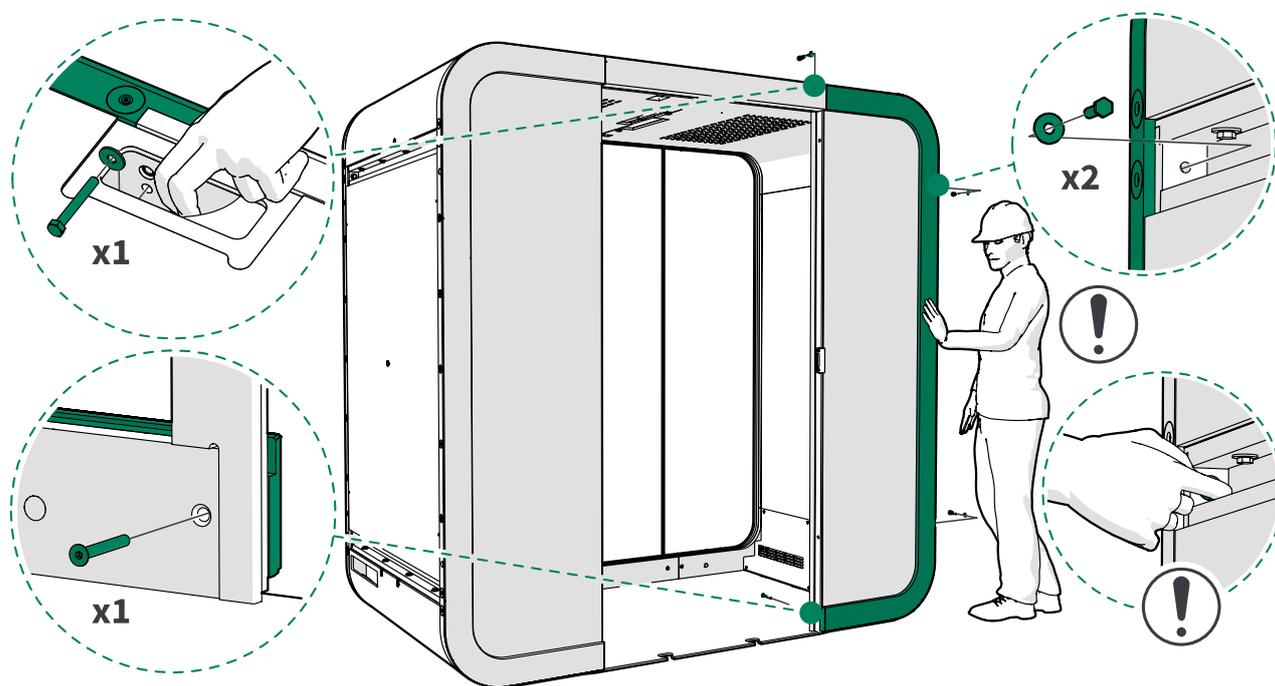
4. 右側のサイドガラスとフレームを所定の位置まで持ち上げてください。

- ❗ 注：フレームにストライクプレートが付いているか確認してください。
- ❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。
- ❗ 注：必要に応じて、ルーフを上に押し上げ、フレームをはめ込んでください。



5. 右側のフレームをM8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、M8x60ネジとM8ワッシャー (1個)、六角頭のM8x60ネジ (1個) で取り付けてください。ネジを手で締めてください。

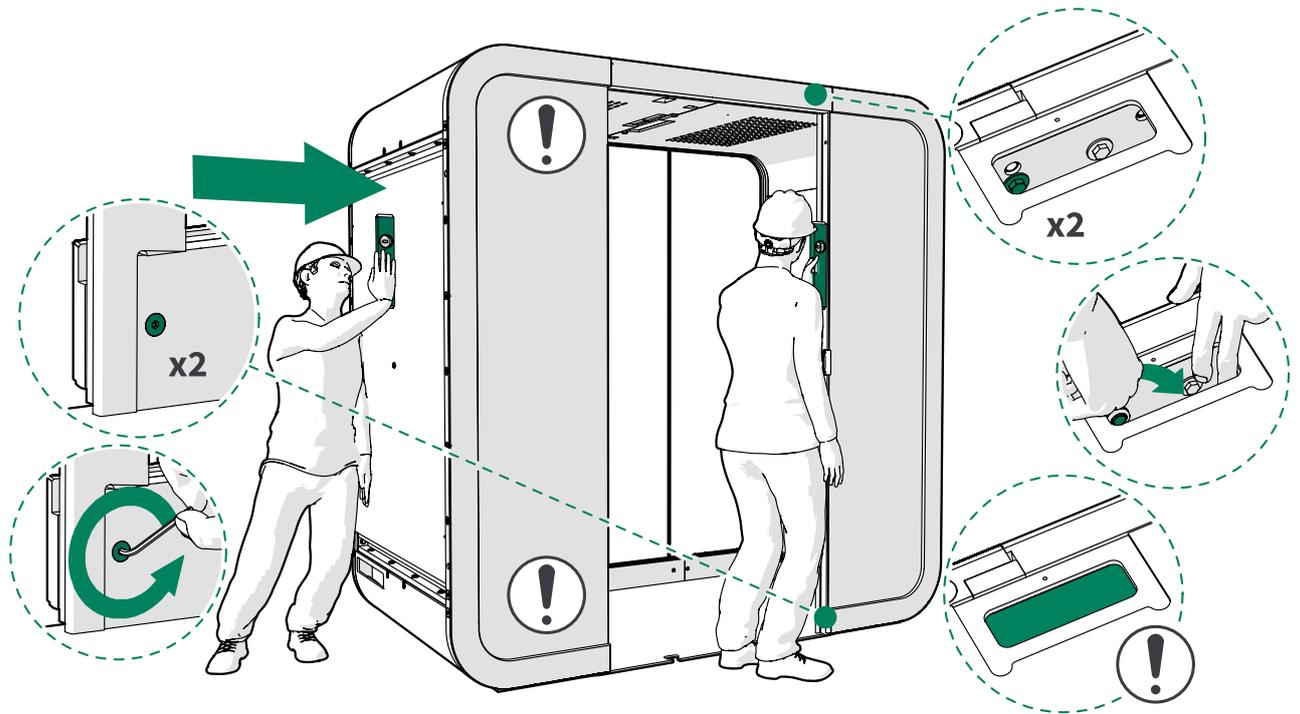
- ❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。



## 9 ポッドを真っすぐにする方法

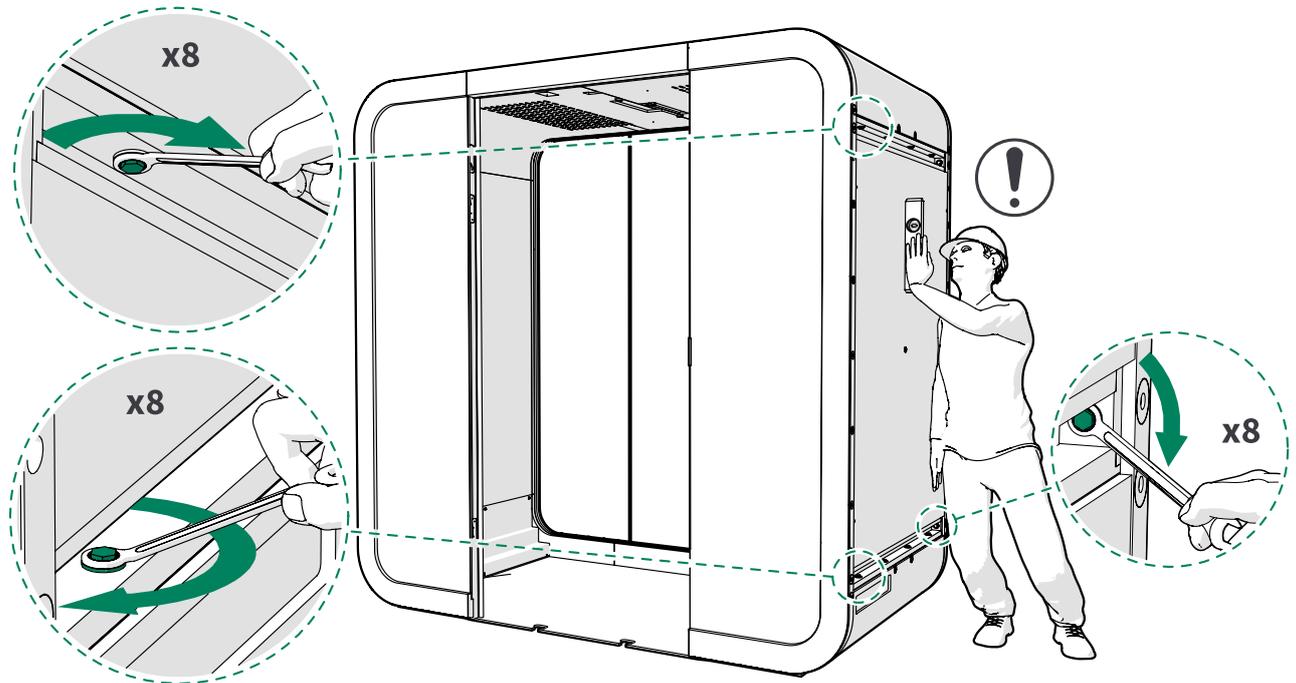
1. 左側の壁からポッドを押して、ストライクプレート側のガラスフレームの真直度を水準器で測定してください。必要に応じて調節し、ストライクプレート・サイドガラスフレームのボルトを締めてください。

- ❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。
- ❗ 注：ヒンジ側のネジも締まっていることを確認してください。



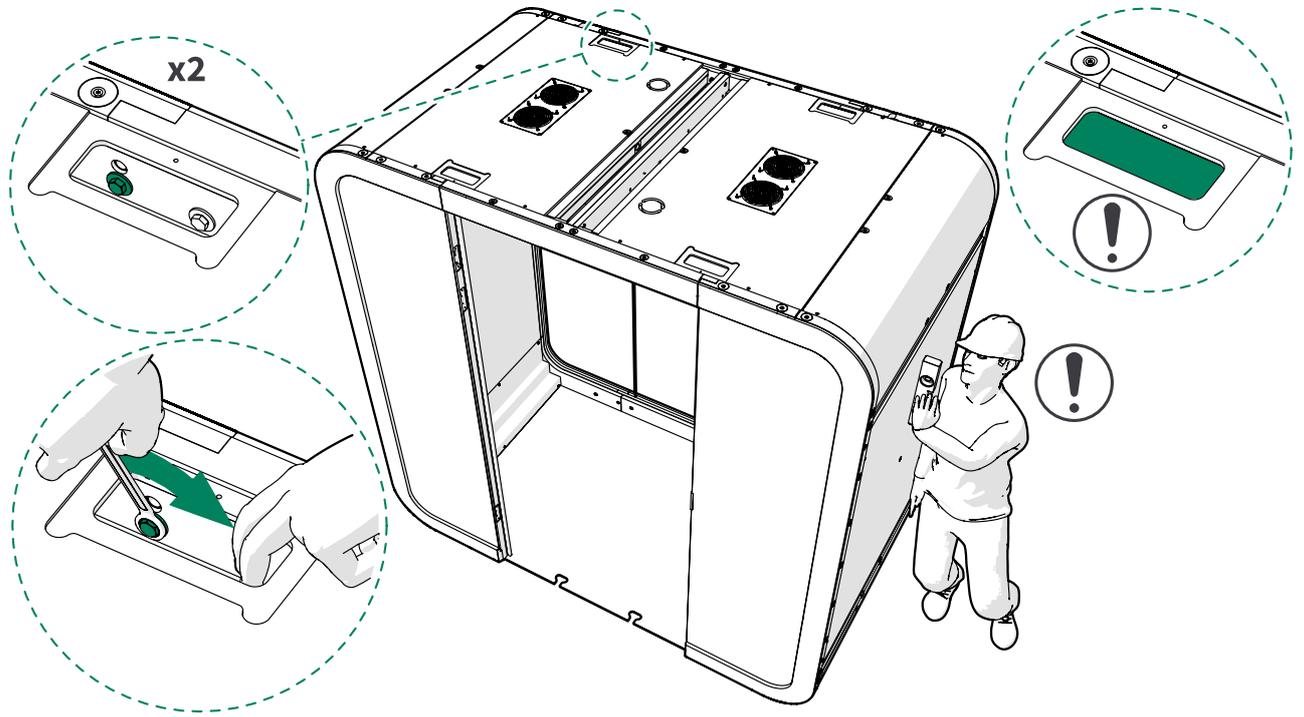
- 水準器で右手から真直度を測定してください。必要に応じて調節し、壁と屋根の間のジョイント部分 (8個) および壁とフロア間のジョイント部分 (8個) のボルトを締めてください。壁とガラスフレームの間のボルト (8本) を締めてください。

❗ 注：緩んだボルトをすべて締め付けるまで、ポッドを真っ直ぐにしておいてください。



3. ポッドを真っすぐの状態にして、ルーフモジュールとサイドフレームの背面にあるネジ(2個)を締めてください。

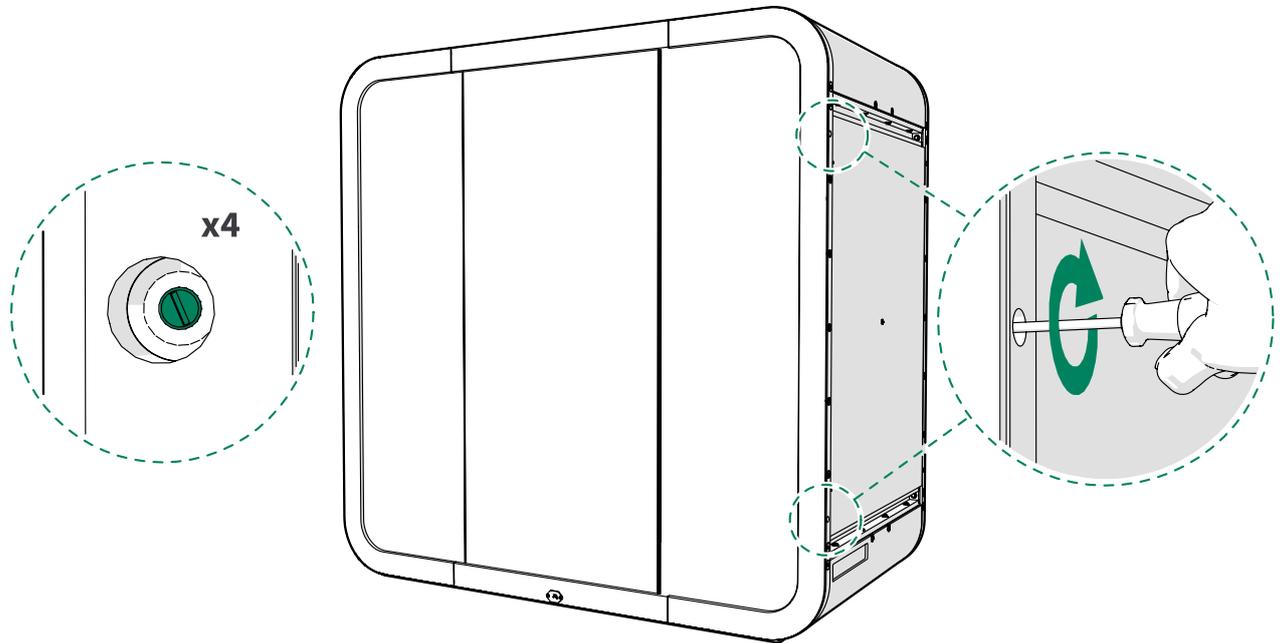
- ⚠ 注：緩んだボルトをすべて締め付けるまで、ポッドを真っ直ぐにしておいてください。
- ⚠ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押ししてください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。



4. マイナスドライバーでポッド背面の側面にあるナイロンネジ (片側2個) を締めてください。

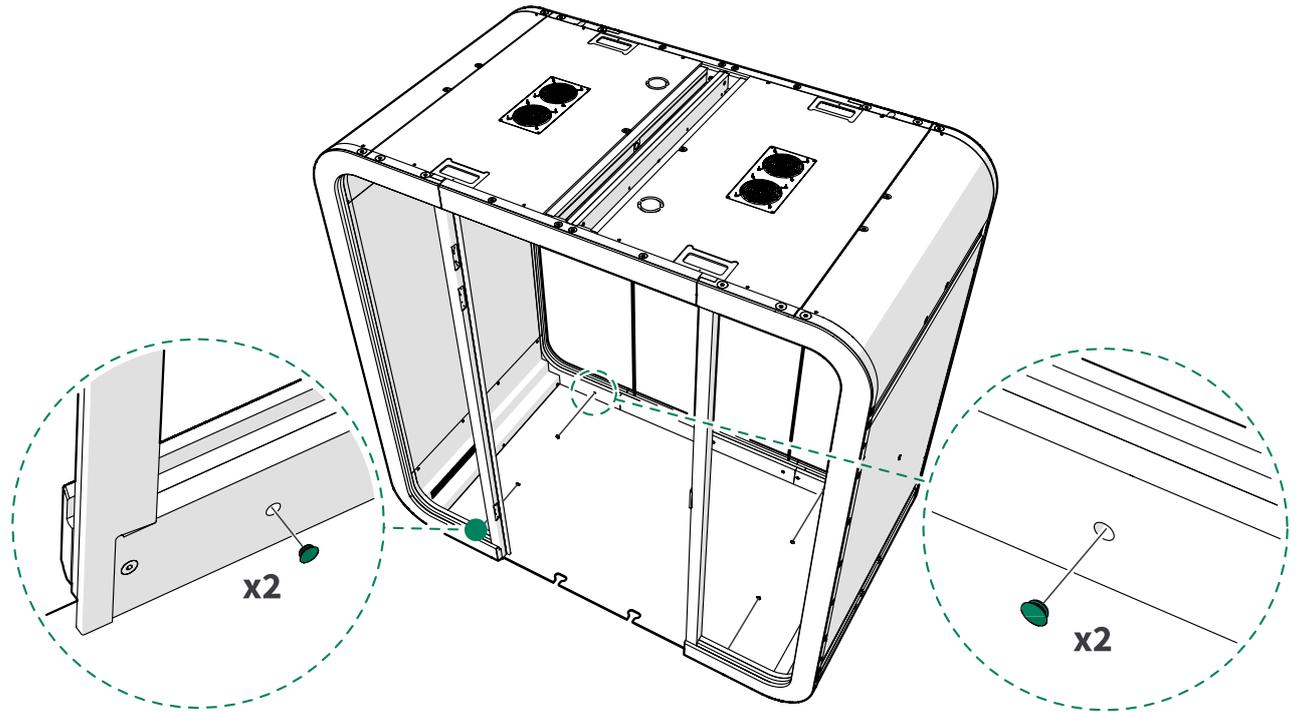
ナイロンネジを締めるときは、ガラスを外側から軽く押して、フレームの溝の内側の端にしっかりと固定されるようにしてください。

- ⓘ 注：ガラス調節ネジは、ガラス構造の剛性を高めるためだけのものです。抵抗を感じるまでネジを締め、半回転ほど緩めてください。締めすぎないようにしてください。

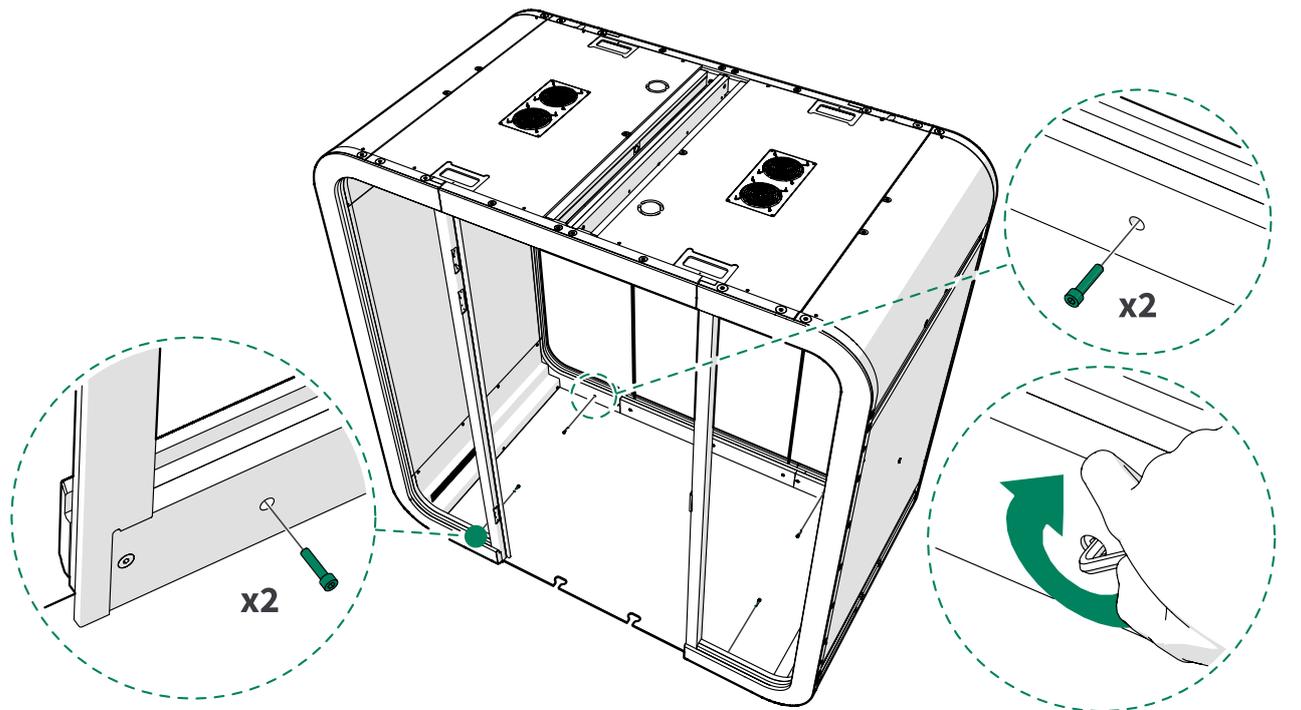


## 10 耐震サポートブラケット (別売)の固定方法

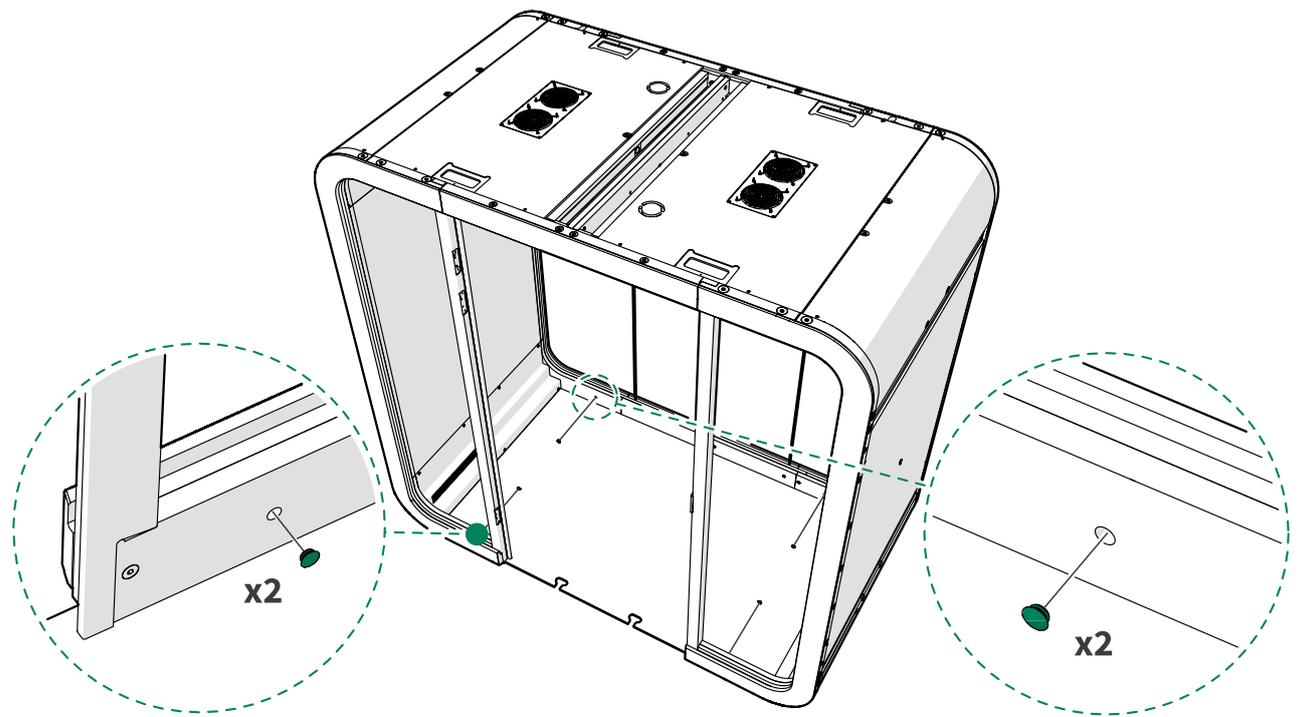
1. 前後のフレームの内側にあるプラスチックのプラグ (4個) を外してください。



2. M8x35ボルト (4本) をフレームに取り付けてください。



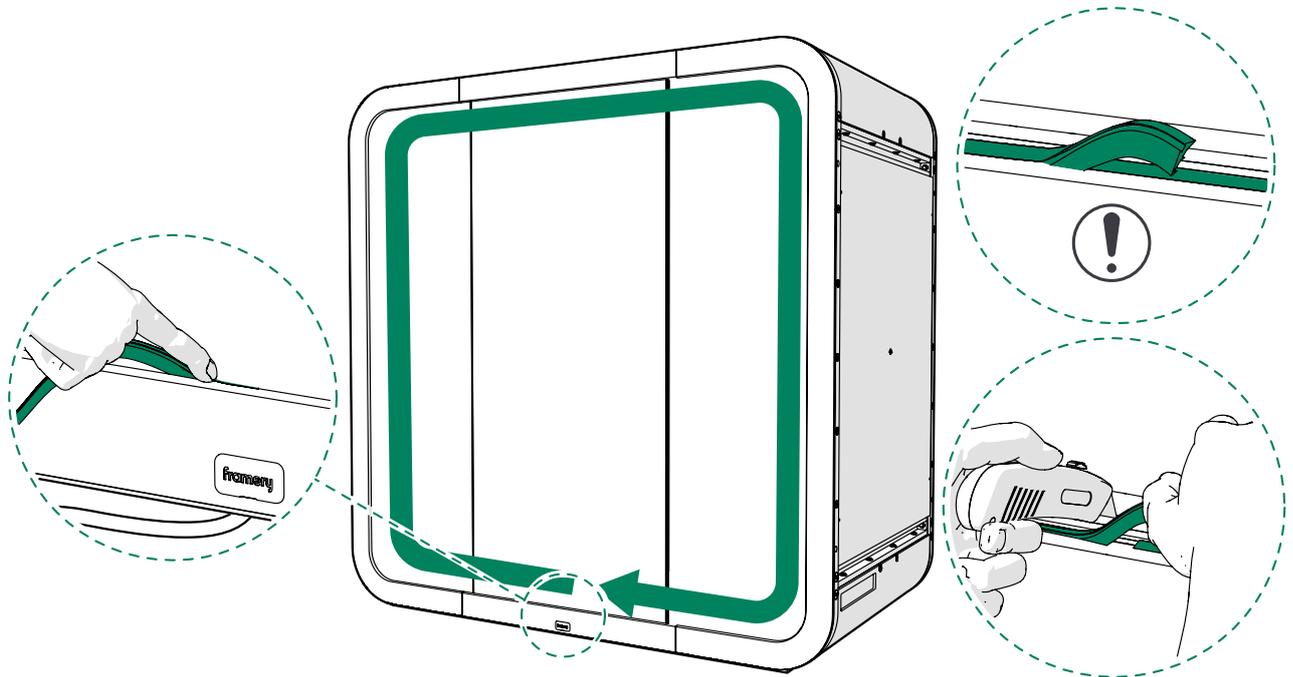
3. 前後のフレームの穴にプラスチックのプラグを取り付けてください。



## 11 ガラスビート施工

ガラスとフレームの間にくさび形のビートを挟んで、ポッドの背面を密閉してください。

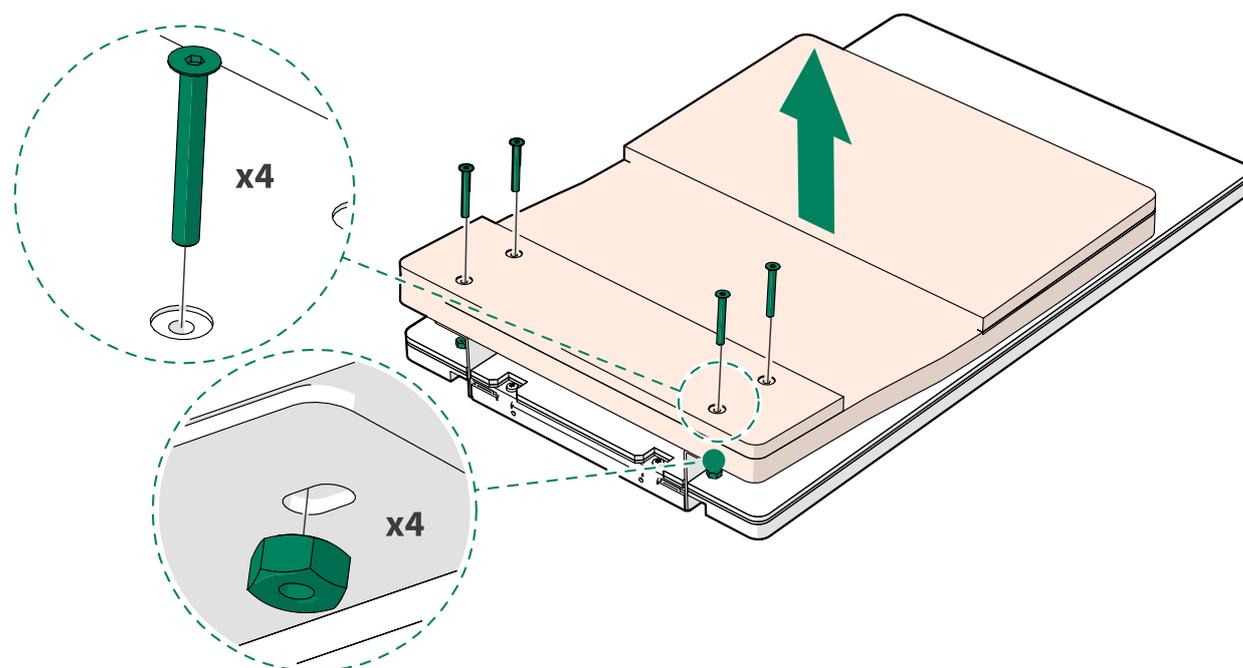
- ❗ 注：ポッドの背面の外側にビート施工をし、余分な部分を切り取ってください。
- ℹ ヒント：ガラスビートを取り付ける際には、ガラス用洗浄液を潤滑剤として使用してください。



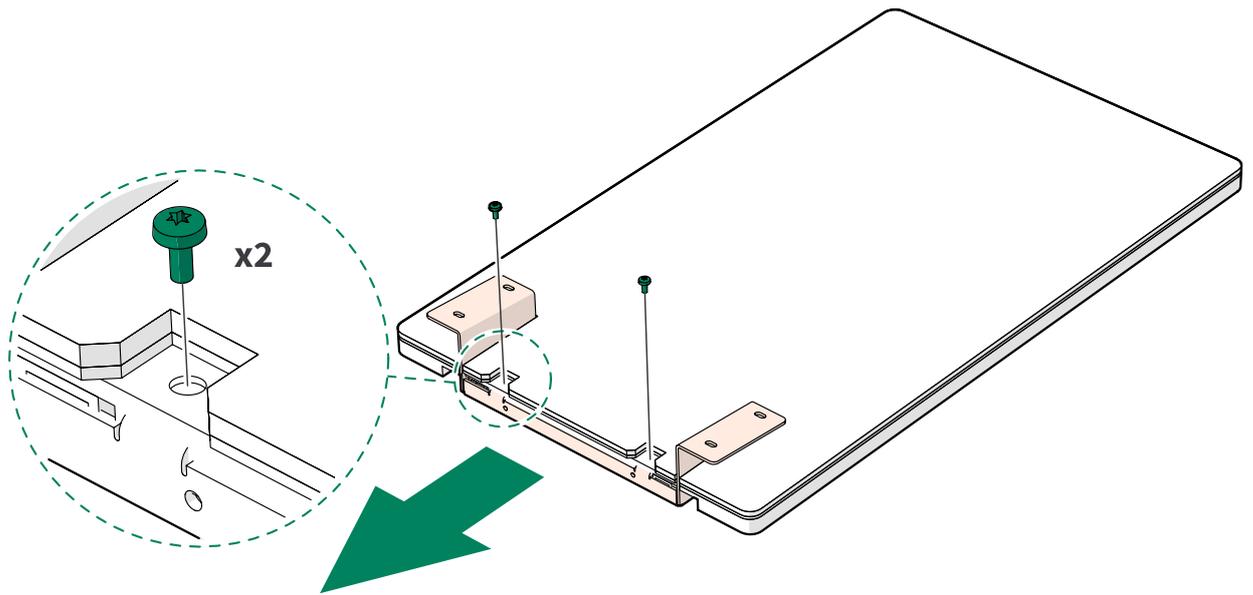
## 12 インテリアの設置

### 12.1 シートの設置

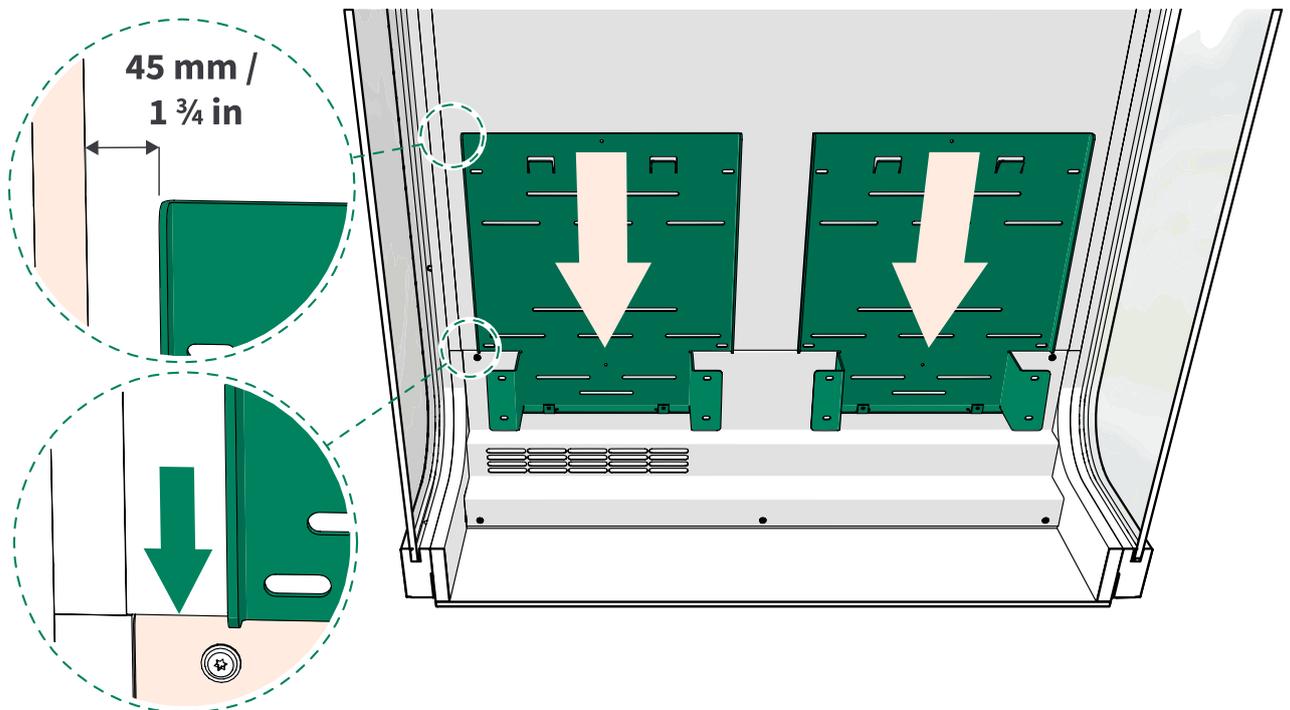
1. シートからM6x40六角ボルト (4本) とフランジ付きナット (4個) を外し、シート部分をシートブラケットから取り外してください。ボルトとナットは、近くに置いておいてください。



- 12mmのプラスネジ (2個) を外し、シートブラケットをシートのバックレストから取り外してください。ネジは近くに置いておいてください。

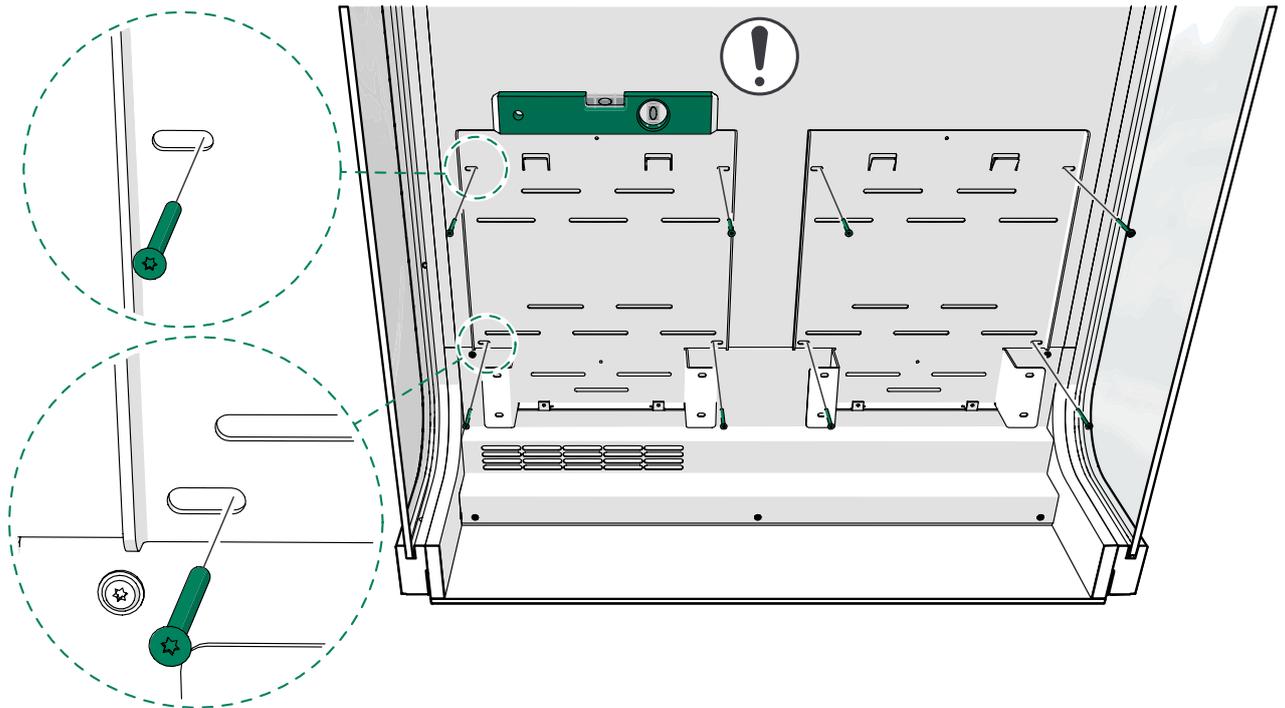


- シートブラケットのシート部分を壁の保護プレートに当て、バックレスト部分をウォールフェルトの端から45 mm (1¾インチ) の所に置いてください。

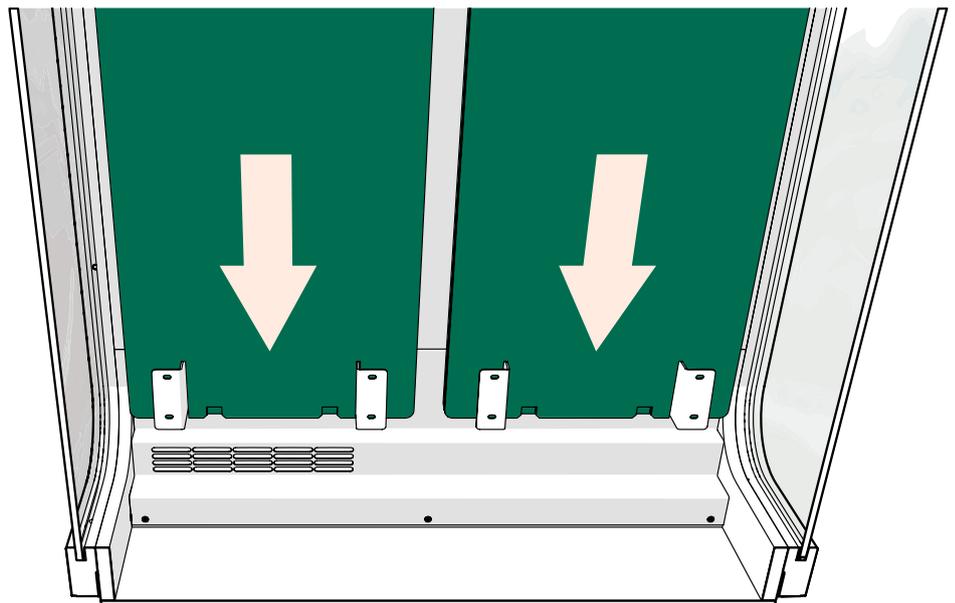


4. ボールヘッドの5x50ネジ (各4個) でシートブラケットを壁に取り付けてください。

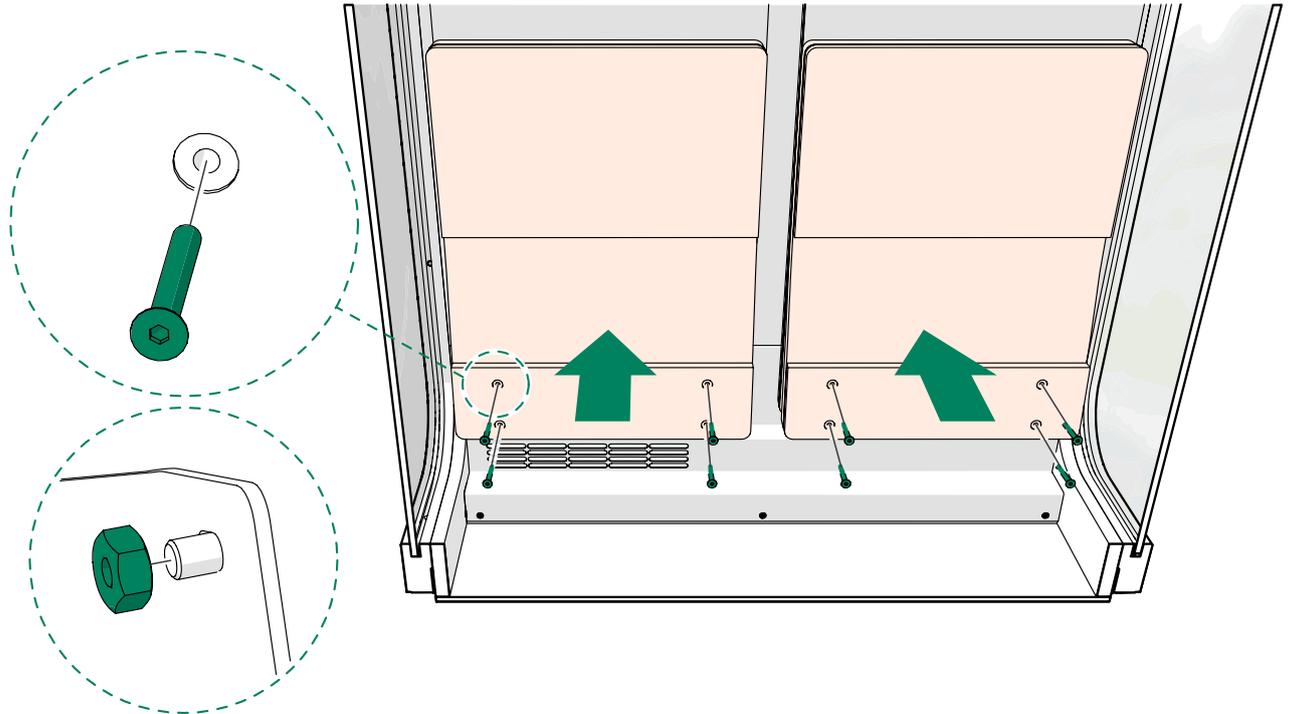
ⓘ 注：水準器を使って、ブラケットがまっすぐになっているかを確認してください。



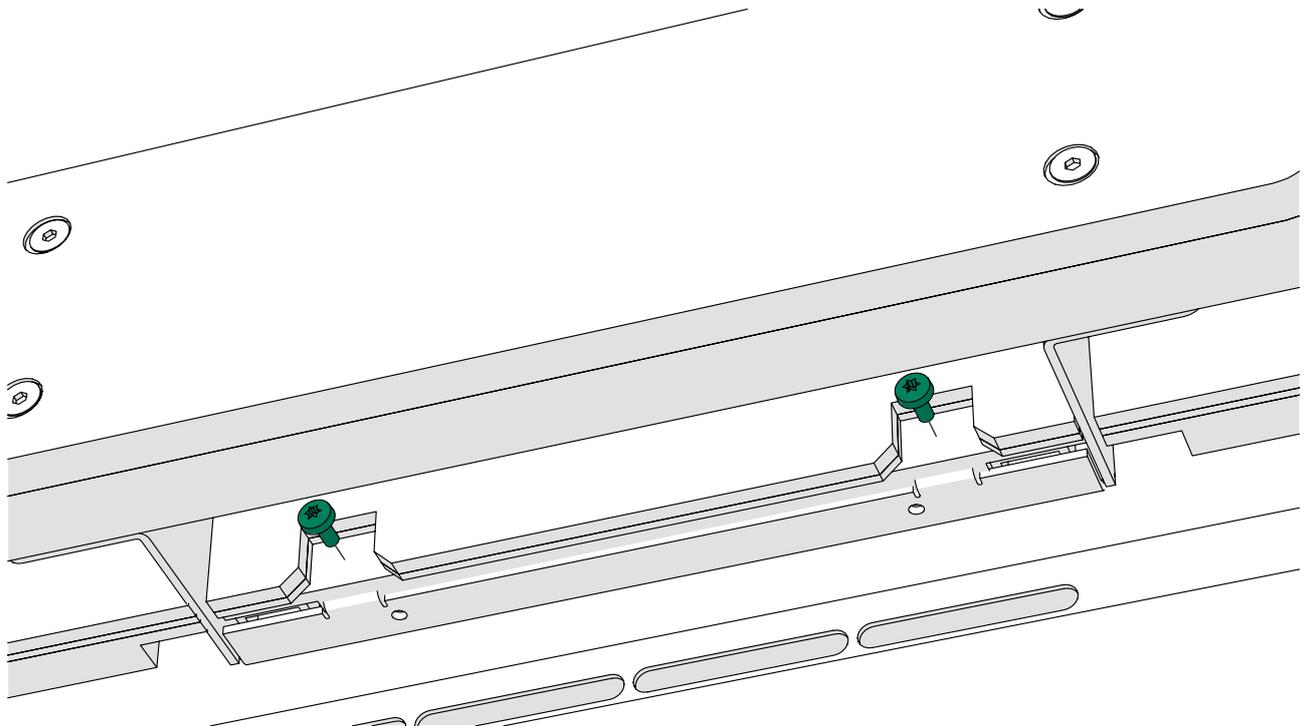
5. バックレストを正しい水平位置に置き、バックレストを壁に押し付け、ブラケットの留め具に通してください。



6. シートをブラケットに押し付け、M6x40ボルト (4本) をシートとブラケットに通してください。ナット (4個) を六角レンチで丁寧に締めてください。

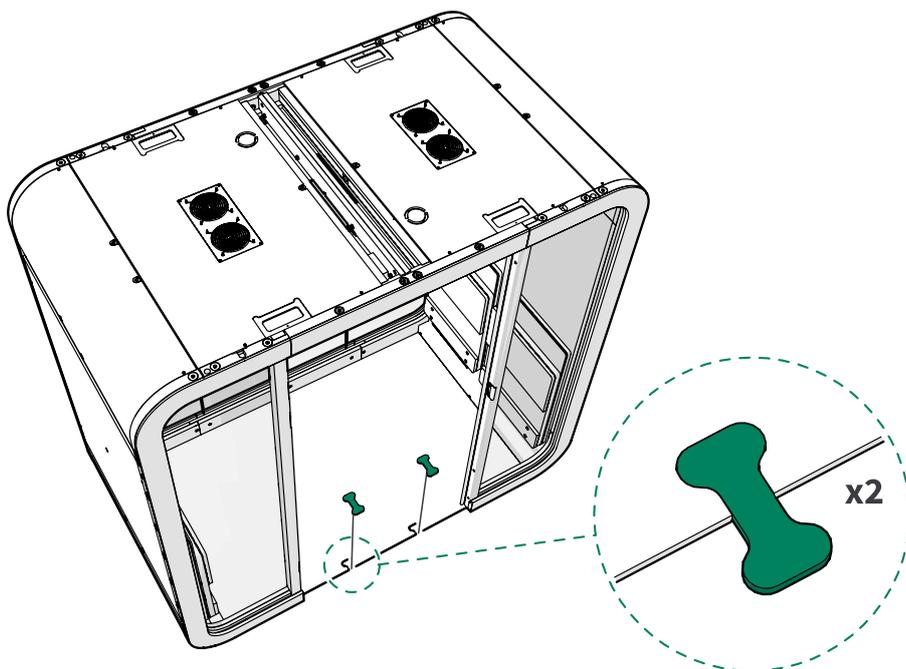


7. シートブラケットを12mmのプラスネジ (2個) でバックレストに再度取り付けてください。



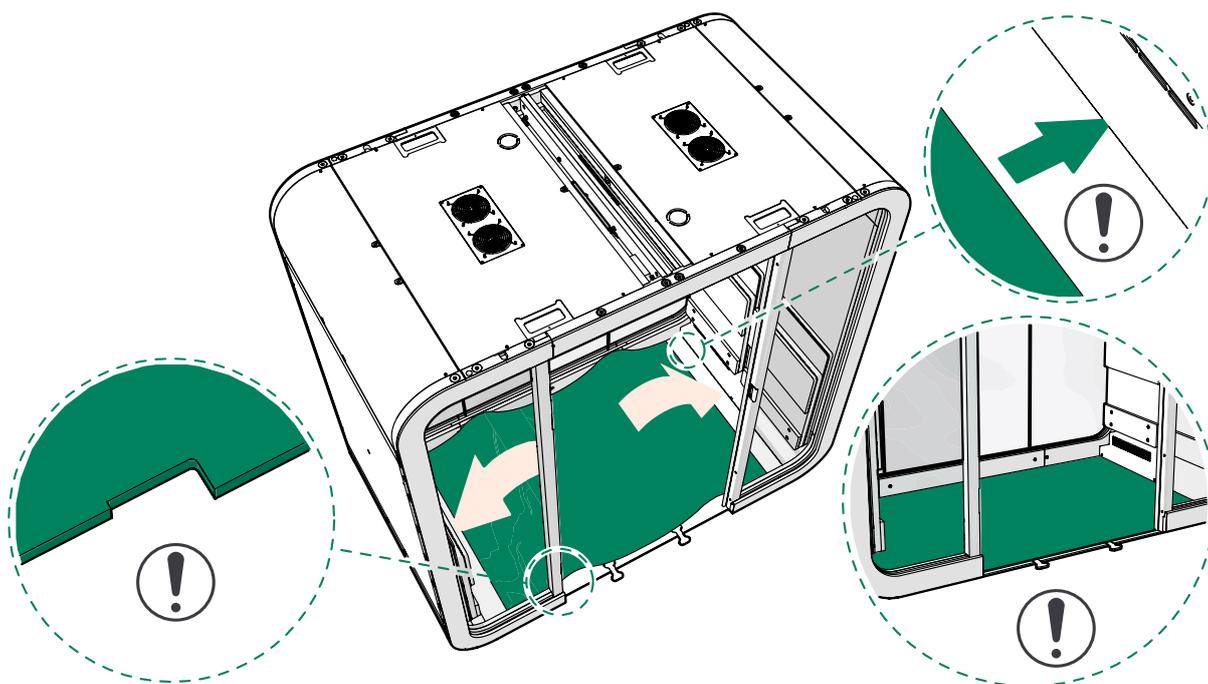
## 12.2 カーペットの設置

1. フロアボードコネクタをフロアの端に取り付けてください。



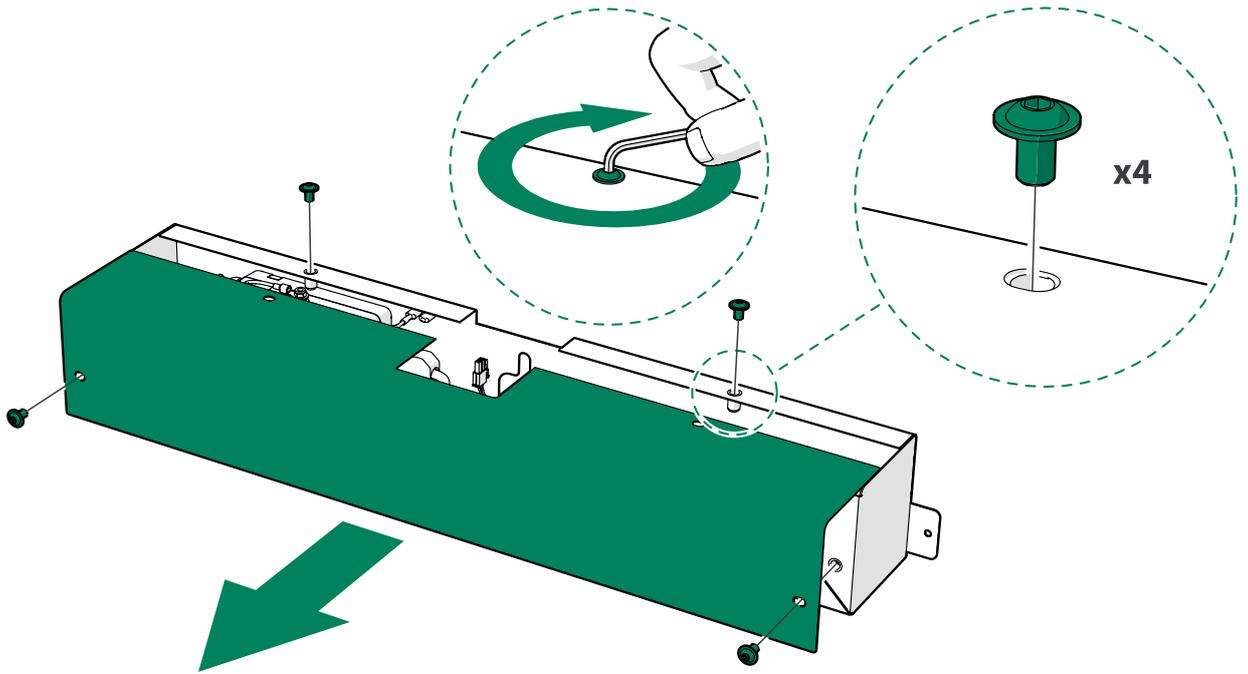
2. カーペットを敷いてください。

- ⓘ 注：カーペットの切り込みがポッド出入り口部分にあるか確認してください。
- ⓘ 注：カーペットの端をウォールフェルトの下に押し込んでください。
- ⓘ 注：カーペットがしっかりと取り付けられているか、段差がないかを確認してください。

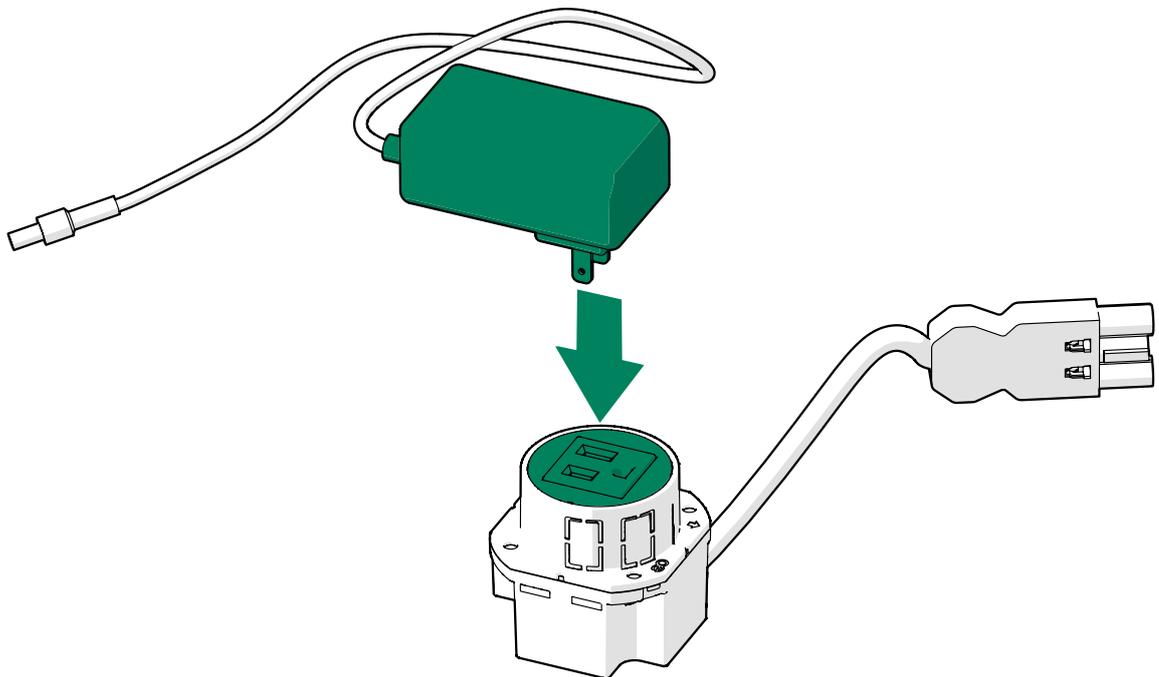


## 12.3 パワーコラムの設置

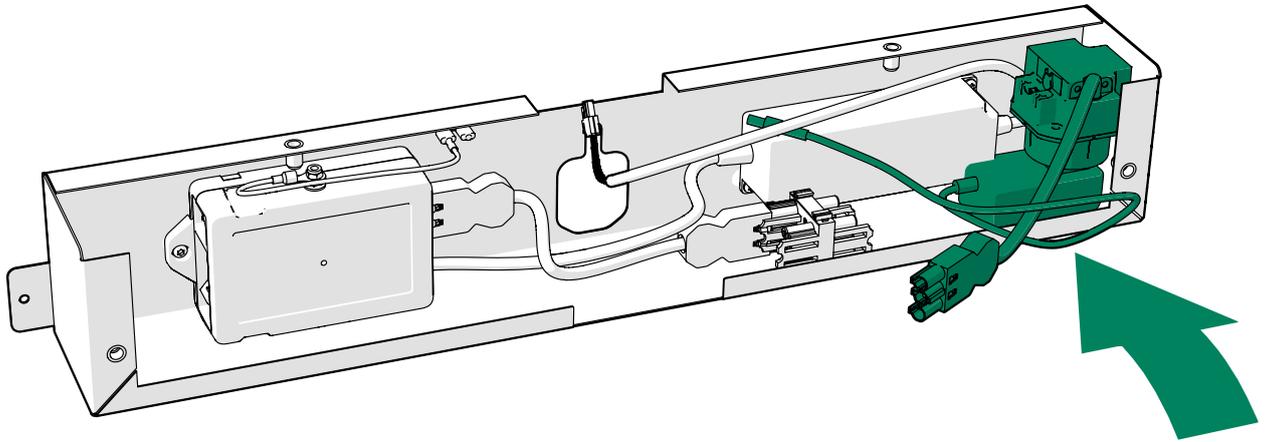
1. 電気部品が入っているメタルボックスのカバーから黒のM6x10ネジを外し、カバーを取り外してください。



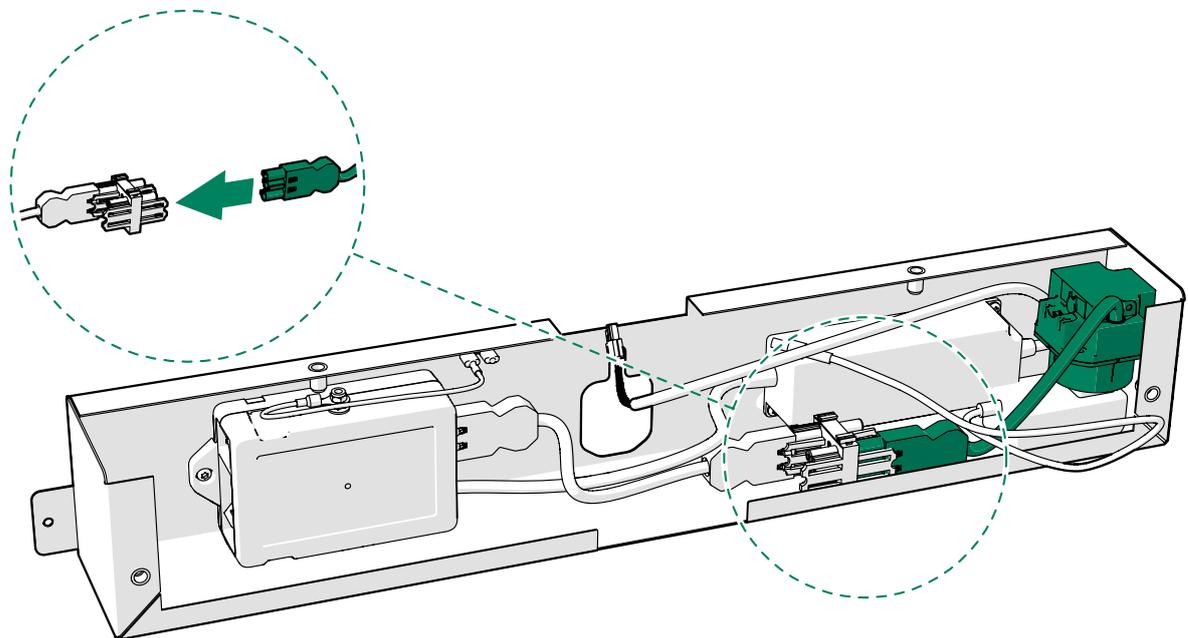
2. ドアオープナーアダプターを電源コンセントに接続してください。



3. ドアオープナーアダプターとコンセントを電気部品が入っているメタルボックスに入れてください。

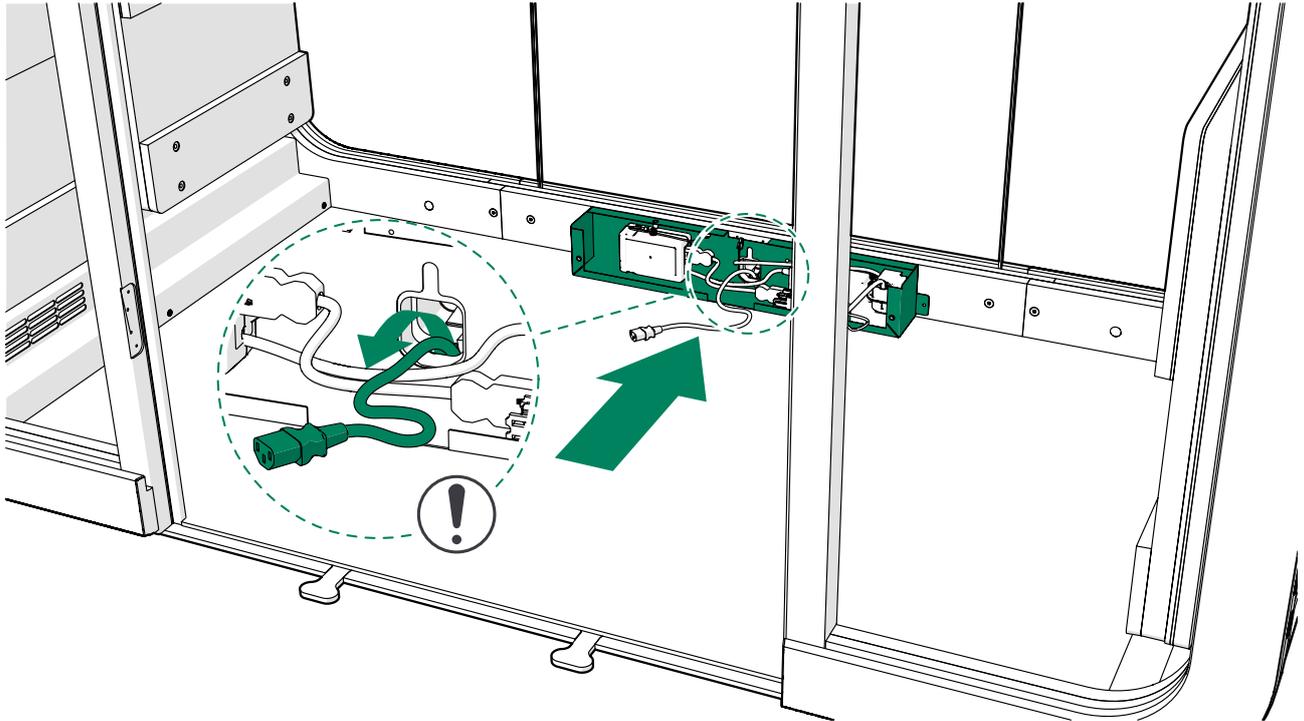


4. 電源コードをGSTスプリッターに接続してください。

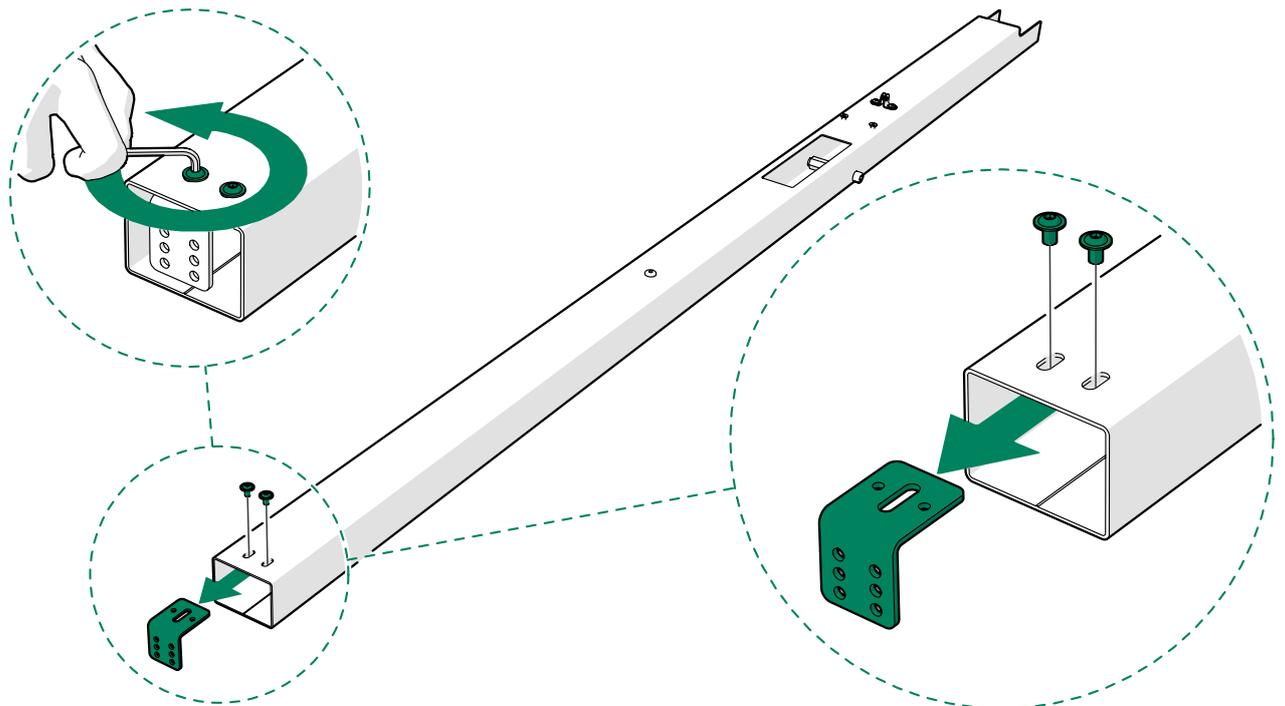


5. ポッド後方の壁に、電気部品が入っているメタルボックスを設置してください。

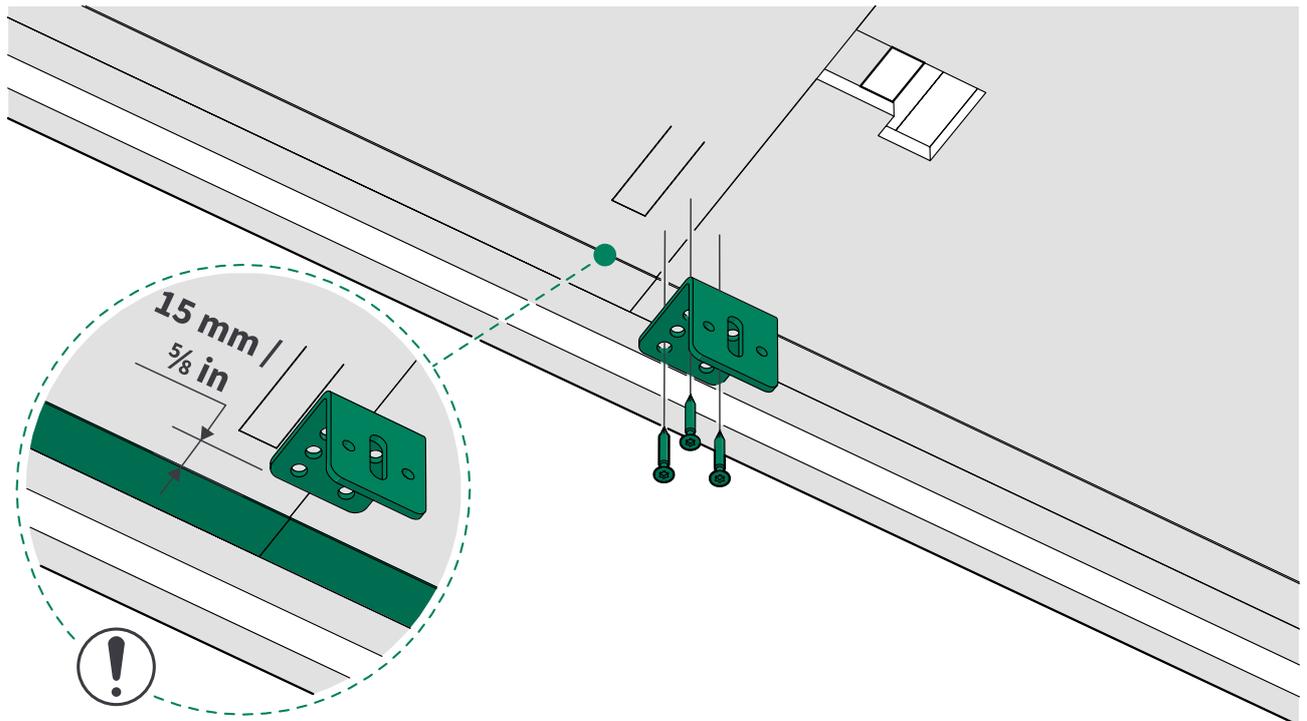
❗ 注：電源コードをフロアから設置する場合は、メタルボックスの開口部から電源コードをポッド内に引き込んでください。



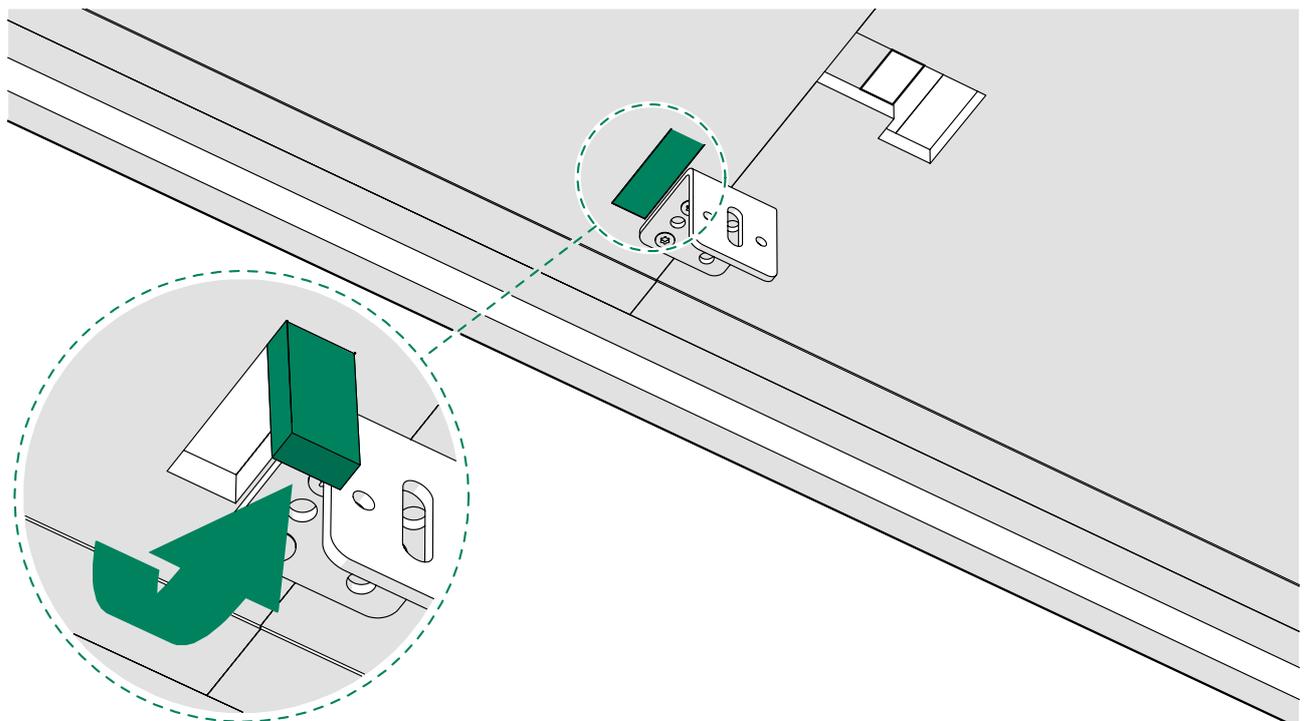
6. パワーコラムの前面にあるアングルアイアンを外してください。  
ネジは、近くに置いておいてください。



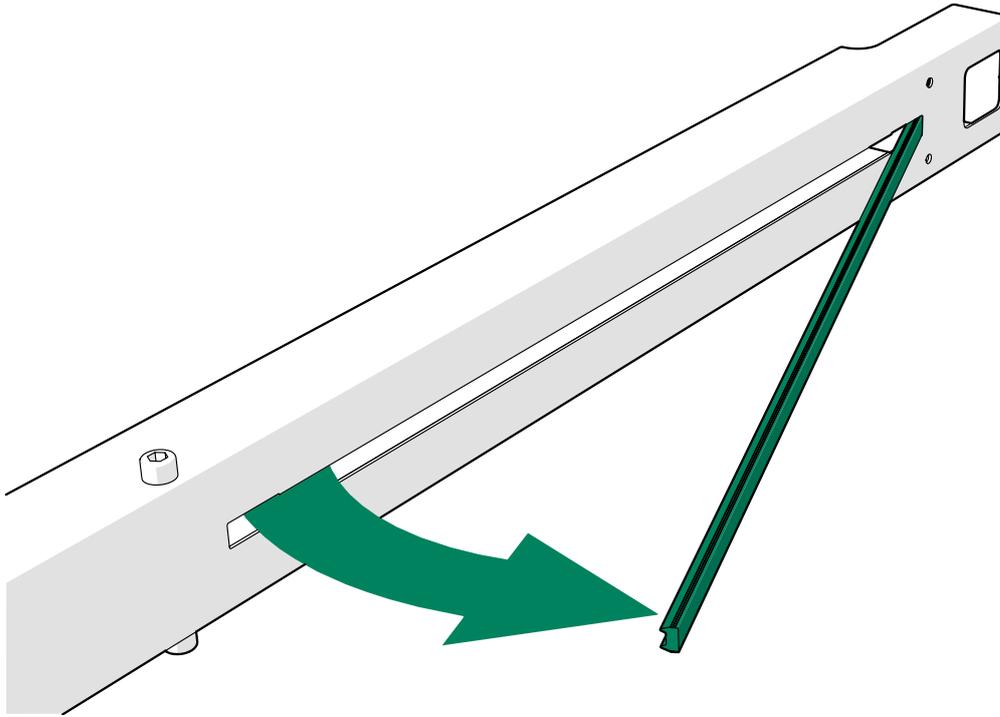
7. 4x30のネジ (2個) でアングルアイアンを天井に取り付けてください。  
天井のフェルトの中心線を基準にし、アングルアイアンが黒のABSストリップから15mm離れているか確認してください。



8. 部分的に切り込みを入れた所で、フェルトを折り返してください。  
フェルトの切り込み部分は切り取らずに、折り曲げてください。

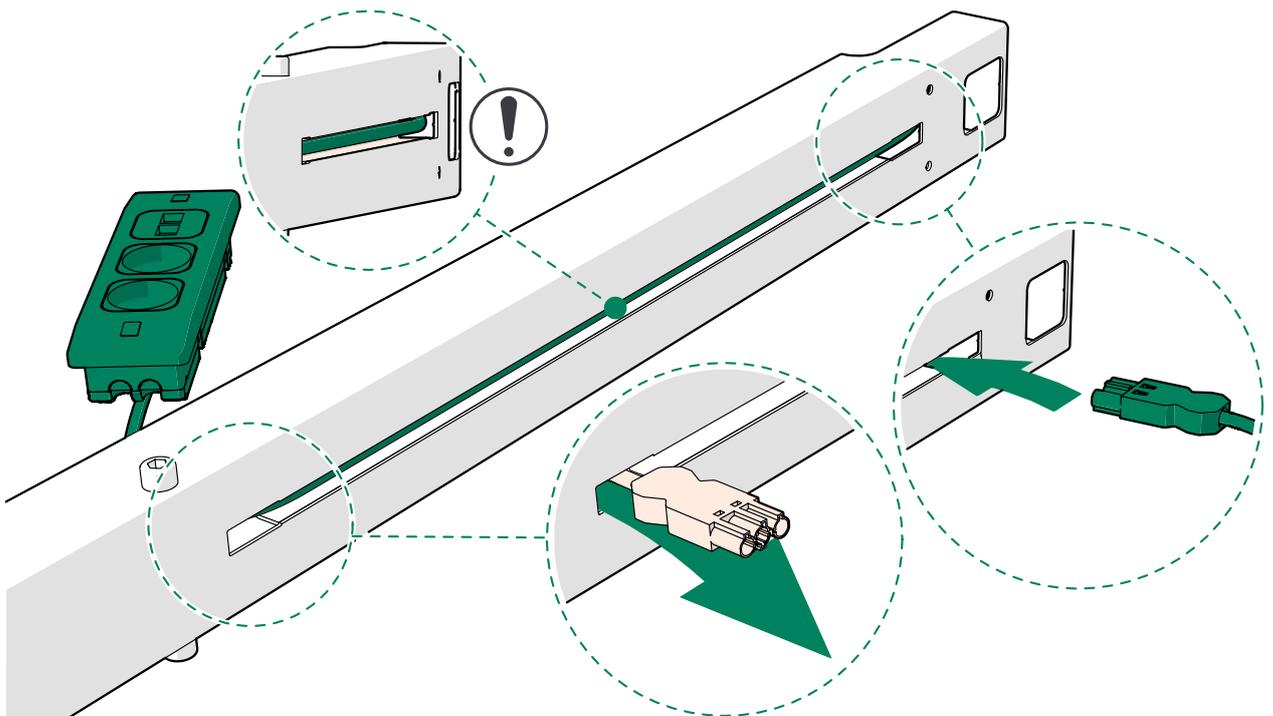


9. コードダクトカバーをパワーコラムから取り外してください。



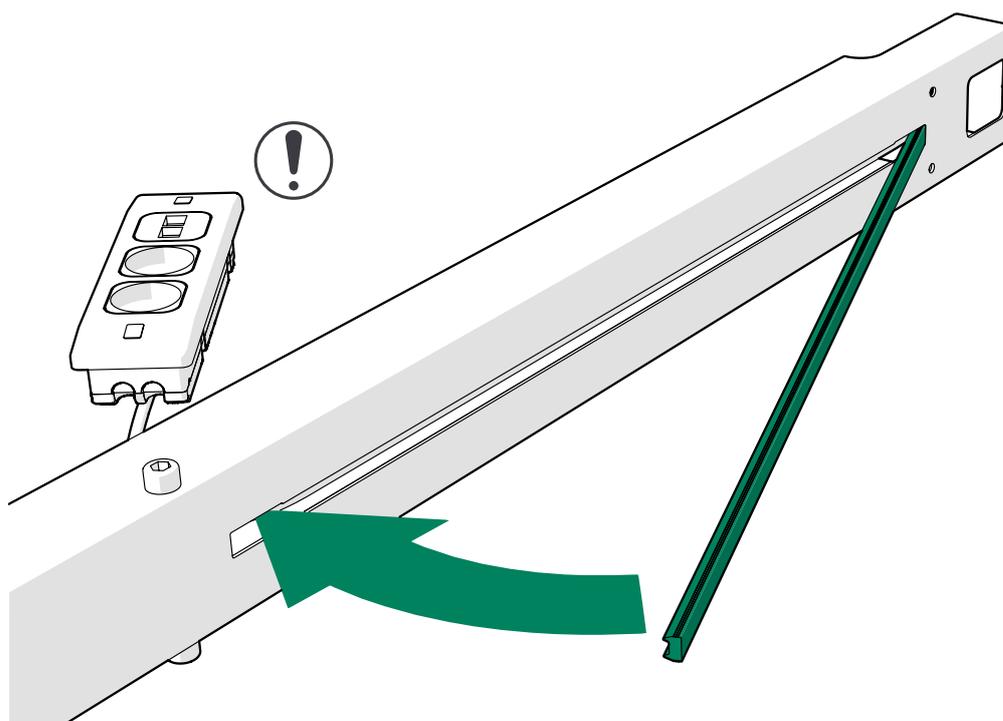
10. 電源コードをコードダクト上端の開口部から通し、次にコードダクト下端の開口部から通してください。

ⓘ 注：電源コードがコードダクト内にきちんと収まっているか確認してください。



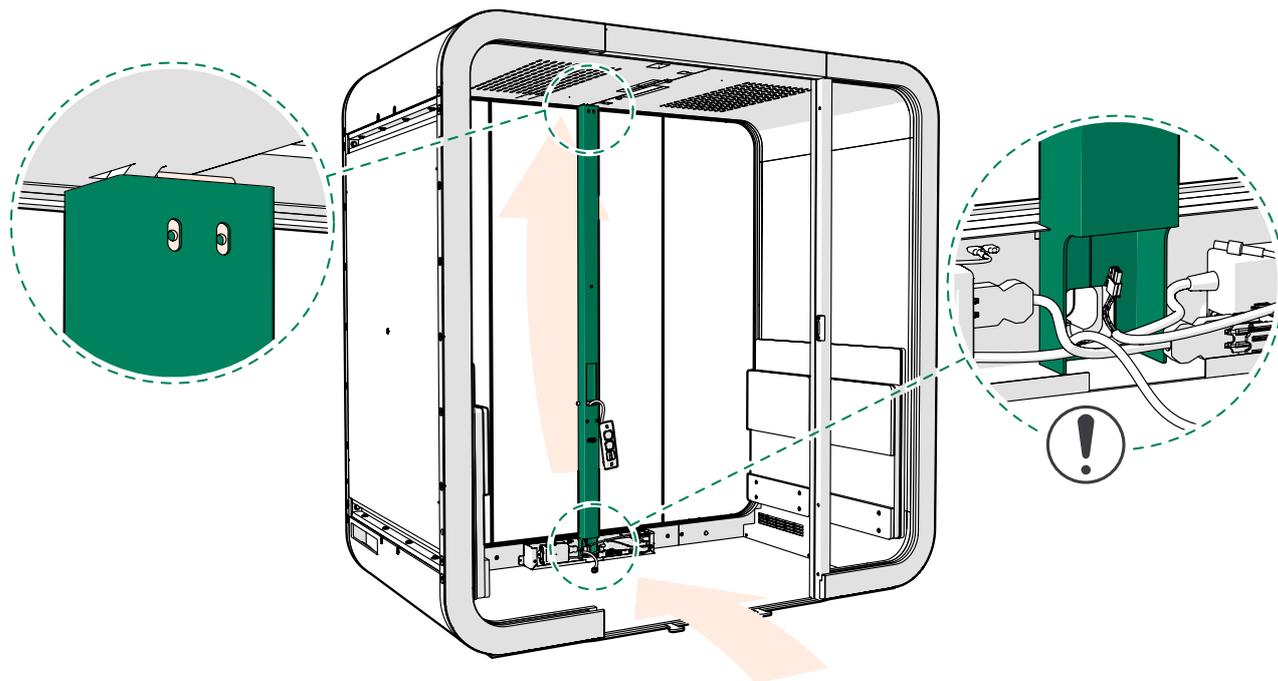
11. コードダクトカバーをパワーコラムに押し込んでください。

ⓘ 注：電源コンセントをパワーコラムに取り付けしないでください。

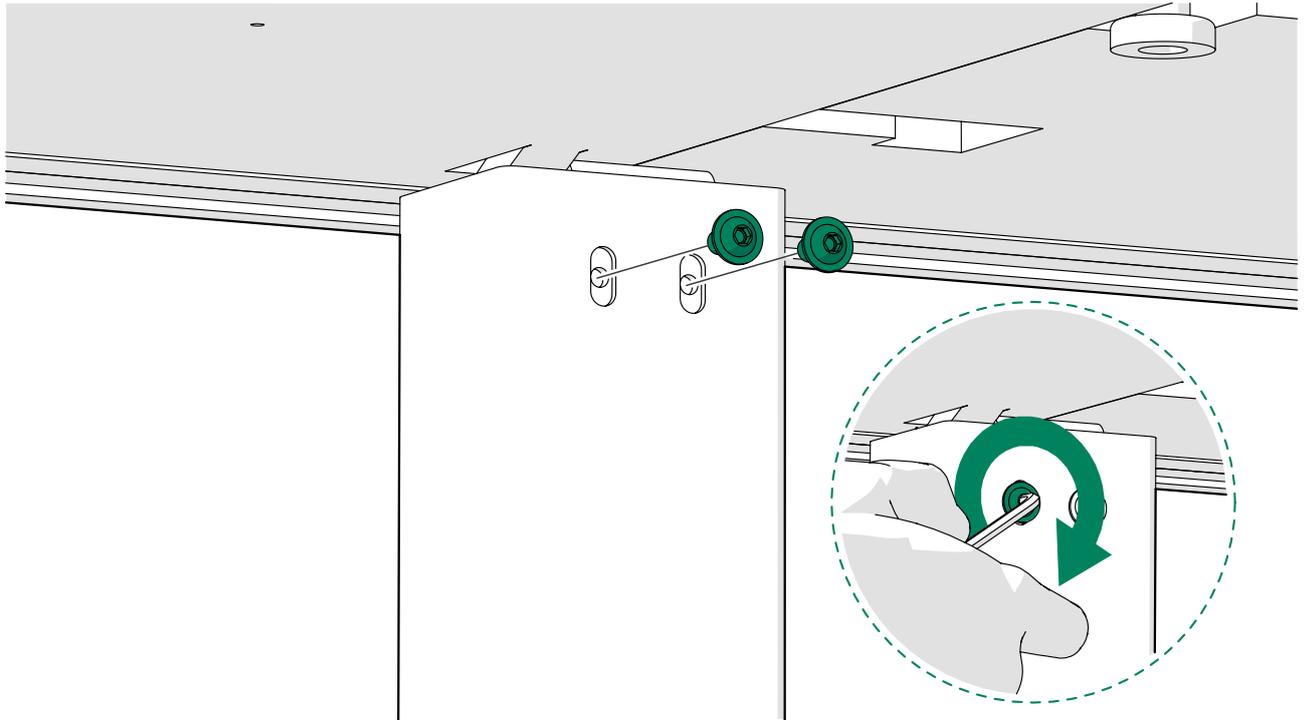


12. パワーコラムを所定の位置まで持ち上げてください。

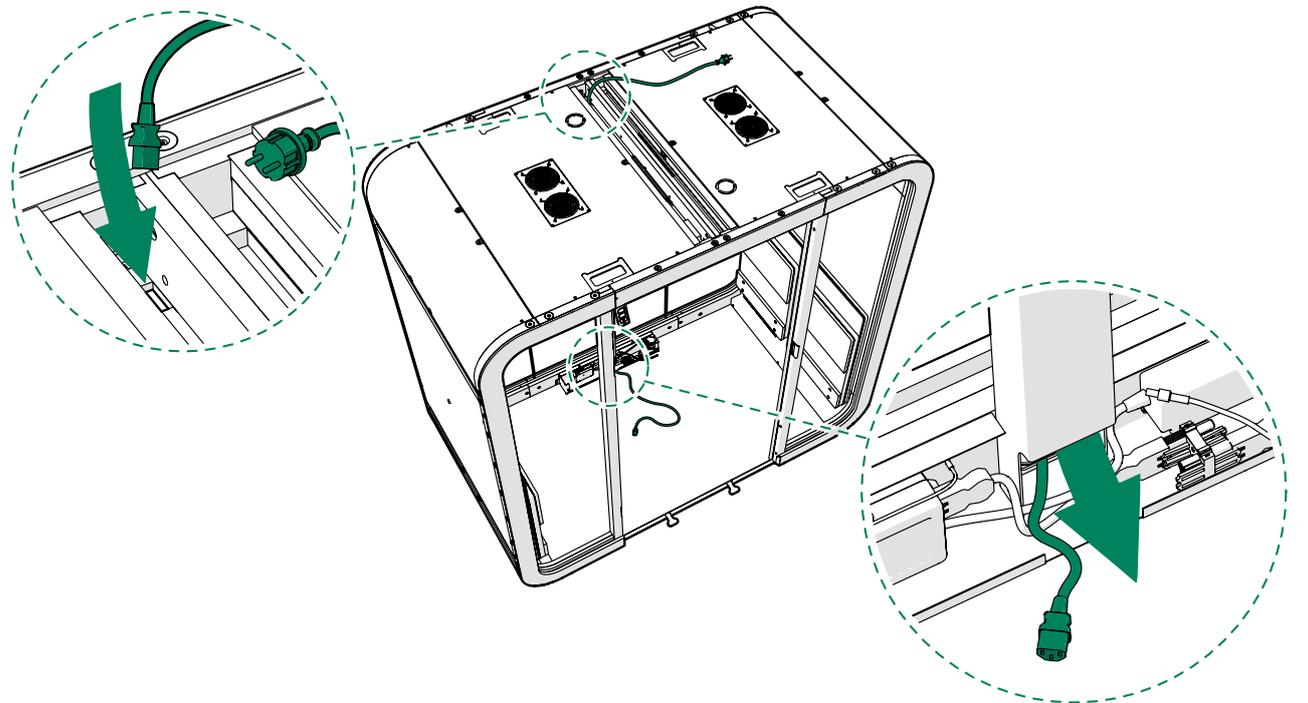
ⓘ 注：コードが挟まれたり、破損しないように注意してください。



13. パワーコラムの上端を黒のM6x10ネジ (2個) で取り付けてください。

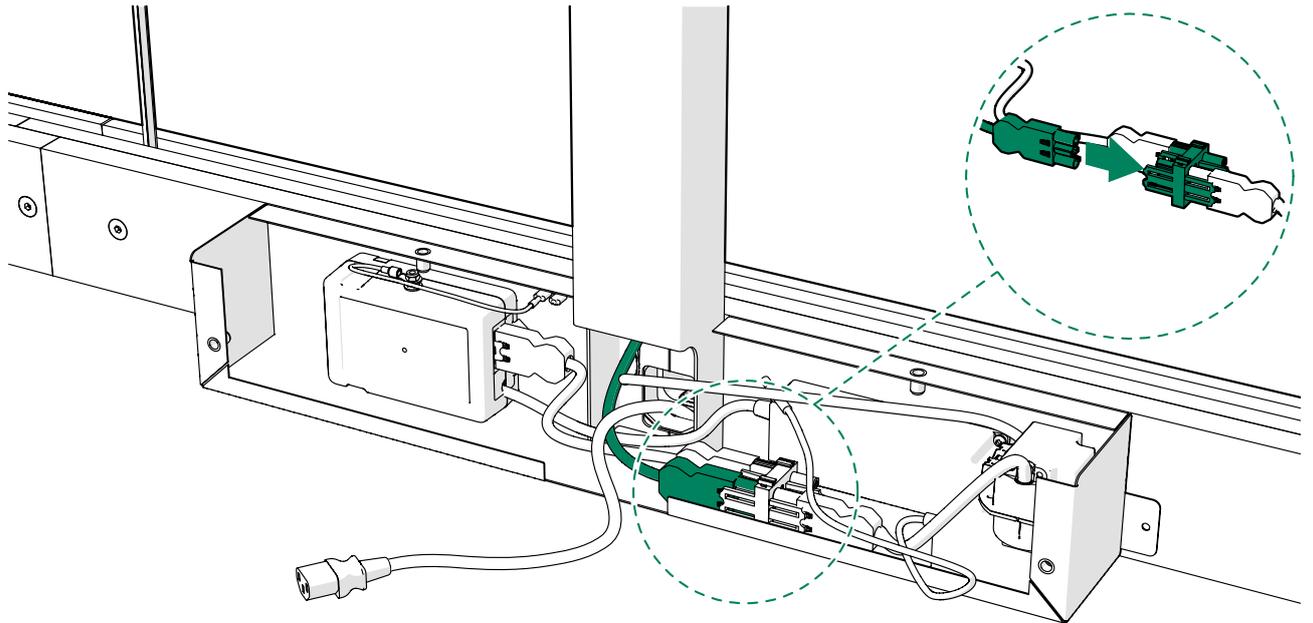


14. 電源コードを屋根から設置する場合は、電源コードを天井のフェルトの小さい方の開口部からパワーコラムに通し、パワーコラムの下端の開口部から出してください。

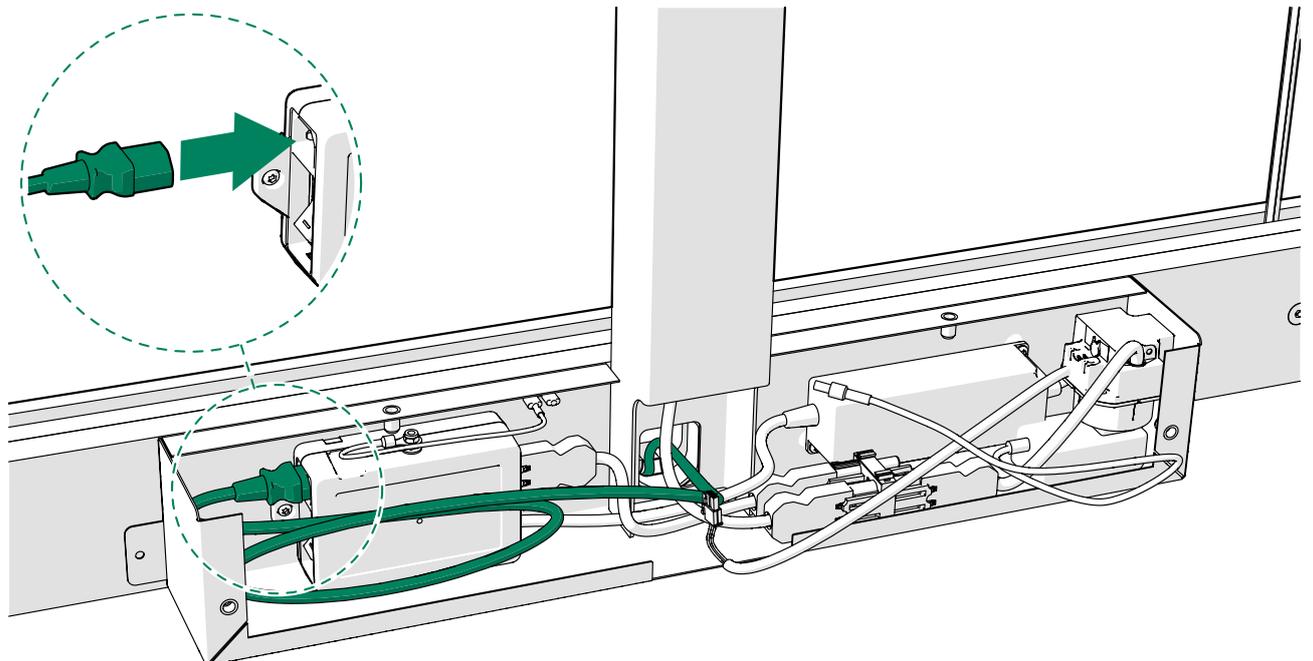


15. 電源コンセントコードのコネクタをGSTスプリッターに接続してください。

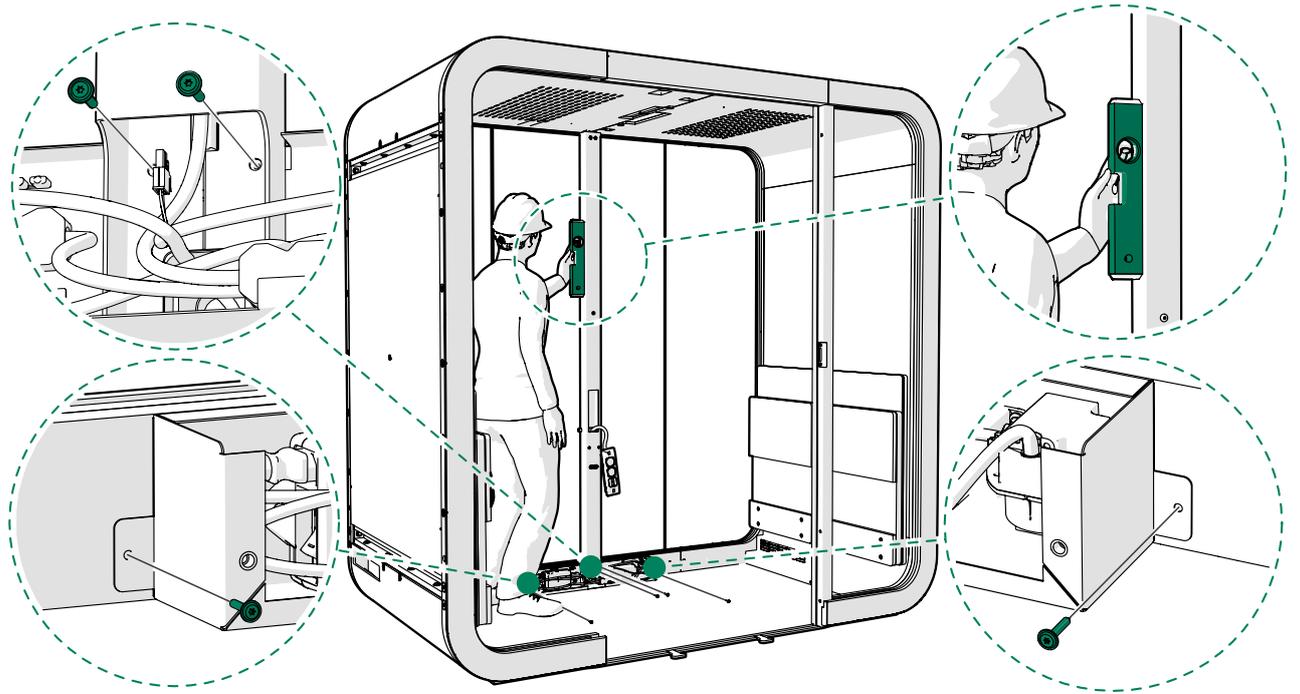
❗ 注：電源ユニットからのコードと電源配線がGSTスプリッターに接続されているか確認してください。



16. 電源コードを電源ユニットに接続してください。

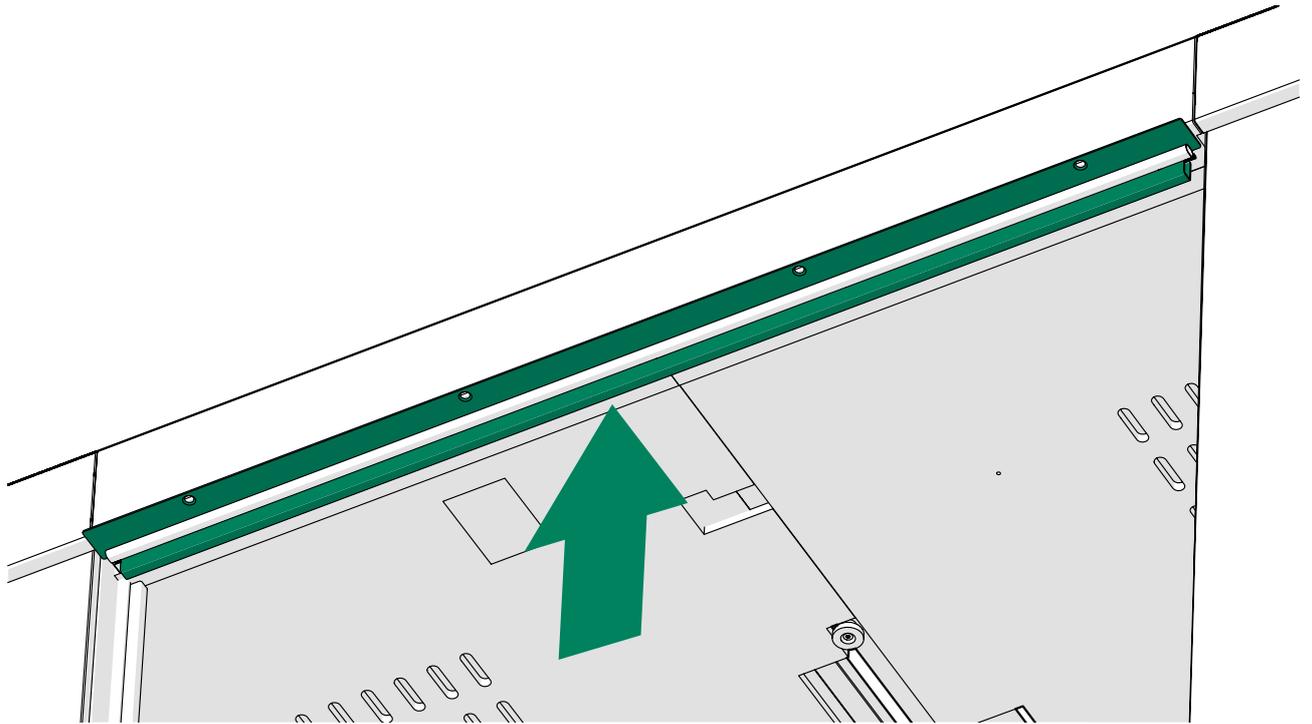


17. 水準器でパワーコラムの真直度をチェックし、パワーコラムの下端とメタルボックスを黒の4.2x25ネジ(各2個)で取り付けてください。

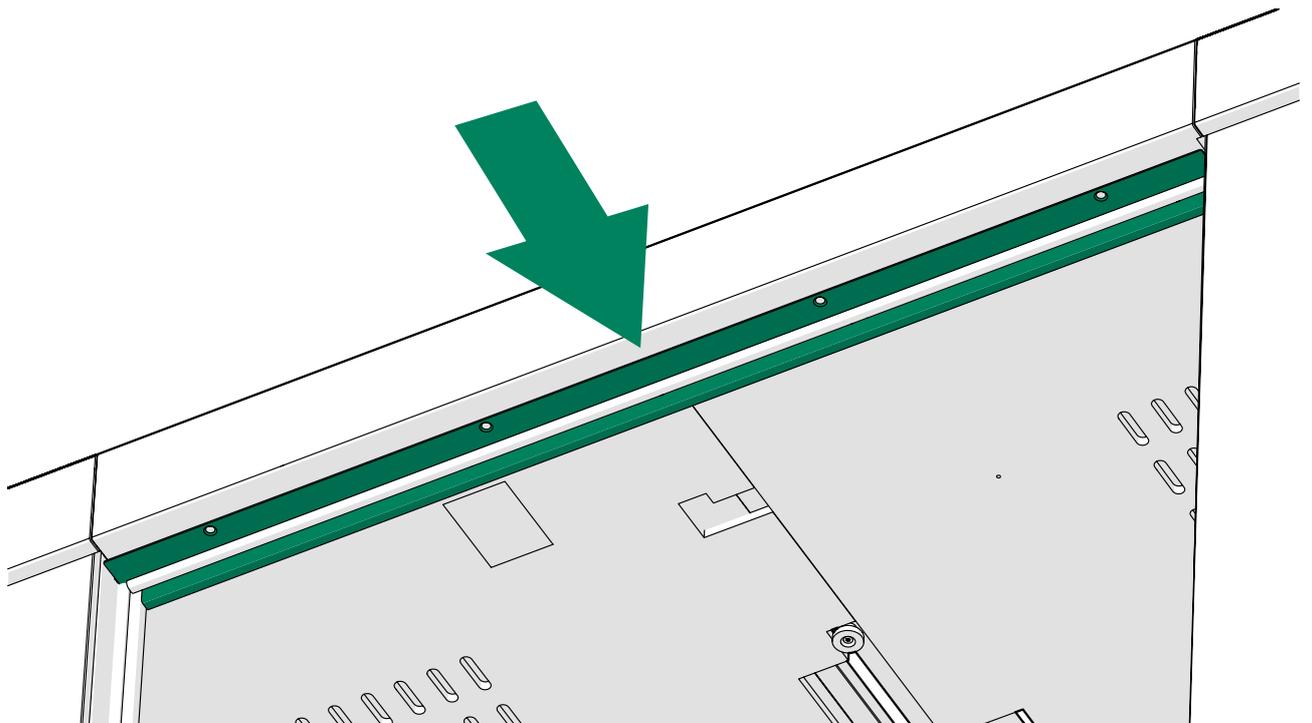


## 13 天井用敷居の設置

1. 天井の敷居をフロントセンターフレームまで持ち上げてください。

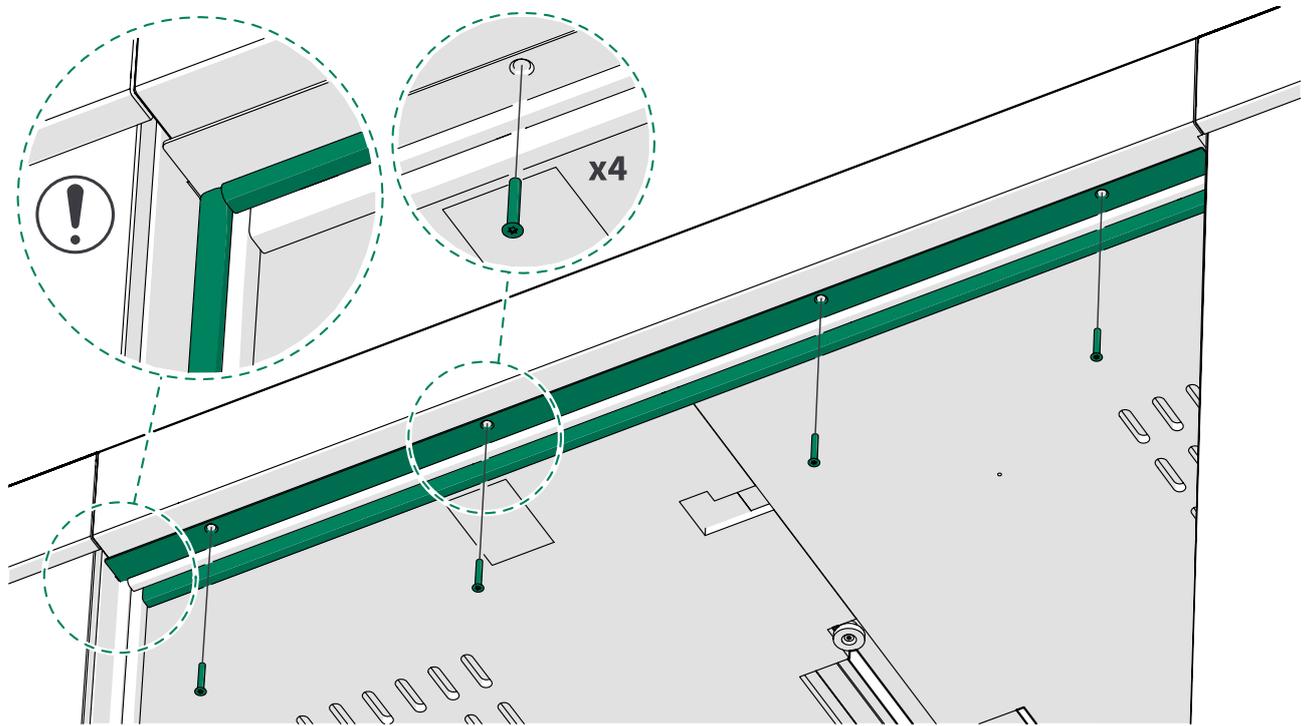


2. 敷居をドアフレームに対して内側にスライドさせてください。



**3. 黒の5x30ネジ (4個) で天井の敷居を取り付けてください。**

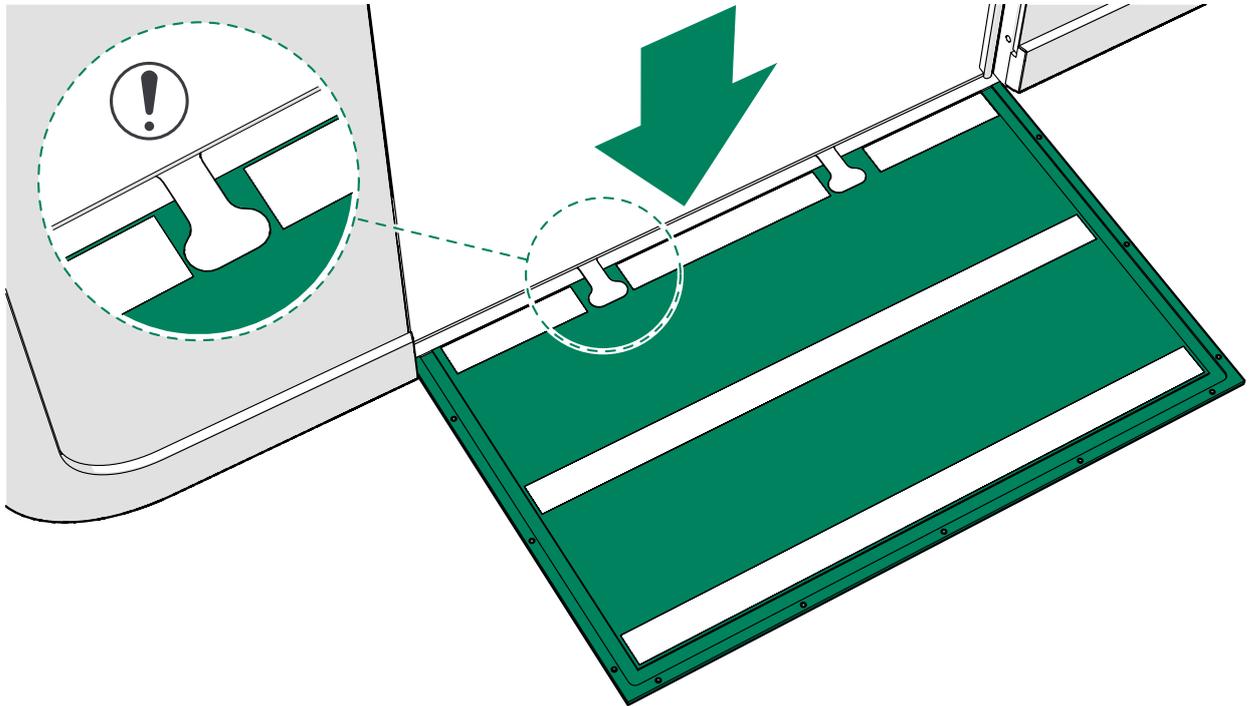
- ① 注：サイドフレームガスケットが敷居とドアフレームの間に挟まっていないことを確認してください。サイドフレームガスケットを必要に応じて、適切な長さに切ってください。
- ① 注：サイドフレームガスケットと敷居ガスケットが重ならないようにしてください。敷居ガスケットを必要に応じて、適切な長さに切ってください。



## 14 スロープの設置

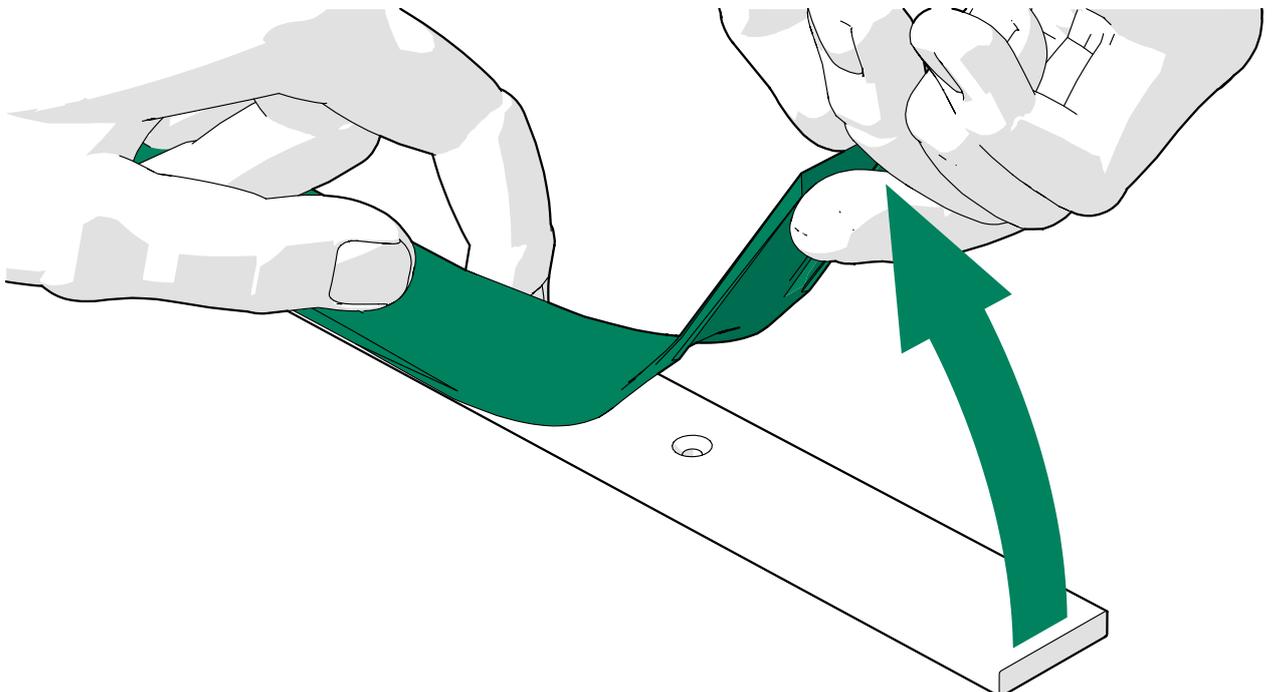
1. スロープボードを所定の位置にセットしてください。

❗ 注：スロープボードの穴とフロアボードのコネクタが一致しているか確認してください。



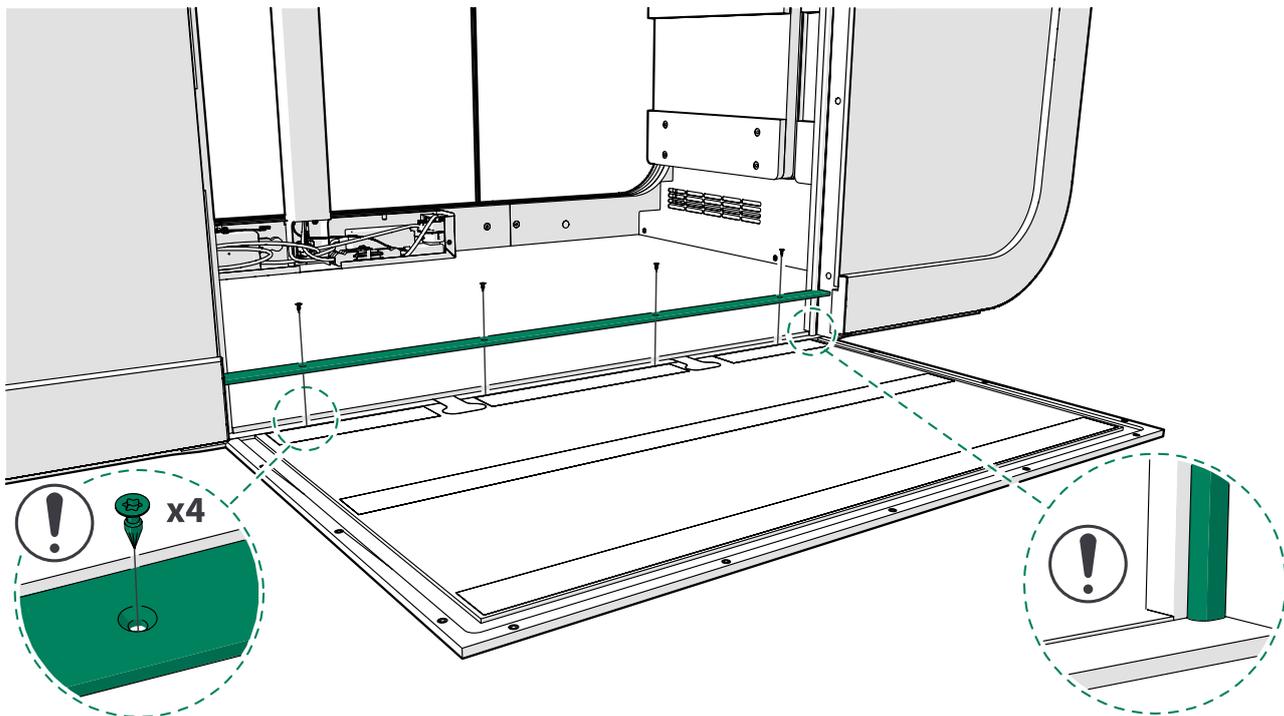
2. 敷居に貼られている保護シールを剥がしてください。

❗ 注：敷居には4つのネジ穴があります。

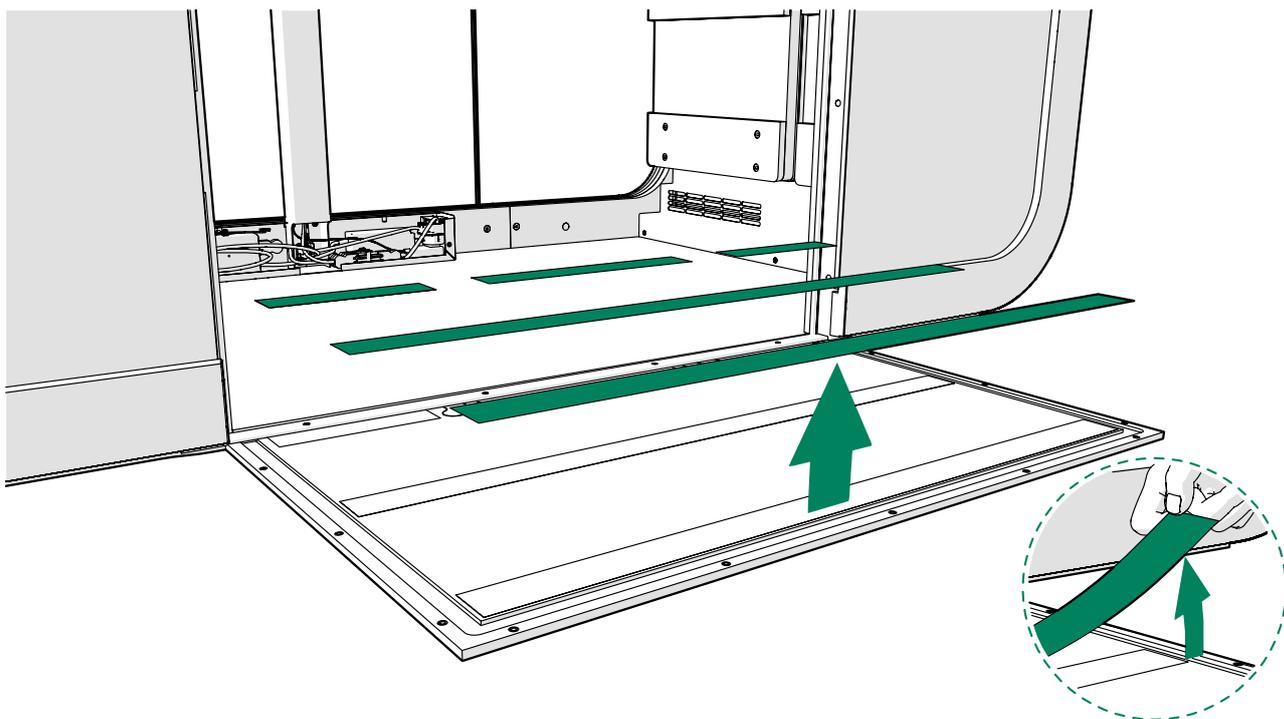


3. 3x12のネジ (4個) で敷居を出入口に取り付けてください。

- ❗ 注：皿穴を上にして配置してください。
- ❗ 注：サイドフレームガスケットが敷居とドアフレームの間に挟まっていないことを確認してください。サイドフレームガスケットを必要に応じて、適切な長さに切ってください。

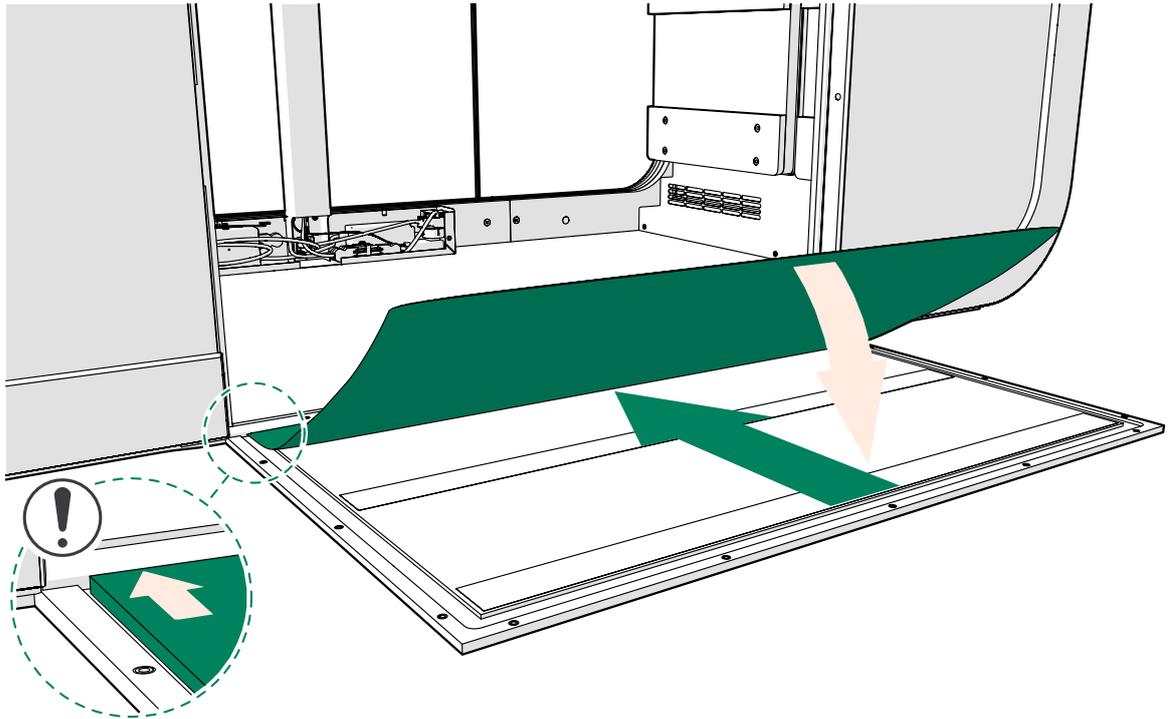


4. スロープボードに貼られているシールから保護紙を剥がしてください。

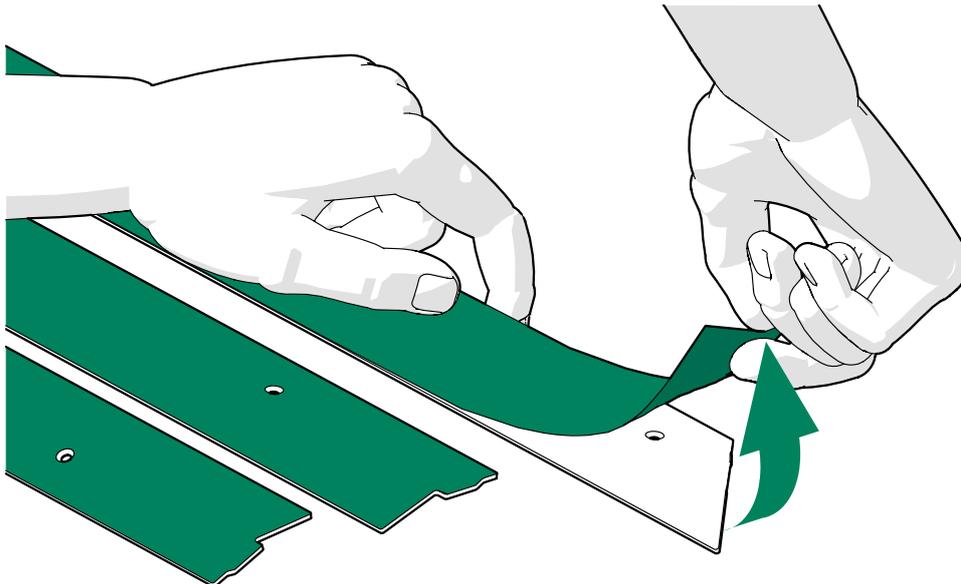


5. スロープカーペットが敷居の下を通るようにして、カーペットをスロープボードのシールに押し付けてください。

❗ 注：敷居が所定の位置で、ランプカーペットを固定しているか確認してください。

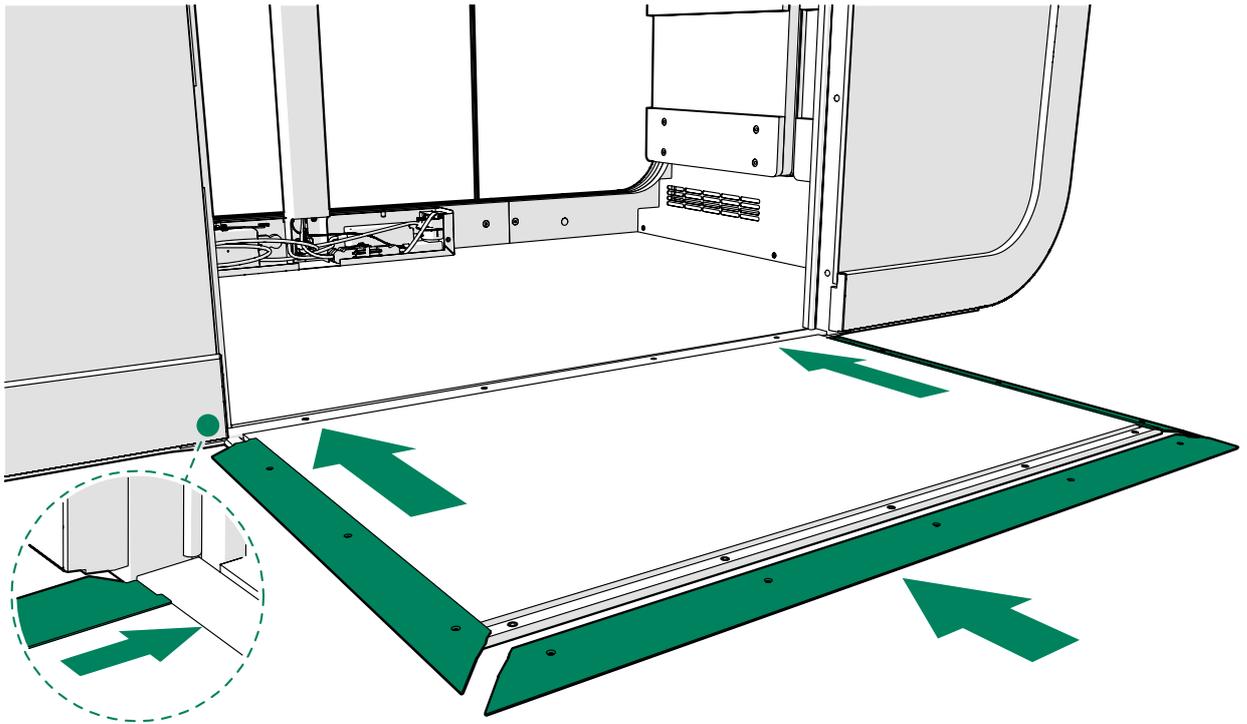


6. 保護シールをメタルストリップ (3個) から剥がしてください。

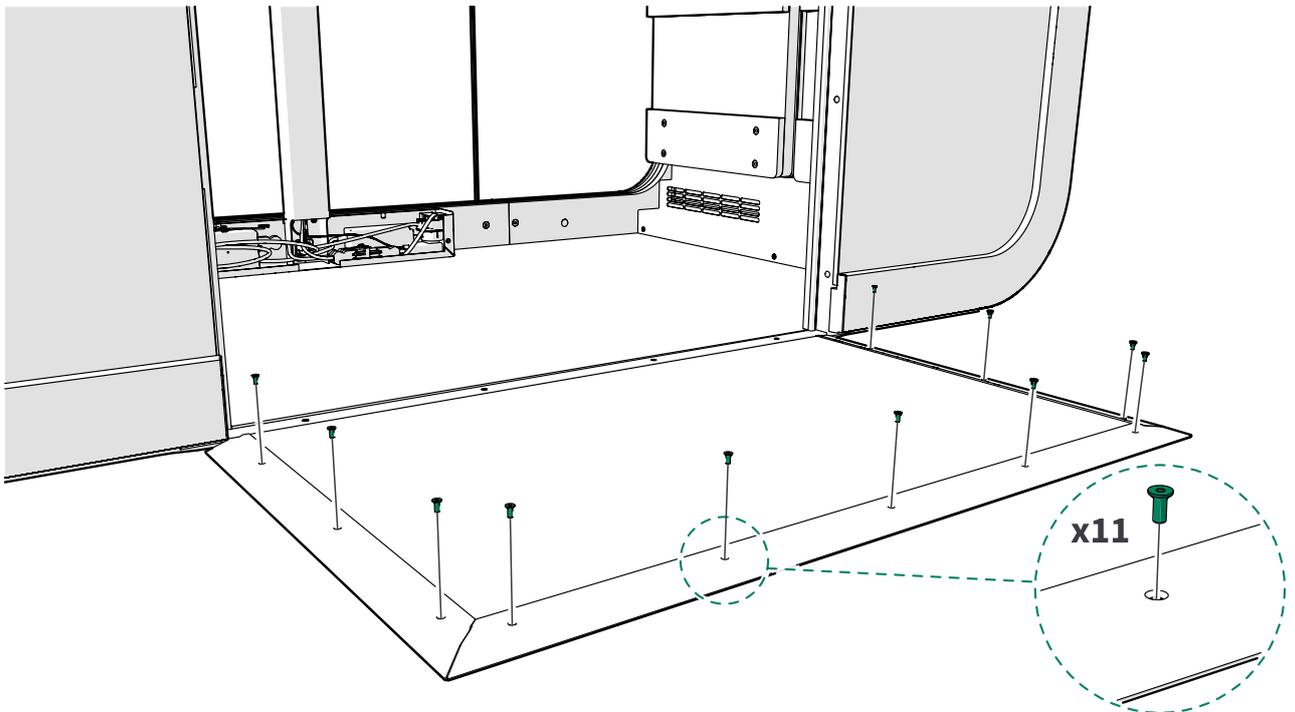


7. メタルストリップをスロープボードの下端に置き、押し込んで固定してください。

ⓘ 注：カーペットの切り込み部分をサイドフレームに当てて設置してください。



8. メタルストリップをM4x10のネジ (11個) で取り付けてください。

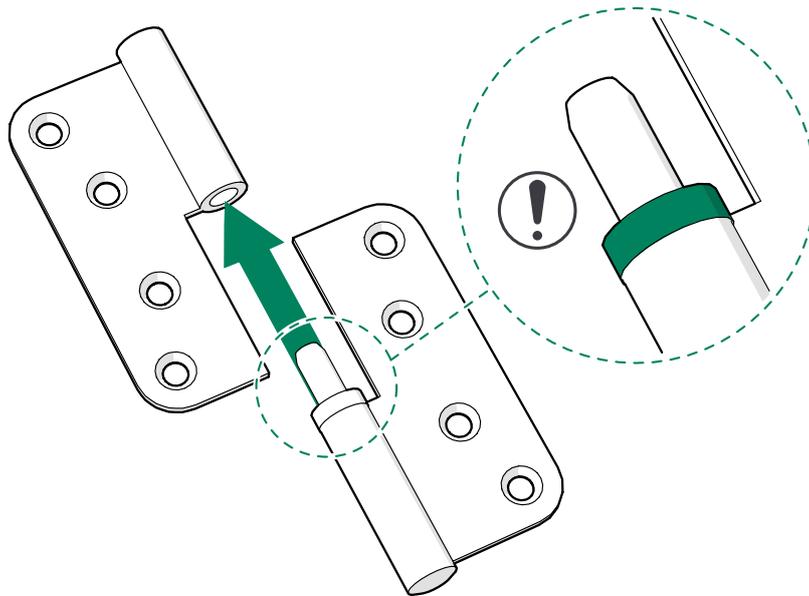


## 15 ドアの設定

### 15.1 ドアの設定

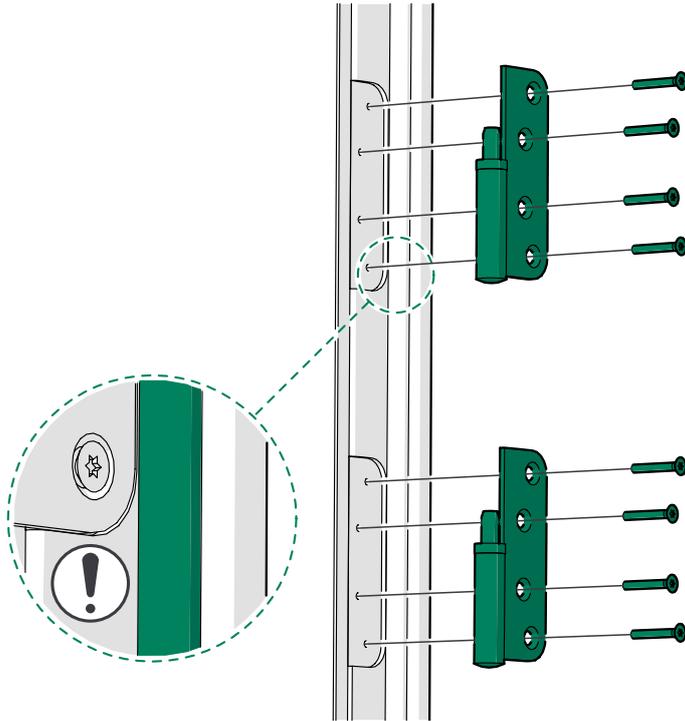
1. ヒンジの半分を取り外してください。

- ① 注：ヒンジの黒いテープは剥がさないでください。このテープは、ガラス部分をヒンジ部分の金属から保護するために必要です。
- ① 注：ヒンジの半分を取り外す際には、ワッシャーが所定の位置にあることを確認してください。



2. 上部フレームリーフ (2個) を、5x30のネジ (各4個) でドアフレームに取り付けてください。

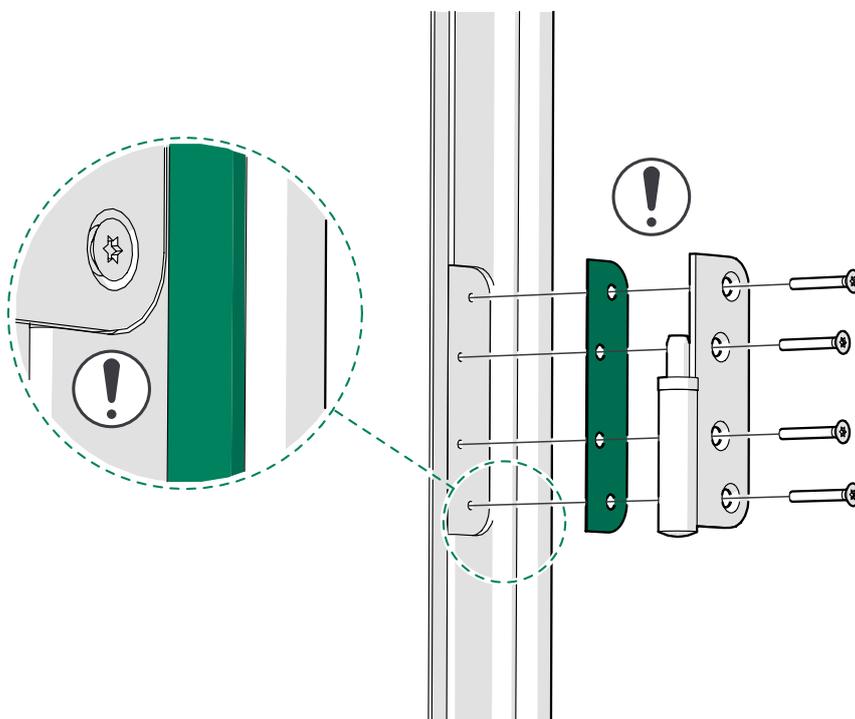
❗ 注：ドアガスケットがヒンジとドアフレームの間に挟まれていないことを確認してください。



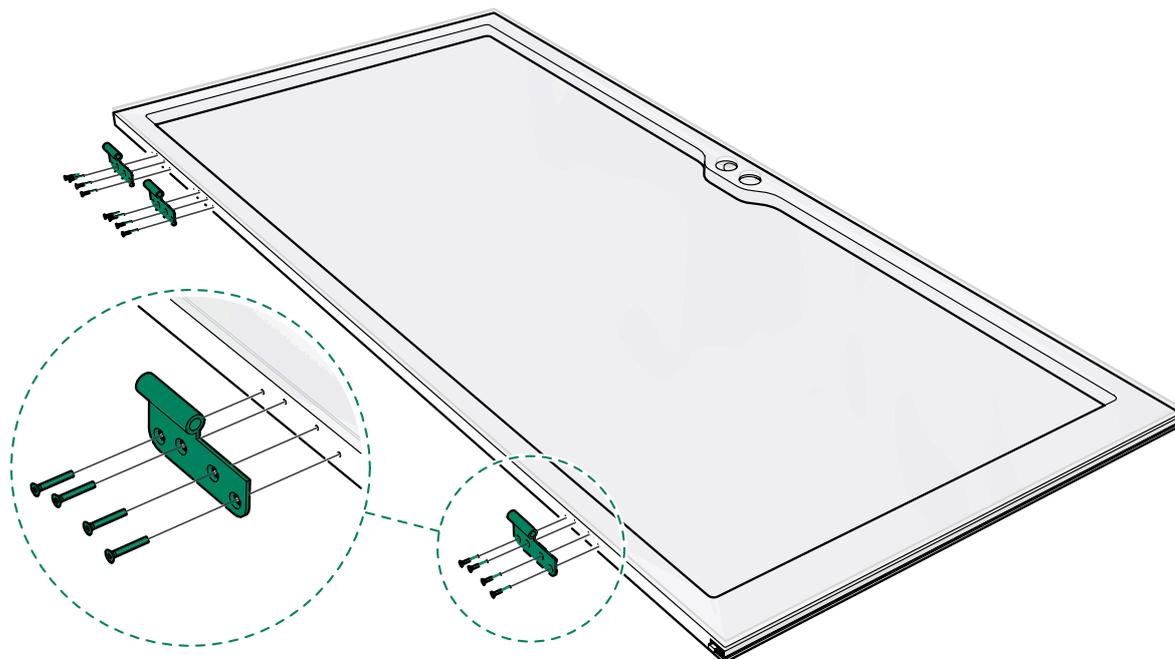
3. 下部フレームリーフ (1個) を、5x30のネジ (各4個) でドアフレームに取り付けてください。必要に応じて、厚さ1mmのアジャスタープレート (最大2枚) を、ヒンジの取り付け穴に取り付けてください。

❗ 注：アジャスタープレートは、下部ヒンジの下にのみ取り付けてください。

❗ 注：ドアガスケットがヒンジとドアフレームの間に挟まれていないことを確認してください。

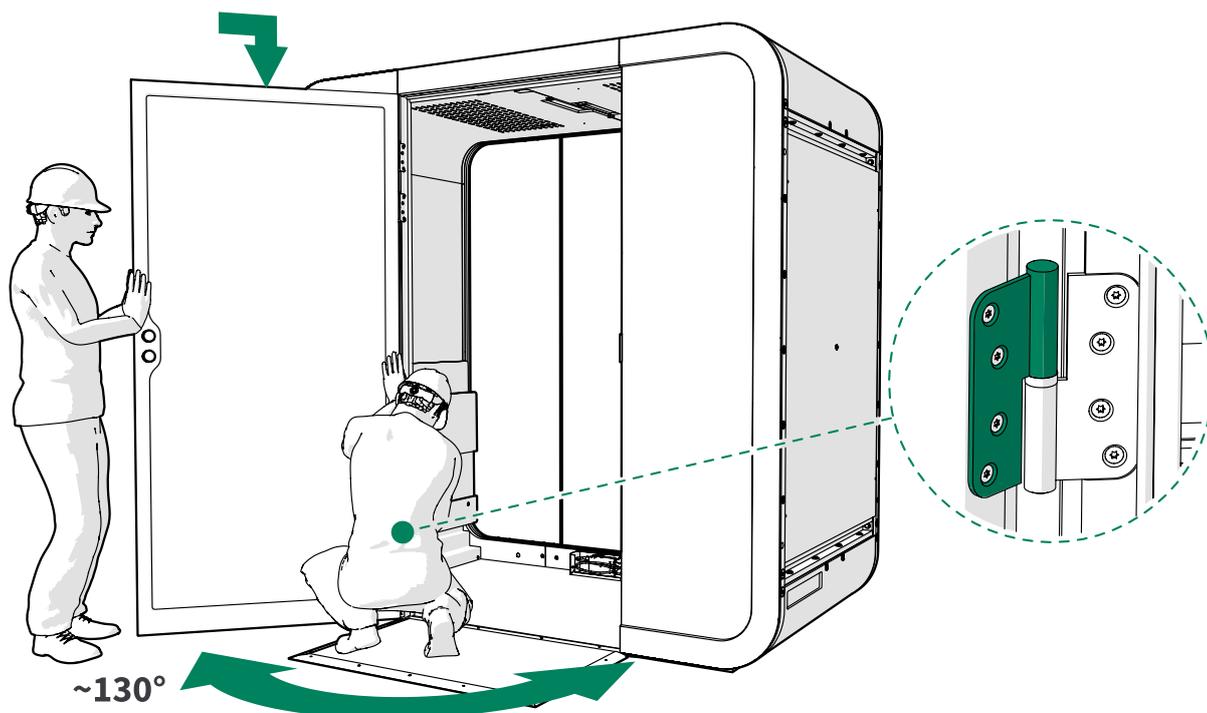


4. 5x30のネジ (各4個) でドアリーフをドアに取り付けてください。手動工具でネジを締めてください。



5. ドアを持ち上げて、開いた状態 (~130°) にしてください。

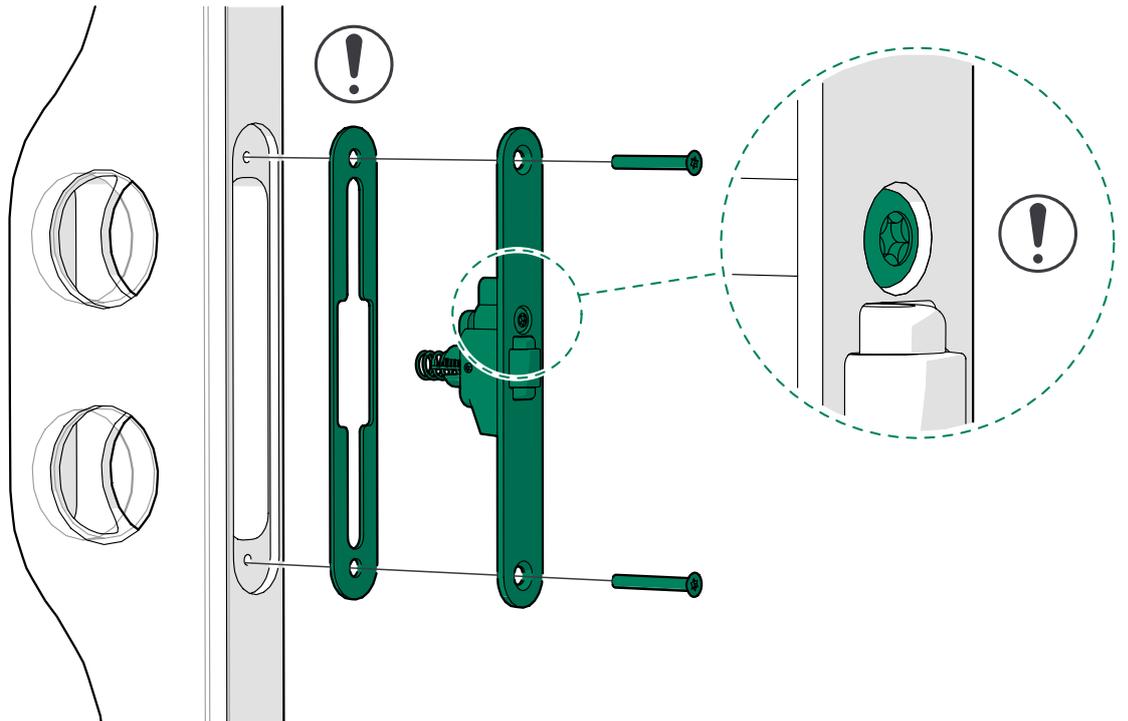
**⚠ 警告：** ドアを持ち上げる際は、2人で作業をしてください。下部ヒンジが正しい場所に収まっているか確認してください。



## 15.2 ロックケースの設置

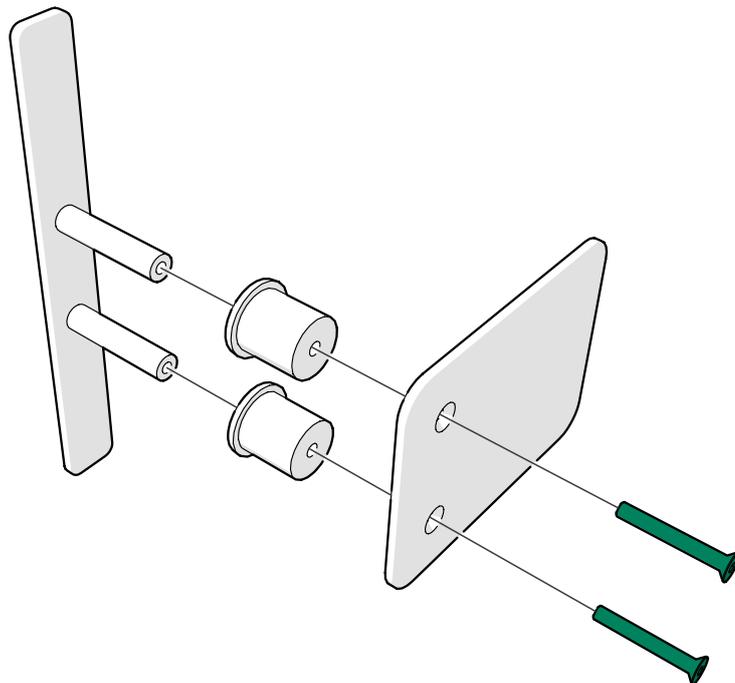
1. ロックケースをM5x30のネジ (2個) でドアに取り付けてください。

- ① 注：ロックケースの下にあるアダプタープレートをドアに取り付けてください。
- ① 注：調節ネジがローラーラッチの上にあるか確認してください。

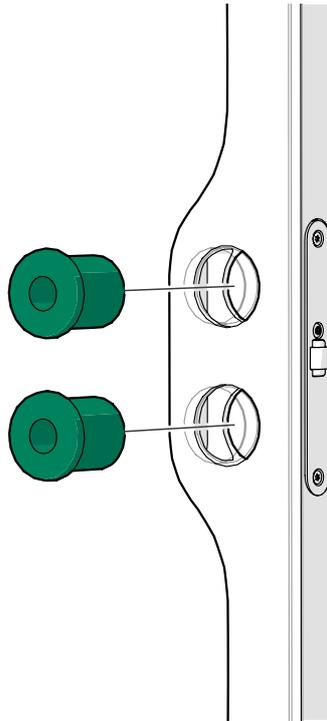


### 15.3 ドアハンドルの設置

1. ドアハンドル組立部品からM8x35ネジ (2個) を外してください。

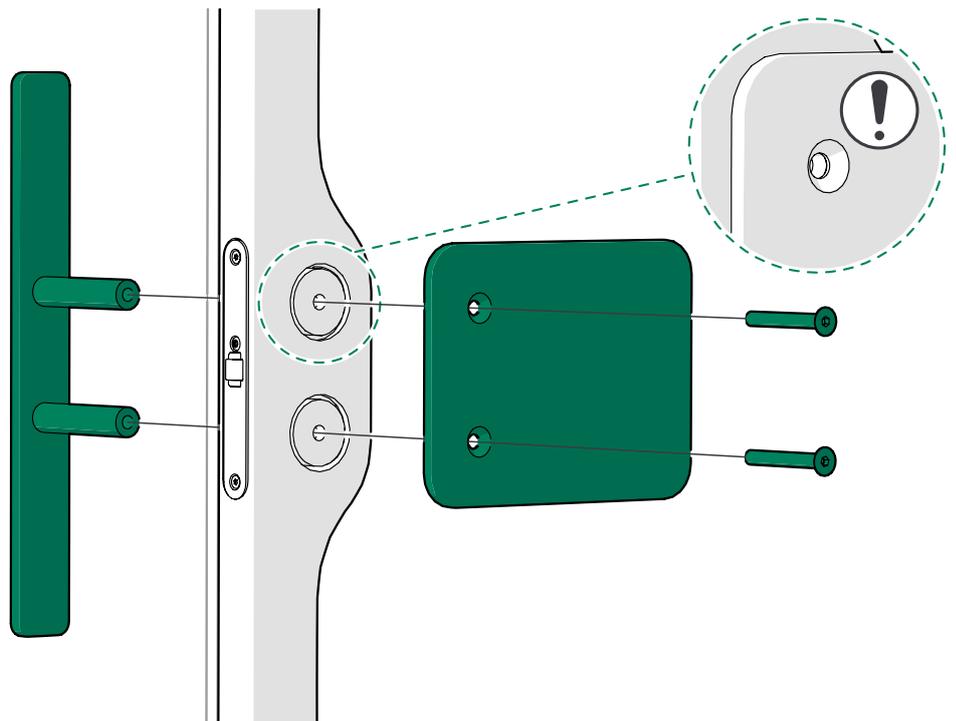


2. ナイロンケースを外側からドアの穴に入れてください。



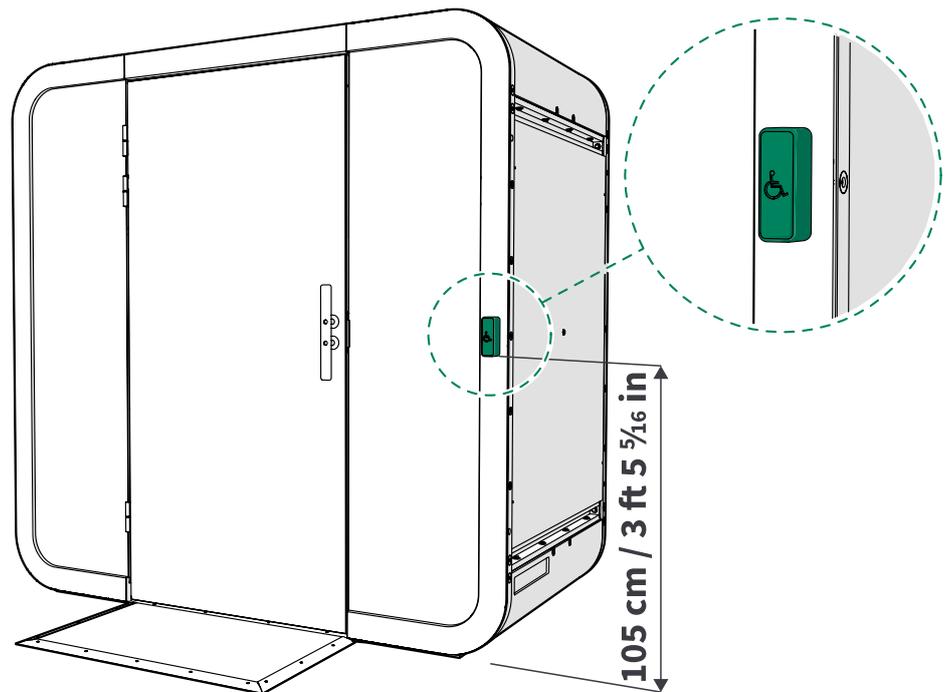
3. ナイロンケースにハンドルを通し、黒のM8x35ネジ (2個) で PUSHプレートに取り付けてください。

- ⓘ 注： PUSHプレートがドアの内側にあるか確認してください。
- ⓘ 注： 皿穴が外側になっているか確認してください。

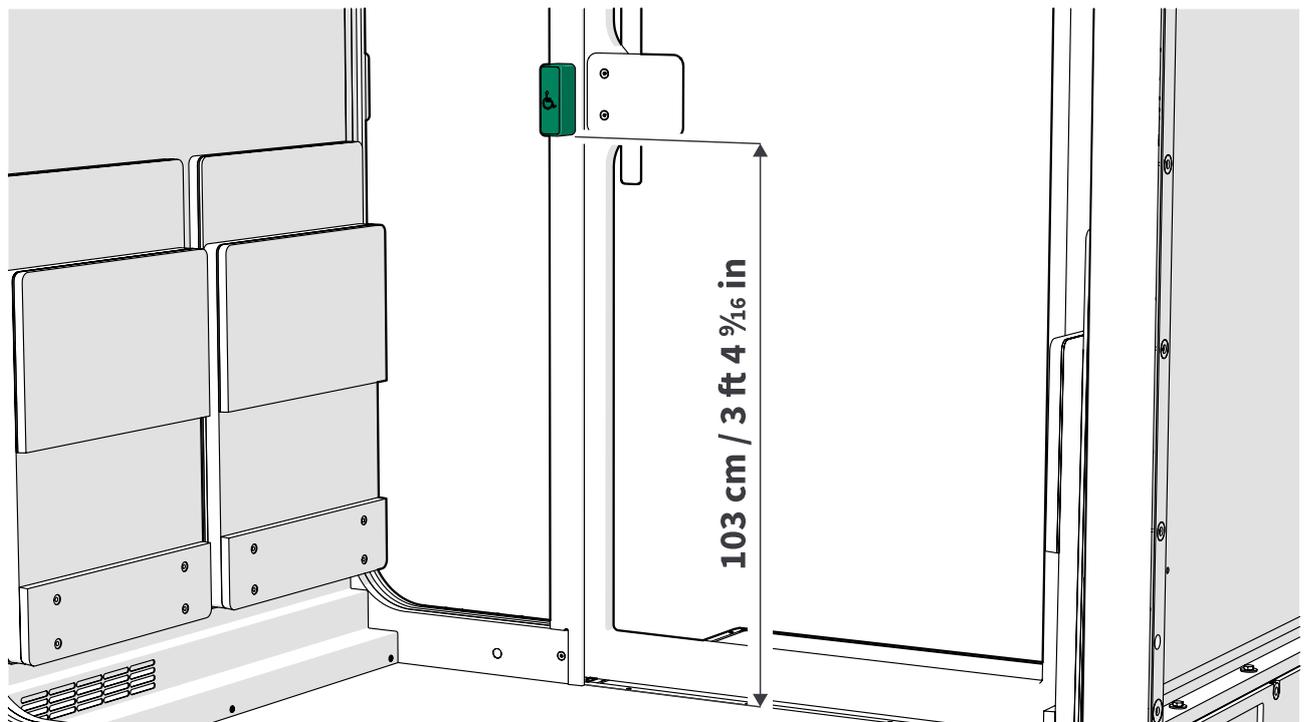


## 15.4 押しボタンの取り付け

- ❗ 注：ポッド外面のフロントフレーム右側に押しボタン用バックプレートを高さ105cmの位置に取り付けてください。

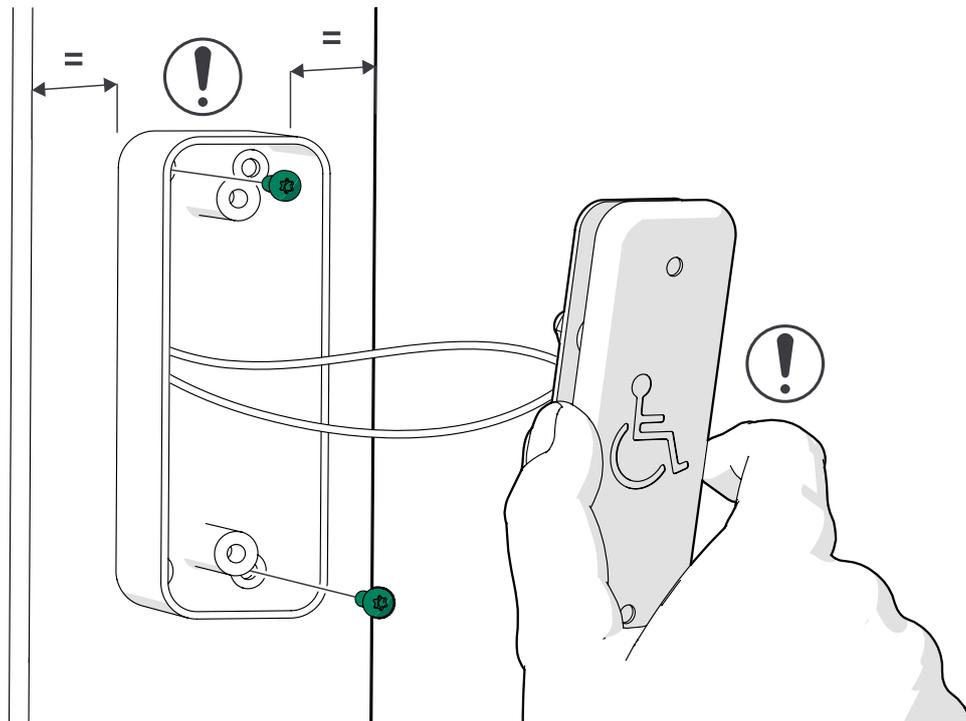


- ❗ 注：ポッド内面のガラスフレーム左側にもう一枚の押しボタン用バックプレートを高さ103cmの位置に取り付けてください。



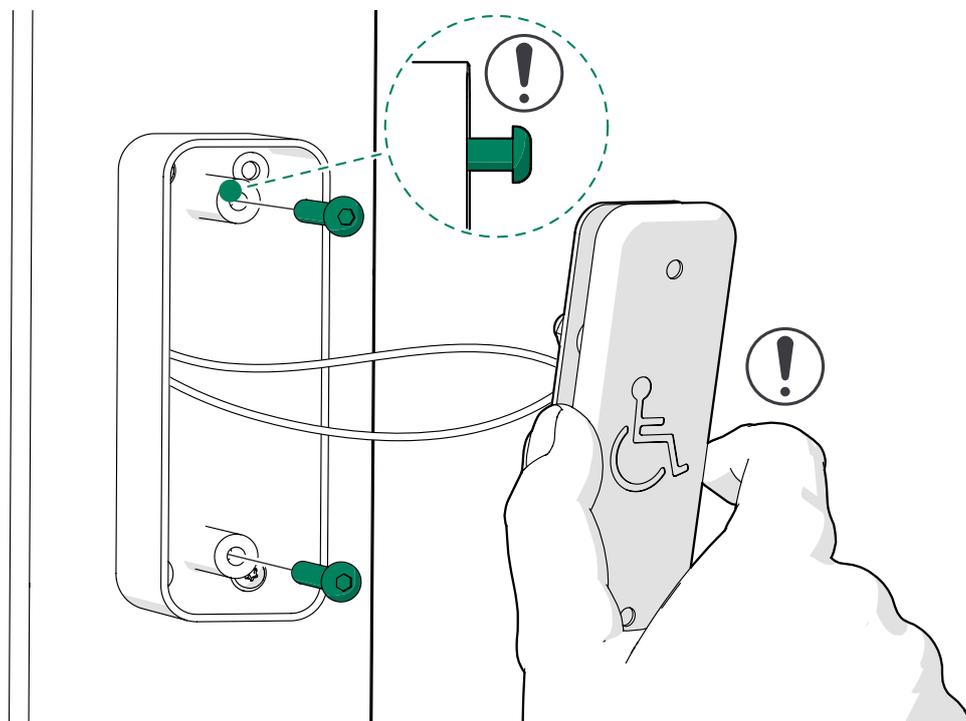
1. 押しボタン用バックプレートを、セルフタッピング・プラスネジ (2個) で取り付けてください。

- ① 注：ガラスをネジで傷つけない為に、押しボタン用バックプレートはフレーム中央部に設置してください。
- ① 注：押しボタン用カバーがコードにぶら下がらないようにしてください。

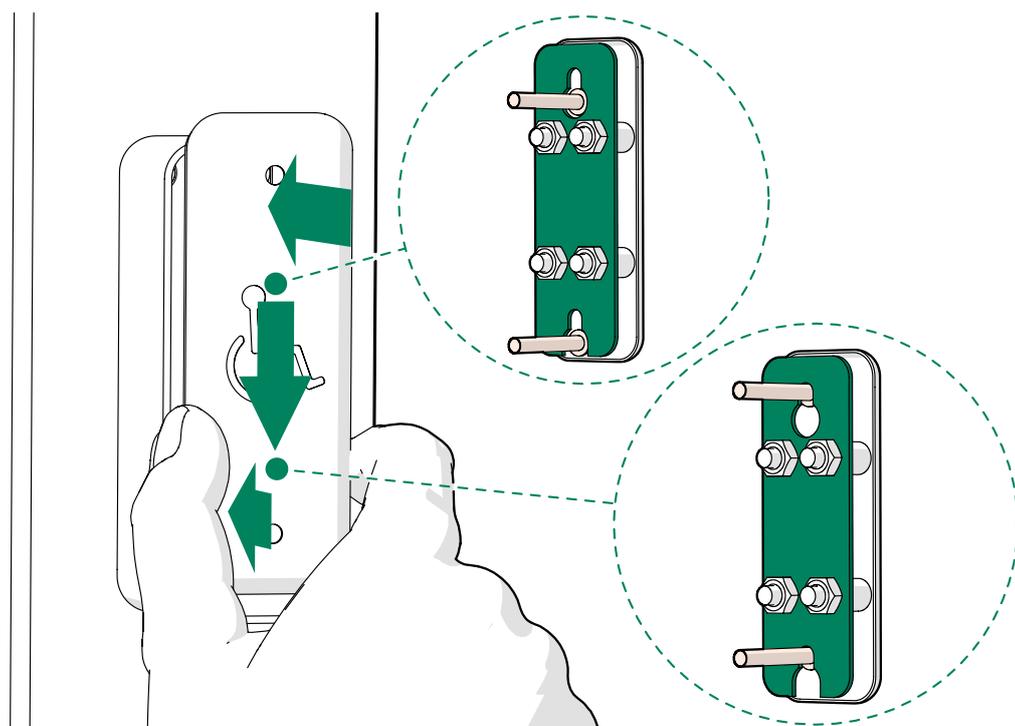


2. 押しボタン用ケースに六角ネジを取り付けてください。

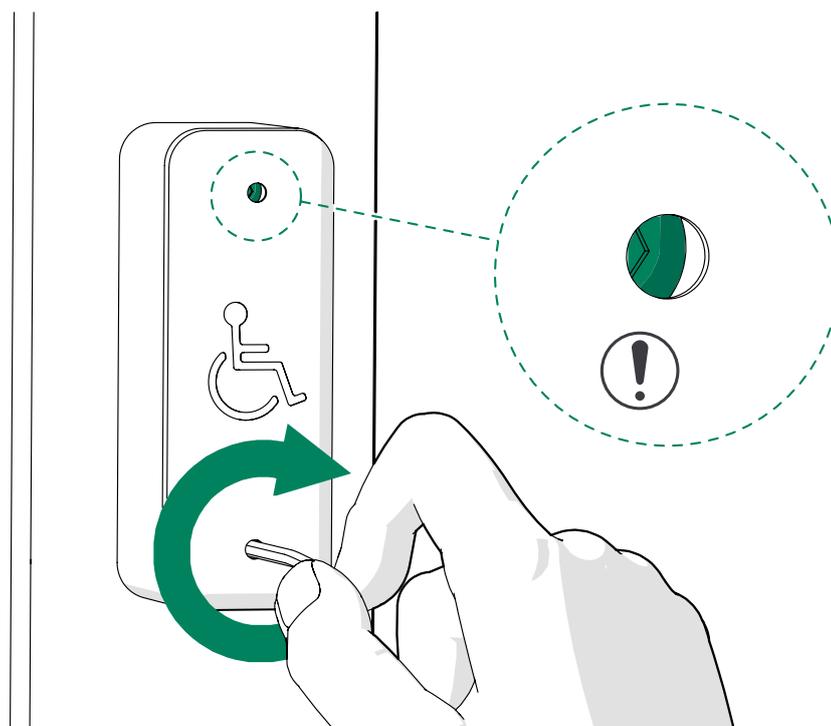
- ① 注：ネジが少し残る状態で取り付けてください。
- ① 注：押しボタン用カバーがコードにぶら下がらないようにしてください。



3. 押しボタンカバーを取り付けてください。  
押しボタン用カバーにある丸穴にネジを入れてください。その後、下にスライドさせながらカバーを正しい位置へ固定してください。



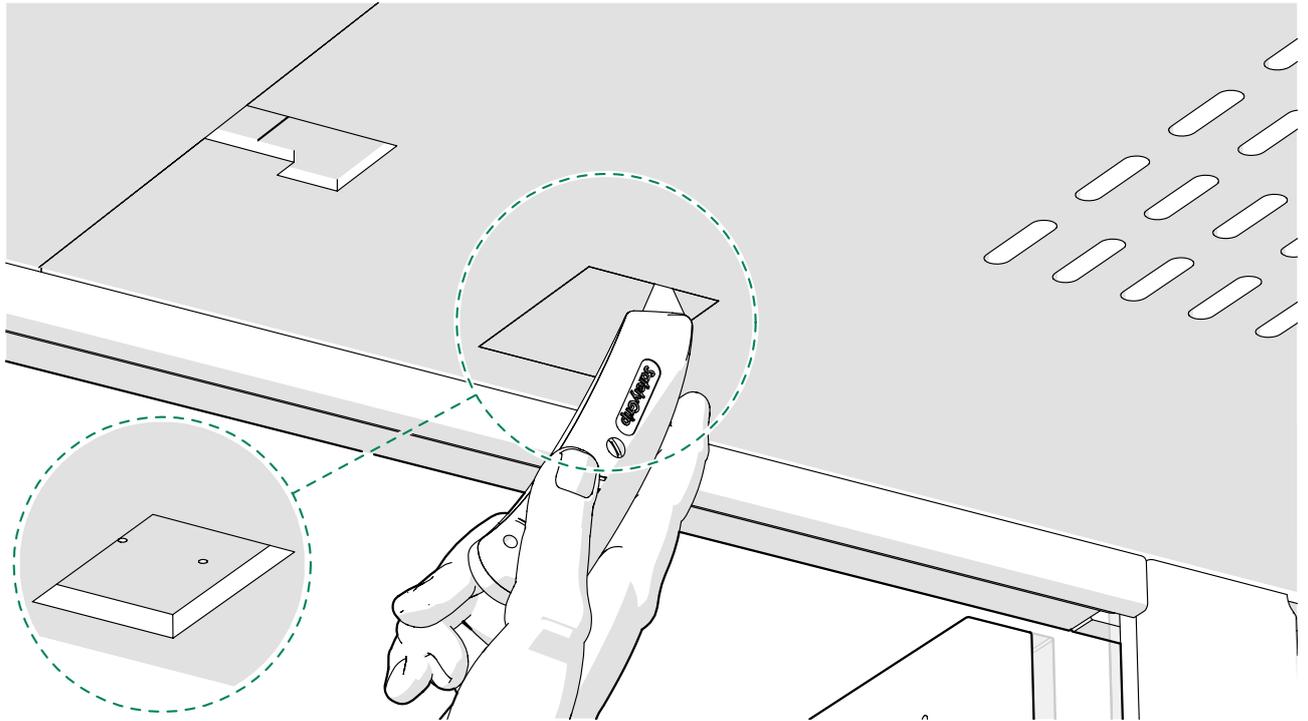
4. 押しボタンカバーの穴から六角ネジを締めてください。  
⚠ 注：上下のネジを順番に、回らなくなるまで締めてください。



5. 1～4の手順を繰り返しポッド内面の押しボタンを設置してください。

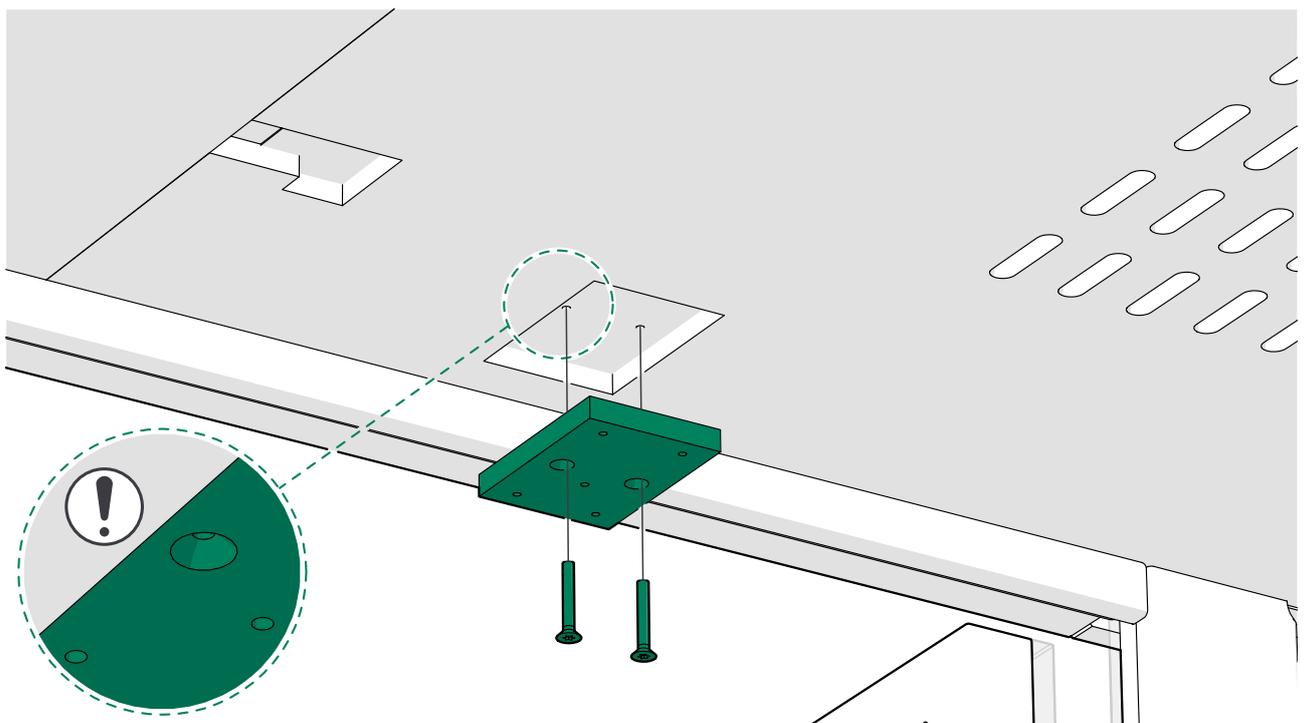
## 16 ドアオープナーの設置

1. 天井のフェルト開口部を一部切ってください。



2. ドアオープナーアームのベースプレートに5x30ネジ (2個) で取り付けてください。

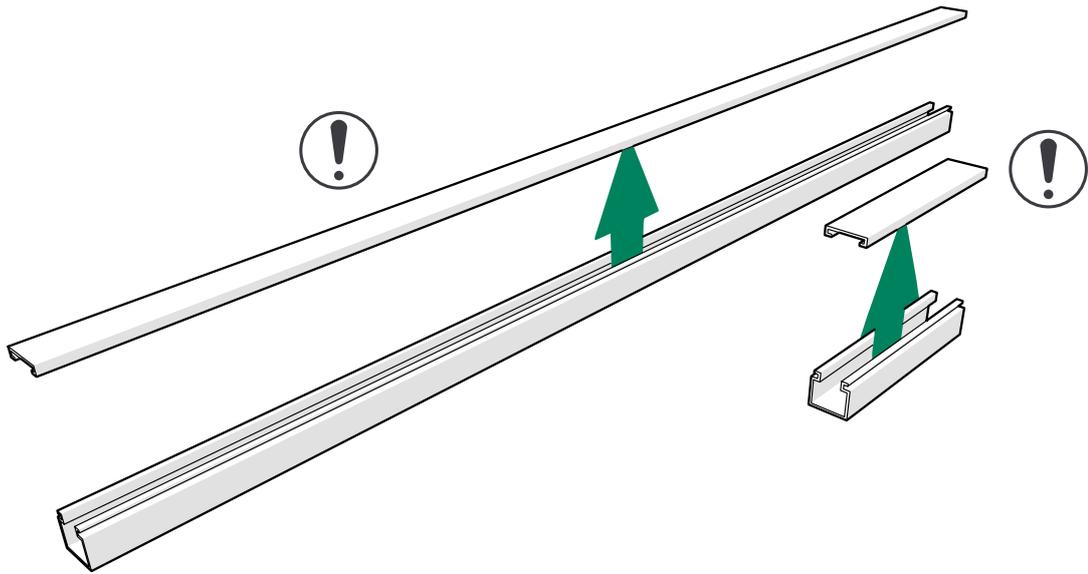
⚠ 注：皿穴が下向になっているか確認してください。



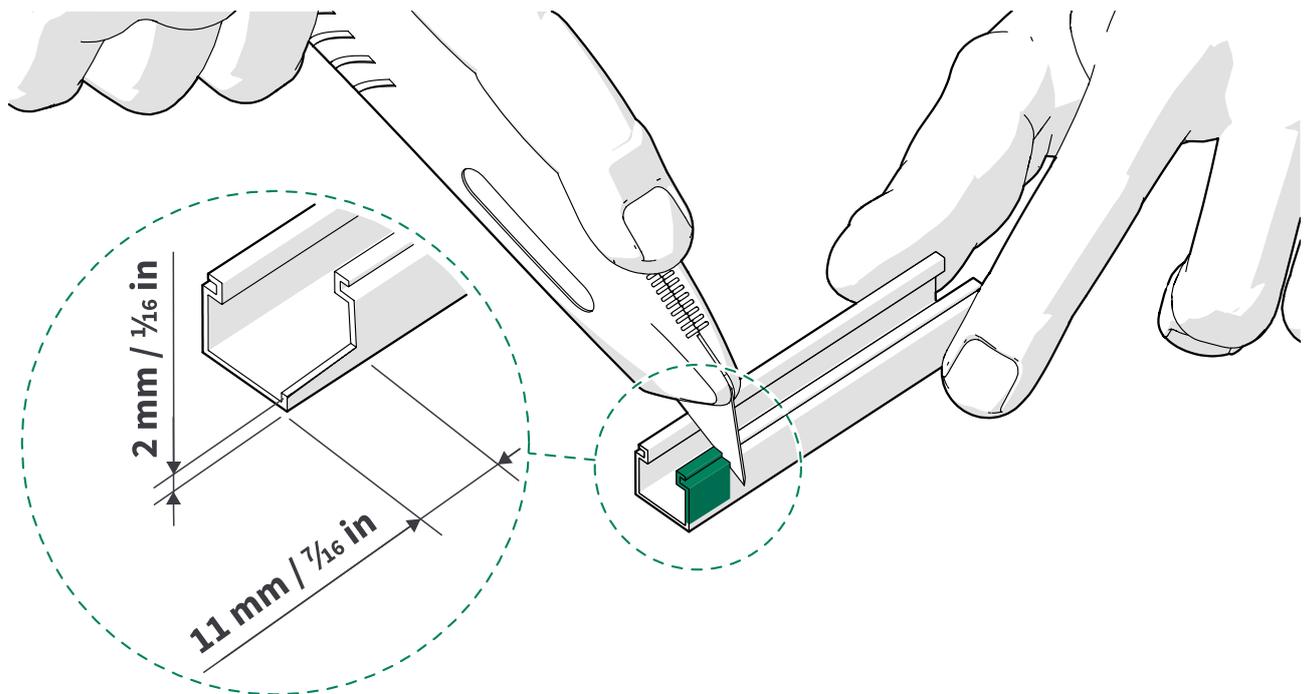
### 16.1 電気配線ダクトの設置

1. 電気配線ダクトのカバーを外してください。

ⓘ 注：カバーは、近くに置いておいてください。



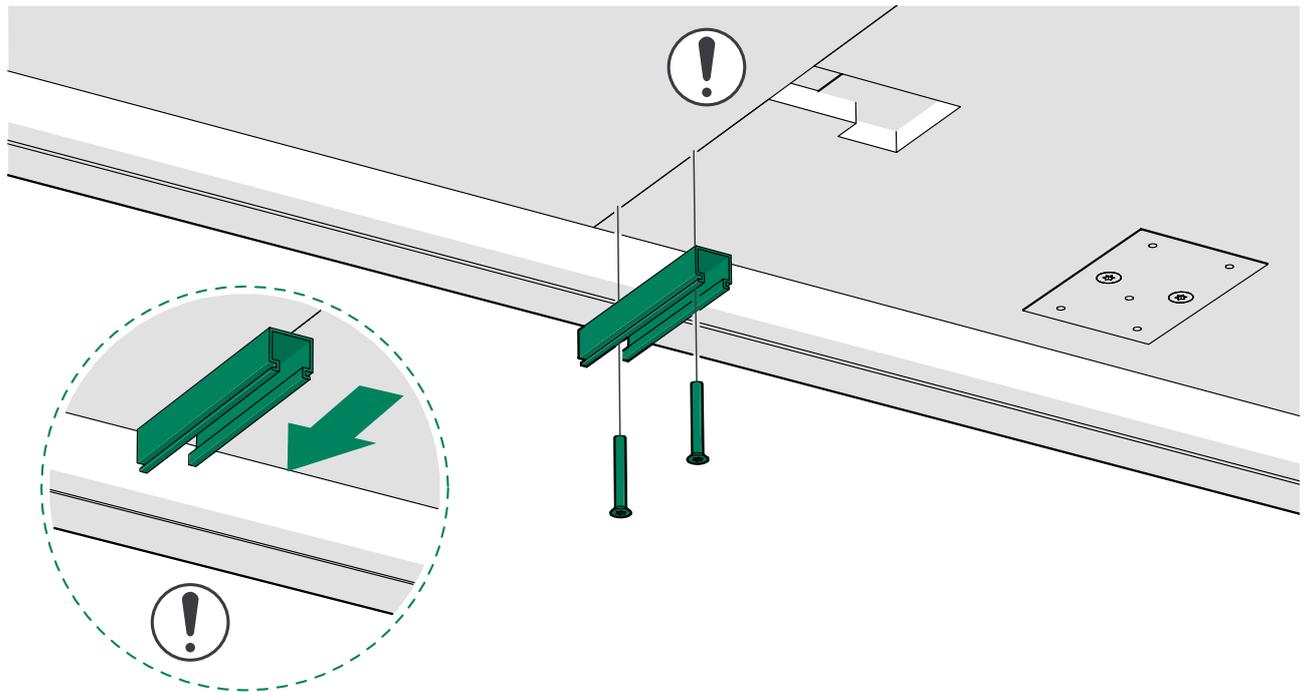
2. 短い方の電気配線ダクトから一部分(幅11mm)を切り取ってください。その際に切り口には、高さ2mmが残る状態にしておいてください。



3. 短い方の電気配線ダクトを4×30のネジ (2個) で天井に取り付けてください。

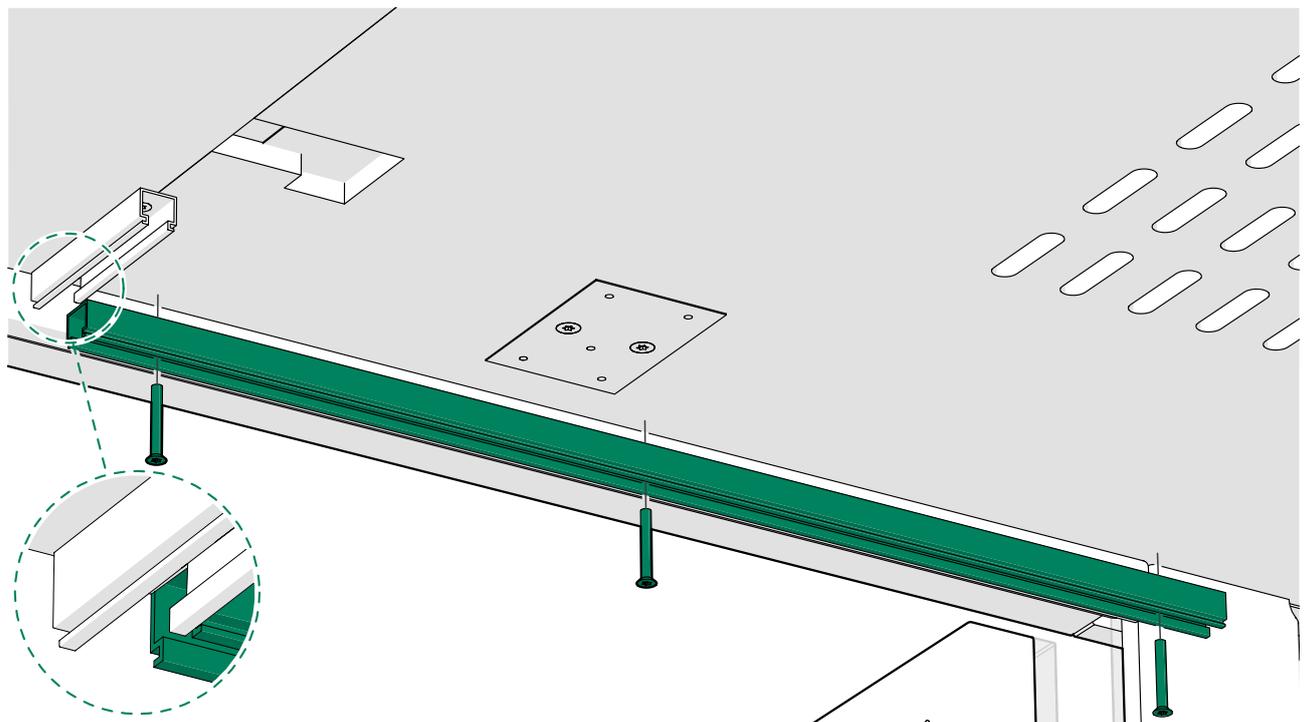
❗ 注：ダクトの切り口が天井敷居に当たっているか確認してください。

❗ 注：天井のフェルト中心線を真ん中の基準にしてください。



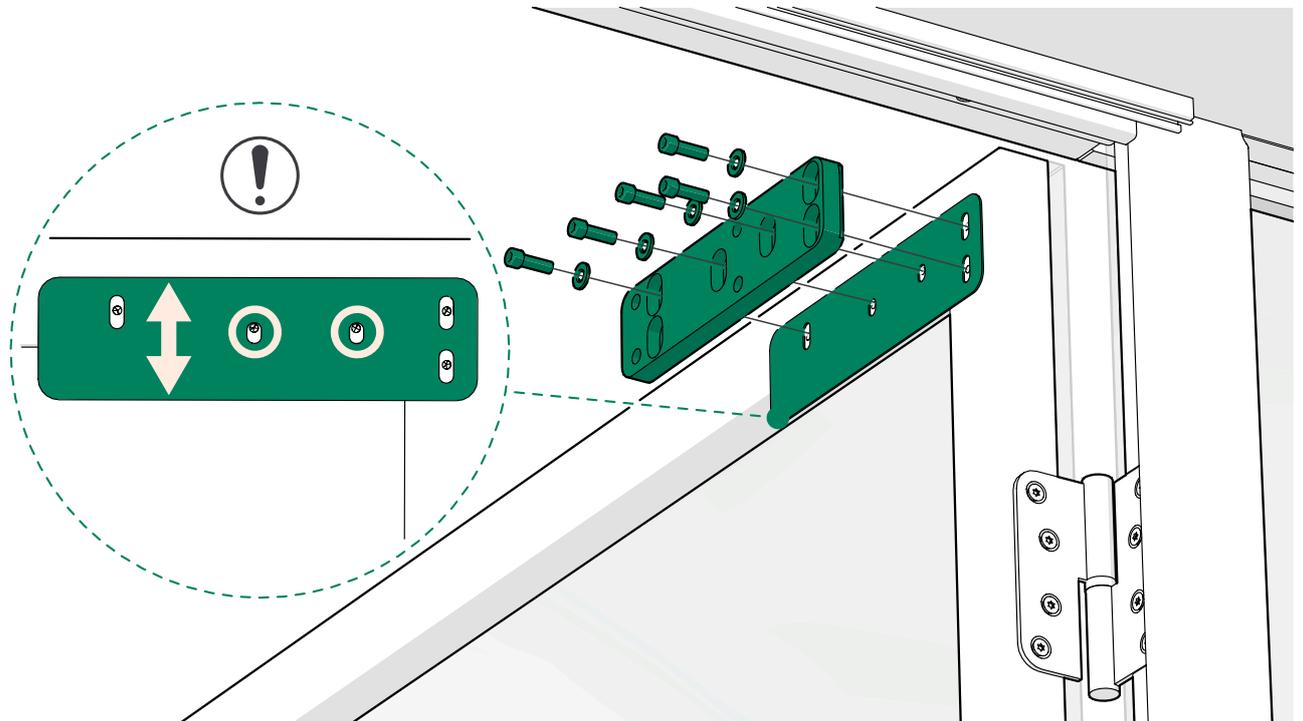
4. 長い方の電気ダクトを天井敷居の側面に沿って4x30のネジ (3個) で取り付けてください。

❗ 注：長い方のダクトが短い方のダクトに接しているか確認してください。

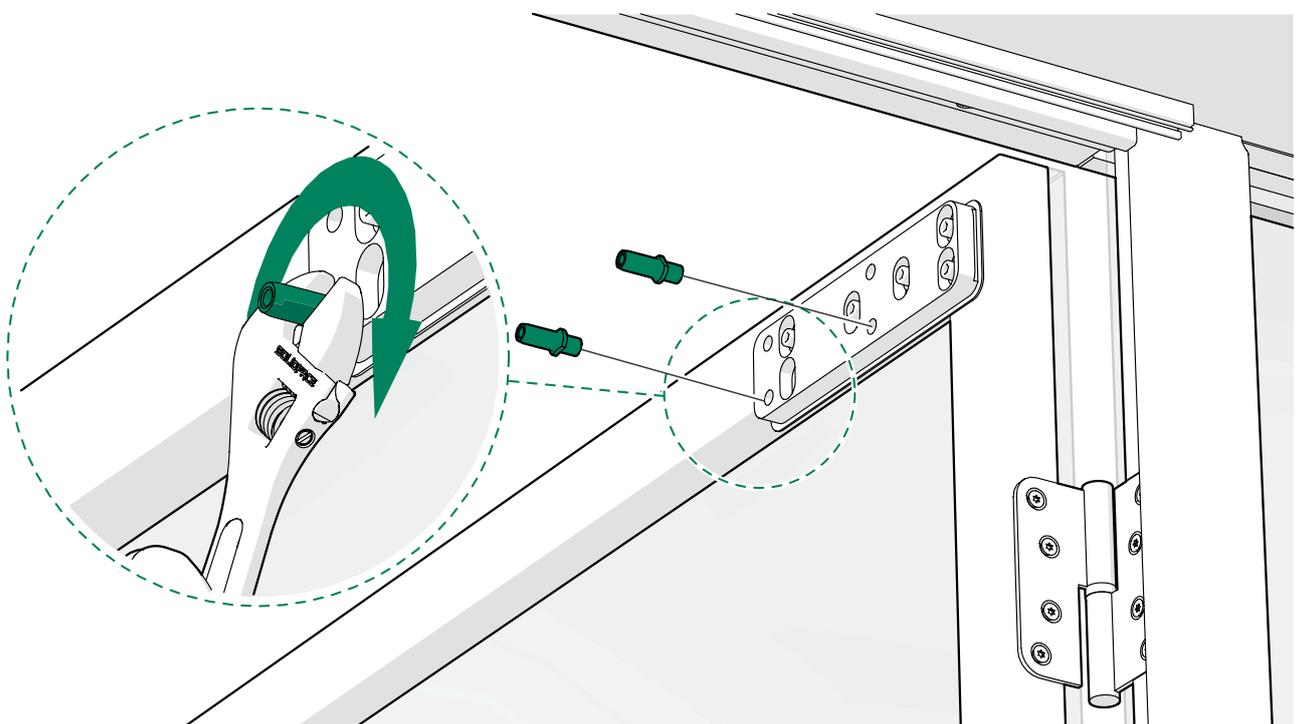


## 16.2 ドアオープナー用モーターの設置

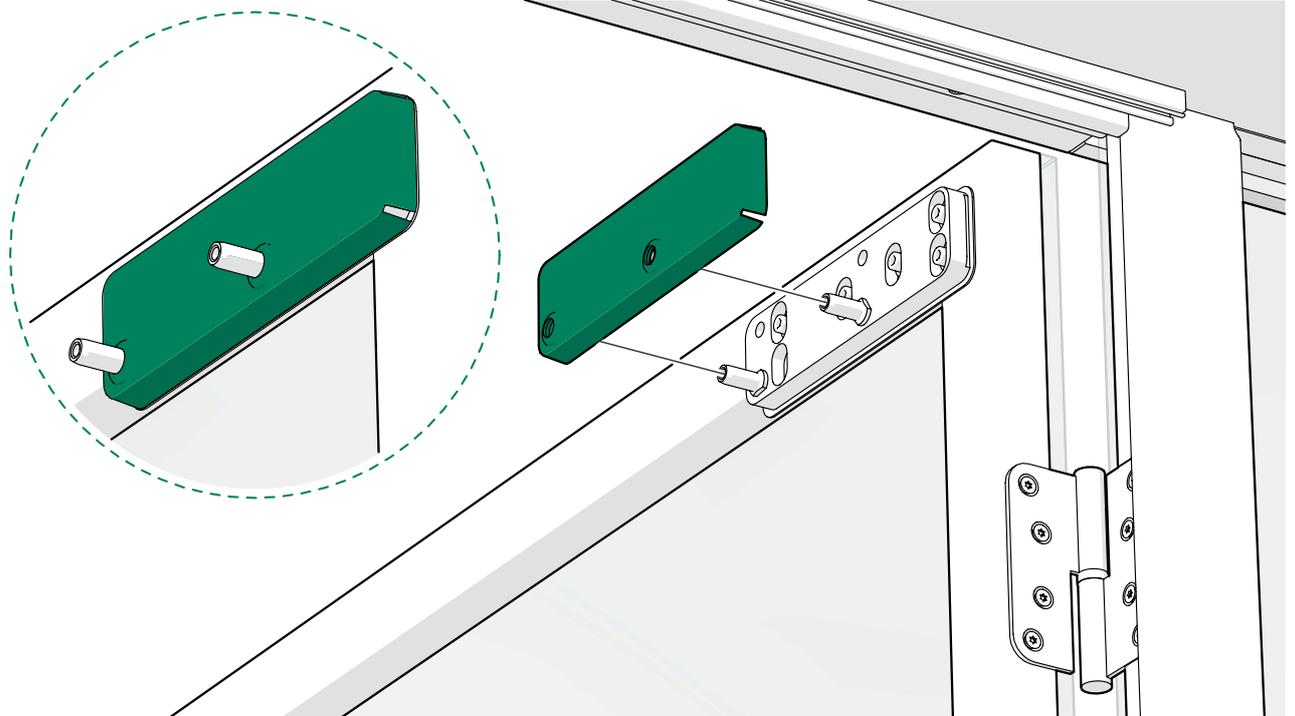
1. ドアの内側にある既存の取り付け穴に、ドアオープナープレートとフロントカバープレートを、黒の30mmプラスネジ (5個) とワッシャー (5枚) で取り付けてください。プレートとフロントカバーを押し付けながら、ネジを締めてください。
  - ❗ 注：ドアオープナーとフロントプレートを取り付ける際は、ドア内側にある既存の取り付け穴が両プレート中心部にある2つの取り付け穴の上部に位置する様に並べてください。
  - ❗ 注：ドアオープナープレートにある2つの穴が、ドアのヒンジ側にあるか確認してください。



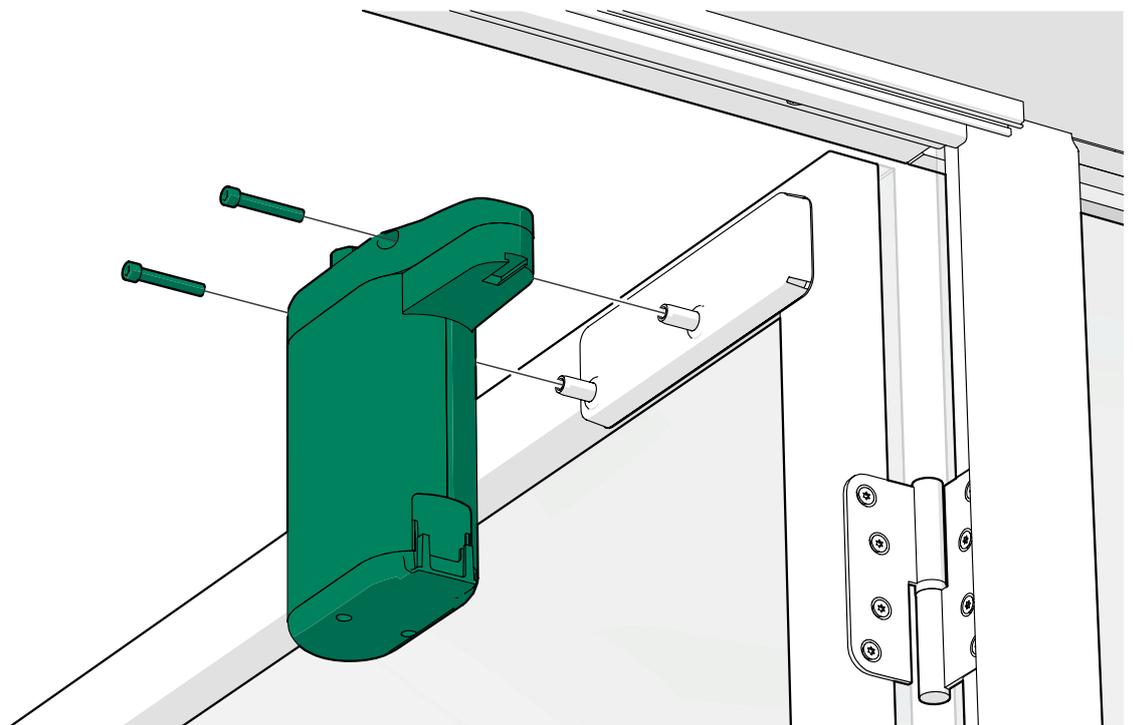
2. ネジ棒 (2本) をフロントカバープレートに取り付けてください。レンチを使用してください。



3. トップカバーをネジ棒に押し込んでください。



4. ドアオープナーモーターをネジ棒に掛け、黒のソケットネジ (2個) で取り付けてください。

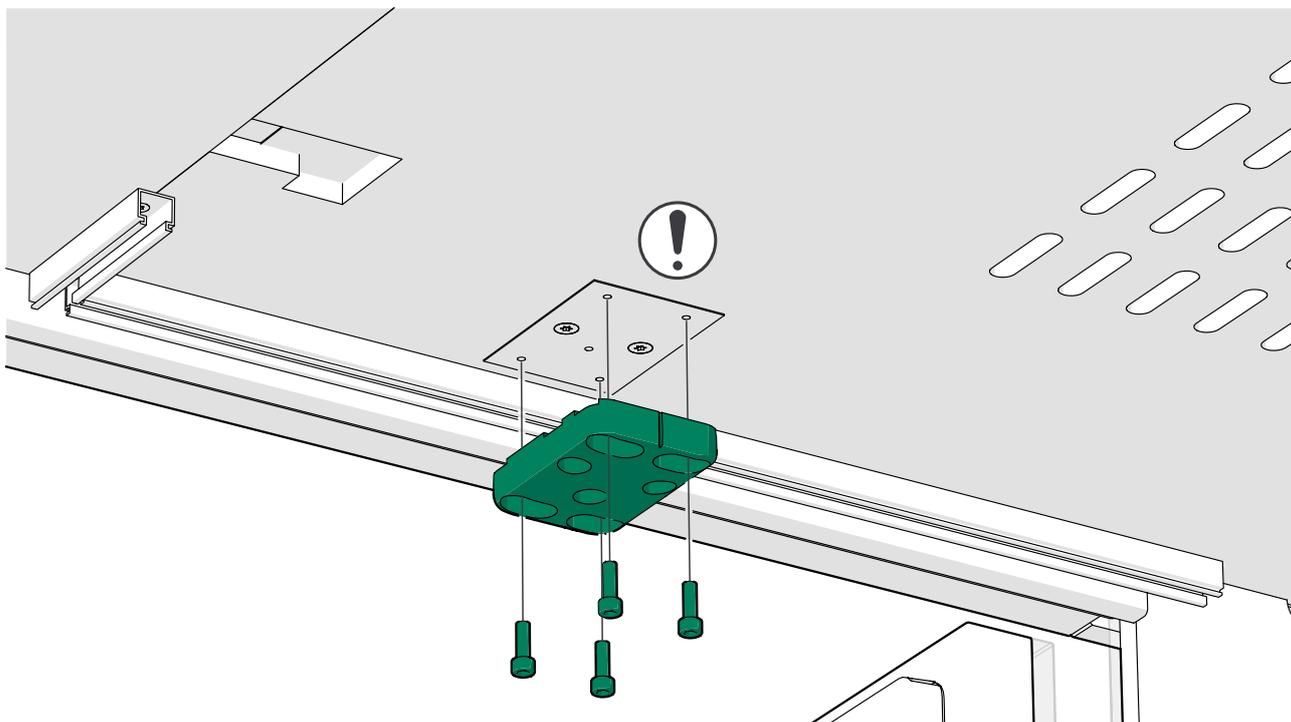


### 16.3 ドアオープナーアームブラケットの設置

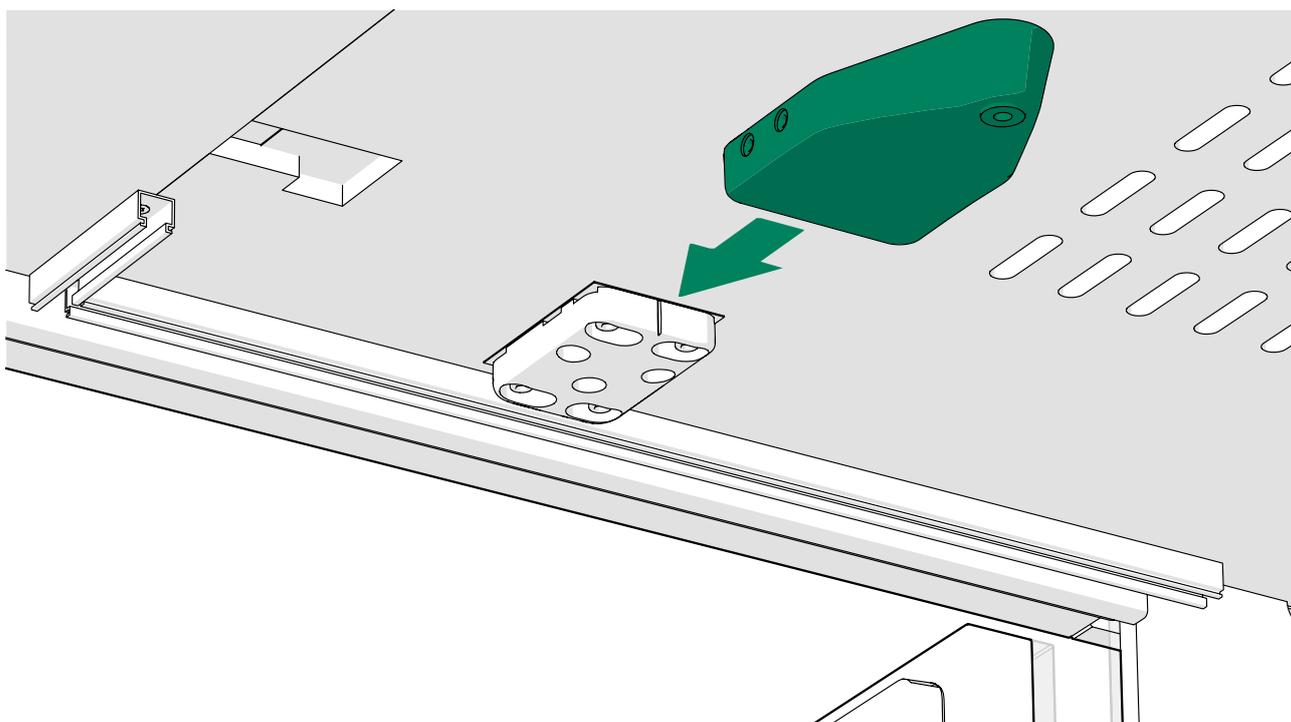
1. ドアオープナーアームブラケット用取り付けプレートを、天井の金属板に黒のプラスチックネジ(4個)で取り付けてください。

⚠ 注：ネジが取り付け穴の中央にあるか確認してください。

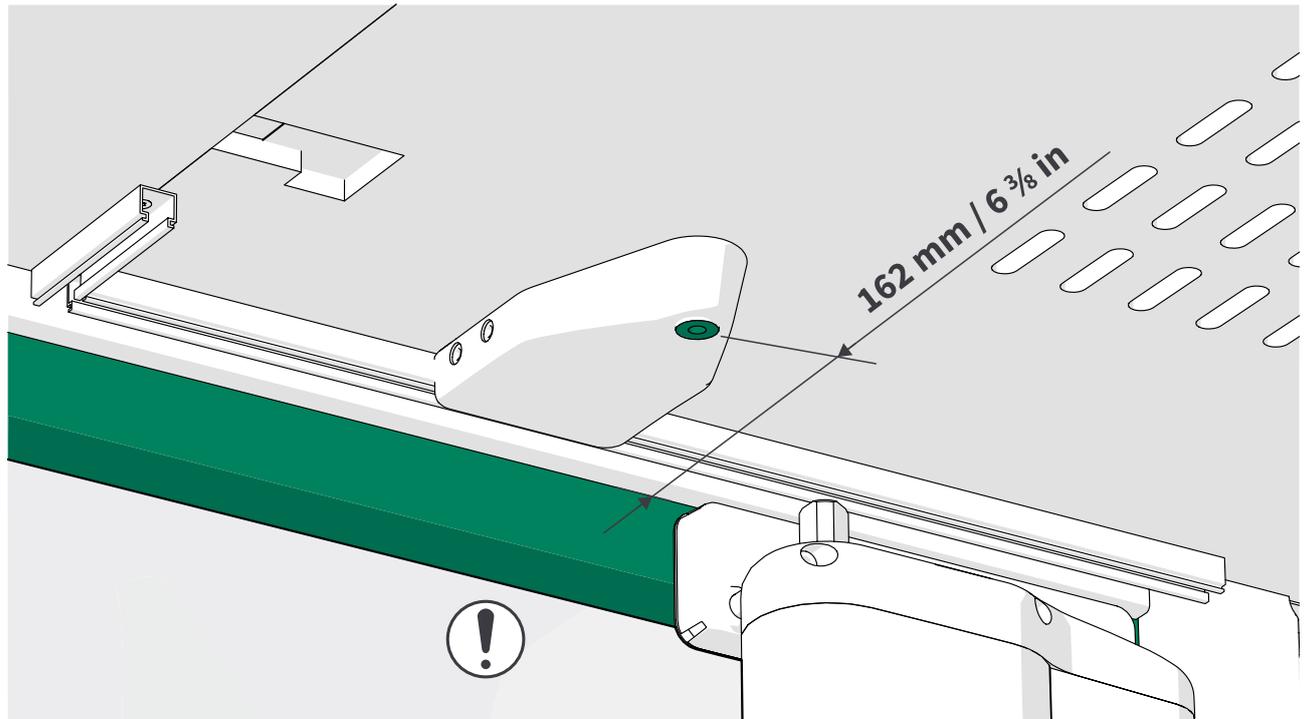
⚠ 注：取り付けプレートが動かないように、丁寧にネジを締めてください。



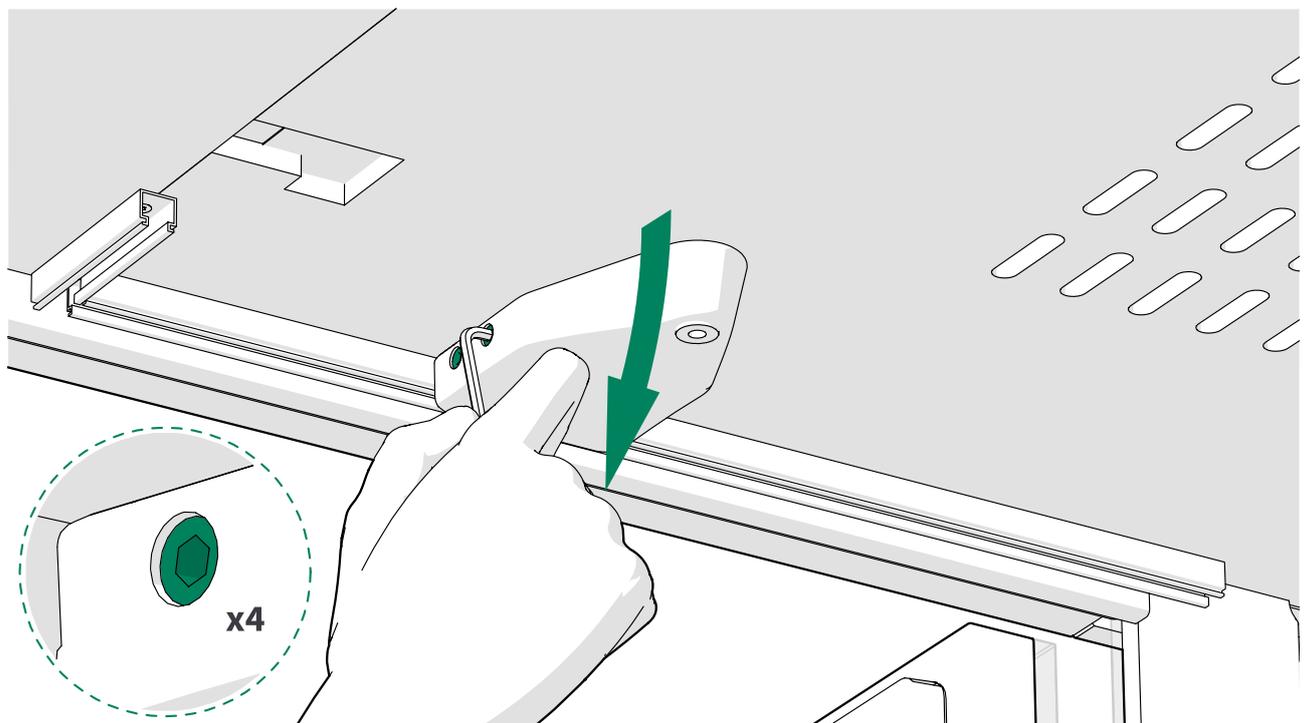
2. ブラケットカバーをドアオープナーアームブラケット用の取付プレートに横からスライドさせてください。



3. ブラケットカバーにあるボルト中心部が閉じた状態のドアから162mm離れているか測ってください。

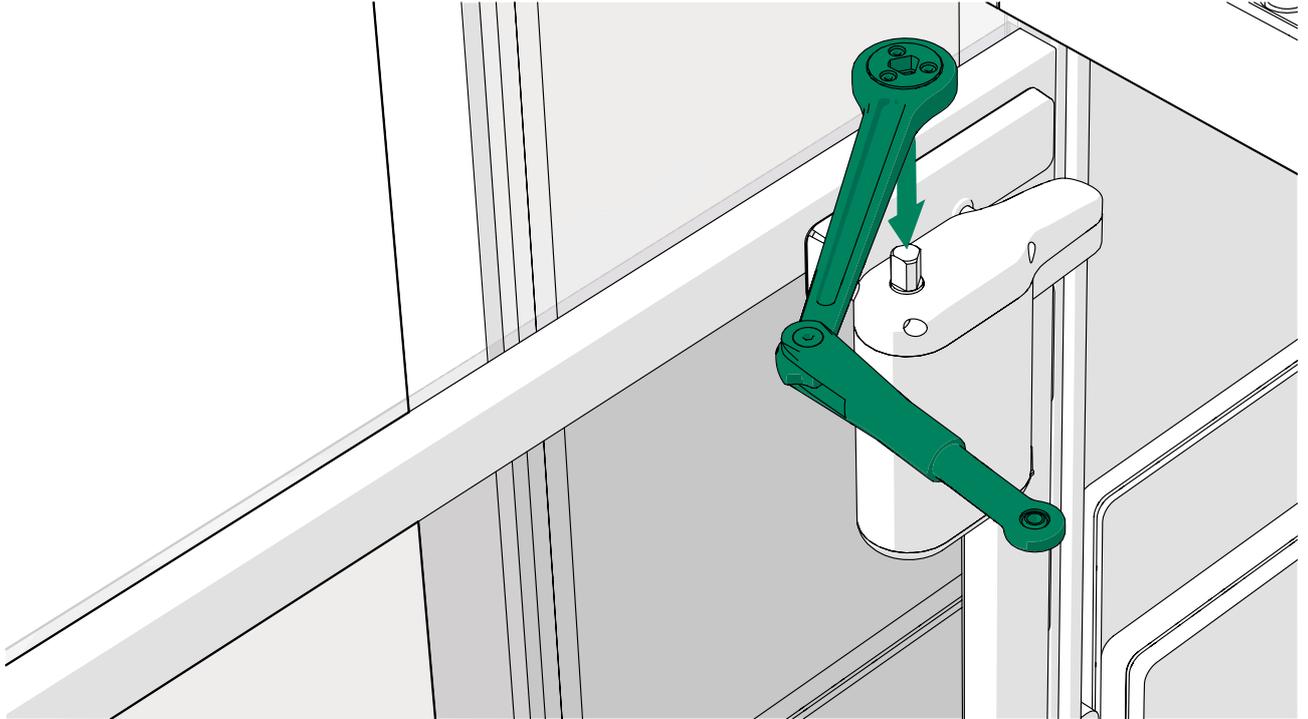


4. ブラケットカバーの両側のネジ (4個) を締めてください。



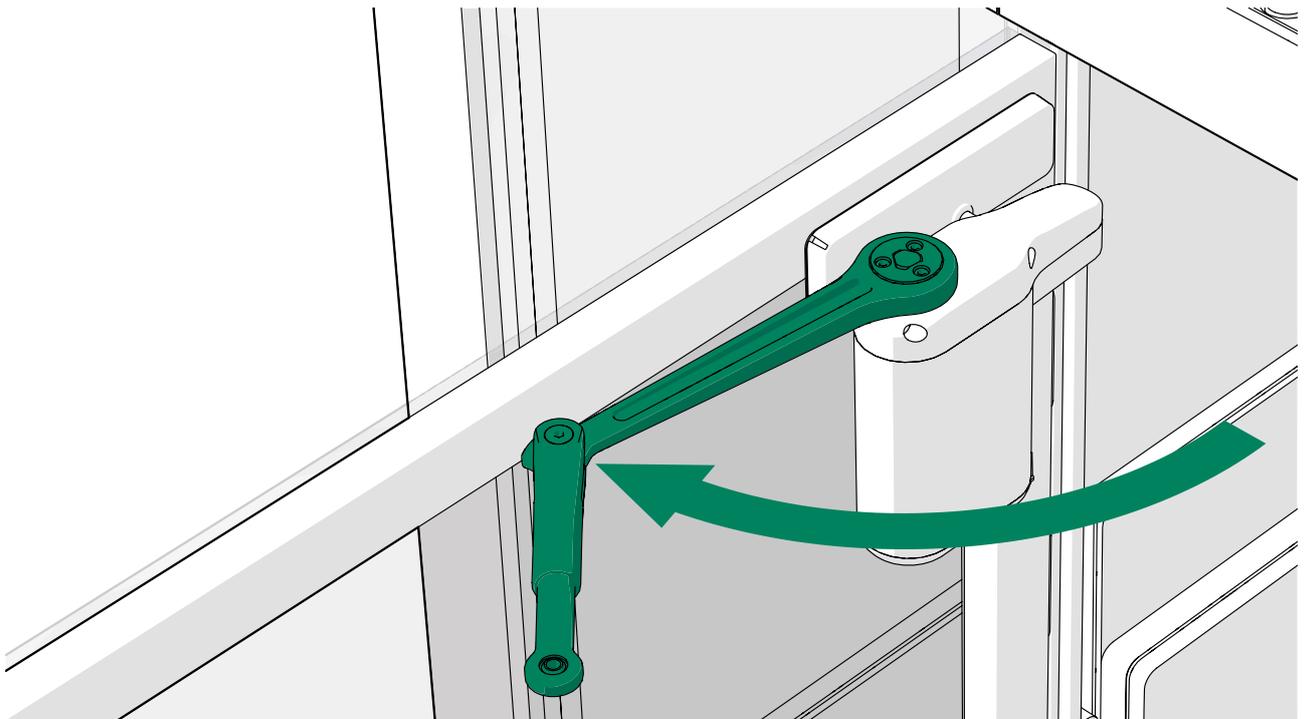
## 16.4 ドアオープナーアームの設置

1. ドアオープナーアームの大きい方の端を、ドアオープナーモーターの上部にあるシャフトに取り付けてください。

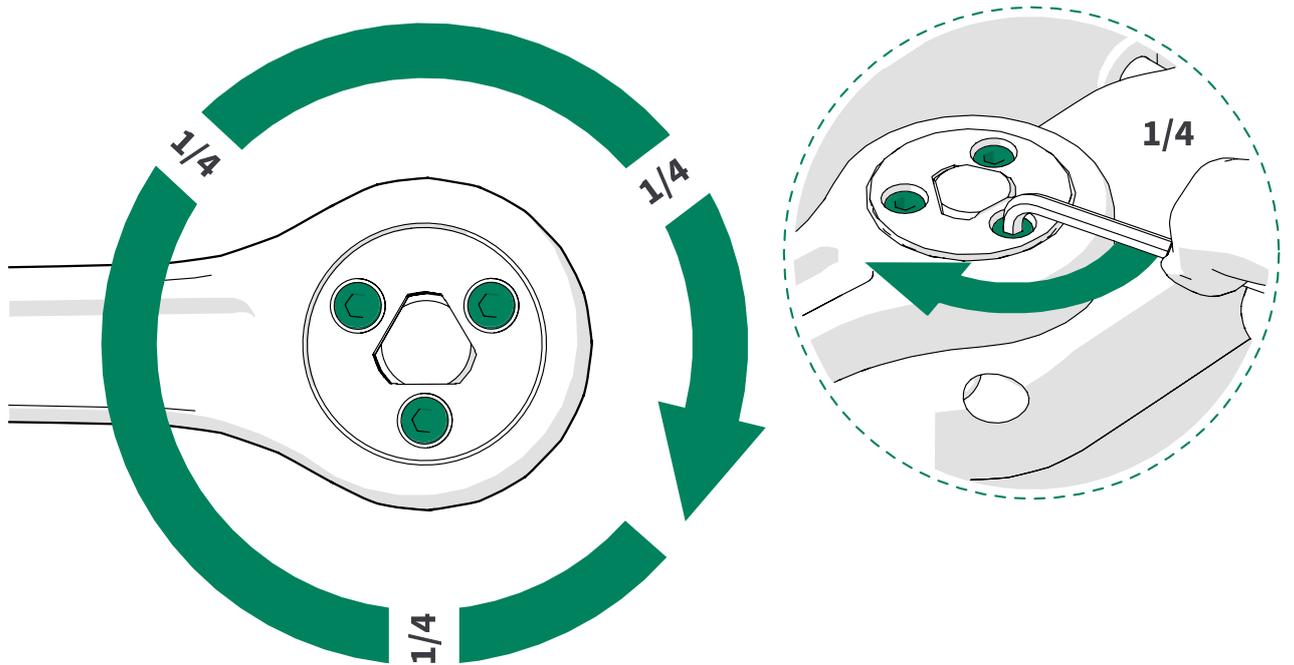


2. アームを曲げて、ジョイント部分がドアフレームに当たるようにしてください。

ⓘ 注：ボルトを締める前に、アームがドアフレームに接触しているか確認してください。

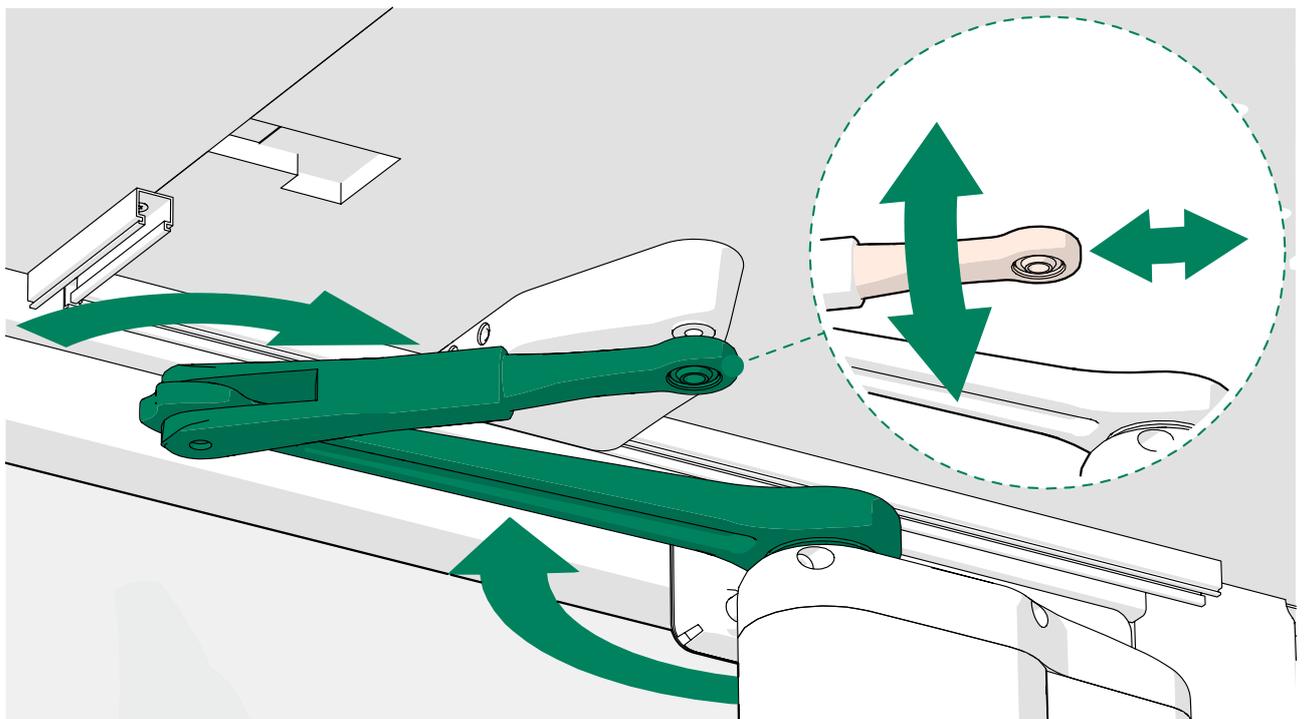


3. 各ボルトが完全に締まるまで、1/4回転ずつ円を描くように順番に締めてください。



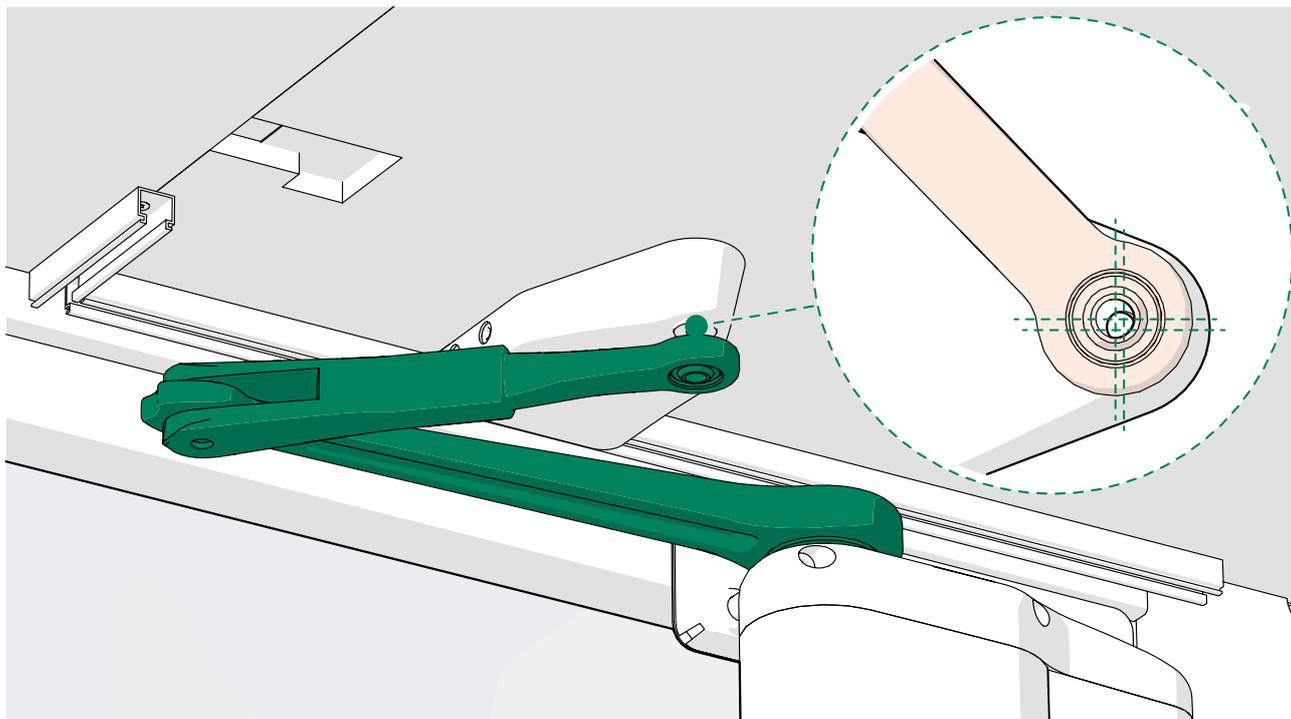
### 16.5 ドアオープナーアームをドアオープナーアームブラケットに取り付ける方法

1. ドアを閉めてください。
2. ドアオープナーアームをドアオープナーアームブラケットの方に曲げてください。  
ドアオープナーアームを回転させて長さを調節してください。



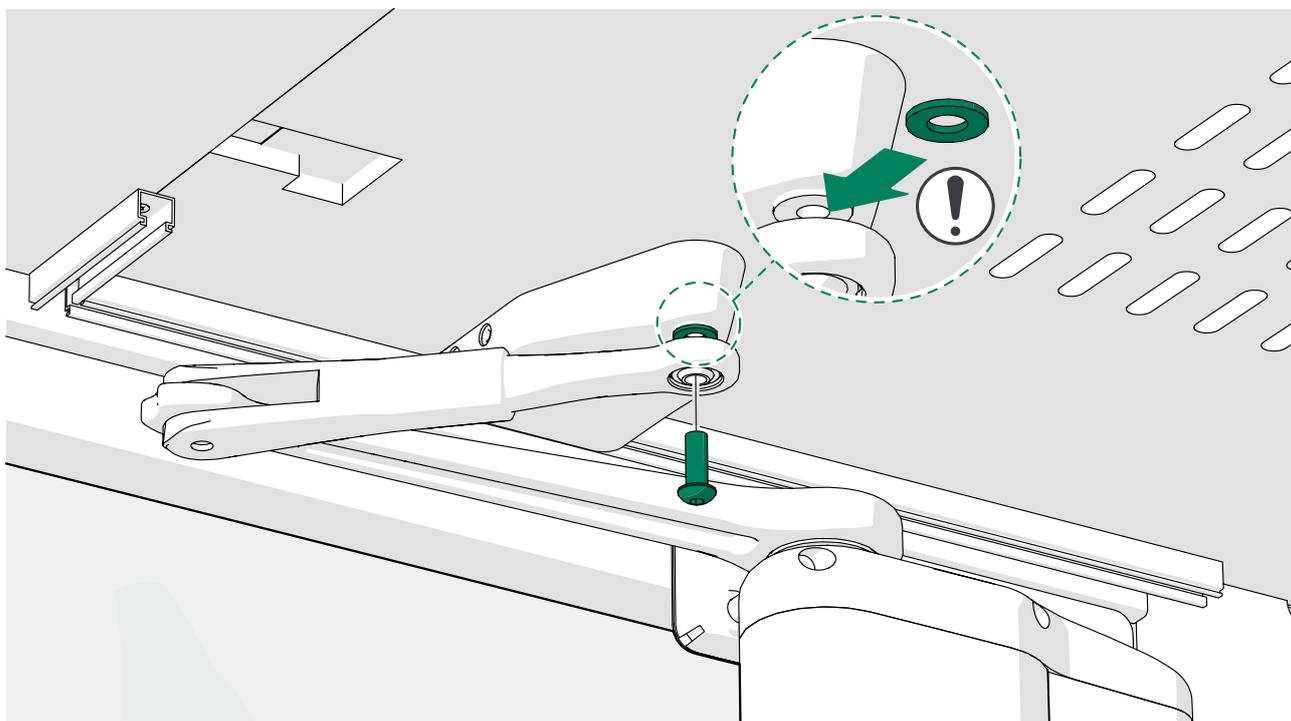
3. ドアオープナーアームの先端の穴をレバーで動かし、ブラケットの穴と合わせてください。

ドアオープナーアームの先端にある穴と、ドアオープナーアームブラケットの穴の中心が、少しずれるようにしてください。



4. ドアオープナーアームの先端をアームブラケットに黒の六角ネジで取り付けてください。

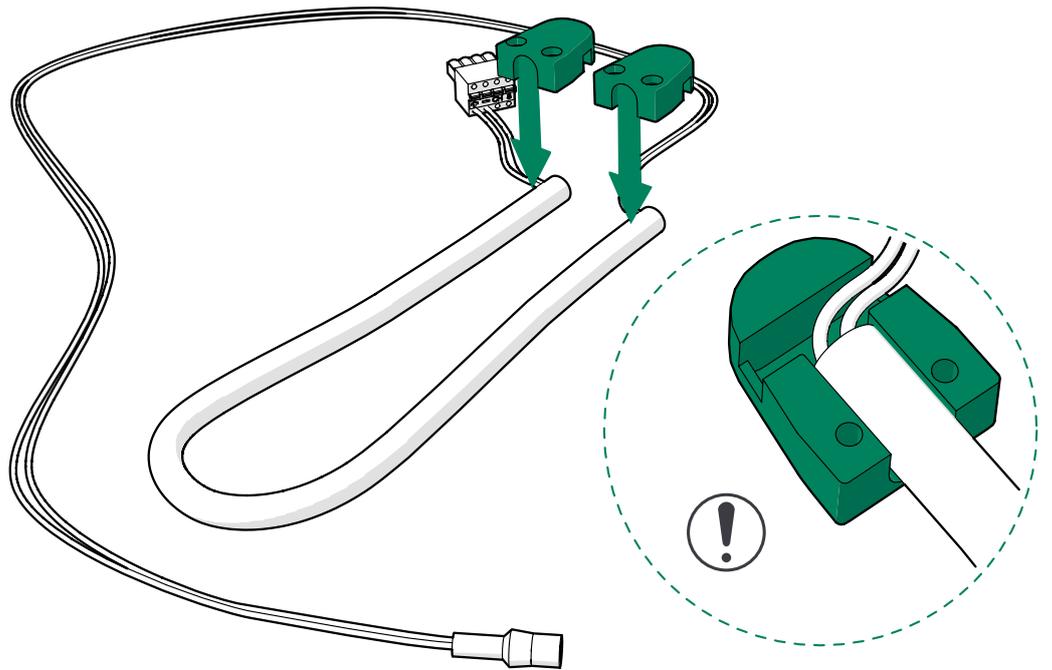
❗ 注：ドアオープナーアームとアームブラケットの間にワッシャーを取り付けてください。



## 17 電気部品の設置

### 17.1 ドアオープナー用電気配線の設置

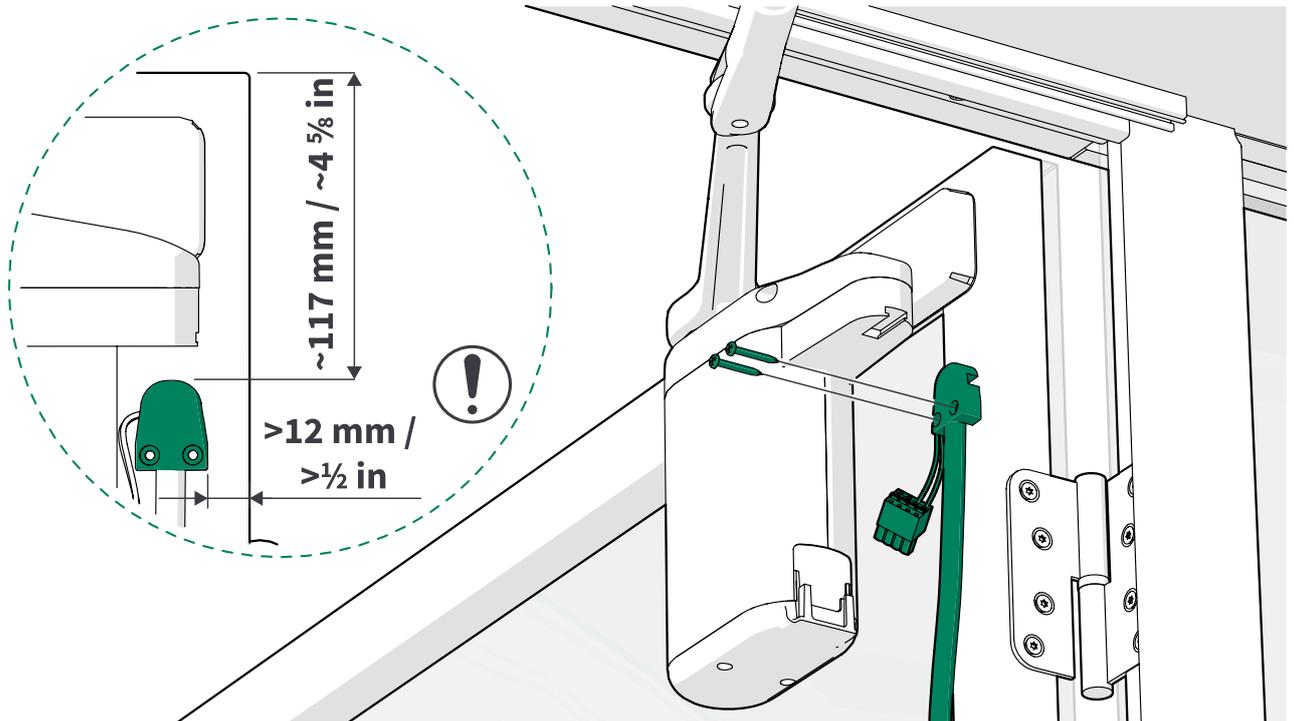
1. ドアオープナー用電源コードに付属しているらせん状ワイヤーカバーの端に、ワイヤーホルダーを取り付けてください。  
カバーの端をワイヤーホルダーの中央の溝に押し込み、電源コードをワイヤーホルダーの側面から引き出してください。



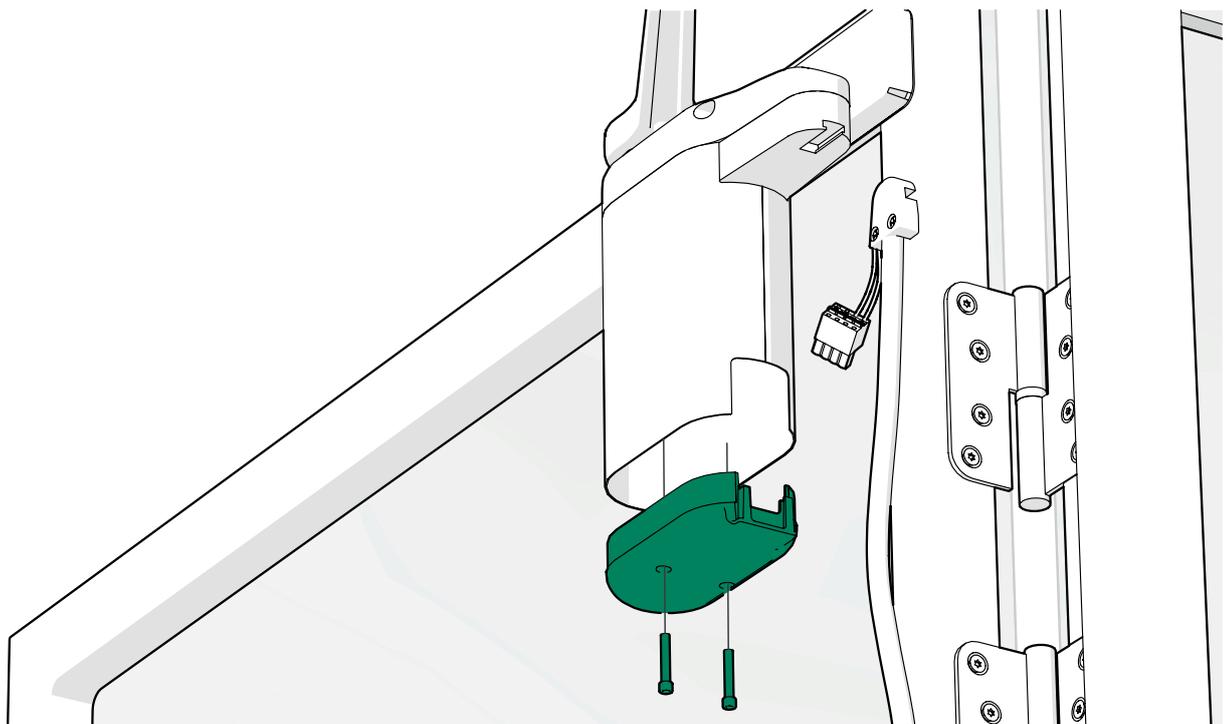
2. ブロックコネクタ付きのワイヤーホルダーを、ドアフレームの右上にセルフタッピング・プラスネジ(2個)で取り付けてください。

❗ 注：ワイヤーホルダーの端が、ヒンジ側の端から12mm以上、ドアの上端から117mm以上離れているか確認してください。

❗ 注：ワイヤーホルダーの側面からコードを引き出してください。

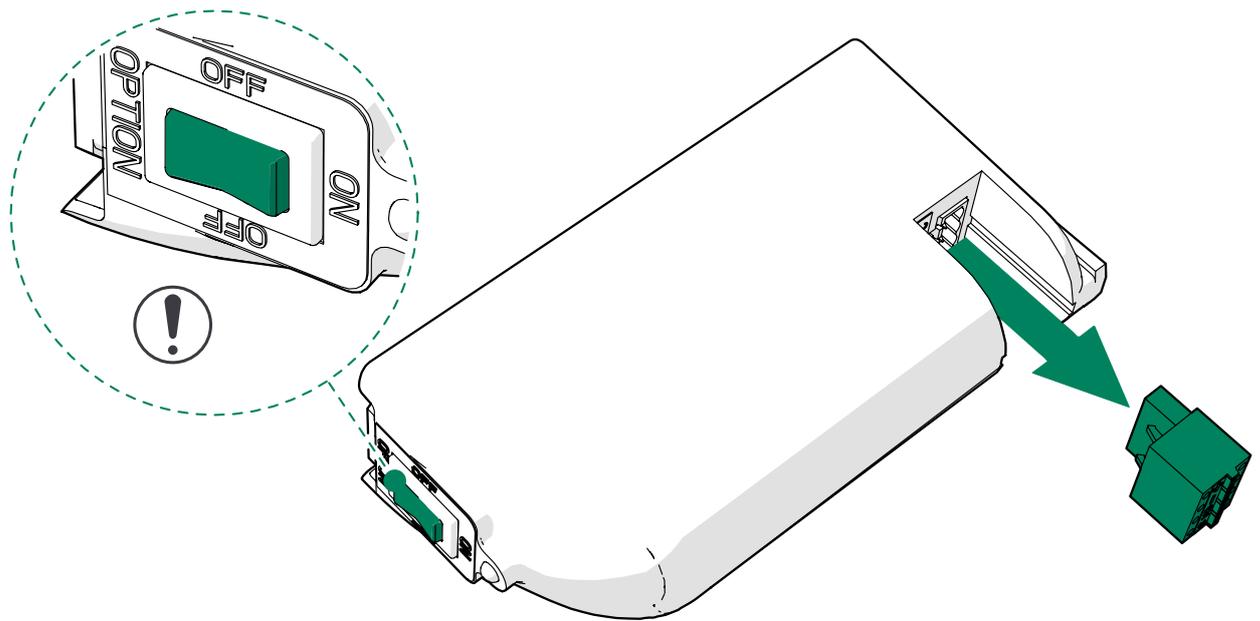


3. ドアオープナーのボトムカバーを外してください。

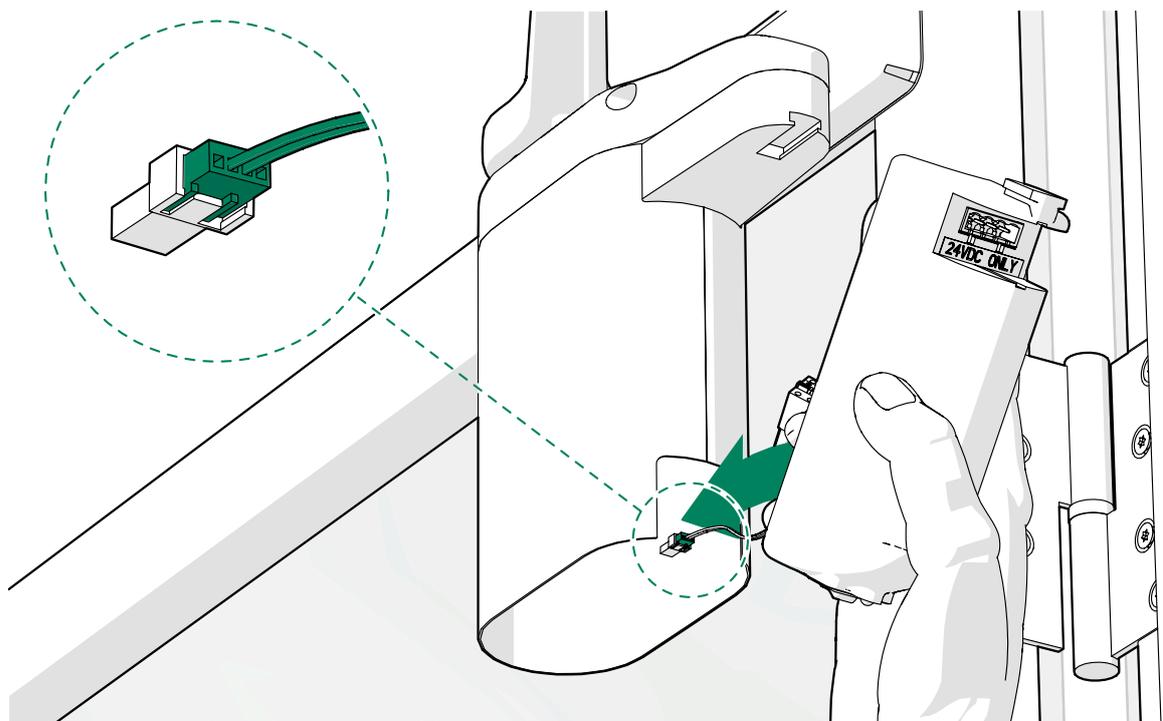


4. ドアオープナーの電池から仮コネクタを外してください。

⚠ 注：バッテリーがオフの位置 (真ん中) にあるか確認してください。

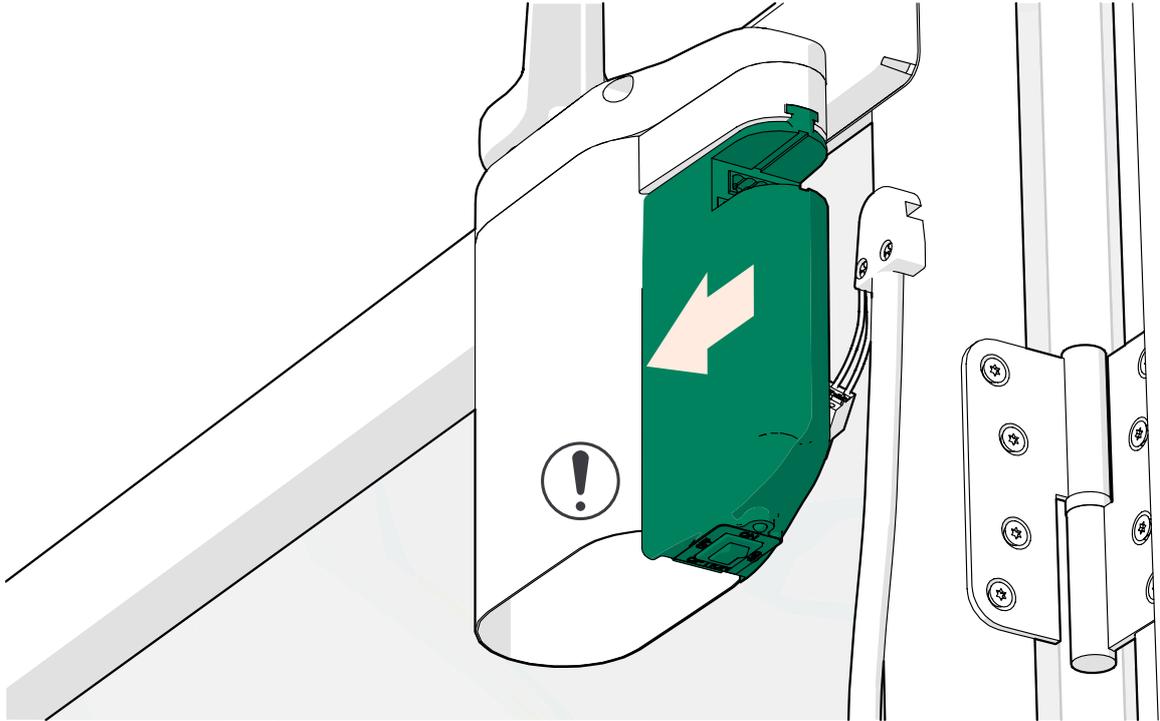


5. ドアオープナーバッテリーのオスコネクタをドアオープナーモーターに接続してください。

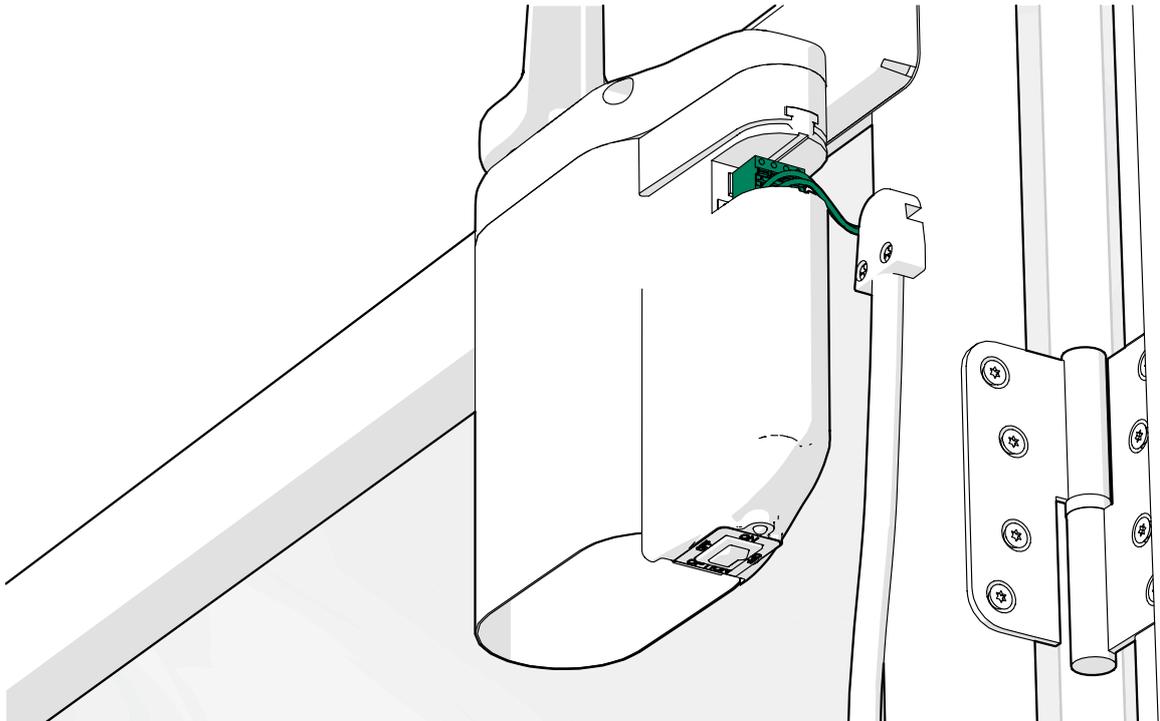


6. バッテリーをモーターに取り付けてください

- ⓘ 注：設置の際は、コードが挟まれたり、傷が付いたりしないように注意してください。

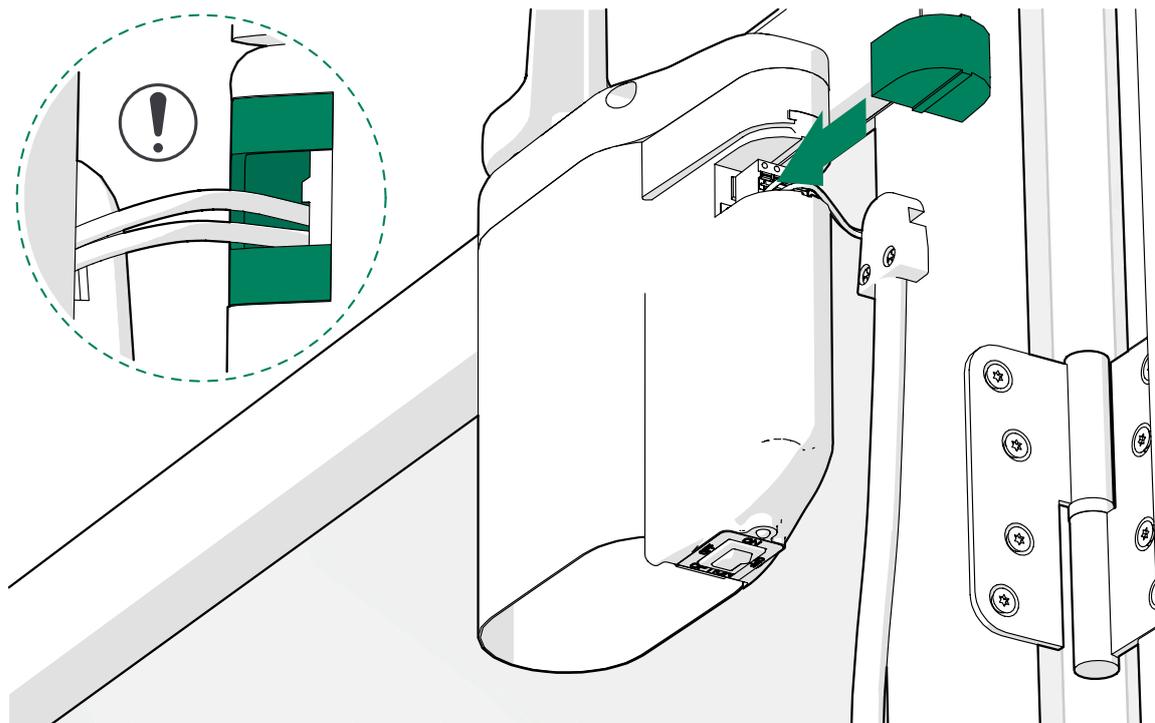


7. ドアオープナー用電源コードをドアオープナーのバッテリーに接続してください。

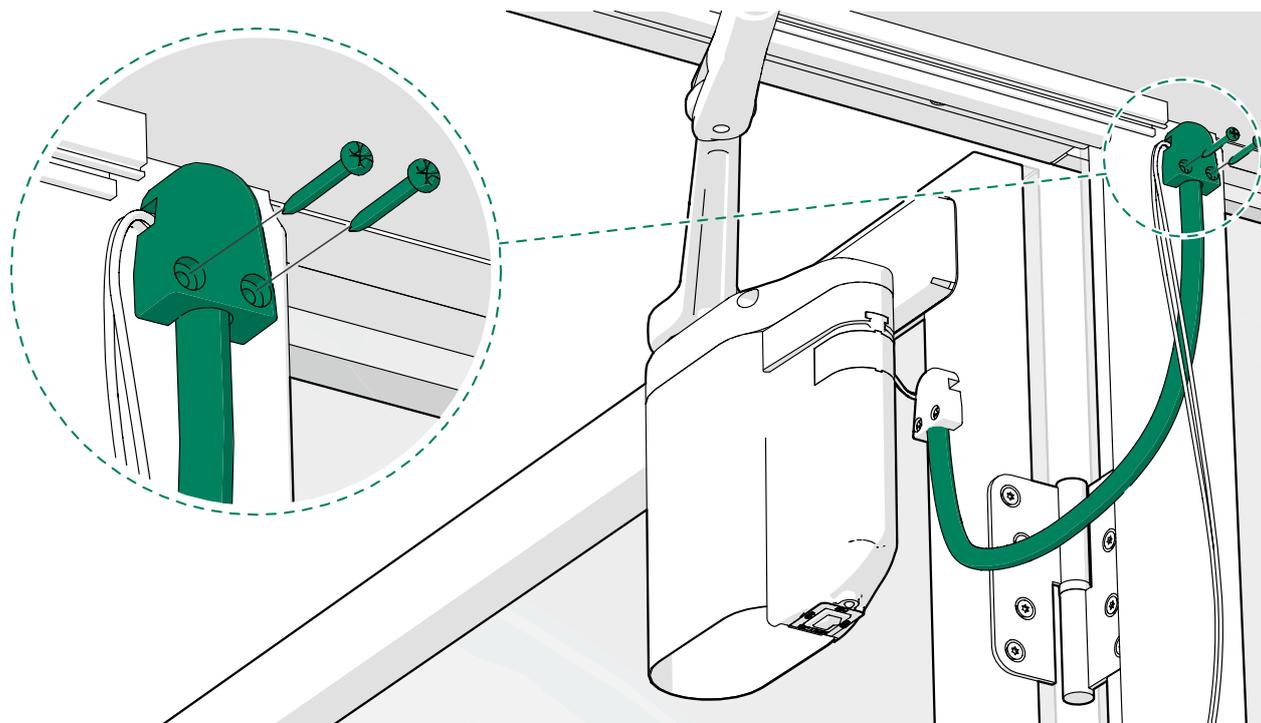


8. バッテリーにカバーを取り付けてください。

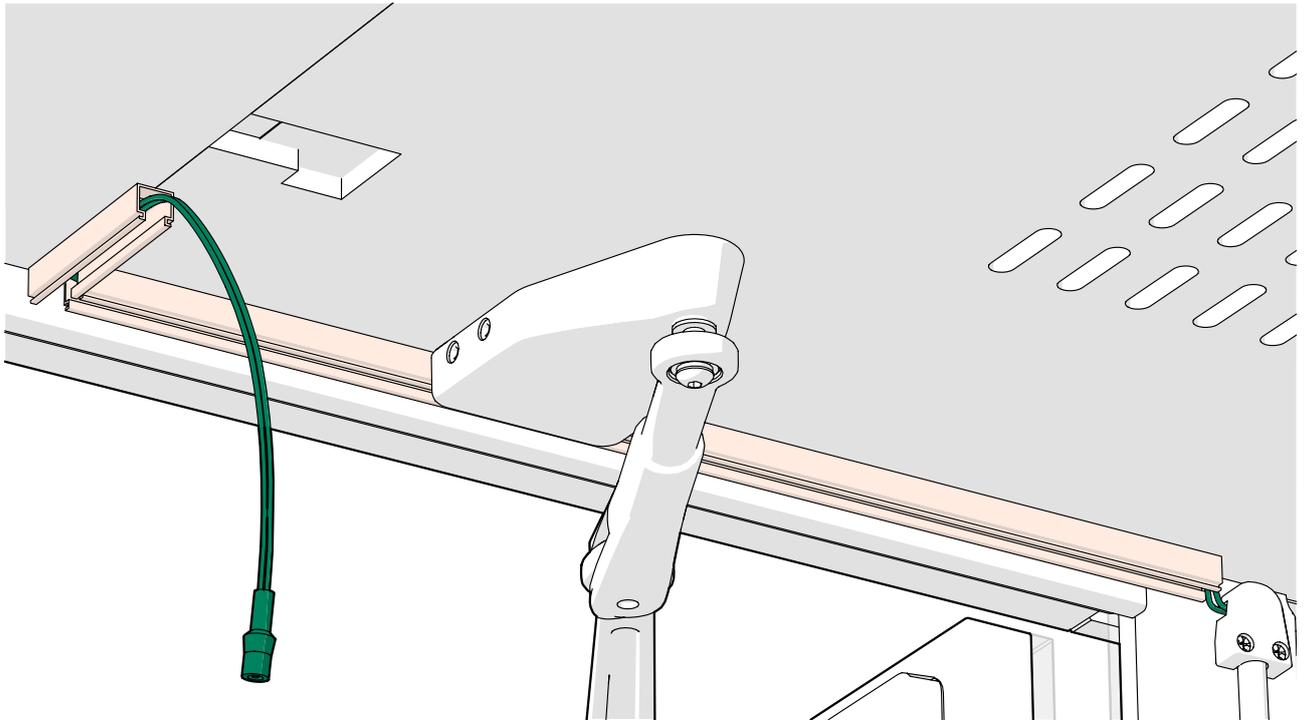
ⓘ 注：コードをカバーの穴から引き出してください。



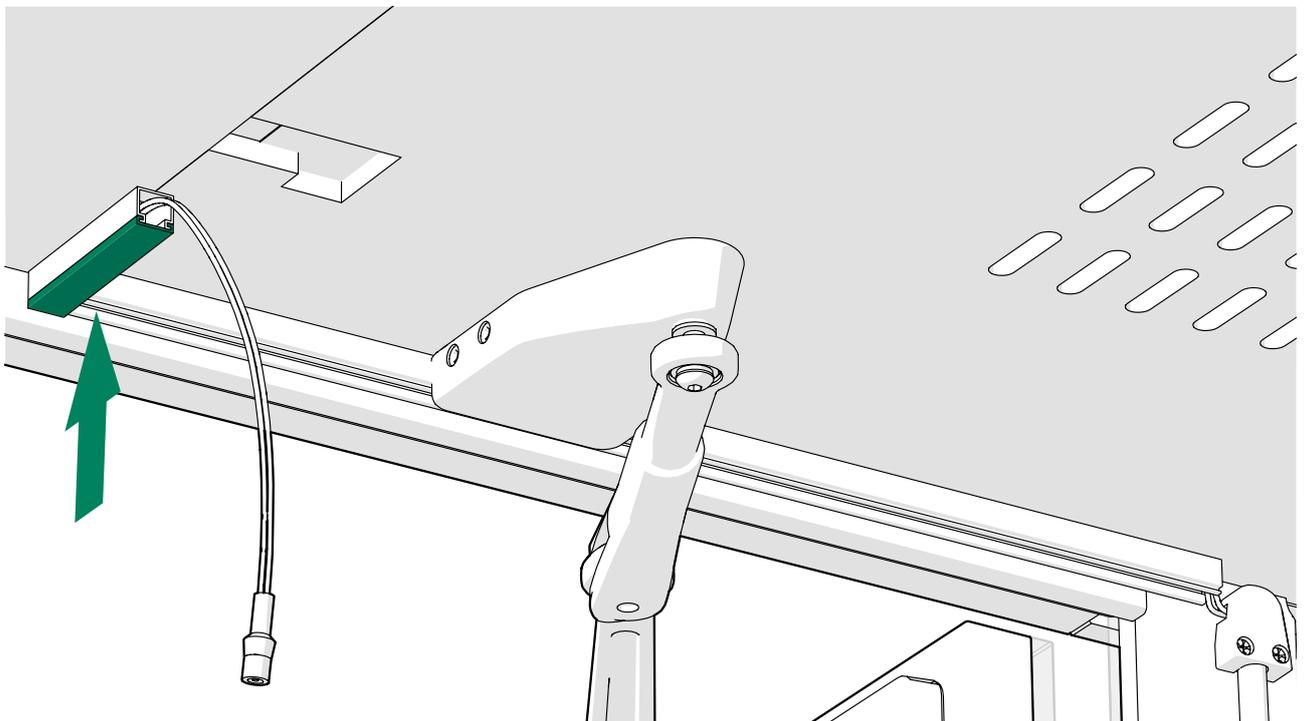
9. もう一方のワイヤーホルダーをセルフタッピング・プラスネジ(2個)を使用して、電気配線ダクトに可能な限り近いヒンジ側ガラスフレームに取り付けてください。



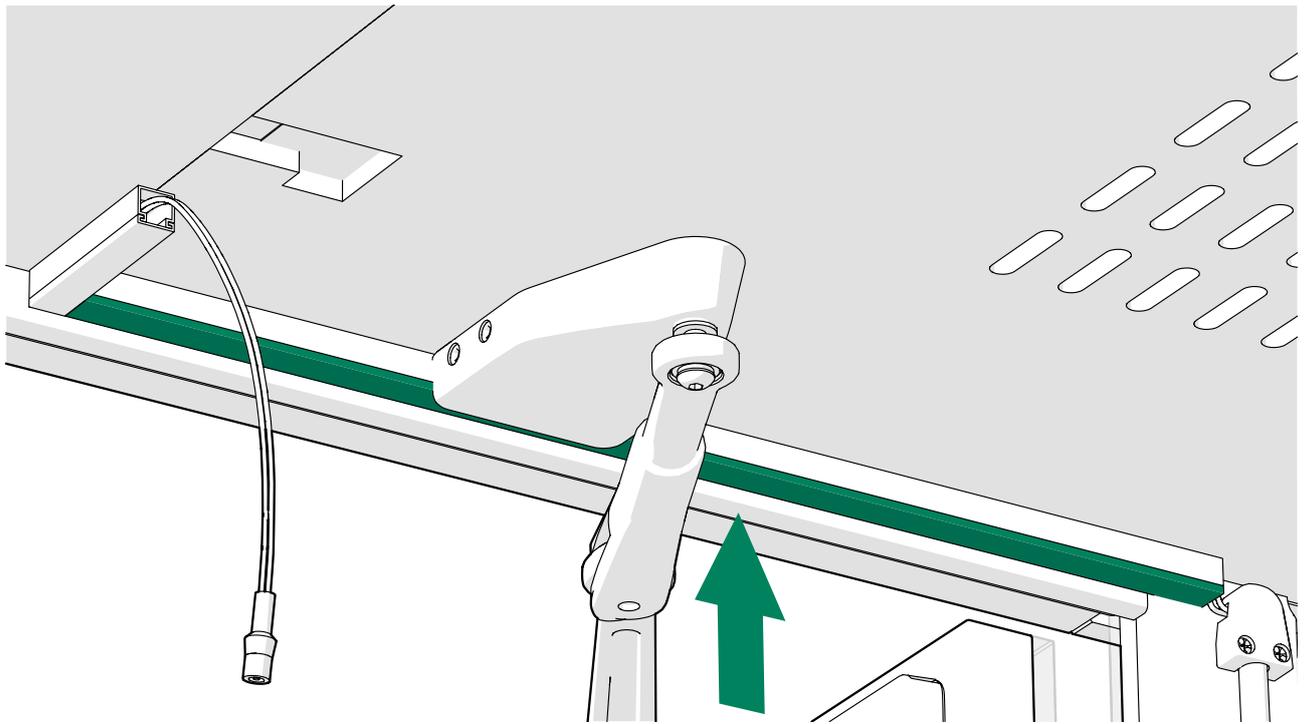
10. ドアオープナー用電源コードを電気配線ダクトに通してください。



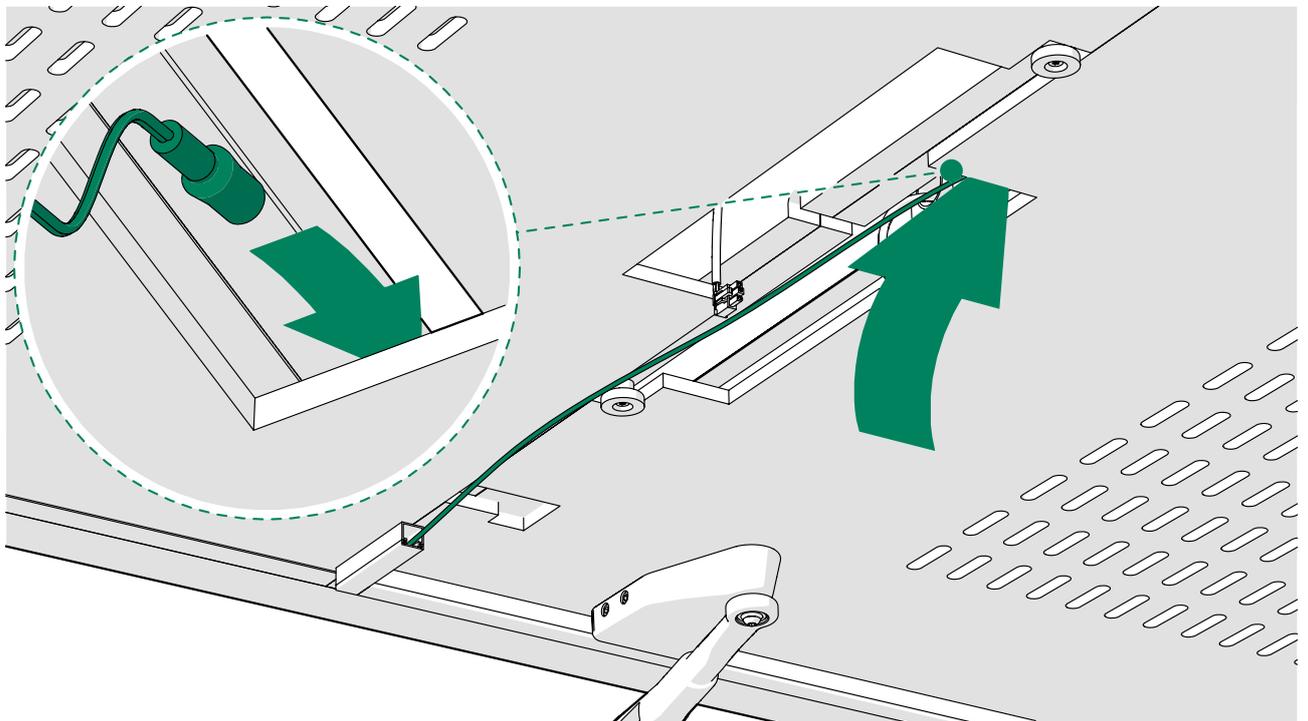
11. 短い方の電気配線ダクトにカバーを取り付けてください。



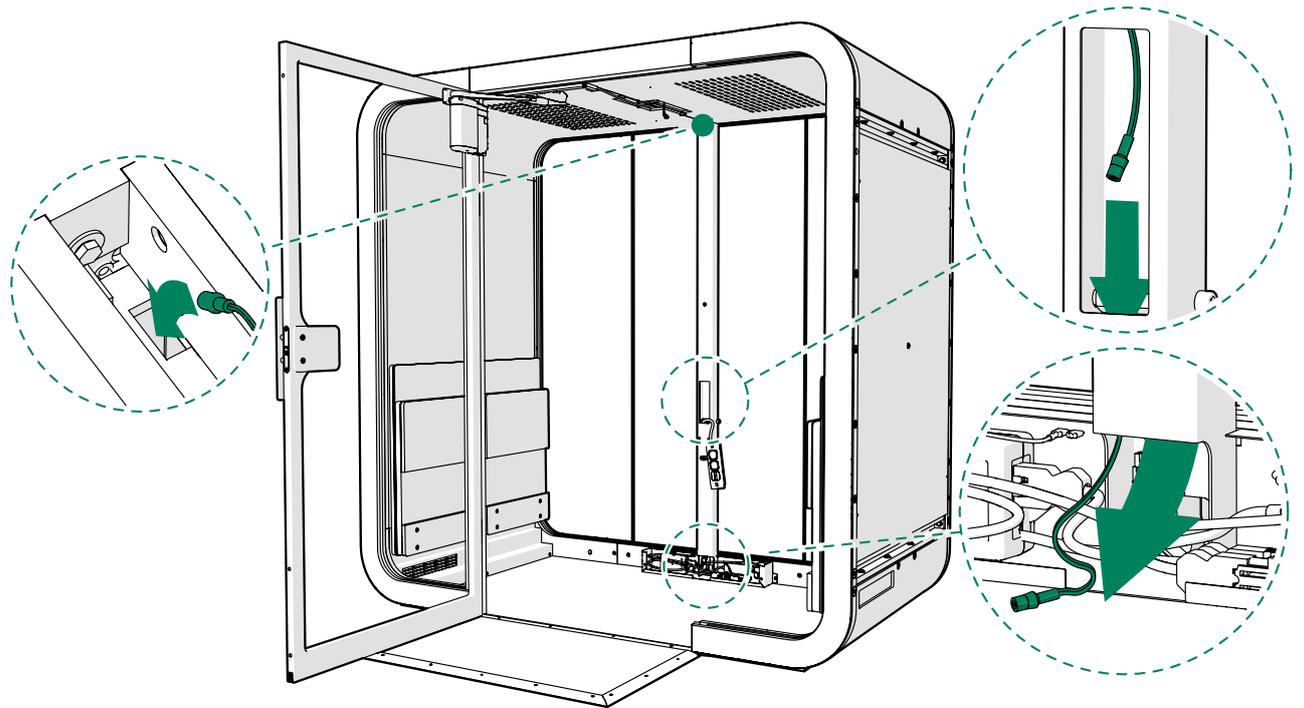
12. 長い方の電気配線ダクトにカバーを取り付けてください。



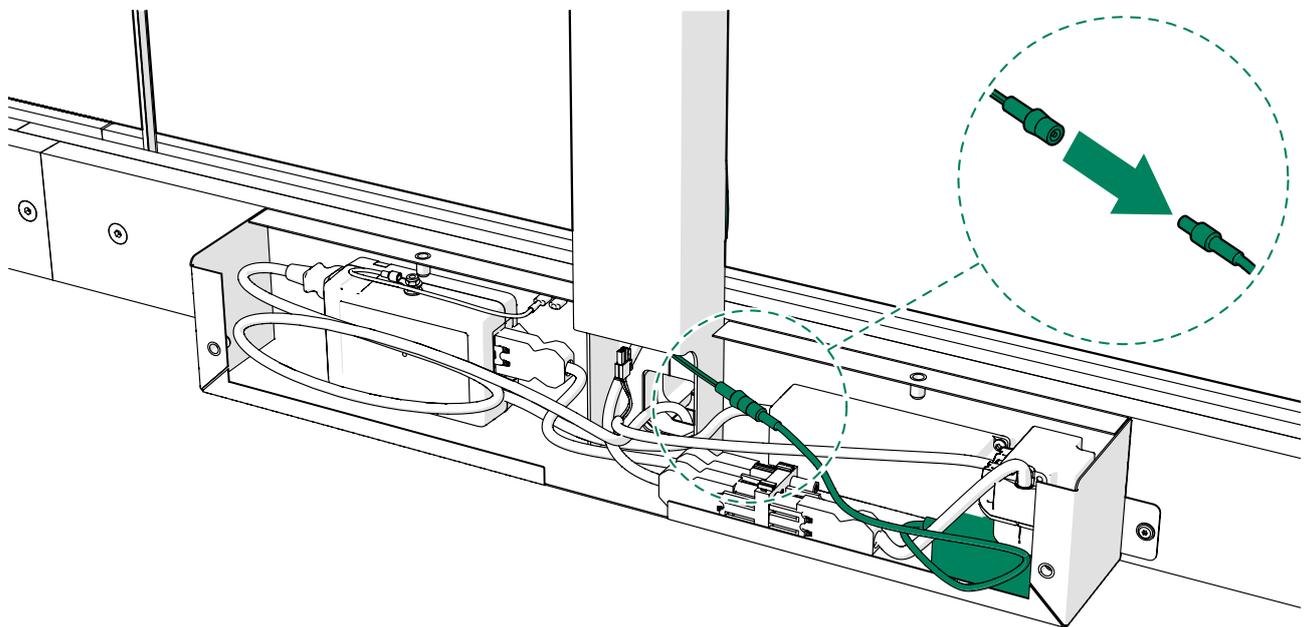
13. ドアオープナー用電源コードを、天井中央にある大きい開口部に通してください。



14. ドアオープナー用電源コードをシーリングフェルトにある小さな開口部からパワーコラムに通し、下端の開口部から引き出してください。

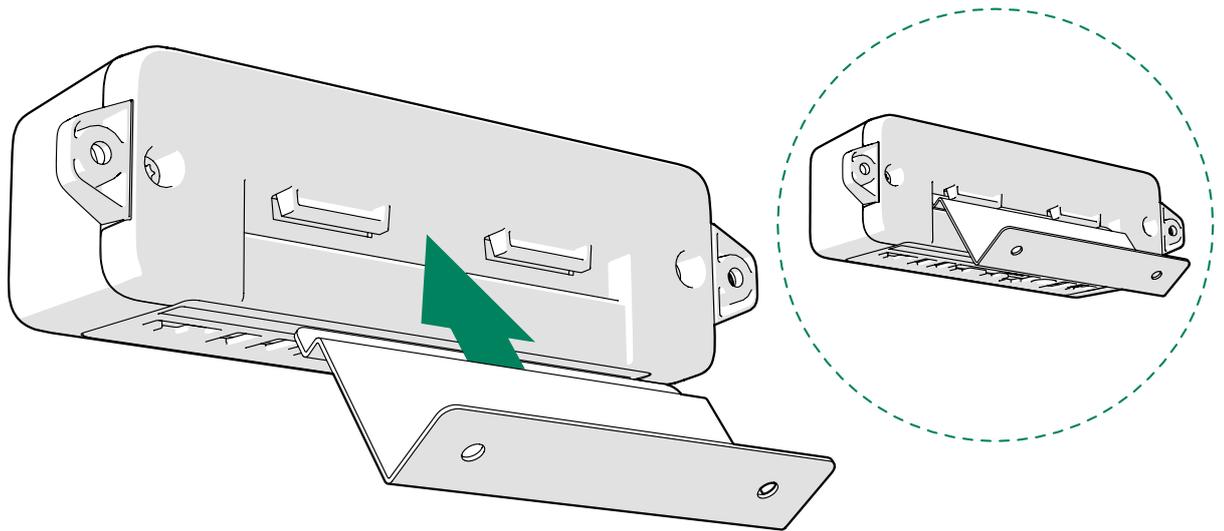


15. ドアオープナー用電源コードとアダプターコードを接続してください。

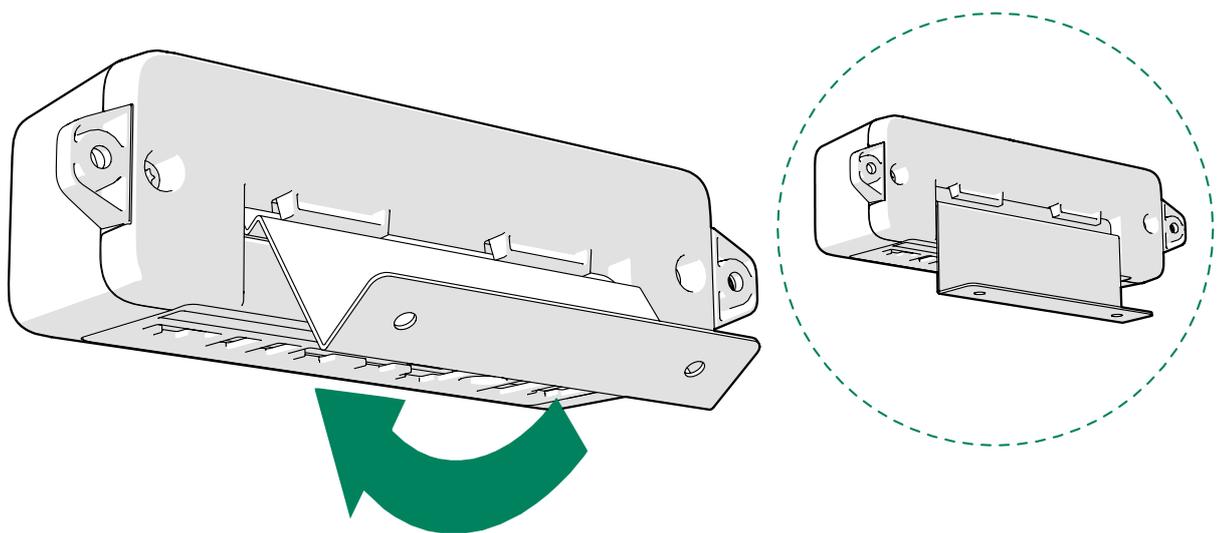


## 17.2 コントロールユニットの設置

1. コントロールユニットブラケットをコントロールユニットの背面に挿入してください。

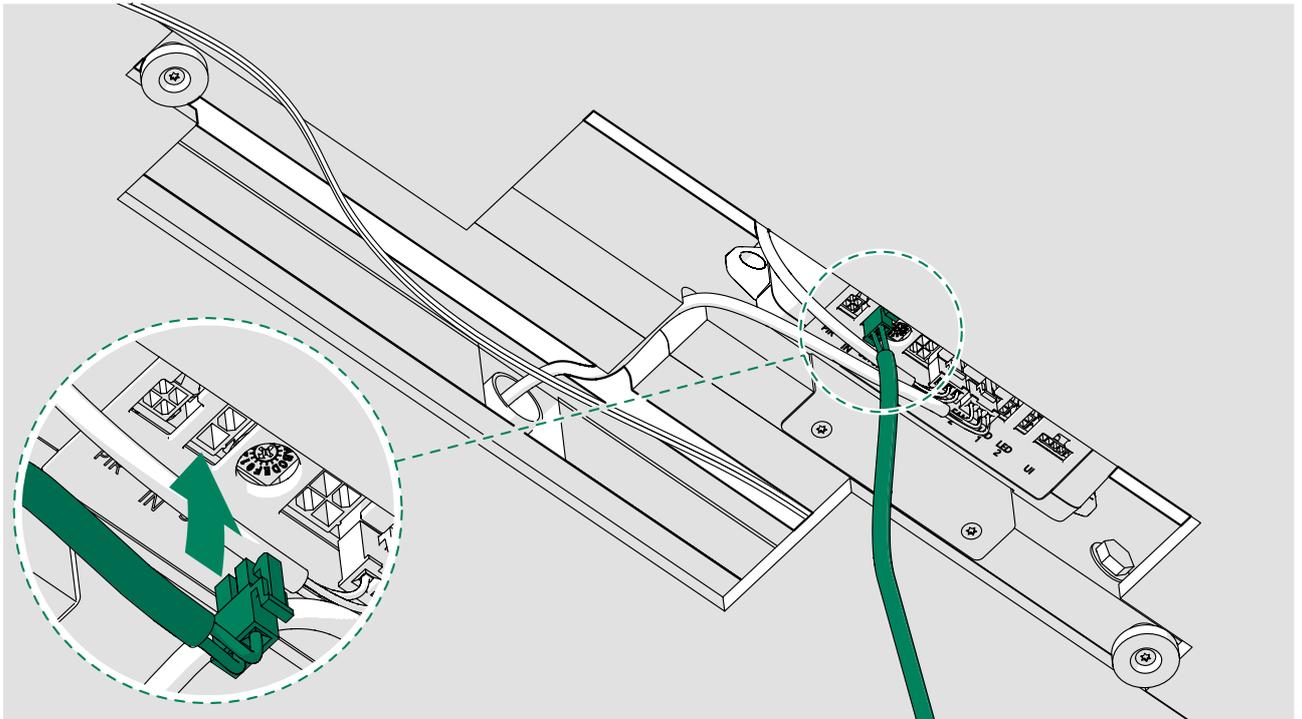


2. ブラケットを所定の位置に回してください。



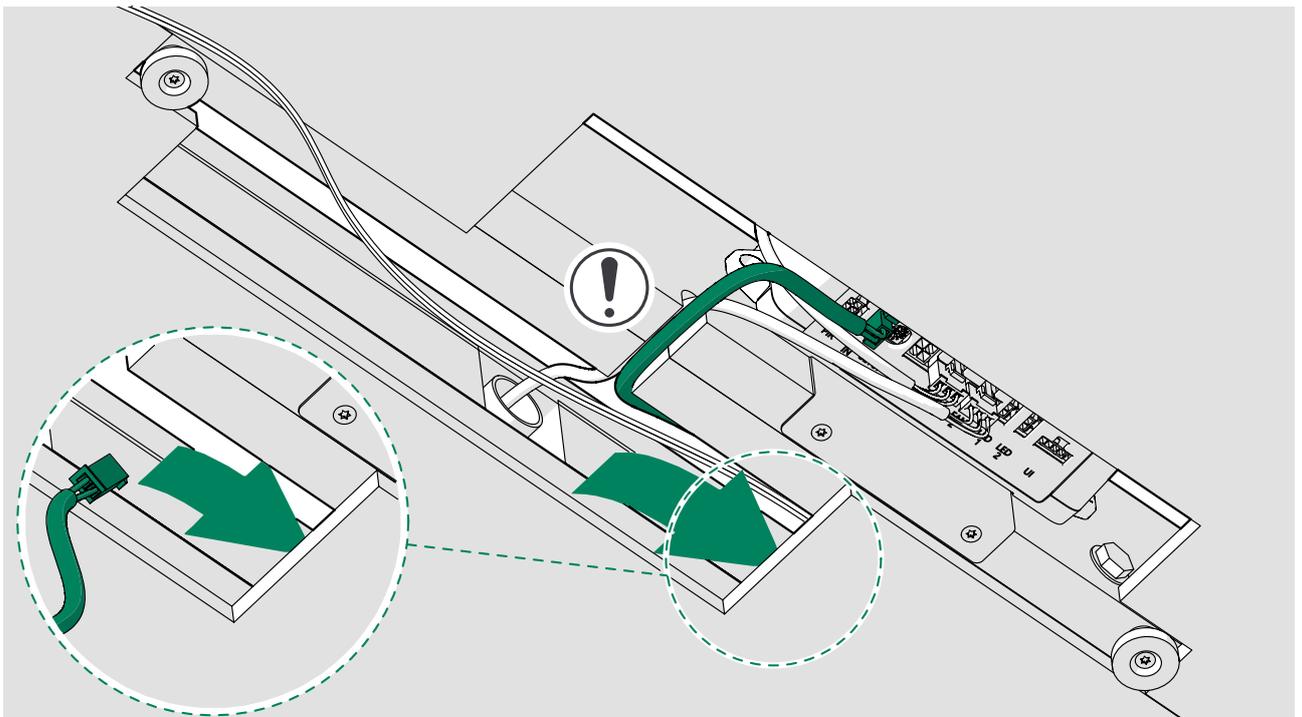


5. PWR INコネクタにDC延長コードを接続してください。

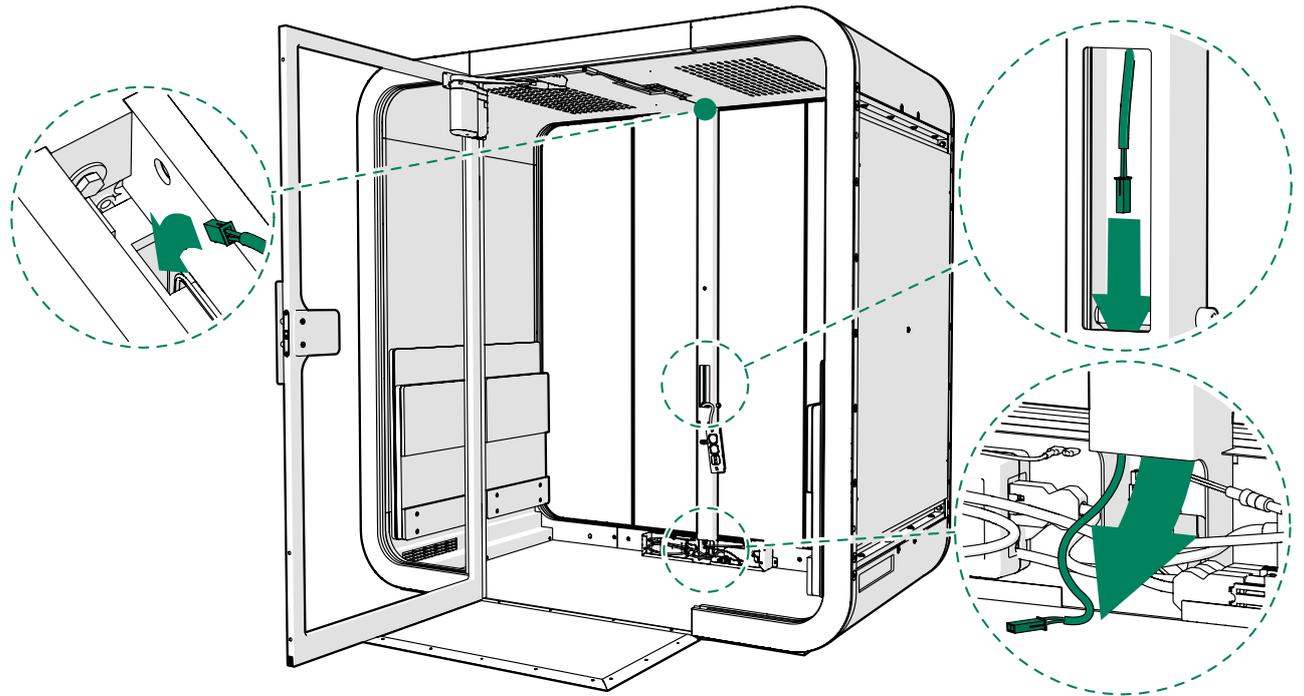


6. DC延長コードは、天井中央の大きい方の開口部からシーリングフェルトの上を通って、ポッドの後方にくるようにしてください。

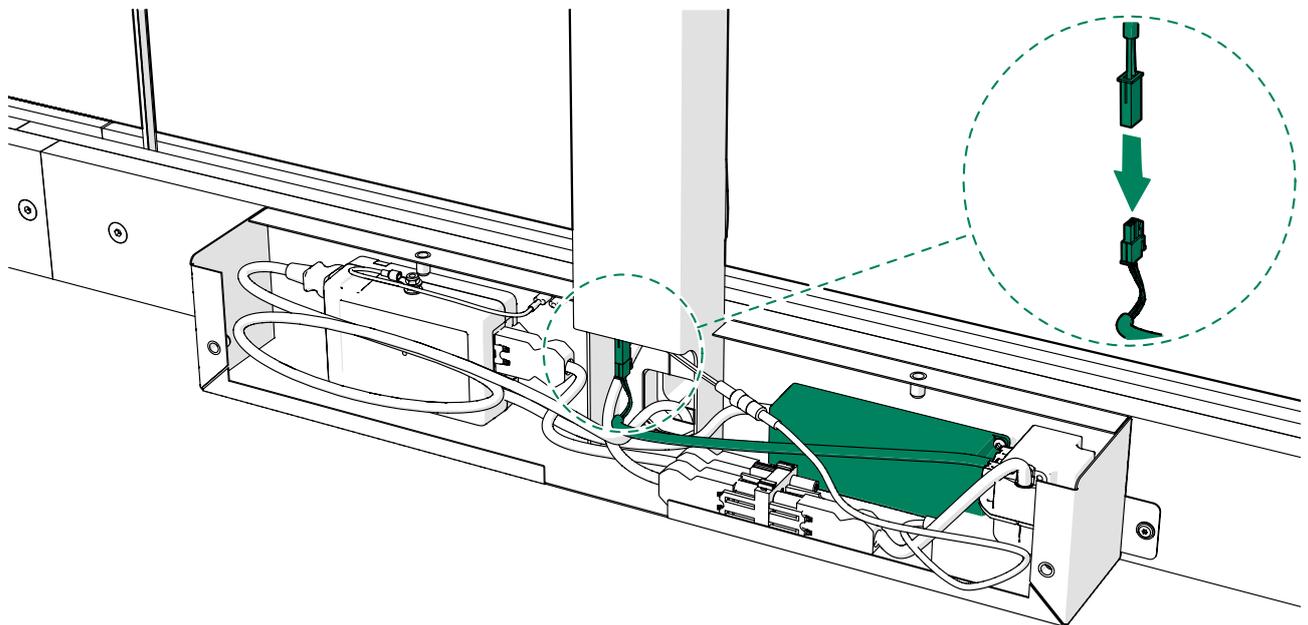
⚠ 注：DC延長コードを天井梁の溝に通してください。



7. DC延長コードをシーリングフェルトにある小さな開口部からパワーコラムに通し、下端の開口部から引き出してください。

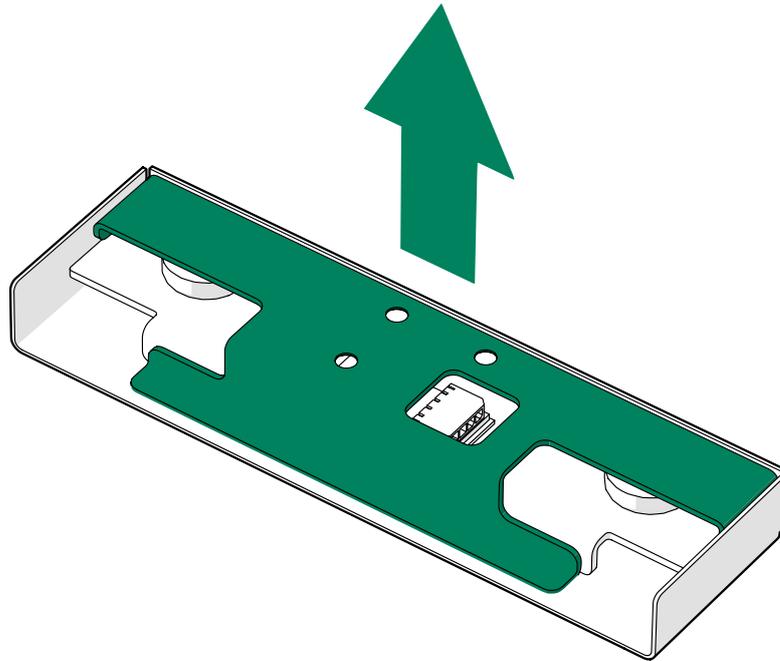


8. DC延長コードとDC変換コードを接続してください。



### 17.3 モーションディテクターと照明の設置

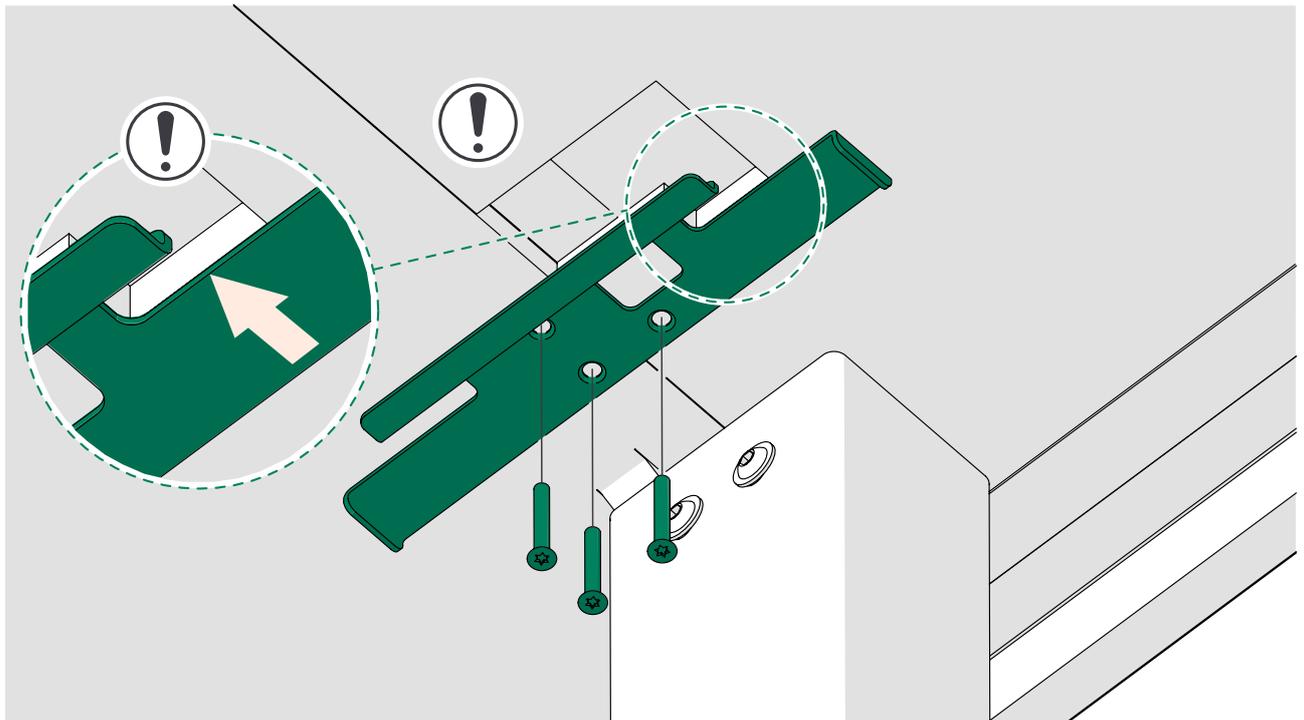
1. モーションディテクターからブラケットを取り外してください。



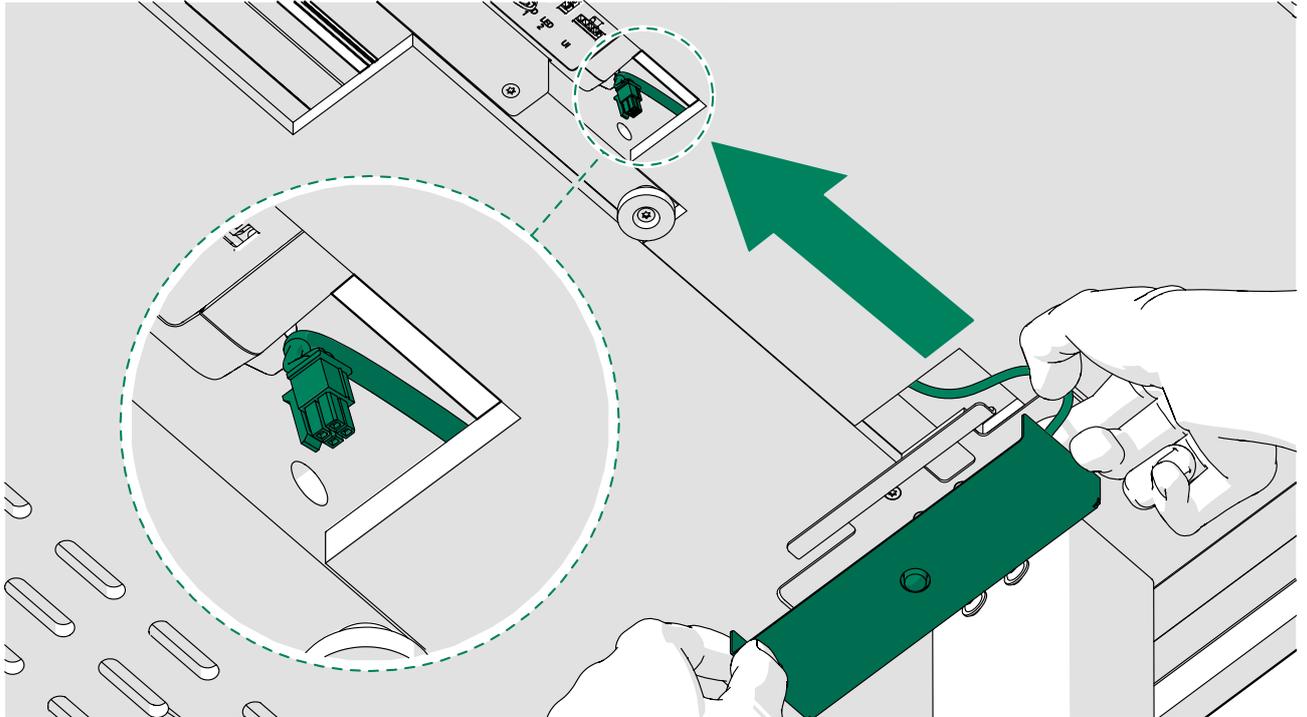
2. モーションディテクターブラケットをポッド背面の天井に4x20のネジ (3個) で取り付けてください。

ブラケットの端をパワーコラムから9mm離れた位置に取り付けてください。

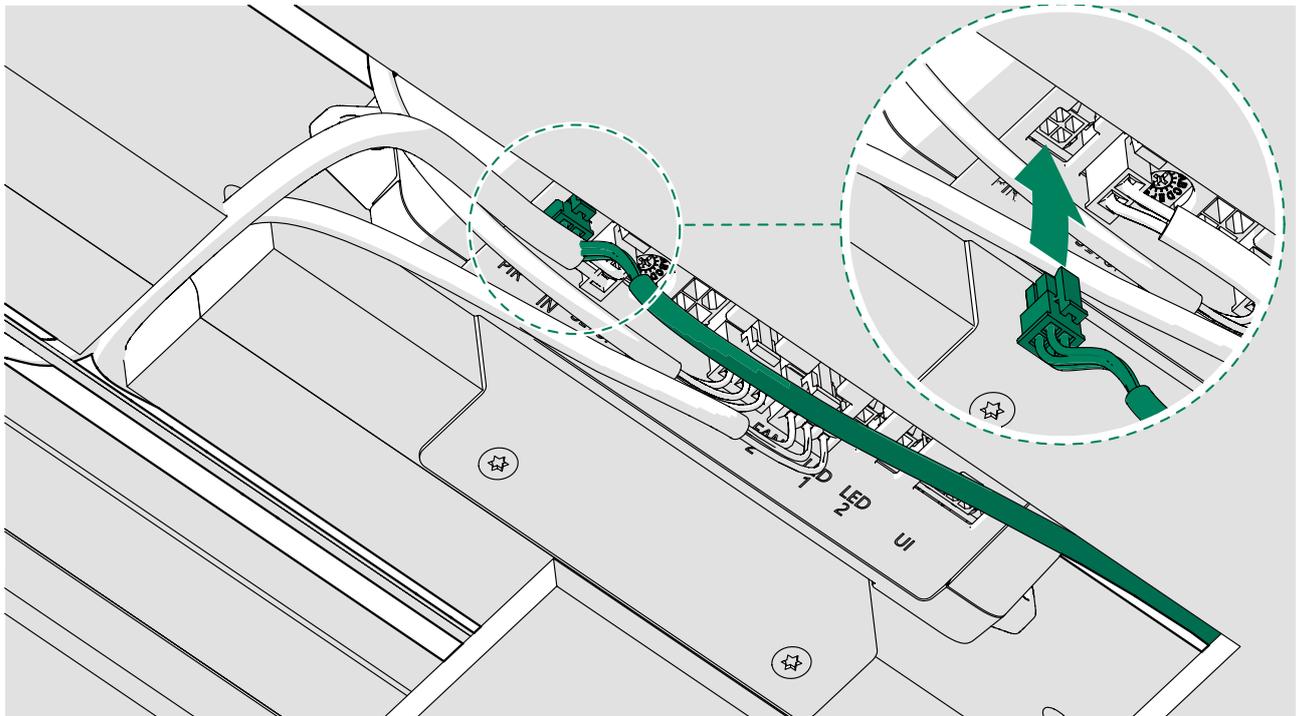
❗ 注：ネジを締めた後、ブラケットが曲がっていないことを確認してください。



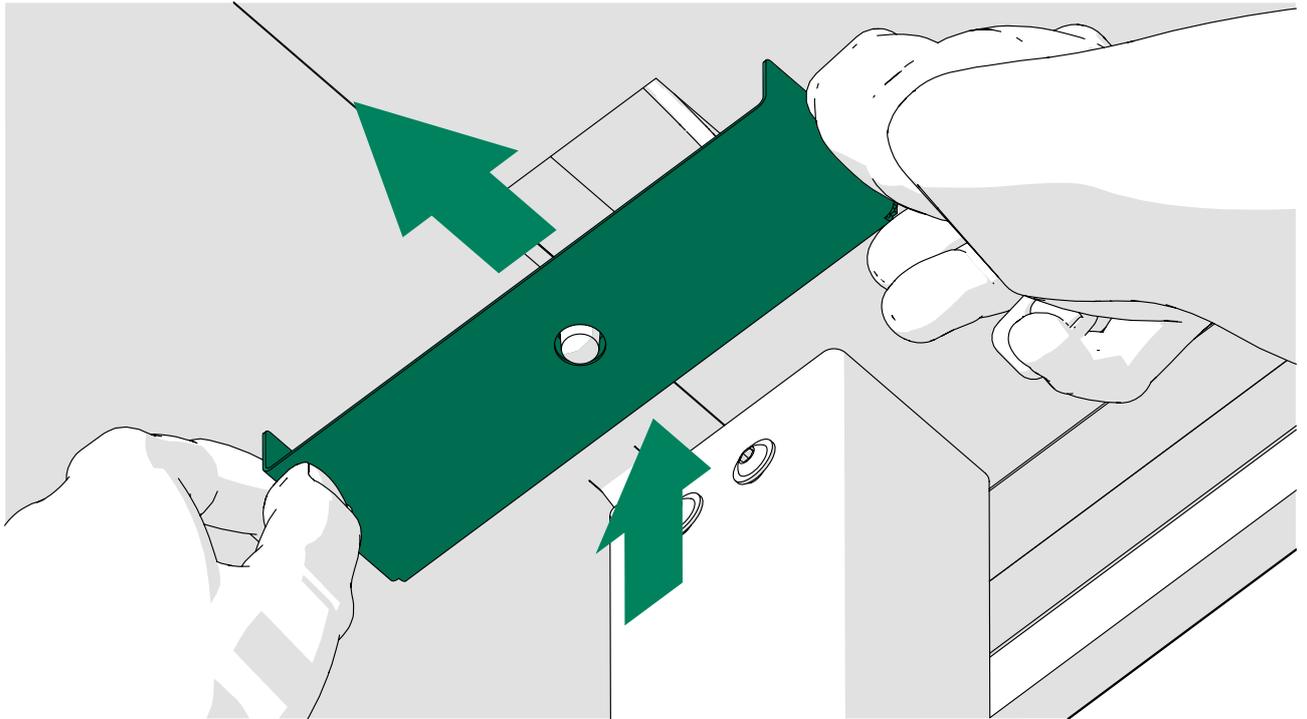
3. モーションディテクターのコードを開口部からコントロールユニットまで引き出してください。



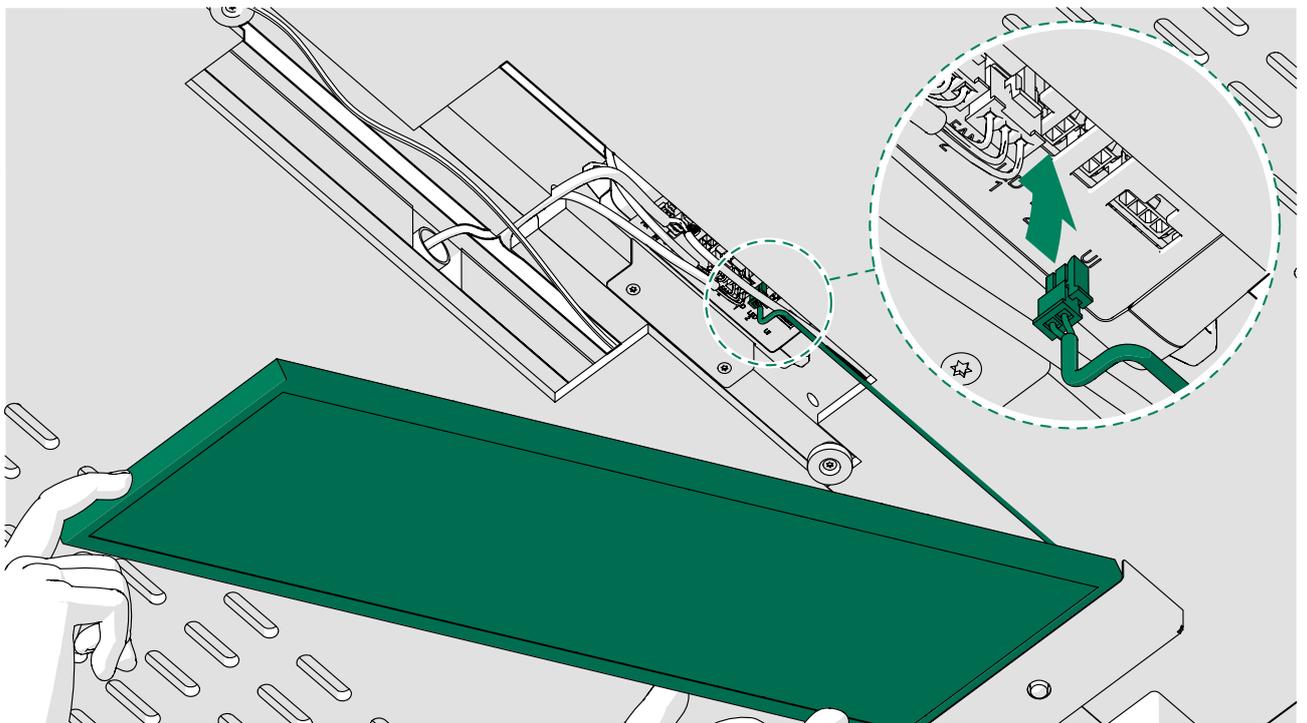
4. モーションディテクターのコードをコントロールユニットのPIRコネクタに接続してください。



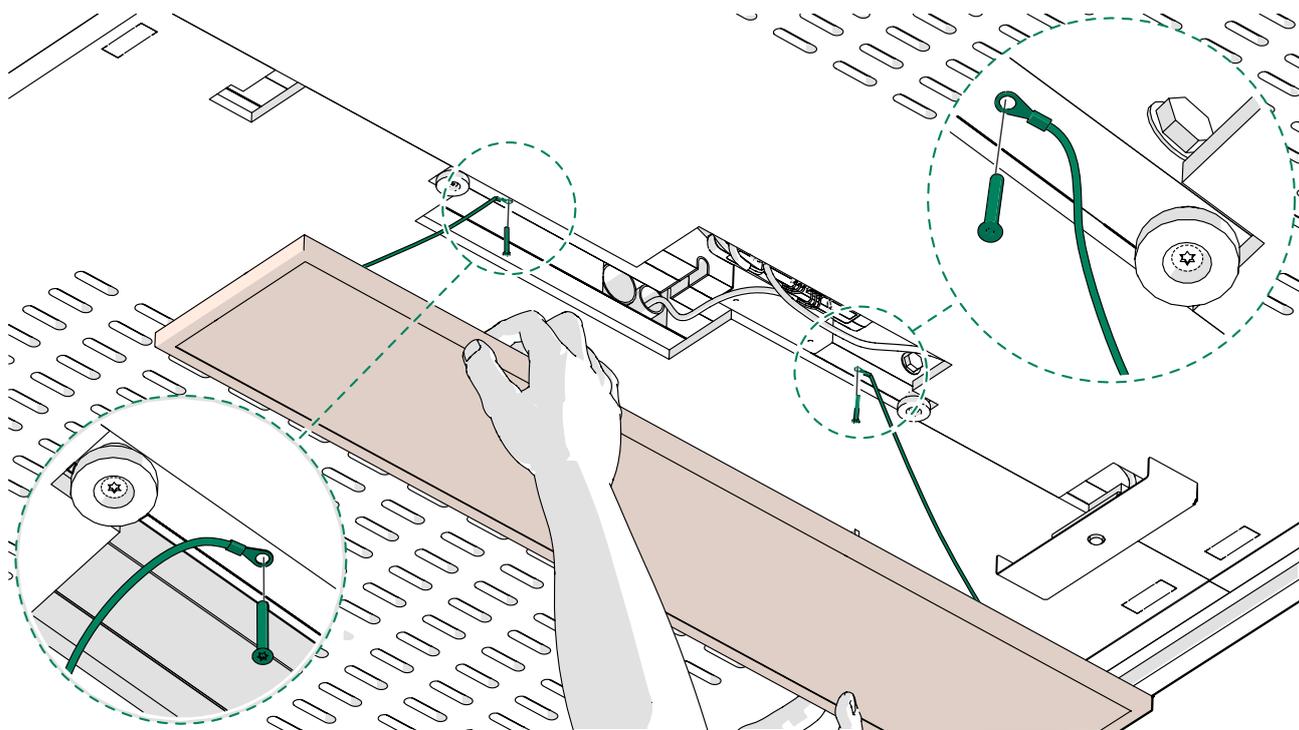
5. モーションディテクターをブラケットまで持ち上げ、スライドさせて固定してください。



6. 照明用コードをコントロールユニットのLED 1コネクタに接続してください。



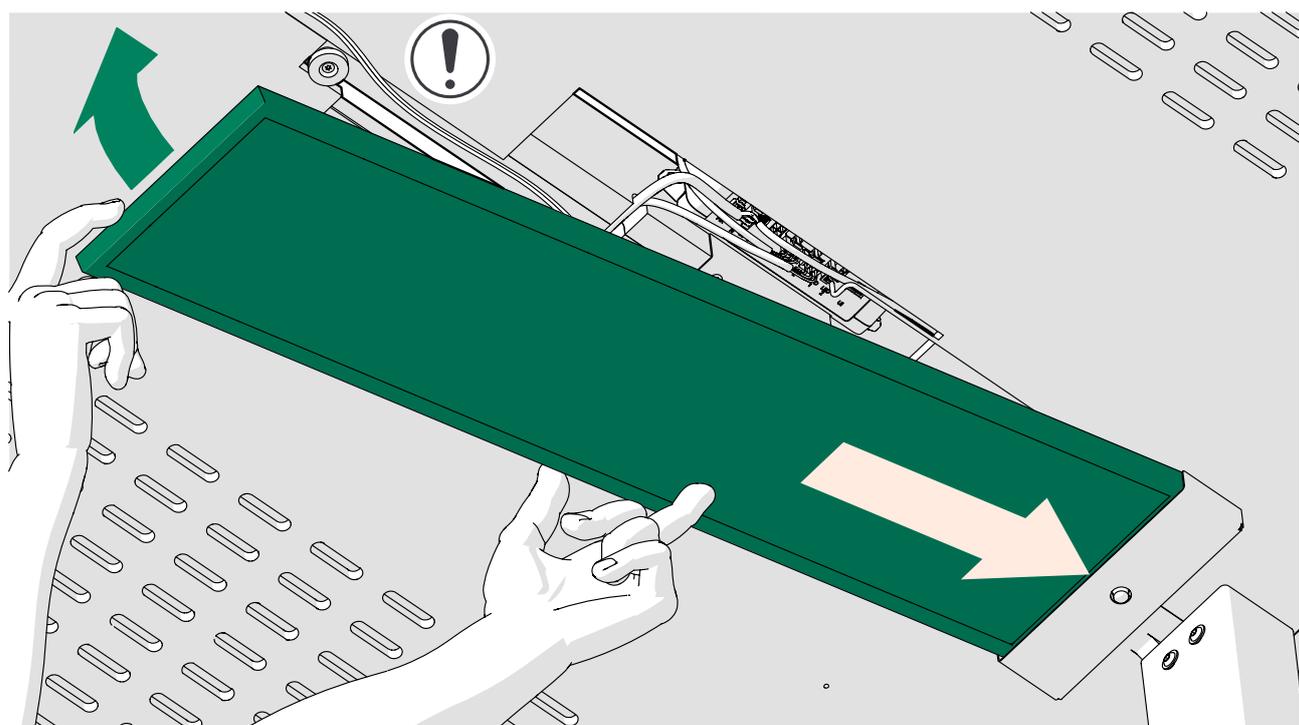
7. 照明用ワイヤーを4×20のネジでルーフに取り付けます。



8. コードを人感センサーブラケットのフラップの下に取り付けて照明を天井に向けま  
す。

照明はマグネットで天井に取り付けられます。照明を天井の中央に合わせてくださ  
い。

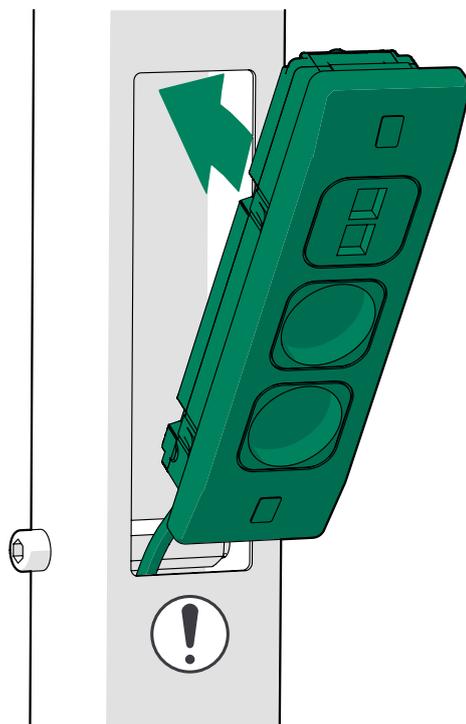
❗ 注：設置の際は、コードが傷ついたり、挟まれないように注意してください。



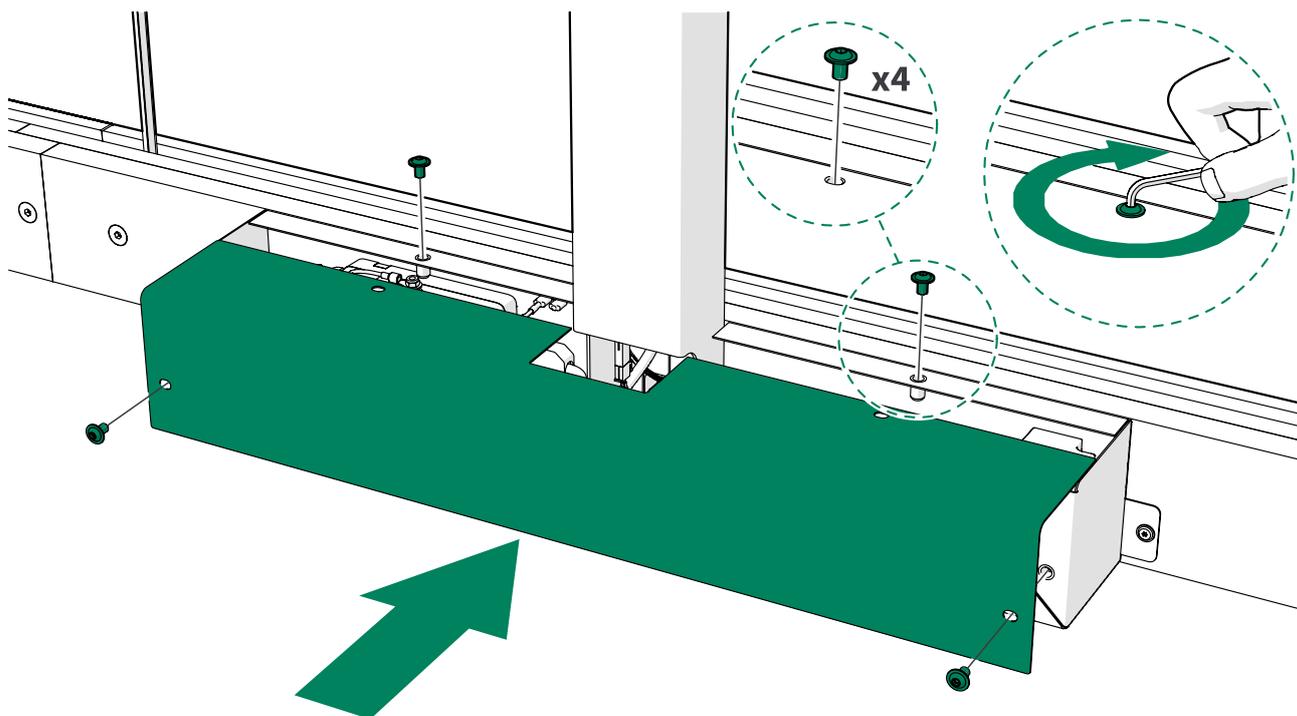
## 17.4 電気部品の設置完了

1. 電源コンセントをパワーコラムの開口部に押し込んでください。

⚠ 注：電源コードが開口部の下端にあるか確認してください。

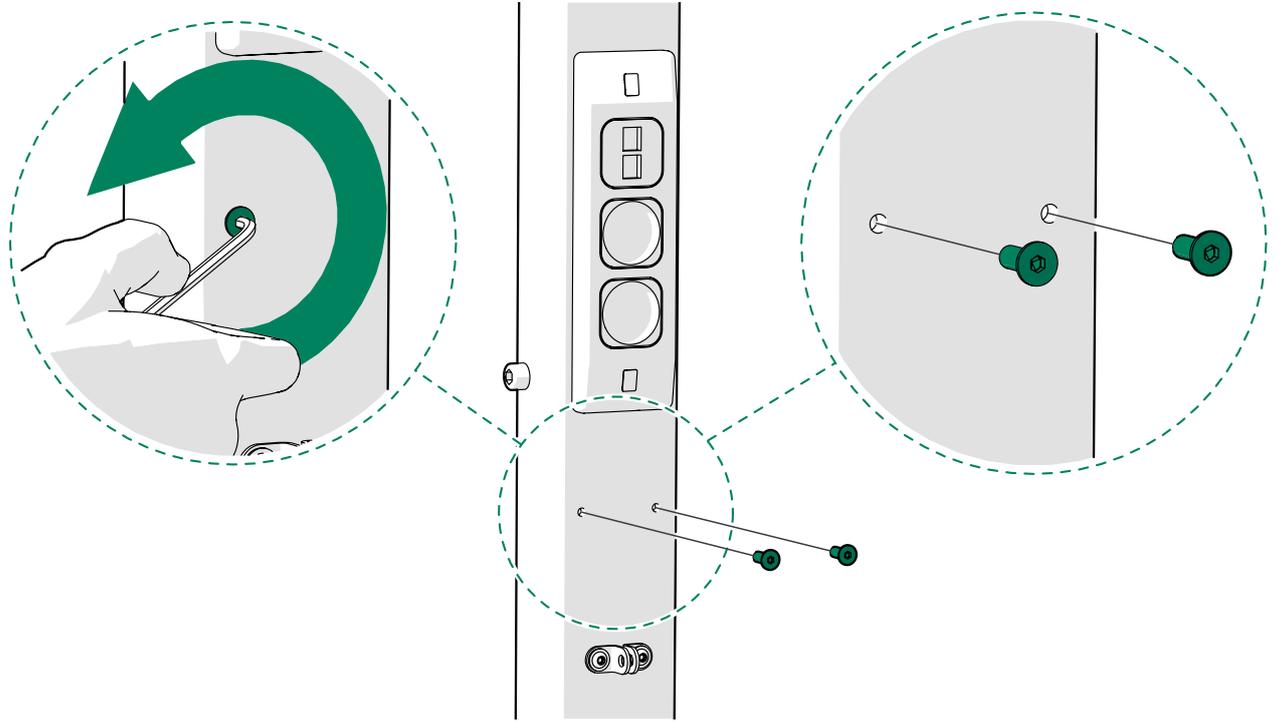


2. メタルボックスカバーを黒のM6x10ネジ (4個) で取り付けてください。

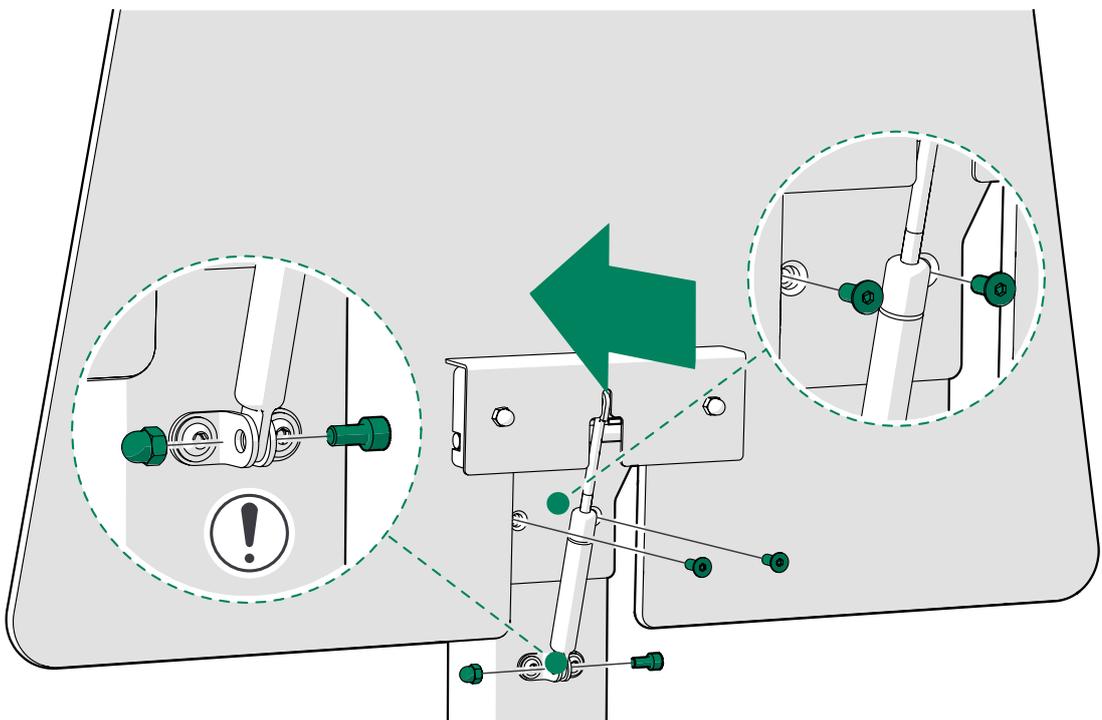


## 18 テーブルの設置

1. パワーコラムからM6x16ネジ (2個) を取り外してください。ネジは近くに置いておいてください。

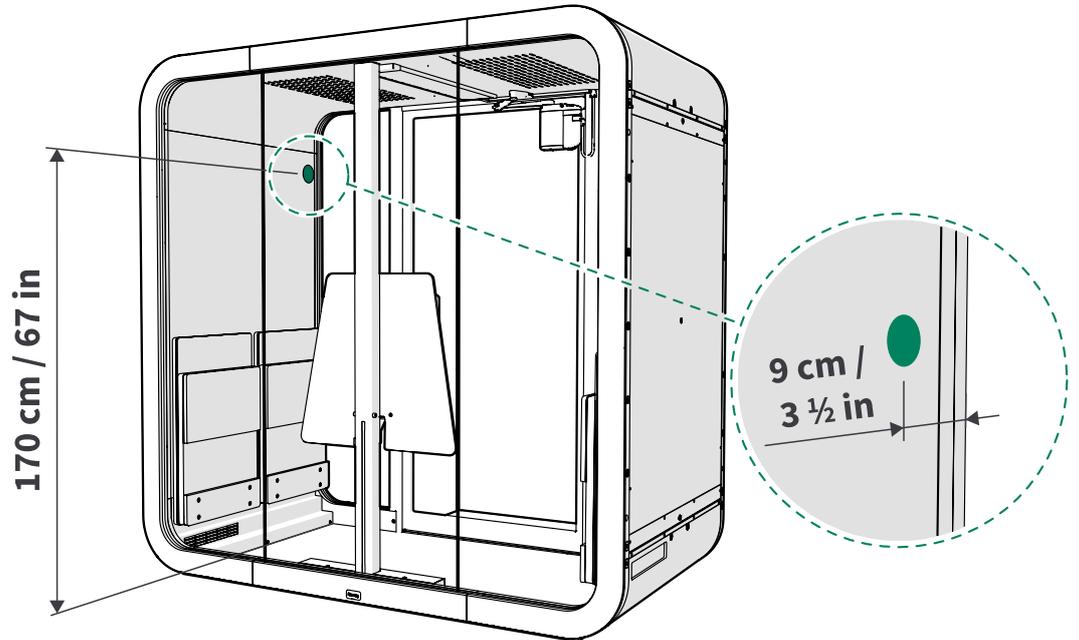


2. 同じM6x16ネジを使用してテーブルをパワーコラムに取り付けてください。  
ガススプリングをM6x12ネジ1個とM6キャップナットでパワーコラムに取り付けてください。

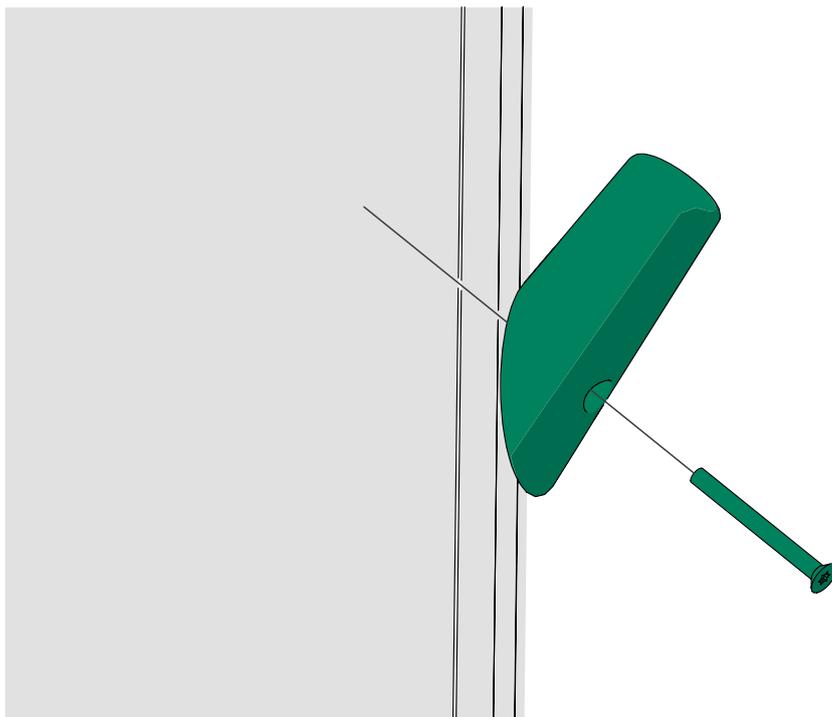


## 19 コートフックの設置

1. 両側の壁のコートフックを設置する場所を測ってください。  
壁の底面から170cm、前面のガラス壁から9cmのところに設置してください。

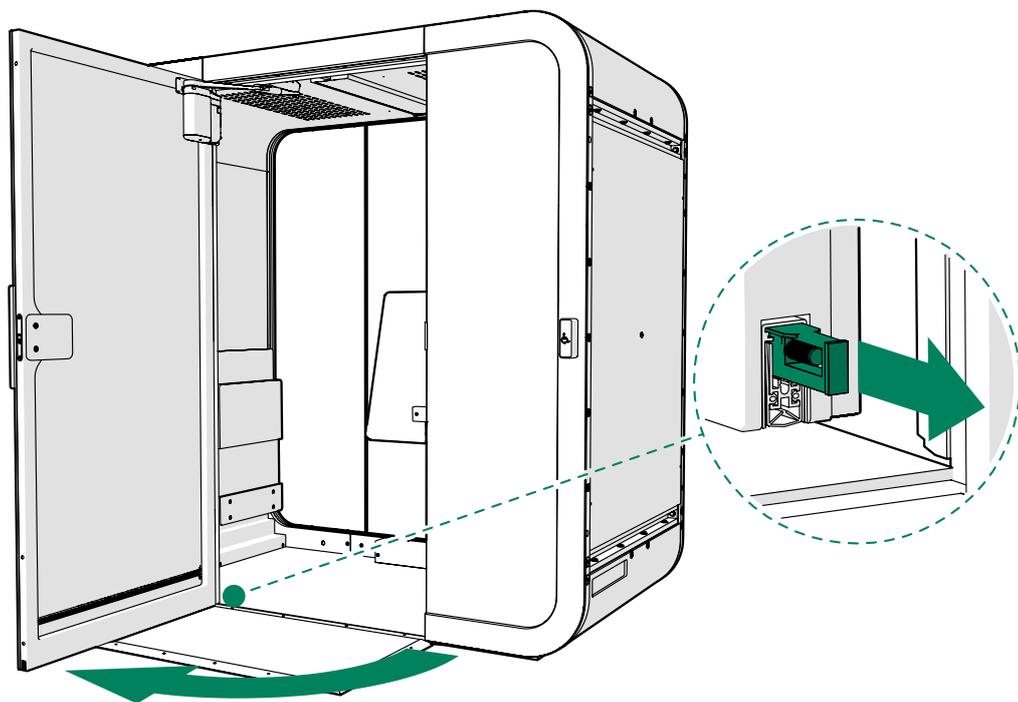


2. コートフックを黒の5x50ネジ (各1個) で取り付けてください。
  - ① ヒント：コートフックがしっかりと固定されていないと感じた場合は、コートフックを取り外し、ガラス壁の方に少し移動させてから再度取り付けてください。



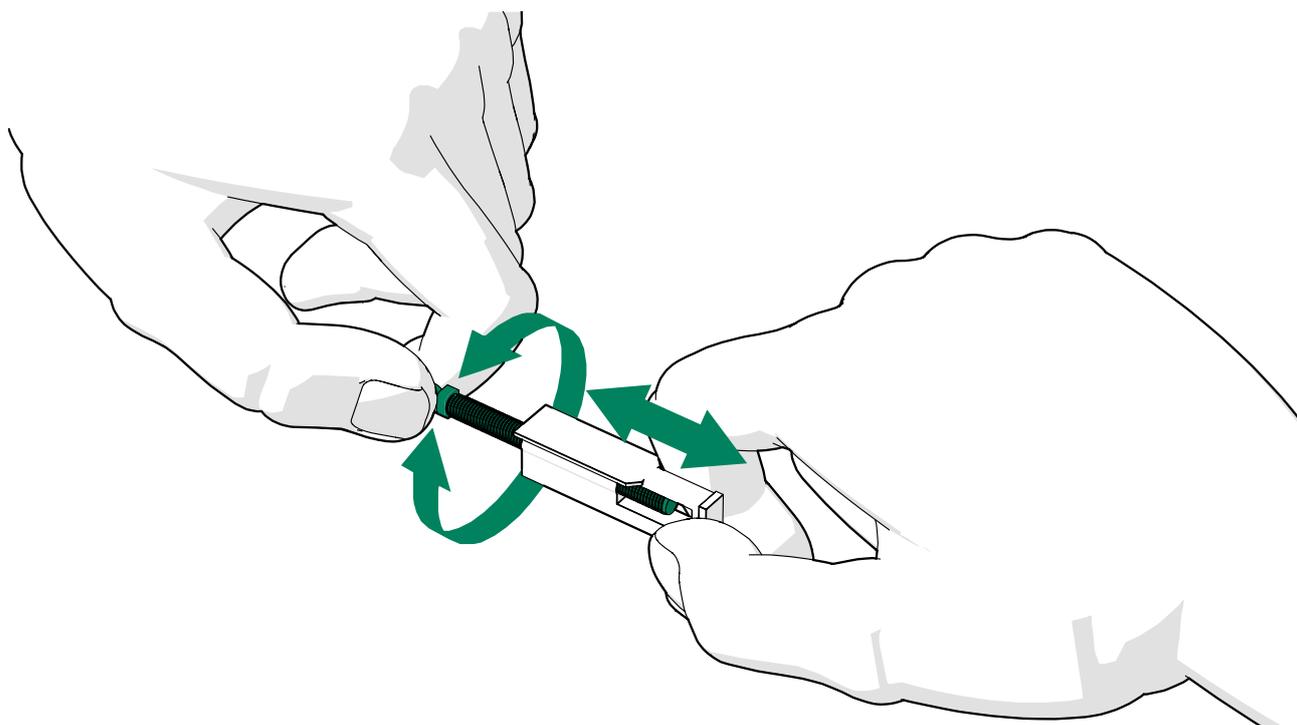
## 20 自動ドアシールの調節

1. ドアの下の内側フレームから調節棒を引き出してください。

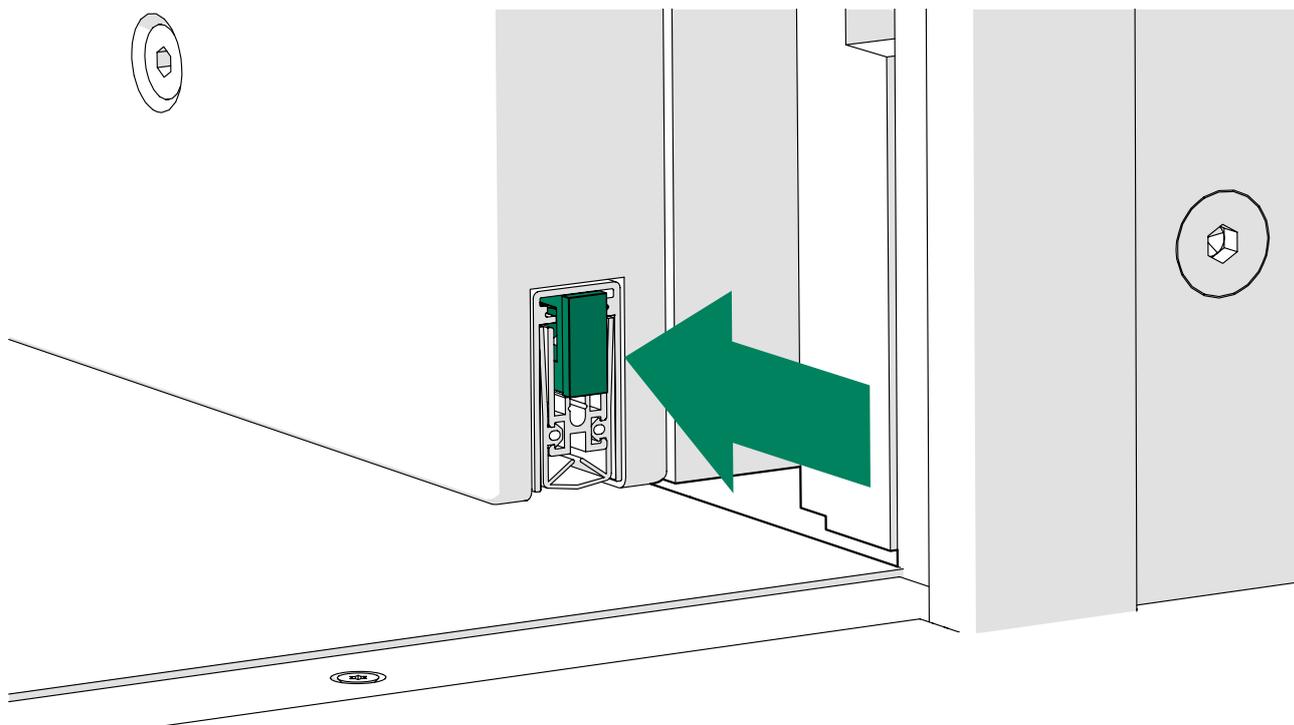


2. 棒のネジを調節してください。

棒をドアフレームから出すほど、ドアシールは下がります。扉を閉めると自動的にシールが下がります。



3. 調節棒をカチッと音がする位置まで押し込んでください。



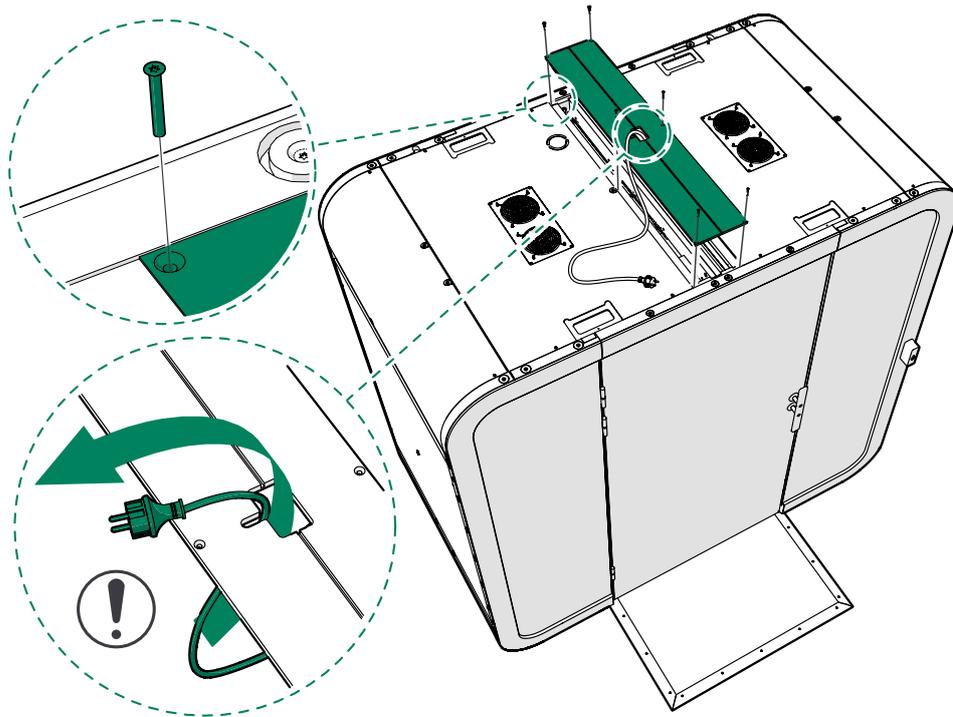
4. ドアを閉めてください。  
5. ドアの下に隙間がないか懐中電灯で確認してください。  
ドアの下から光が差し込む場合は、ドアシールを再調節してください。

## 21 カバーパネルとプレートの設置

### 21.1 ルーフパネルとカバープレートの設置

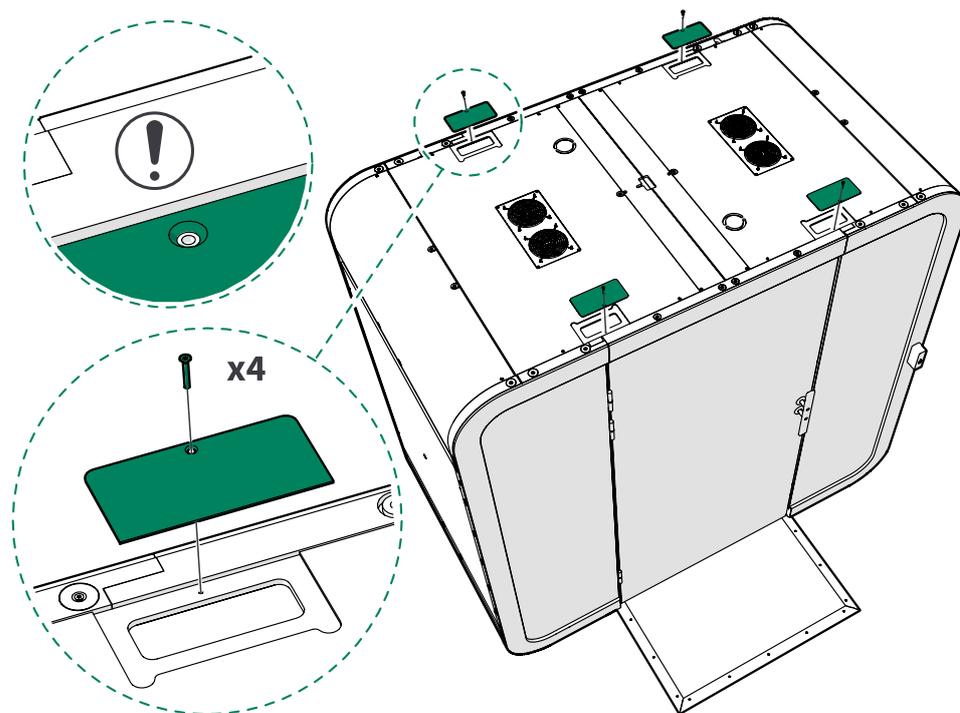
1. 4x30ネジ (6個) でルーフカバーパネルを取り付けてください。

- ⓘ 注：電源コードを屋根から設置する場合は、電源コードを開口部の溝に通してください。
- ⓘ 注：皿ネジの穴が上向きになっているか確認してください。



2. ルーフカバープレート (4個) を4×30のネジ (各1個) で取り付けてください。

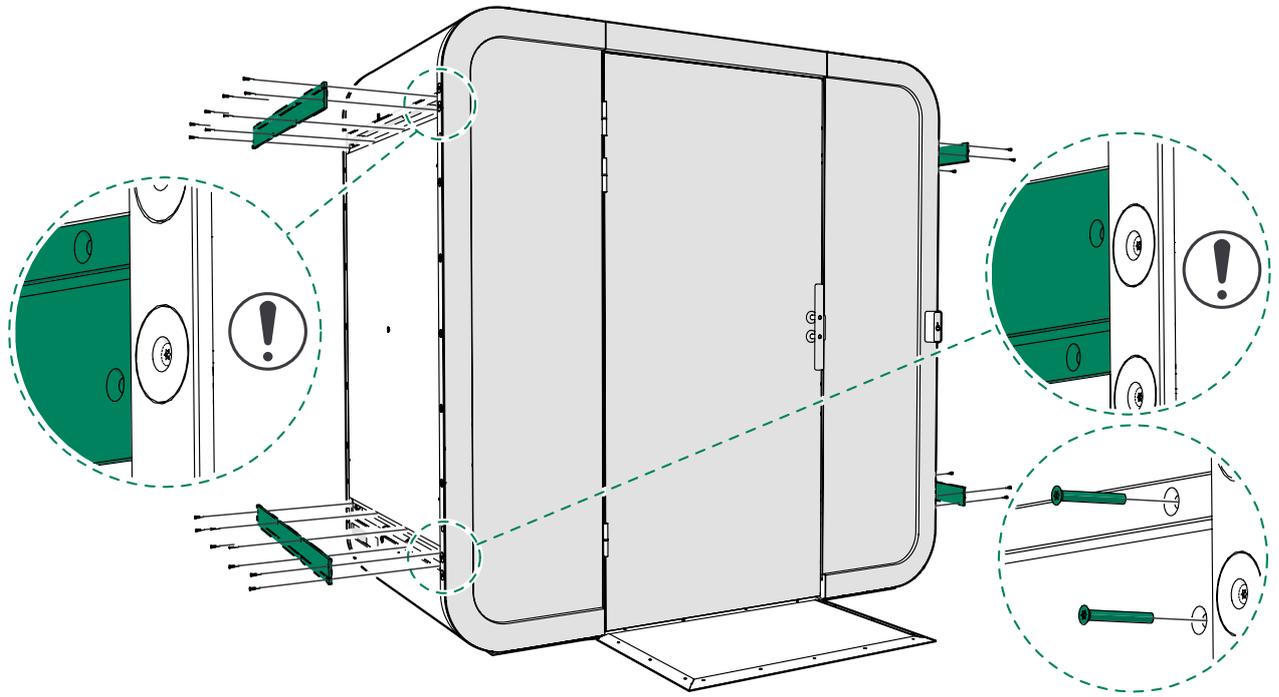
- ⓘ 注：皿ネジの穴が上向きになっているか確認してください。既存のネジ穴を使用してください。



## 21.2 ウォールカバーパネルの設置

ウォールカバープレート (4個) を4×30のネジ (各8個) で取り付けてください。

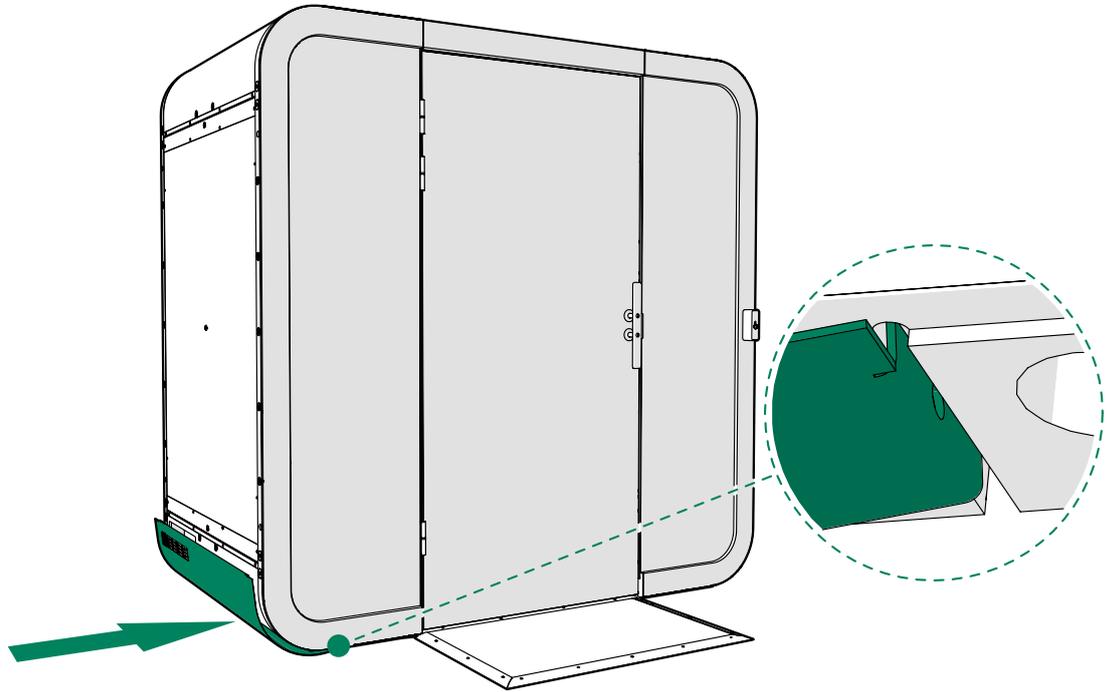
- ⓘ 注：パネルの溝が外周にあることを確認してください。既存のネジ穴を使用してください。
- ⓘ 注：初めて設置する場合は、最初に取り外したネジに加えて、パネル1枚につき2個の予備ネジが必要です。カバーパネルに空いている2つの皿穴に、追加のネジを2個取り付けてください。



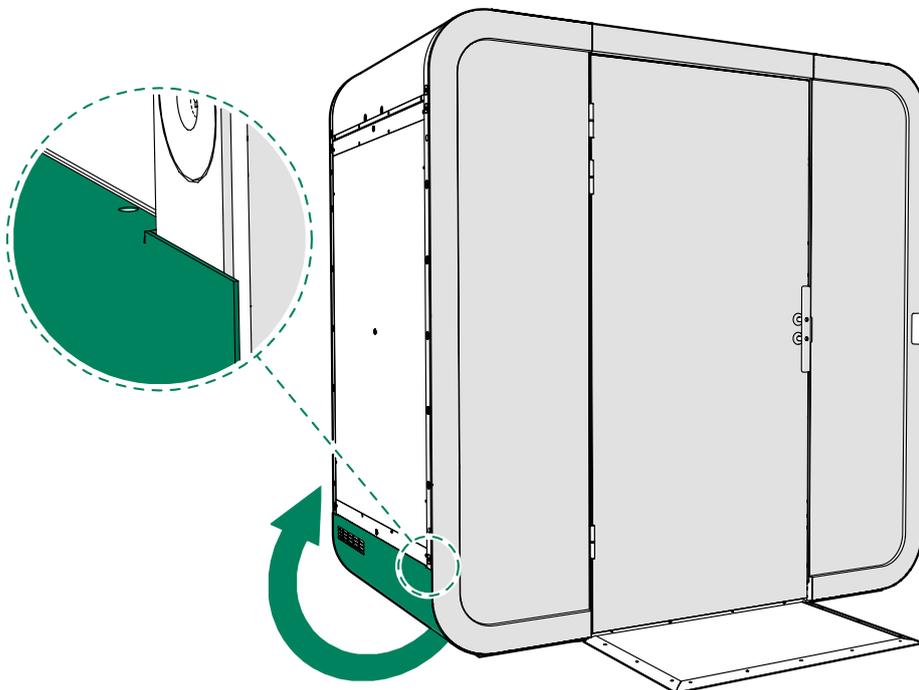
## 22 ボディカバーの設置

### 22.1 ボトムボディカバーの設置

1. 左側のボトムボディカバーをポッドの下にスライドさせてください。  
カバーの端を床下の溝に入れてください。



2. 左側の底面ボディカバーのもう片方の端を、左側の壁の下部にある溝に入れてください。



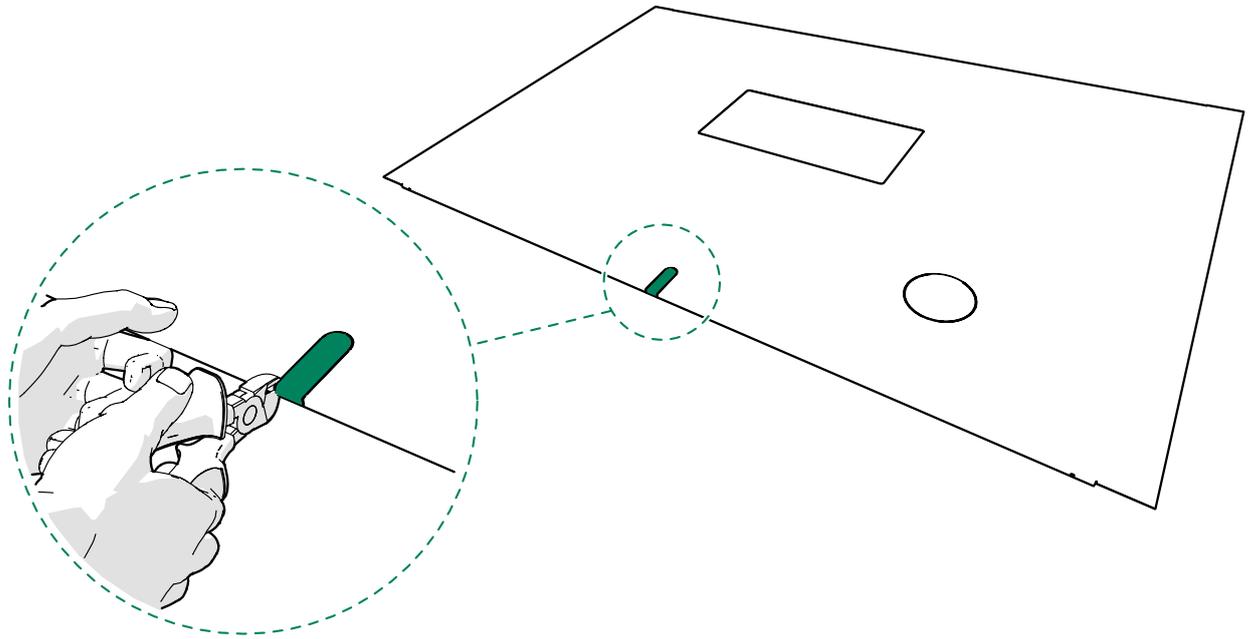
3. 1.と2.の手順を右側のボトムカバーにも同様に行ってください。

## 22.2 ルーフボディカバーの設置

1. 電源コードを天井から設置している場合は、ボディカバーの切り込み部分を切ってください。

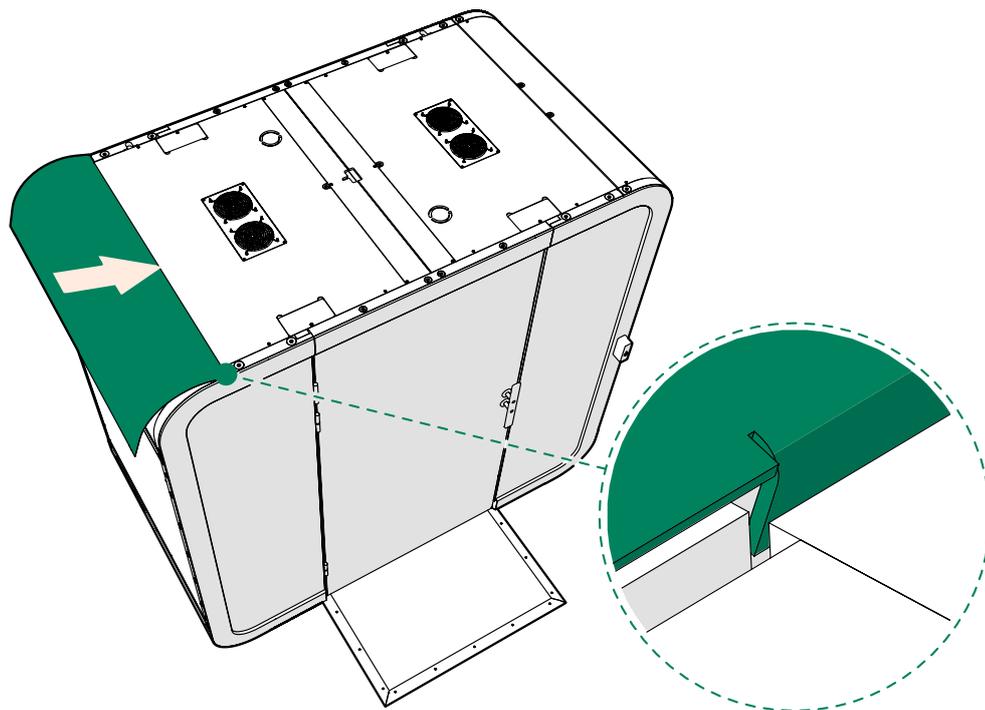
電源コードをフロアモジュールに取り付けている場合は必要ありません。

❗ 注：初めて設置する時に限り、この作業を行わなくてはなりません。

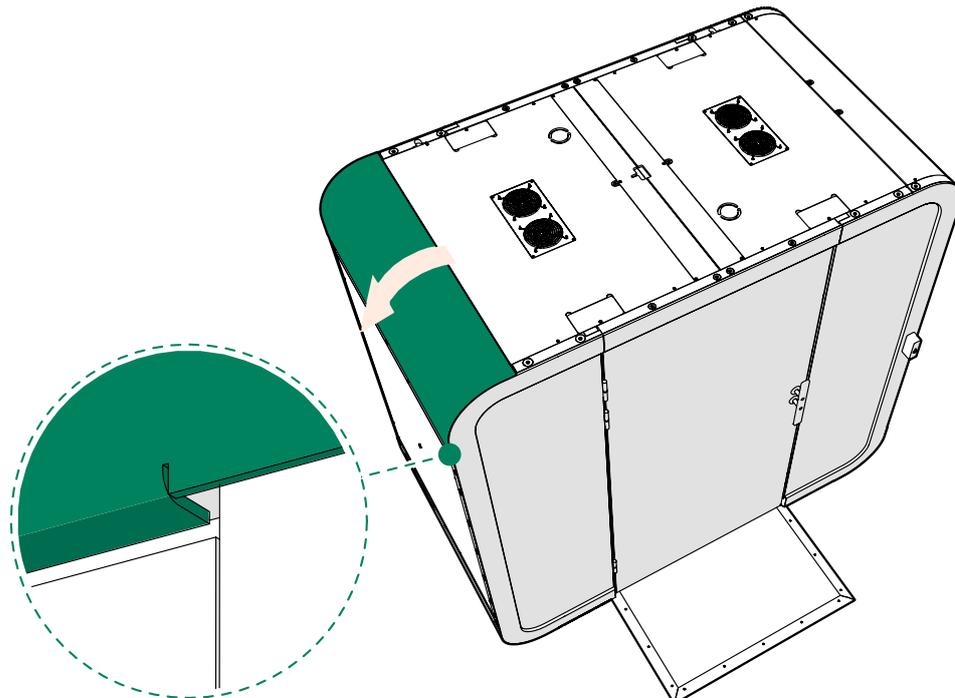


- 湾曲したルーフボディカバーの一方の端を、ルーフモジュールの端にある溝に差し込んでください。

❗ 注：カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。カーブ後の短い直線部分は、屋根の端まで設置されています。



- 本体カバーのもう一方の端を壁の上部にある溝に入れてください。

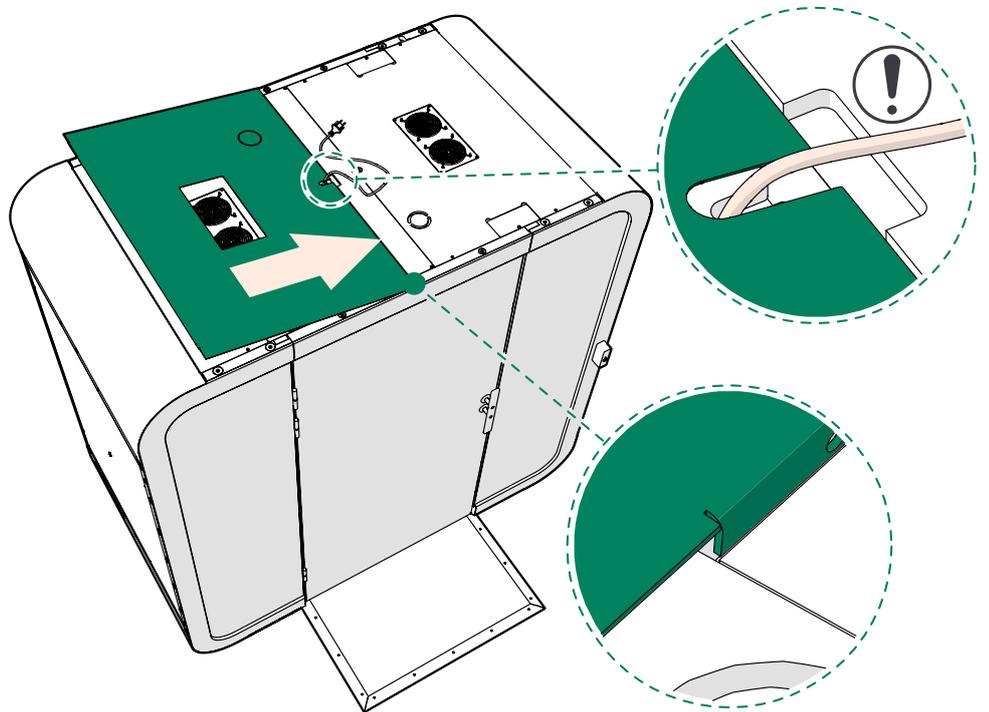


- 手順2と3を繰り返して、もう一方の曲面ルーフボディカバーをルーフモジュールの反対側に取り付けてください。

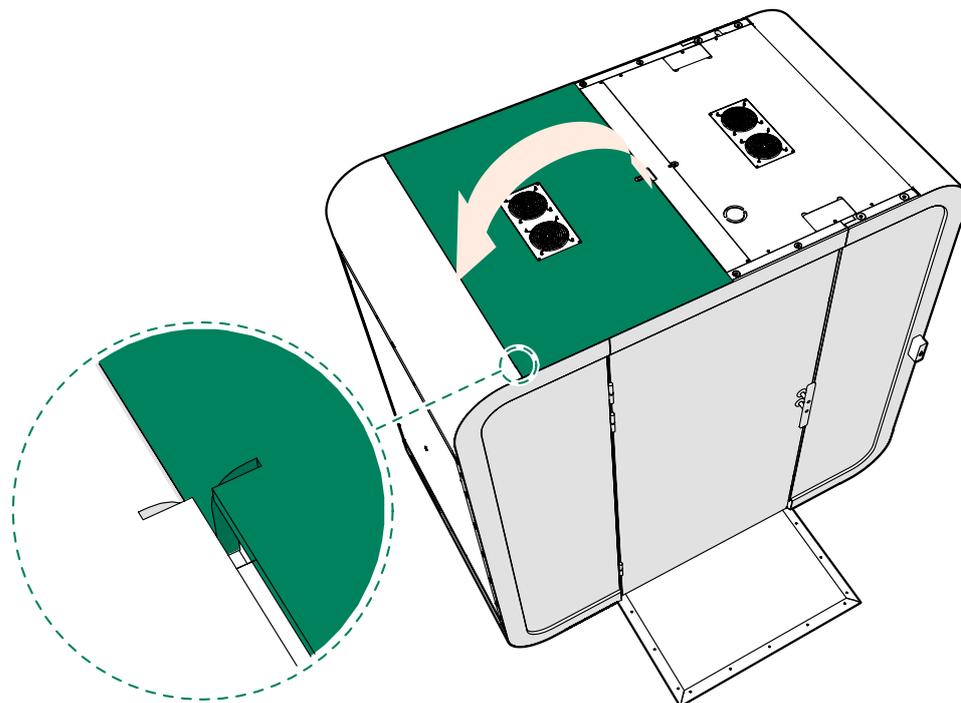
5. 左側のストレートルーフボディカバーの端を、ルーフモジュール中央の溝に入れてください。

ⓘ 注：電源コードを天井から設置している場合は、電源コードをカバーの切り込みから出してください。設置の際は、コードに傷が付かないように注意してください。

ⓘ 注：ボディカバーの丸い円と、ルーフモジュールの丸い円が一致していることを確認してください。



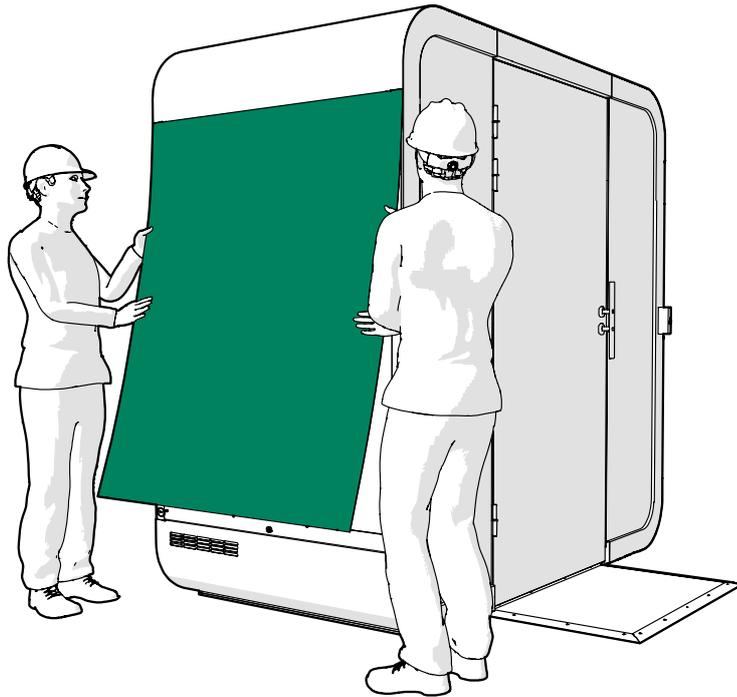
6. ボディカバーのもう一方の端を、ルーフモジュールの端にある溝に入れてください。



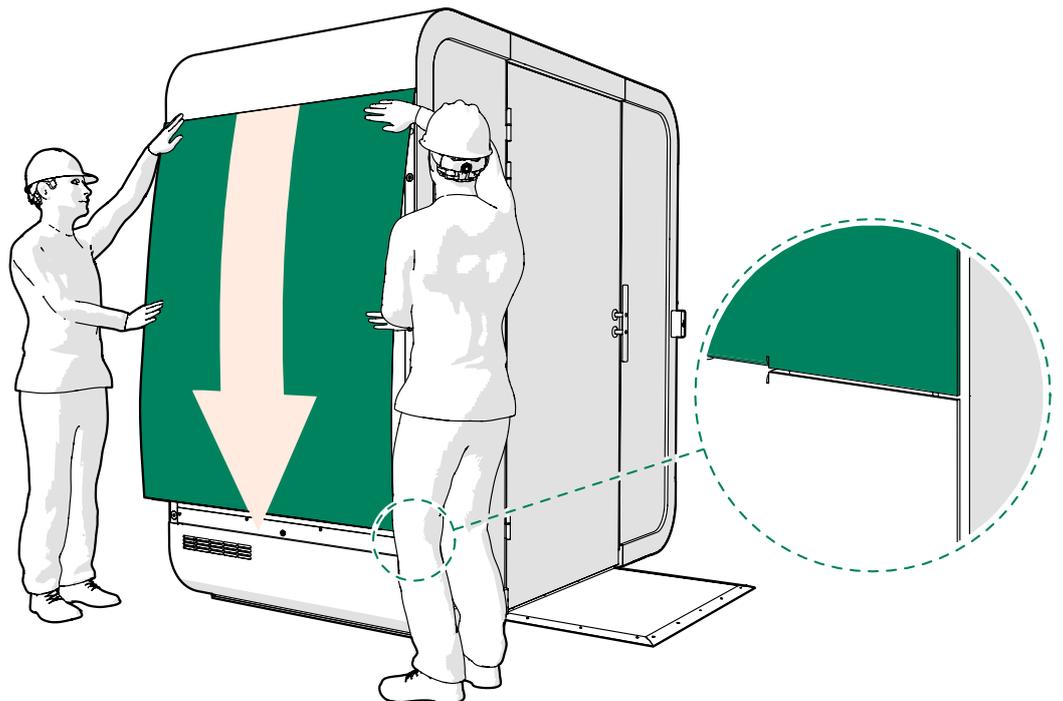
7. 手順5と6を繰り返して、もう一方のストレートルーフボディカバーを屋根の反対側に取り付けてください。

## 22.3 壁面ボディカバーの設置

1. 片方の本体カバーの端を壁の上部にある溝に入れてください。



2. 片手でボディカバーを上部の溝に押し込み、もう一方の手でボディカバーを外側に軽く曲げてください。本体カバーの下端を壁の下部にある溝にスライドさせ、本体カバーを押し込んでください。



3. もう一方のウォールボディカバーにも、手順1と2を繰り返してください。

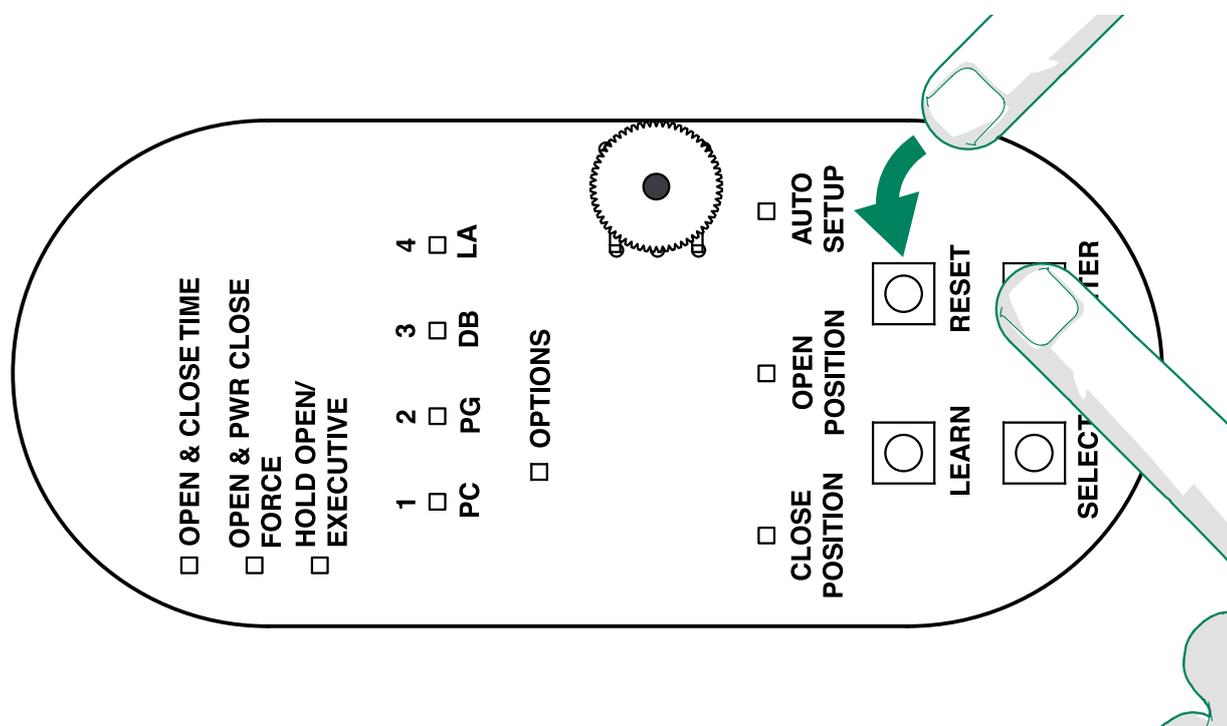
ⓘ 注：ボディカバーとフレームの間に隙間がないことを確認してください。

ⓘ 注：壁のボディカバーが均等に取り付けられているか、他のボディカバーと正しく並んでいるかを確認してください。必要に応じて、白色のゴム製ハンマーで壁のカバーを軽くたたいて、位置を合わせてください。

## 23 ドアオープナーのプログラム設定方法

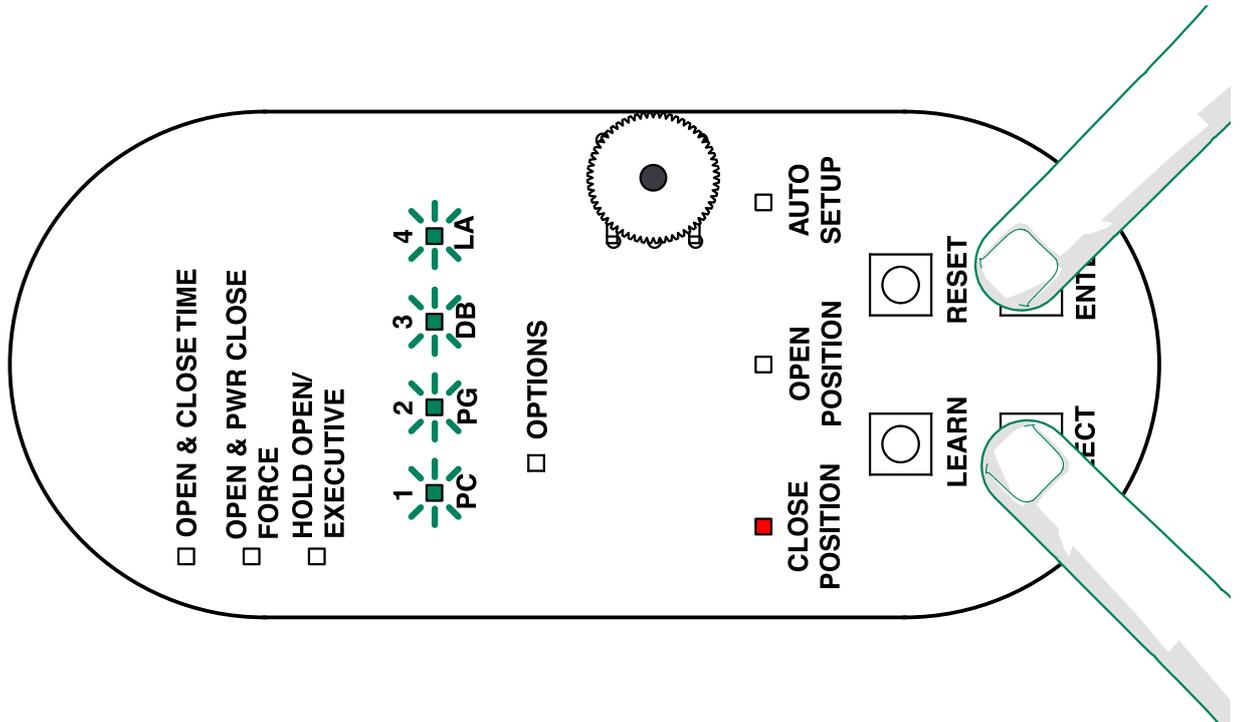
### 23.1 初期設定

1. ドアオープナーをリセットし、メモリーを確実に消去するには、**Enter**を長押ししてください。同時に、**Reset**を押して離してください。  
LED **PC-LA** が短時間緑色に点滅します。



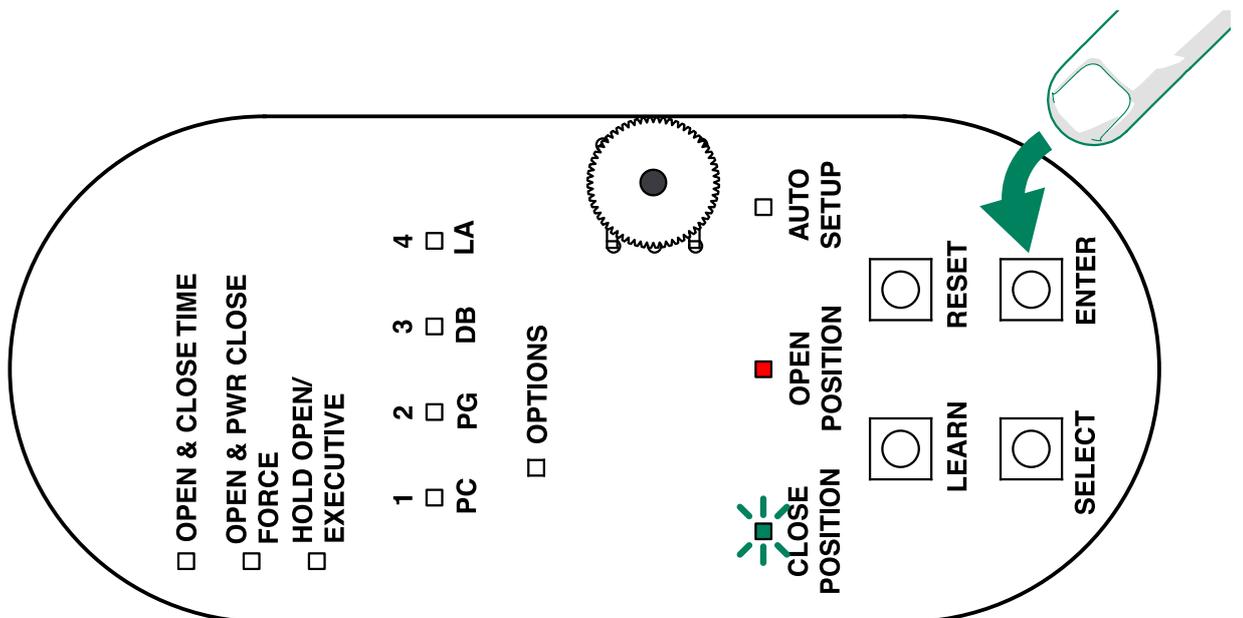
2. プログラミングモードに入るには、**Select** と **Enter** を3秒間長押ししてください。

❗ 注：LEDs *PC-LA* が短時間点滅し、*CLOSE POSITION* (閉位置)のLED が赤色に点灯したままの状態になります。



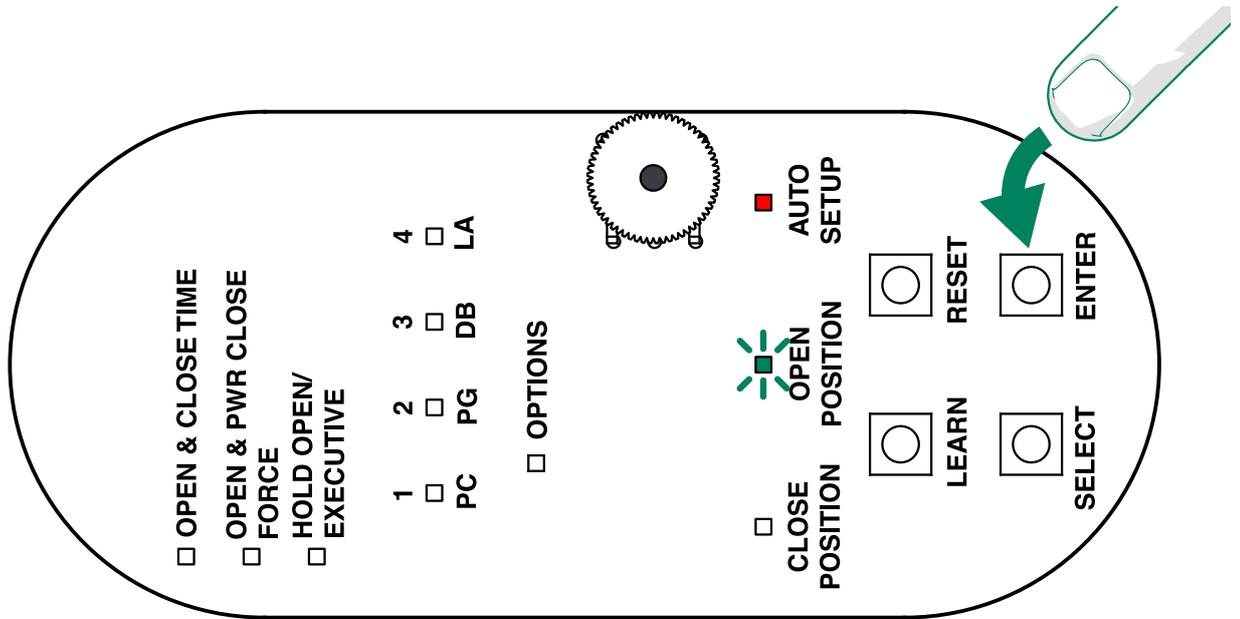
3. ドアの閉まる位置を設定するには、ドアが閉じた状態であることを確認して **Enter** を押してください。

*CLOSE POSITION* (閉位置)のLEDが短時間緑色に点滅します。次に、*OPEN POSITION* (開位置)のLEDが赤色に点灯します。



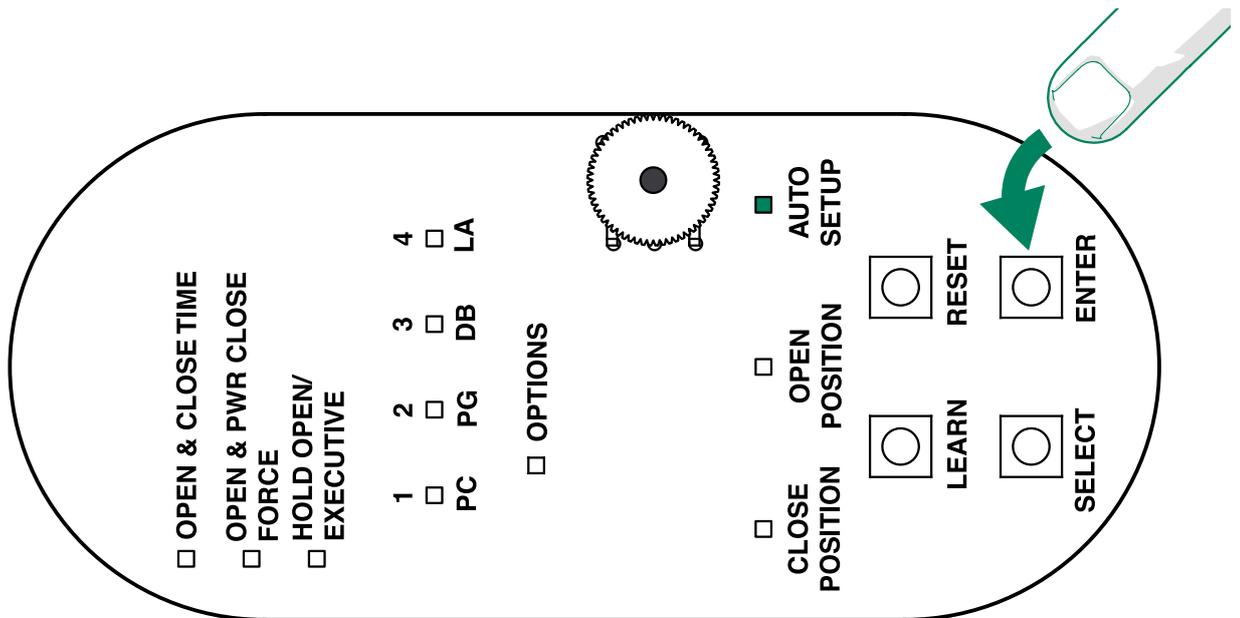
4. ドアの開く位置を設定するには、ドアが完全に開いている事を確認して**Enter**を押してください。

*OPEN POSITION* (開位置)のLEDが短時間緑色に点滅します。次に、*AUTO SETUP* LEDが赤く点灯します。



5. ドアの自動開閉設定が正しく行われているか確認するには、ドアが完全に閉じている事を確認して**Enter**を一度押してください。

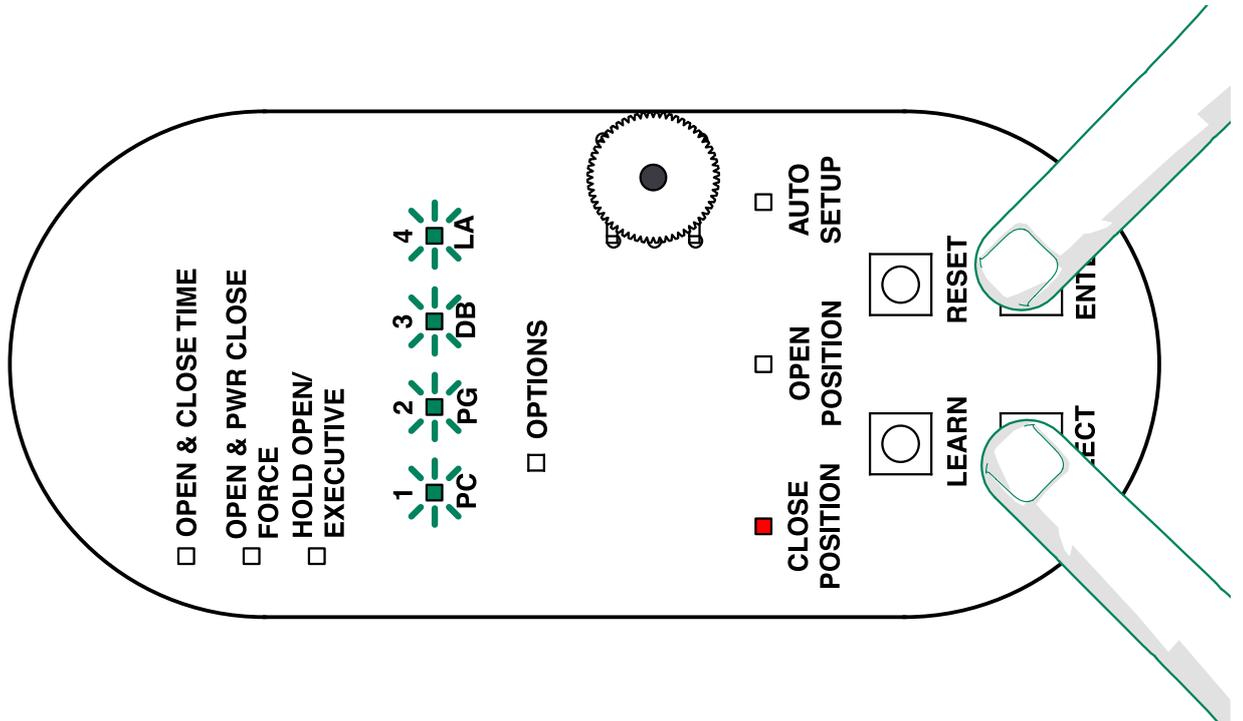
ドアが30~45°開いた後、閉じます。 *AUTO SETUP* のLEDが緑色に点滅します。



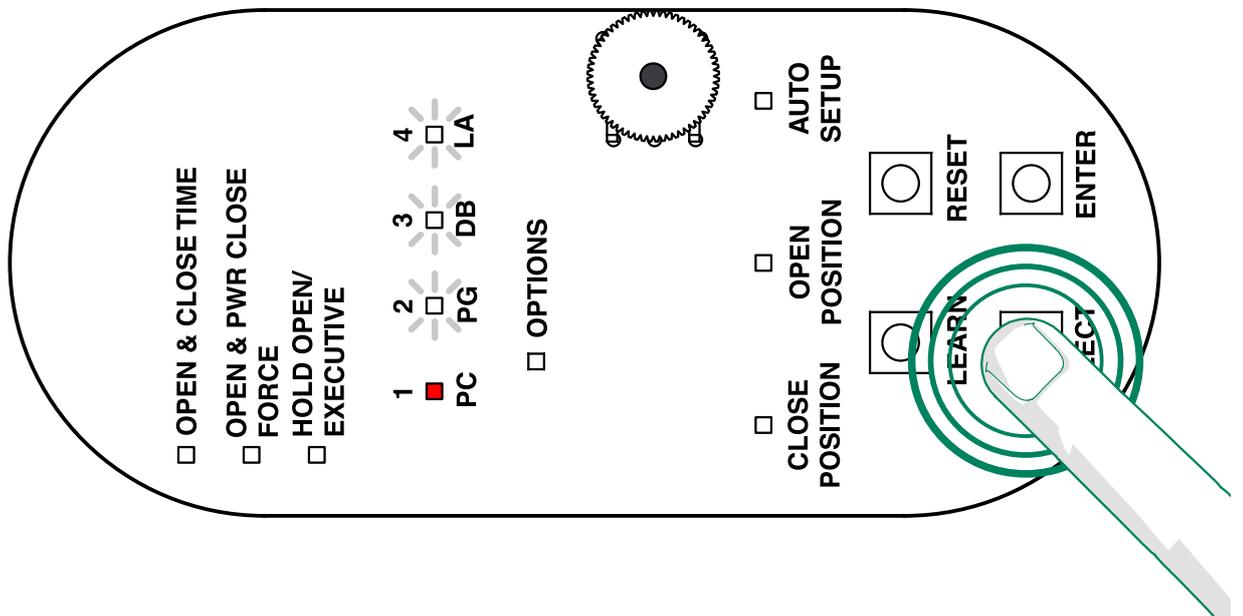
## 23.2 パワークローズ機能を有効にする方法

1. プログラミングモードに入るには、**Select** と **Enter** を3秒間長押ししてください。

❗ 注：LED *PC-LA* が短時間緑色に点滅し、*CLOSED POSITION* (閉位置)のLEDが点灯したままの状態になります。

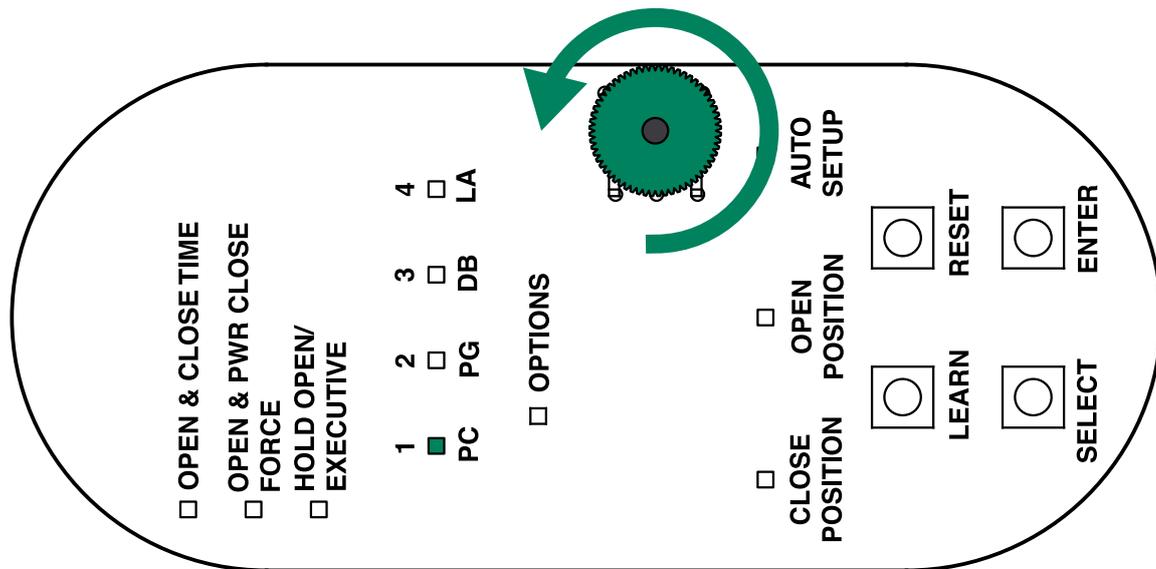


2. パワークローズ機能を有効にするには、*PC*のLEDだけが点灯するまで**Select**を何度か押してください。

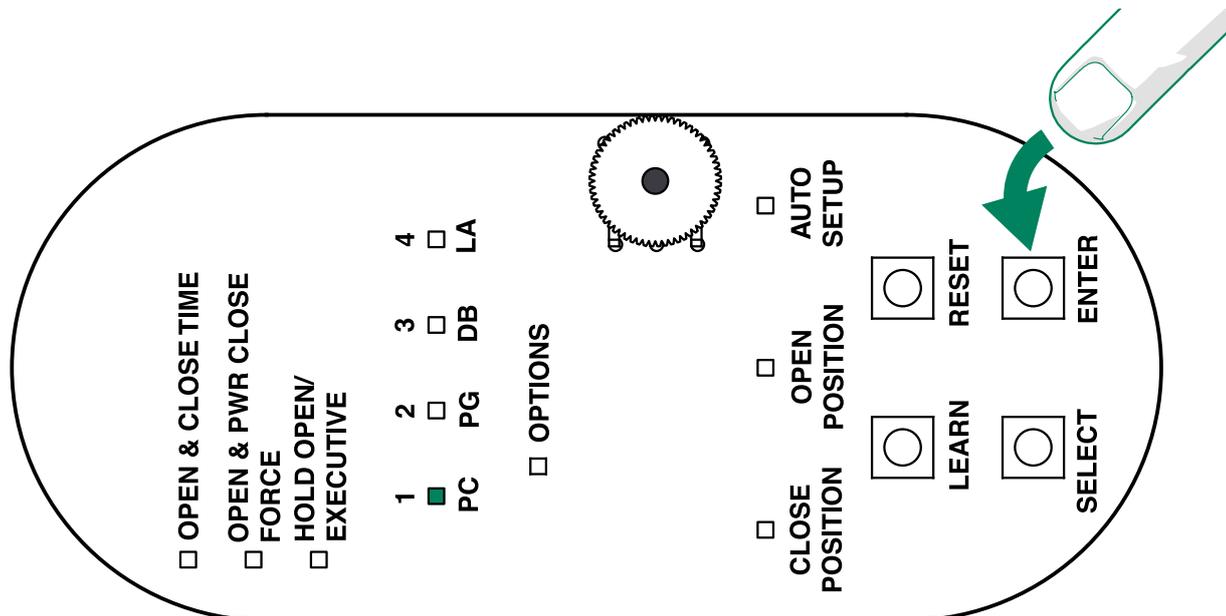


3. ポテンショメータを回転させて、LEDの色を緑色に変更してください。

緑色のLEDは、パワークローズ機能がオンになっていることを示しています。赤色のLEDは、パワークローズ機能がオフになっていることを示しています。

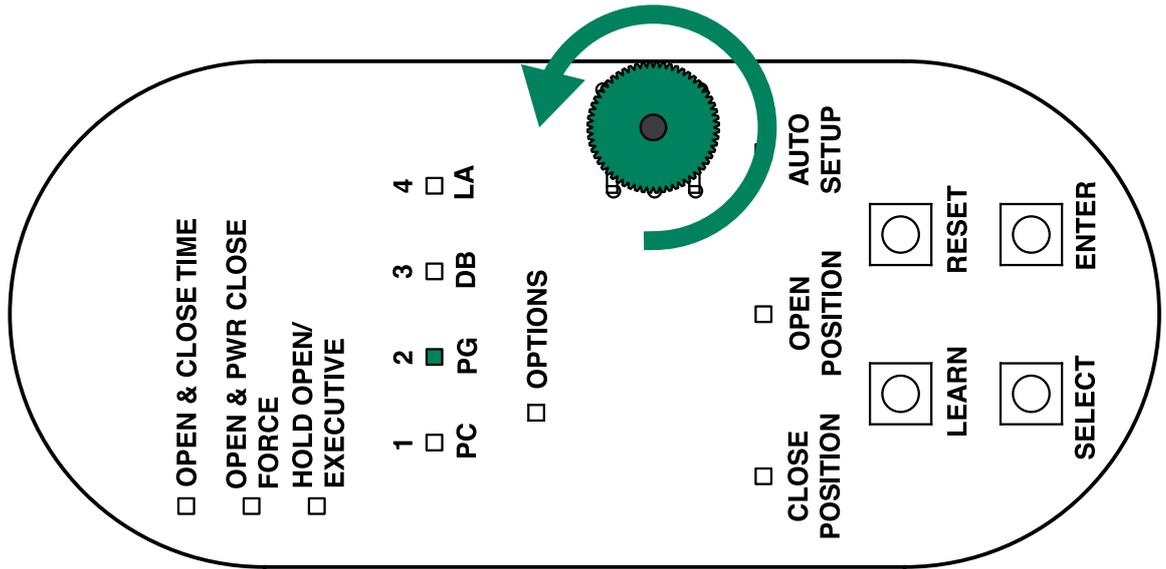


4. 選択したパワークローズ設定を保存するには、**Enter** を押してください。

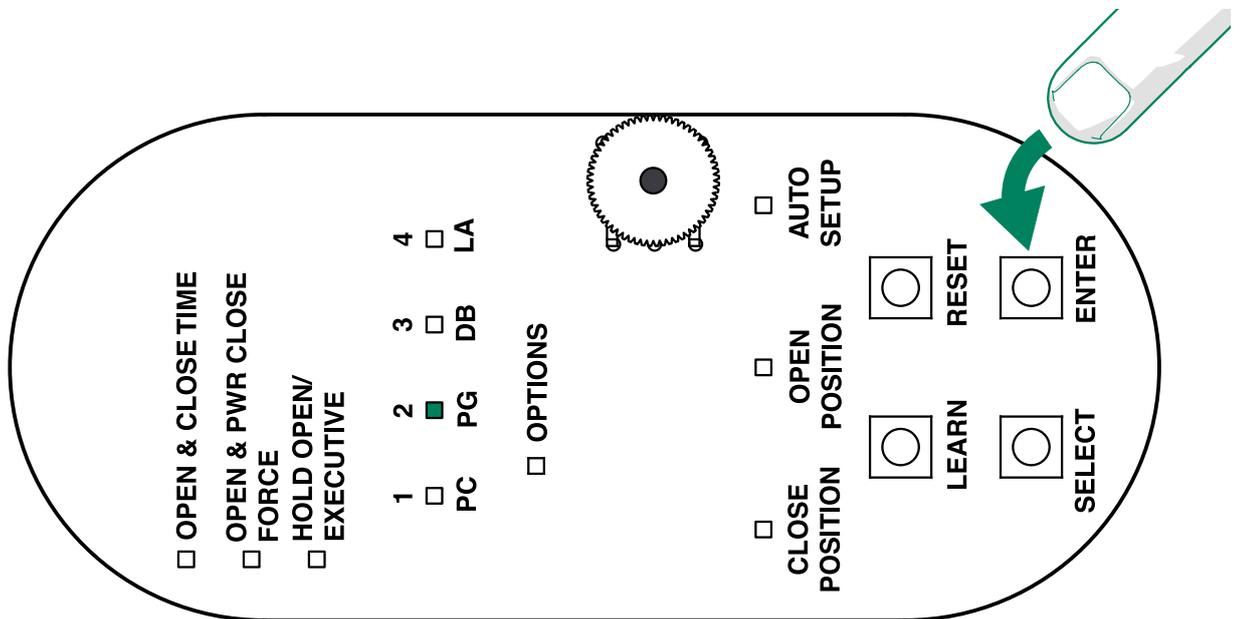


パワークローズ設定が保存されると、PG (押して進む) LEDが点灯します。

5. ポテンシオメータを回転させて、LEDの色を緑色に変更してください。

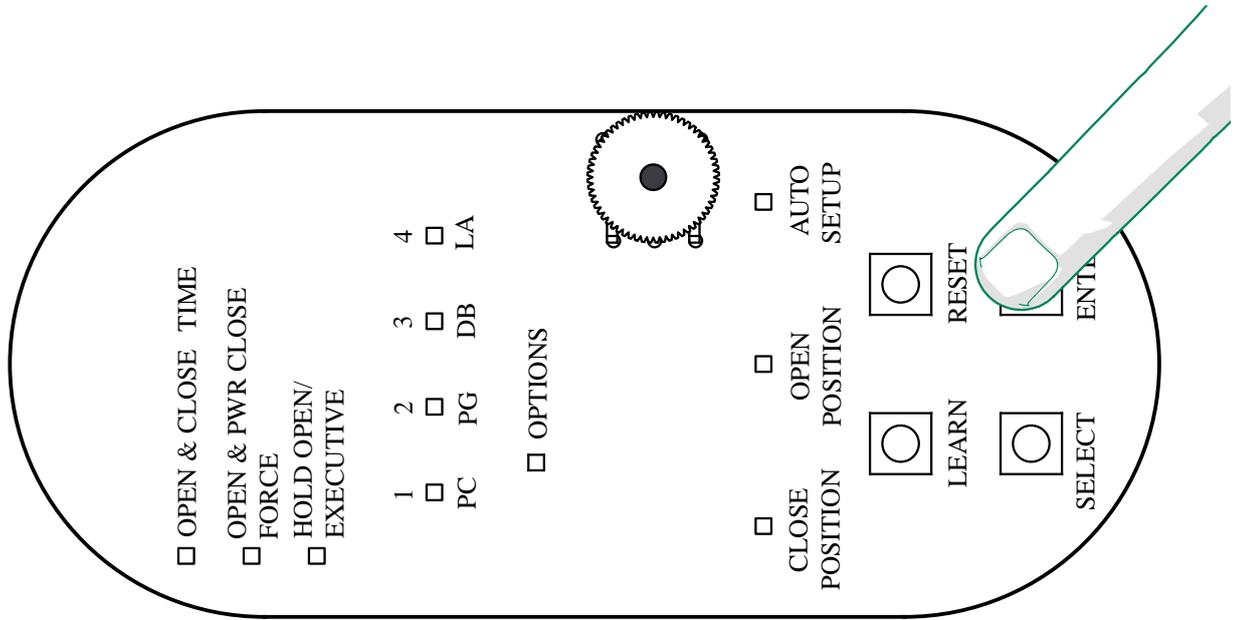


6. 選択した PG 設定を保存するには、**Enter** を押してください。

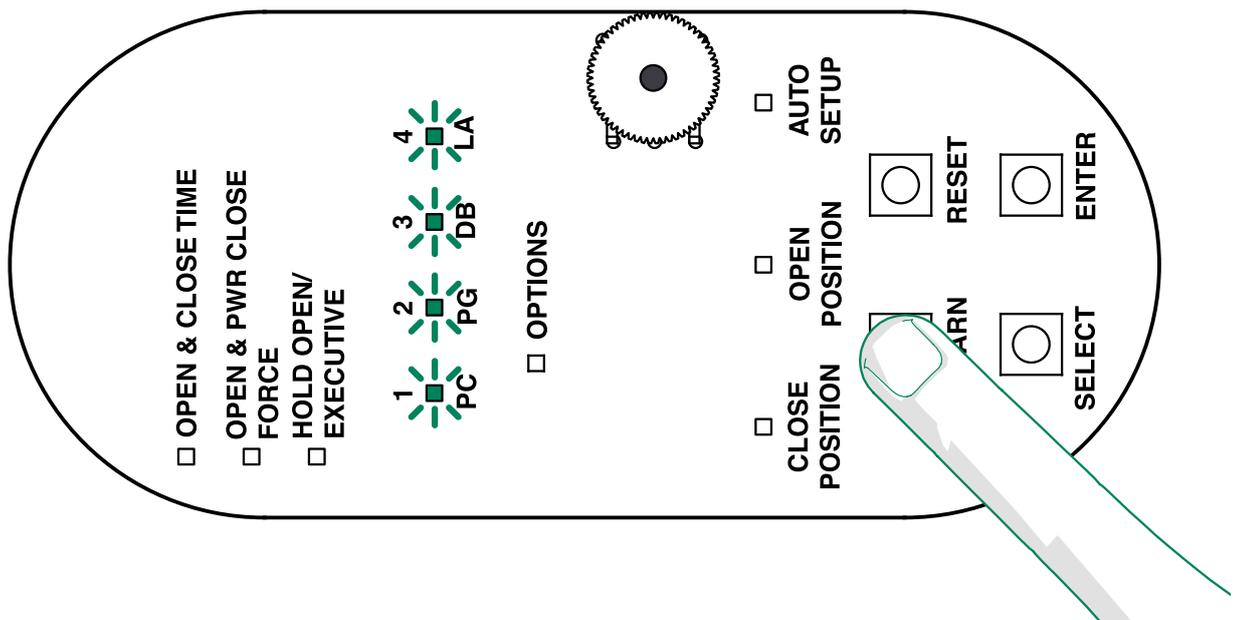


7. DB (ダイナミックブレーキ) 機能について繰り返します。

8. プログラミングモードを終了するには、**Enter** を3秒間押し続けてください。  
さらにドアの調節が必要な場合は、製造元の取扱説明書をご覧ください。

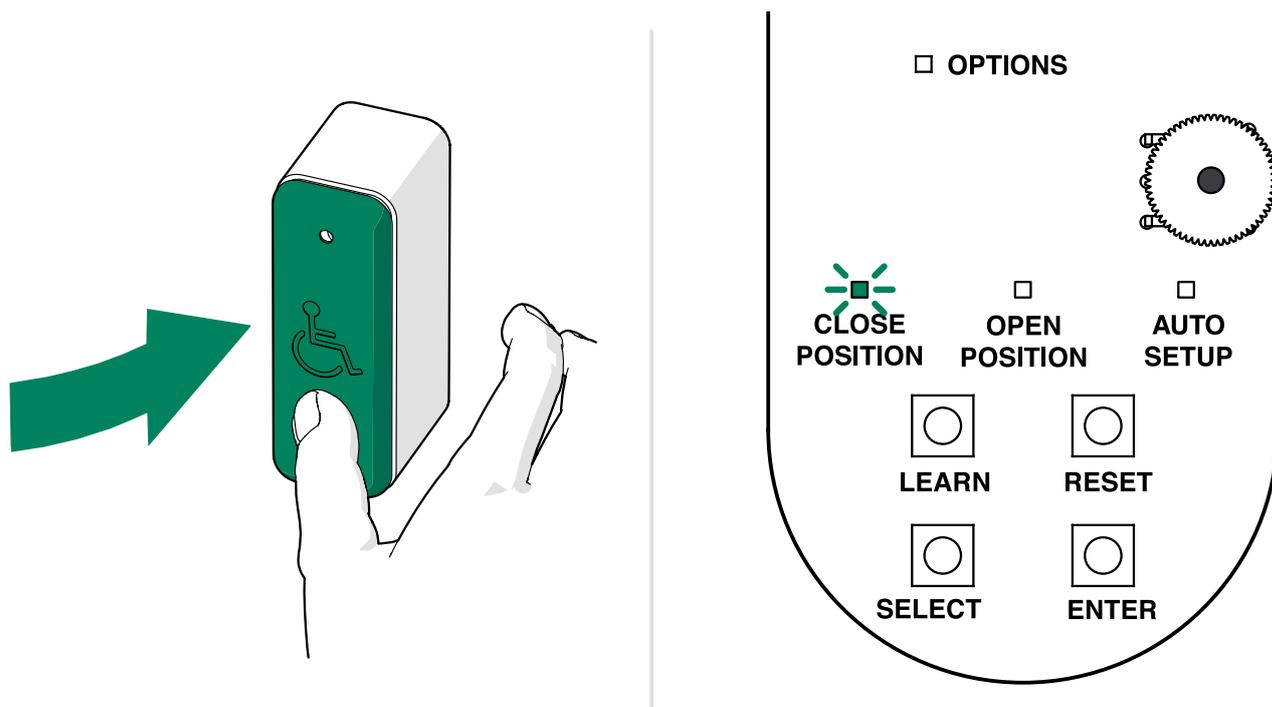


9. RF スイッチをドアのコントローラーとリンクする必要がある場合は LED **PC-LA** が緑色に点滅するまで **LEARN** を押し続けてください。



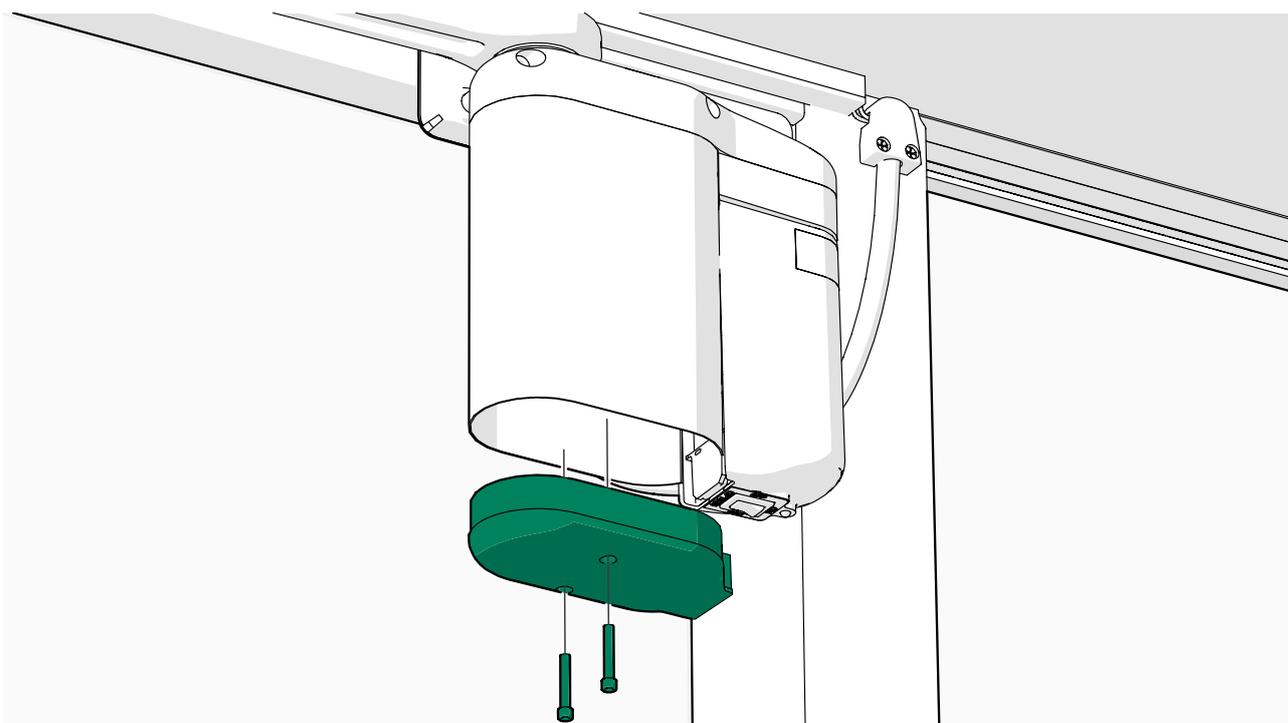
10. RF 押しボタンを押します。

- ⓘ 注：CLOSE POSITION (閉位置) LED が緑色に点滅し、オペレーターが押しボタンを受け入れたことが示されます。



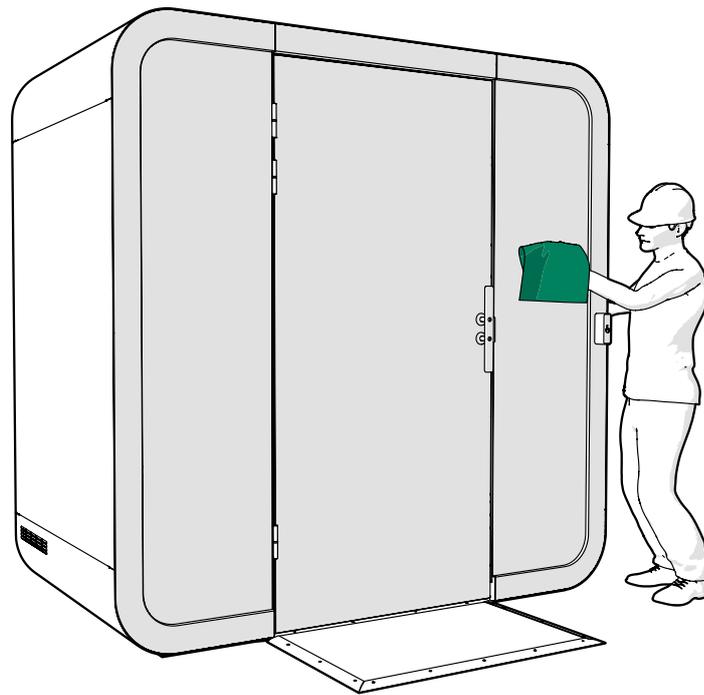
11. 必要に応じて、追加の押しボタンにも繰り返してください。

12. ドアオープナーの下部カバーを再度取り付けてください。

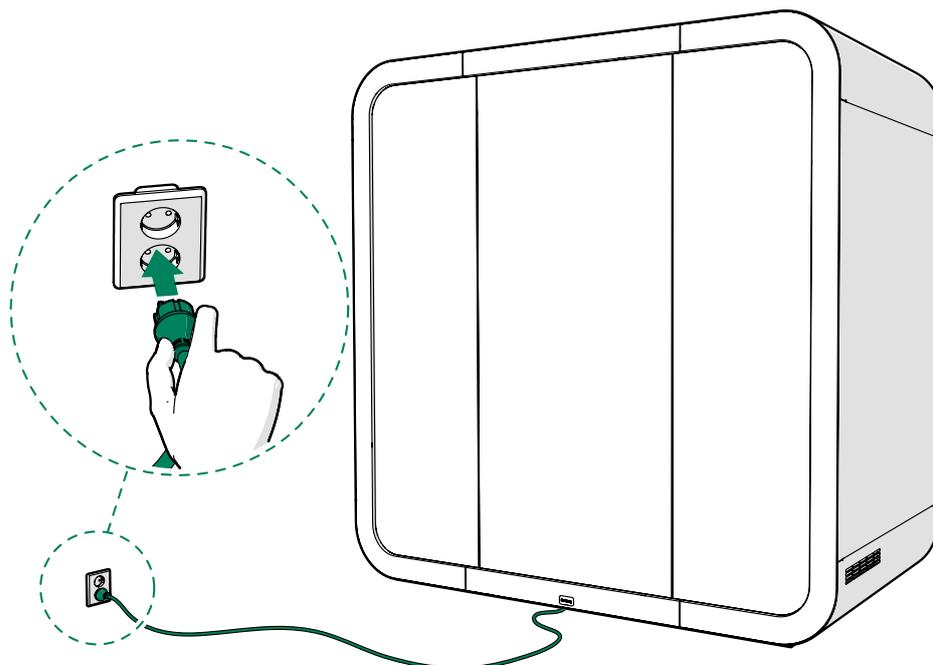


## 24 設置完了

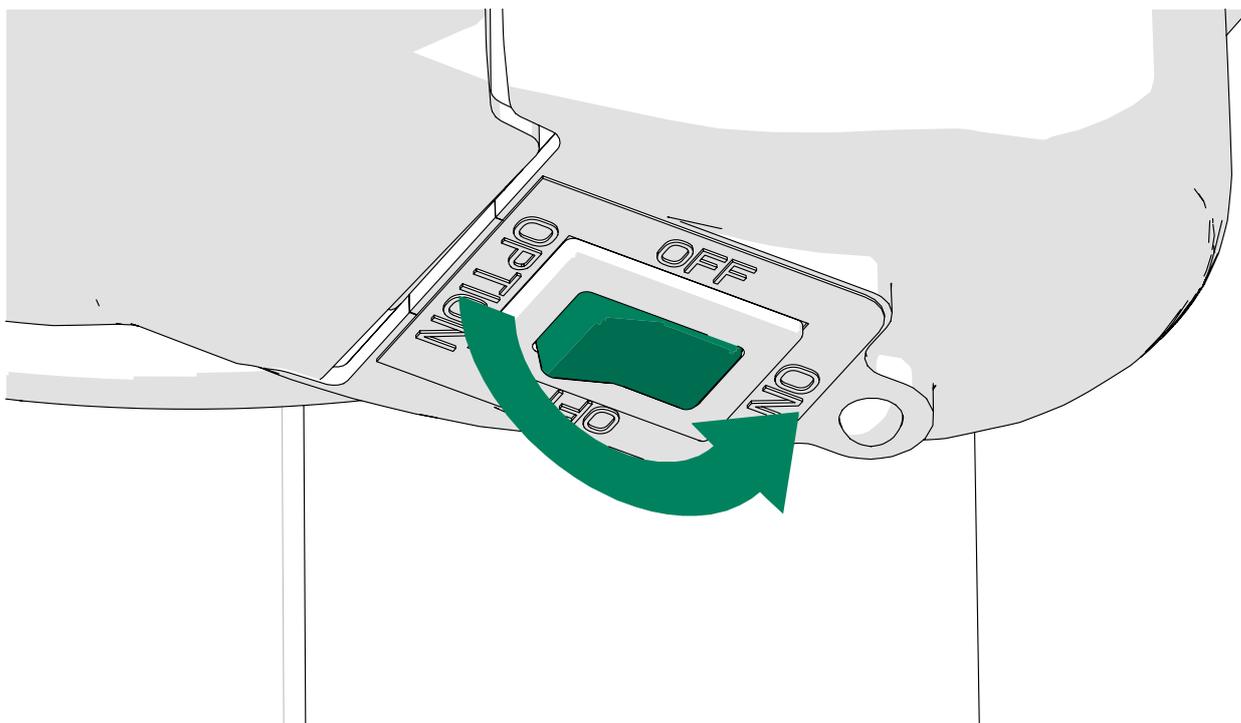
1. ガラス洗浄液と糸くずの出ない布でガラスを拭いてください。



2. 主電源コードをコンセントに接続してください。

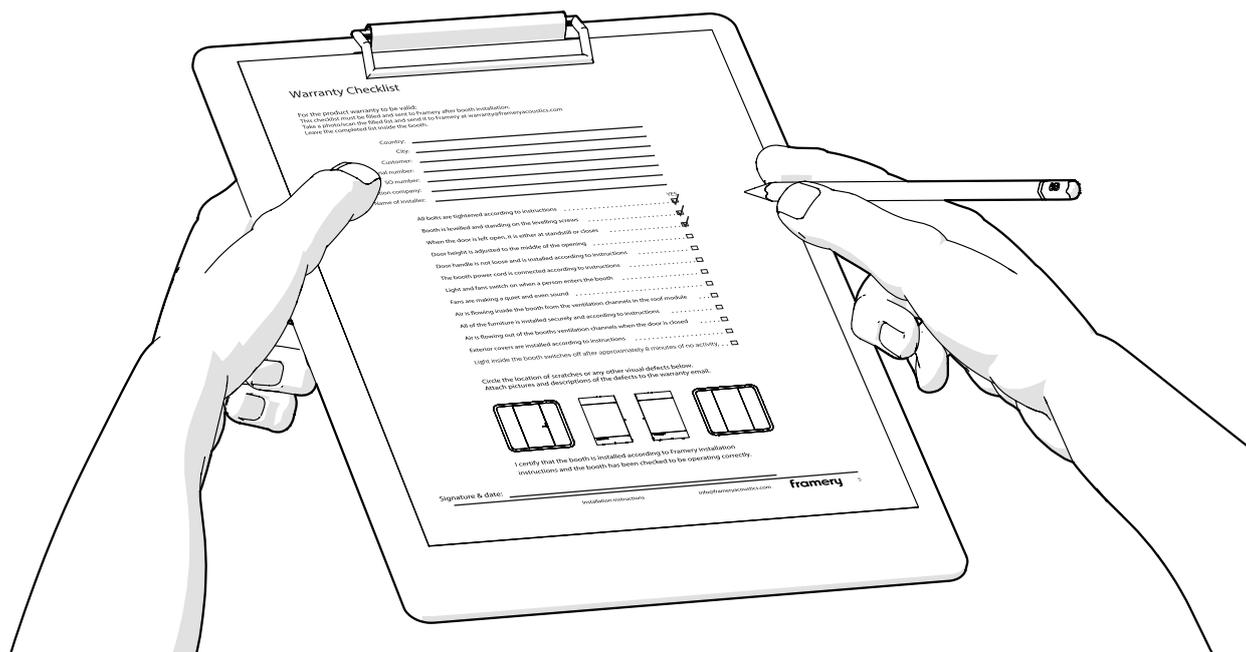


3. ドアオープナーのバッテリーをオンにしてください。



4. 保証書チェックシートに必要事項を記入し、Frameryに送付してください。

❗ 注：保証書は、記入済みの保証書チェックリストがある場合のみ有効です。



## 25 トラブルシューティング

### 状態

---

ドアが閉まりにくい。

原因: ローラーラッチとストライクプレートの上に隙間がある。

---

改善策: ローラーラッチの突出量を調節してください。

---

ロックのフロントプレートのネジを反時計回りに回すと、ローラーラッチの突出量が増えます。プラスドライバーを使用してください。

原因: 自動ドアシールの下降が速すぎる。

---

自動ドアシールの下降が速すぎると、ドアが適切に閉まりません。

改善策: 自動ドアシールを調節してください。

---

本取扱説明書の手順の [自動ドアシールの調節](#) (112ページ) をご覧ください。

原因: ドアの予圧が十分でない。

---

改善策: ドアオープナーアームの長さを調節して、ドアの予圧を増加してください。

---

1. ドアオープナーアームをドアオープナーアームブラケットに取り付けてあるネジを緩めてください。
2. ドアオープナーアームの端を最初に時計回りに1回転させて、アームを短くしてください。  
アームを短くすると、ドアの予圧が増加します。アームは最大で2.5回転させることができます。

原因: ドアスプリングが緩すぎる。

---

ドアオープナーモーター内部のスプリングが、ドアの開閉に必要な力を調節しています。

改善策: ドアスプリングの張りを調節してください。

---

ドアオープナーの端にある止めネジを時計回りに回して、スプリングの張力を上げてください。

ドアオープナーモーターには六角レンチが付属しています。

原因: 下部ヒンジの下にアジャスタープレートがない。

---

改善策: 下部ヒンジの下にアジャスタープレートを取り付けてください。

---

1. ドアオープナーの電源コードを電源アダプターコードから外してください。
2. ドアフレームの右上隅にあるワイヤーホルダーのセルフタッピング・プラスネジ (2個) を取り外し、ネジを近くに置いておいてください。

3. ドアオープナーアームブラケットからドアオープナーアームを取り外してください。
4. ドアを開けて、ヒンジから持ち上げます。
5. 5x30ネジ (4個) を締めて、下部ヒンジを取り外してください。
6. 1 mmのアジャスタープレートを下部ヒンジの取り付け穴に取り付けてください。
7. 5x30ネジ (4個) でヒンジを再度取り付けてください。
8. ドアを持ち上げて、開いた状態 (~130°) にしてください。  
 **警告：** ドアを持ち上げる際は、2人で作業をしてください。下部ヒンジが正しい場所に収まっているか確認してください。
9. ドアオープナーアームをドアオープナーアームブラケットに取り付けてください。
10. セルフタッピング・プラスネジ (2個) を使用して、ワイヤーホルダーをドアフレームの右上隅に取り付けてください。
11. ドアオープナーの電源コードと電源アダプターコードを接続してください。  
 **ヒント：** ドアのマグネットがサイドフレームのマグネットに当たった場合は、ゴム槌でマグネットを優しく押し込んでください。



**framery**

Framery Q Flip 'n Fold

の設置方法

Patamäenkatu 7

33900 Tampere

FINLAND

VAT: FI 23527139